

上市町地域公共交通計画

令和7年3月

富山県上市町

— 目 次 —

I 地域公共交通計画について	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の概要	1
II 上位・関連計画の整理	2
1 第8次上市町総合計画・第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略	2
2 上市町人口ビジョン（2022年9月改訂）	2
3 上市町都市計画マスタープラン	3
4 上市町地域福祉計画（第4期地域福祉計画）	4
5 上市町地域公共交通網形成計画	4
6 富山県地域交通戦略	5
7 富山県広域連携中枢都市圏ビジョン	7
III 地域特性	8
1 人口	8
2 施設分布	14
3 日常移動状況	21
IV 公共交通の実態把握	27
1 町内の地域公共交通概況	27
V 町民・地鉄本線利用者アンケート調査等結果のまとめ	97
1 調査概要	97
2 調査結果のまとめ	99
VI 地域公共交通を取り巻く現況・課題の整理	139
1 地域公共交通を取り巻く現況	139
2 課題の整理	148
VII 基本方針・目標	149
1 基本方針	149
2 基本方針に基づく目標と施策体系	150
3 地域公共交通の将来イメージ	151
4 目標と目標値	152
VIII 目標達成のための施策体系及び事業	154
1 施策・事業	154
2 各施策と事業内容	156
IX 計画の推進体制と評価・検証	176
1 推進体制と役割	176
2 持続的な運行と資金確保	177
3 評価・検証	181

I 地域公共交通計画について

1 計画策定の趣旨

上市町の公共交通は、鉄道（富山地方鉄道本線）、町営路線バス（柿沢・大岩線、南加積線、宮川線、相ノ木線、弓庄線）、予約のりあいバス（白萩線・陽南線）、高速バス及び一般タクシーなどが運行中である。近年、地域公共交通は人口減少により、利用者が減少傾向にある。

今後、更なる少子高齢化の進展や運転免許証返納者の増加等に伴い、公共交通による移動需要が増すと見込まれるため、公共交通の果たすべき役割はこれまで以上に重要となる。

このような状況に加え、令和2年3月に策定した「上市町地域公共交通網形成計画」が令和6年度をもって計画期間終了を迎えることから、現計画の計画目標に基づく評価指標について最終評価・検証を行い、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正に対応すべく現在の計画を改新し、今後の人口減少や高齢化を見据えつつ町内全域の公共交通の効果的な運用についての基本方針を反映した、町民にとって利用しやすい持続可能な交通網整備を形成するため「上市町地域公共交通計画」（以下「本計画」という。）を新たに策定するものである。

本計画の策定にあたっては、町民アンケート等によるニーズ調査を行い、定量的なデータを用いて、上市町にとって望ましい公共交通体系を検討する。そこで、本町の地理的条件等の実情や課題を踏まえるとともに、町の魅力向上や持続可能な都市機能の実現を目指して、地域公共交通ネットワークの構築に向けた取組の方向性や、これに基づく施策、事業を定める。

2 計画の概要

（１）計画の区域

計画の区域は、上市町全域を対象とする。

（２）計画の位置づけ

本計画は、上位計画に位置付けられる「第8次上市町総合計画」をはじめ、「第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「上市町人口ビジョン」、「上市町都市計画マスタープラン」、「富山県広域連携中枢都市圏ビジョン」などの関連計画との整合を図り、策定する。

（３）計画の対象

本計画は、本町の総合的な地域公共交通ネットワークの構築を目指すもので、富山地鉄本線、高速バス、町営バス、町営予約のりあいバス、タクシー等を地域公共交通として位置づけ、包括的に検討を行う。

（４）計画の期間

本計画の期間は、令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間とする。

Ⅱ 上位・関連計画の整理

1 第8次上市町総合計画・第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略

計画期間	総合計画：令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）の10年間 総合戦略：令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）の5年間
将来像	つながる にぎわう ささえあう すべては私とミライのために みんなが主役のまち 上市
基本計画	1 つながる上市 2 にぎわう上市 3 ささえあう上市
公共交通の位置づけ	2 にぎわう上市 にぎわう2 基盤整備 2－3 交通網の整備・維持・確保

2 上市町人口ビジョン（2022年9月改訂）

対象期間	令和42年度（2060年）
目標人口	令和7年度（2025年）：18,465人 令和42年度（2060年）：12,907人

3 上市町都市計画マスタープラン

計画期間	目標年次：令和 17 年度（2035 年度）
都市づくりの目標	○都市づくりの目標 1 豊かな自然環境を受け継ぎ、自然に抱かれた持続可能なまちづくり ○都市づくりの目標 2 人々がともに助け合いながら安全・安心に暮らせるまちづくり ○都市づくりの目標 3 多様な産業発展により、豊かさと賑わいのあるまちづくり
公共交通の位置づけ （都市施設整備の方針、整備方針）	住民の生活に欠かせない鉄道については、沿線自治体等と連携しながら、パーク・アンド・ライド施設の機能強化や駅施設のバリアフリー化などを推進するとともに、北陸新幹線・富山地方鉄道・あいの風とやま鉄道の連携を推進し、鉄道利用者の利用促進を図ります。 また、町営バス（コミュニティバス・スクールバス）については、住民の生活路線の維持・確保を図るとともに、運行路線やダイヤの随時見直しや必要に応じて実証実験を検討するなど、一層の利便性の向上に努めます。
地域別構想（公共交通に関する方針）	○相ノ木・宮川地域 【鉄道利用者の利用促進】 ・鉄道については、パーク・アンド・ライド施設の機能強化や駅施設のバリアフリー化などを推進するとともに、北陸新幹線・富山地方鉄道・あいの風とやま鉄道の連携を推進し、鉄道利用者の利用促進を図ります。 【町営バスの利便性向上】 ・町営バス（コミュニティバス・スクールバス）については、住民の生活路線の維持・確保を図るとともに、運行路線やダイヤの随時見直しや必要に応じて実証実験を検討するなど、一層の利便性の向上に努めます。 ○上市中央地域 【鉄道利用者の利用促進】 ・鉄道については、駅施設のバリアフリー化などを推進するとともに、北陸新幹線・富山地方鉄道・あいの風とやま鉄道の連携を推進し、鉄道利用者の利用促進を図ります。 【町営バスの利便性向上】 ・町営バス（コミュニティバス・スクールバス）については、住民の生活路線の維持・確保を図るとともに、運行路線やダイヤの随時見直しや必要に応じて実証実験を検討するなど、一層の利便性の向上に努めます。 ○南加積・陽南・白萩地域 【町営バスの利便性向上】 ・町営バス（コミュニティバス・スクールバス）については、住民の生活路線の維持・確保を図るとともに、運行路線やダイヤの随時見直しや必要に応じて実証実験を検討するなど、一層の利便性の向上に努めます。

4 上市町地域福祉計画（第4期地域福祉計画）

計画期間	令和4年度（2022年度）～令和8年度（2026年度）
計画の基本理念	つながる にぎわう ささえあう 安心して暮らせるまち 上市
計画の目標	基本目標1 ともにささえあう「ひとづくり」 基本目標2 安心して暮らせる「地域づくり」 基本目標3 安全・安心な「福祉の環境づくり」
施策の展開・方向 （公共交通に関する展開）	基本目標3 安全・安心な「福祉の環境づくり」 3-2 地域で安心して暮らせる環境をつくります ○地域のバリアフリー化を進めるとともに、利用しやすい移動交通手段の確保、ひとり暮らし高齢者等の把握、防犯対策の充実等、安心して暮らせる環境づくりを行います。 ②路線バスの環境整備 車を運転できない住民にとって重要な交通手段であるコミュニティバス路線が、利用しやすい交通手段となるよう改善します。

5 上市町地域公共交通網形成計画

対象期間	令和2年度～令和6年度
対象区域	上市町全域
計画の基本方針	地域をつなぎ、人とまちを元気にする 地域公共交通網の確保・維持
計画の基本方針と実施方針	基本方針1 町中心部を起点とした、効率的な地域公共交通網の形成 実施方針1-1 既存公共交通網の見直しによる運行効率向上 実施方針1-2 既存公共交通網の補強による利便性向上・新規需要の獲得 基本方針2 地域公共交通を使い続けたい交通環境の整備・改善 実施方針2-1 情報発信による公共交通の認知度向上 実施方針2-2 視覚化による公共交通の利便性向上 実施方針2-3 新たなバスチケット形態の導入による町営バスの利便性向上 実施方針2-4 バスチケットの購入機会創出による町営バスの利便性向上 実施方針2-5 公共交通利用環境の改善による利便性向上 基本方針3 まちづくりと連携した公共交通の利用機会創出 実施方針3-1 高齢者運転免許自主返納支援事業と連携した公共交通の利用機会創出 実施方針3-2 イベントと連携した公共交通の利用機会創出 実施方針3-3 観光と連携した来訪者等への公共交通の利用機会創出
目指すべき都市構造のイメージ	上市駅や上市町役場等の都市機能が集約している町中心部を起点として、柿沢・大岩、白萩、宮川、相ノ木、弓庄等の各方面へ放射状に町営バスが運行し、町中心部と各地区居住地を結ぶ。そして町中心部からは、西方向と北方向に延びる富山地方鉄道により、上市町と富山市や滑川市等を結ぶことで、住民、通勤通学者、来訪者等が鉄道やバスを利用し、町内外を活発に移動できる体系を目指す。

6 富山県地域交通戦略

計画期間	令和6年度（2024年度）～令和10年度（2028年度）
基本理念	利用目的に応じた利便性の高い地域交通ネットワークを形成すること
基本的な方針・考え方 （基本理念）	○カーボンニュートラル等の社会からの要請に応え、ウェルビーイングの向上をもたらす最適な地域交通サービスの実現を目指す。 ＜ウェルビーイングの向上をもたらす最適な地域交通サービス＞ 1. 誰もが利用でき、使いやすく便利で安全快適に移動できる。 2. これまで以上に社会と関わりをもち、生き生きと暮らせるようになる。 3. 日々の生活の中で获得感、満足感、新しい発見を得られる。 ○自治体や地域住民の積極的関与・参画、事業者間の協調など、関係者間の役割分担・責任分担について考え、地域全体で実現を目指す。
地域交通ネットワークの目指すべき姿（将来像）	○全市町村に鉄道が通る富山県の強みを活かし、幹となる鉄軌道や駅を中心にあらゆるサービスが木のように一つに繋がるネットワーク （目指すべき姿その1） 鉄軌道サービスの利便性・快適性向上 （目指すべき姿その2） 結節点となる駅の機能強化 （目指すべき姿その3） 地域内のモビリティサービスの確保 （目指すべき姿その4） ネットワーク内のサービスの統合・進化
計画の目標	○計画策定後、定期的にモニタリングし、その結果を踏まえ施策等についても、必要に応じブラッシュアップを図っていく。 ＜目標1＞県民一人当たりの地域交通利用回数50回/年 地域交通サービスの最適化を通じた県民の利用機会の増加を目指す。 ＜目標2＞ガソリン車の台数▲20万台 カーボンニュートラルを推進するため、地域交通の利用を促進し、ガソリン車の台数の削減を目指す。 ＜目標3＞地域交通への満足度1.25倍 県民の満足度の改善を図り、ウェルビーイングの向上を目指す。
関係者でともに取り組む施策	I. 地域の活力・魅力向上のための「投資」 1. 鉄軌道等のサービスレベル向上に対する投資 （1）鉄軌道の混雑緩和等のための輸送力の強化 （2）快適性・環境性の向上のための鉄道車両の導入、鉄軌道設備の更新・改良等 （3）キャッシュレス決済の導入 （4）サービスを支える担い手の確保・育成 （5）教育・子育て・福祉等を支える鉄軌道サービス等の確保 2. まちづくりと連携した駅の機能強化に対する投資 （1）駅を中心としたまちづくりや駅の交通結節機能の強化 （2）市町村のまちづくりの拠点となる駅の空間を活用した地域拠点機能の強化 （3）駅施設のバリアフリー化 3. 地域内のモビリティサービス（バス・タクシー・新モビリティサービス）に対する投資 （1）新たなサービスの立上げなど地域主体の取組みの推進 （2）サービスを支える担い手の確保・育成等 4. ネットワーク内の移動・交流の創出に対する投資 （1）ネットワーク内のサービス等の連携（MaaSの充実等）

	(2) とやまロケーションシステムの充実・利活用 (3) 地域交通に関するデータ連携基盤の構築 II. 地域の活力・魅力向上のための「参画」 1. 利用者としての参画 (1) 地域交通を中心としたライフスタイルへの転換 2. 支え手・担い手としての参画 (1) 地域交通の支え手としての積極的な参画 3. 沿線まちづくりとしての参画 (1) 駅を拠点としたまちづくり (2) 拠点駅の駅空間等を活用した事業活動・社会活動 (3) 地域の魅力向上につながる駅設備・車両のデザイン性向上 4. 地域交通サービスとの連携等を通じた参画 (1) 各文化・商業施設や観光地等における地域交通の運行情報等の案内 (2) 沿線地域の関係者と連携した MaaS アプリでの新たなデジタル乗車券の企画・作成 (3) 各地域のイベントと連携した地域交通の誘客や観光資源としての活用 (4) 地域交通サービスによる観光客の移動環境の整備 (5) その他、他分野・他業種と地域交通サービスの連携の検討
--	---

7 富山県広域連携中枢都市圏ビジョン

連携中枢都市圏の構成市町村	富山市、滑川市、舟橋村、上市町、立山町		
計画期間	令和５年度（2023 年度）～令和 9 年度（2027 年度）		
将来像	都市の魅力と海山の豊かな自然が調和し、 働きやすさ、住みやすさが実感できる 活力あふれる圏域		
将来像の実現に向けた取組の方向性	圏域全体の経済成長のけん引 高次の都市機能の集積・強化 圏域全体の生活関連機能サービスの向上		
連携協約の内容・ 圏域全体としての 効果・ 関係市町村の役割 分担	圏域全体の生活関連機能サービスの向上 ⑧地域公共交通の充実 公共交通の利用促進や基幹交通の利便性向上、生活交通の確保等、地域公共交通の充実に取り組む。		
	事業名	鉄道施設総合安全対策事業	親子でおでかけ事業
	事業概要	圏域の高度な中心拠点である富山駅と連携市町村を結ぶ地域公共交通網を維持し、圏域住民の移動手段の確保及び安全性の向上を図る。 ○鉄道軌道安全輸送設備等整備事業 鉄道事業者が行う輸送設備の更新等の費用に対し支援を行うことで、圏域内における広域的な鉄道路線の安全な運行を継続する。 ○老朽化対策事業 鉄道事業者が行う老朽化した橋梁の補修修繕等の費用に対し支援を行うことで、圏域内における広域的な鉄道路線の安全な運行を継続する。	児童期から公共交通の魅力を学び、将来、自動車だけでなく公共交通機関も選択する意識を醸成し、地域公共交通の充実を図る。 圏域内の小学校、特別支援学校の児童を対象に、公共交通機関の利用を促進する無料乗車券付きのチラシを配布し、無料（有賃利用の大人と同伴の場合）で公共交通機関を利用する機会を提供する。
	圏域全体としての事業効果	圏域内の主要な公共交通の確保維持を図ることで、住民の移動手段の確保や低炭素化の推進につながることが期待できる。	圏域内での公共交通利用を促進することで、公共交通の確保維持が期待できる。
	関係市町村の役割分担	〈富山市〉 ・国の支援と連携し、県や関係市町村と協議の上、事業費を助成する。 〈連携市町村〉 ・国の支援と連携し、県や関係市町村と協議の上、事業費を助成する。	〈富山市〉 ・交通事業者との連携や事業の周知などを実施。 〈連携市町村〉 ・交通事業者との連携や事業の周知などを実施。
	費用負担	関係市町村の協議の上、必要な費用を負担する。	
	重要業績評価指標（KPI）	富山地方鉄道鉄道路線の圏域内の各駅乗車人員 基準値：3,874 千人 （令和 3 年度） 目標値：現状維持を目指す （令和 9 年度）	公共交通無料乗車きっぷの利用枚数 基準値：6,349 枚 （令和元年度） 目標値：6,500 枚 （令和 9 年度）

Ⅲ 地域特性

1 人口

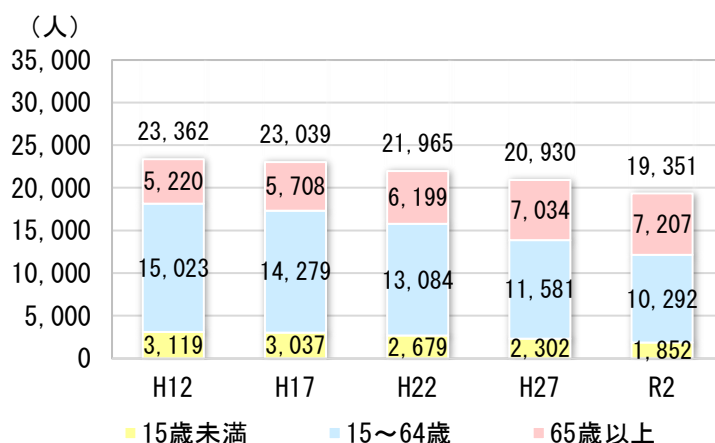
(1) 少子高齢化の現況

上市町の人口は、平成 12 年に 23,362 人となるが、その後緩やかに減少に転じ、令和 2 年には 19,351 人となっている。

年齢 3 区分人口をみると、年少人口（15 歳未満）及び生産年齢人口（15～64 歳）が年々減少傾向にある一方で、高齢人口（65 歳以上）は増加しており、少子高齢化が進んでいる。

高齢化率（65 歳以上の人口に占める割合）については、平成 12 年には 22.3%であったが、令和 2 年には 37.2%となっており、20 年間で 14.9 ポイント増加している。

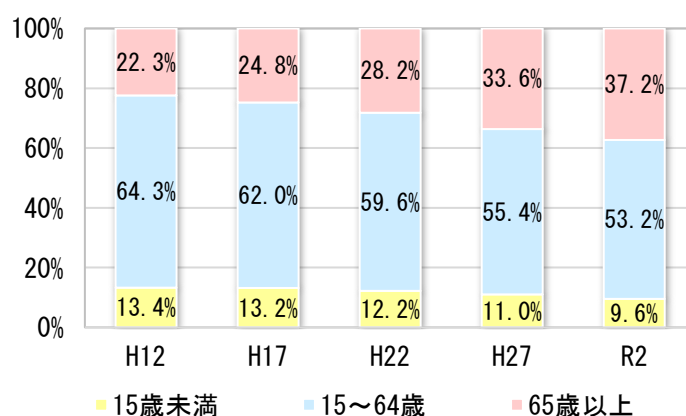
図表 1 上市町の総人口・年齢 3 区分人口推移



※年齢 3 区分合計値が総人口（年齢不詳を含む）とならない場合がある

※出典：各年国勢調査

図表 2 上市町の年齢 3 区分人口比推移



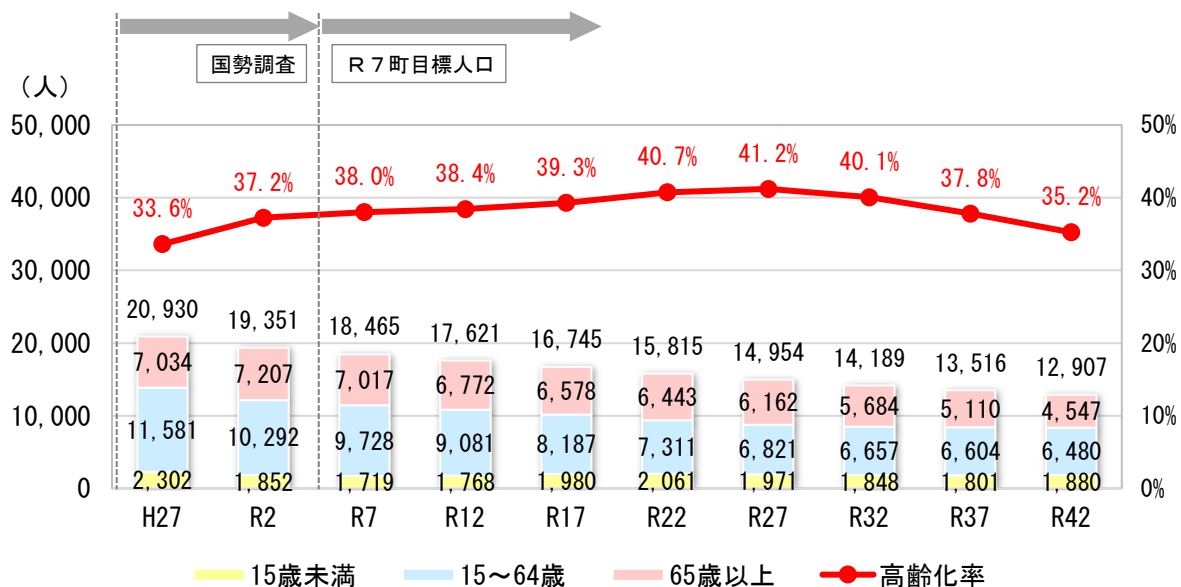
※3 区分割合の合計値が 100%とならない場合がある

※出典：各年国勢調査

上市町人口ビジョンにおける将来目標人口は、令和 42 年（2060 年）に 12,907 人であり、令和 2 年の国勢調査に比べ、6,444 人減少することが見込まれる。

年齢 3 区分人口をみると、令和 42 年に年少人口（15 歳未満）は 1,880 人（令和 2 年比 1.5% 増）、生産年齢人口（15～64 歳）は 6,480 人（令和 2 年比 37.0% 減）、高齢人口（65 歳以上）は 4,547 人（令和 2 年比 36.9% 減）と見込まれており、高齢化率（65 歳以上の人口に占める割合）は令和 42 年に 35.2%（令和 2 年比 2.0 ポイント減）と見込まれる。

図表 3 上市町将来目標人口推計



※年齢 3 区分合計値が総人口とならない場合がある

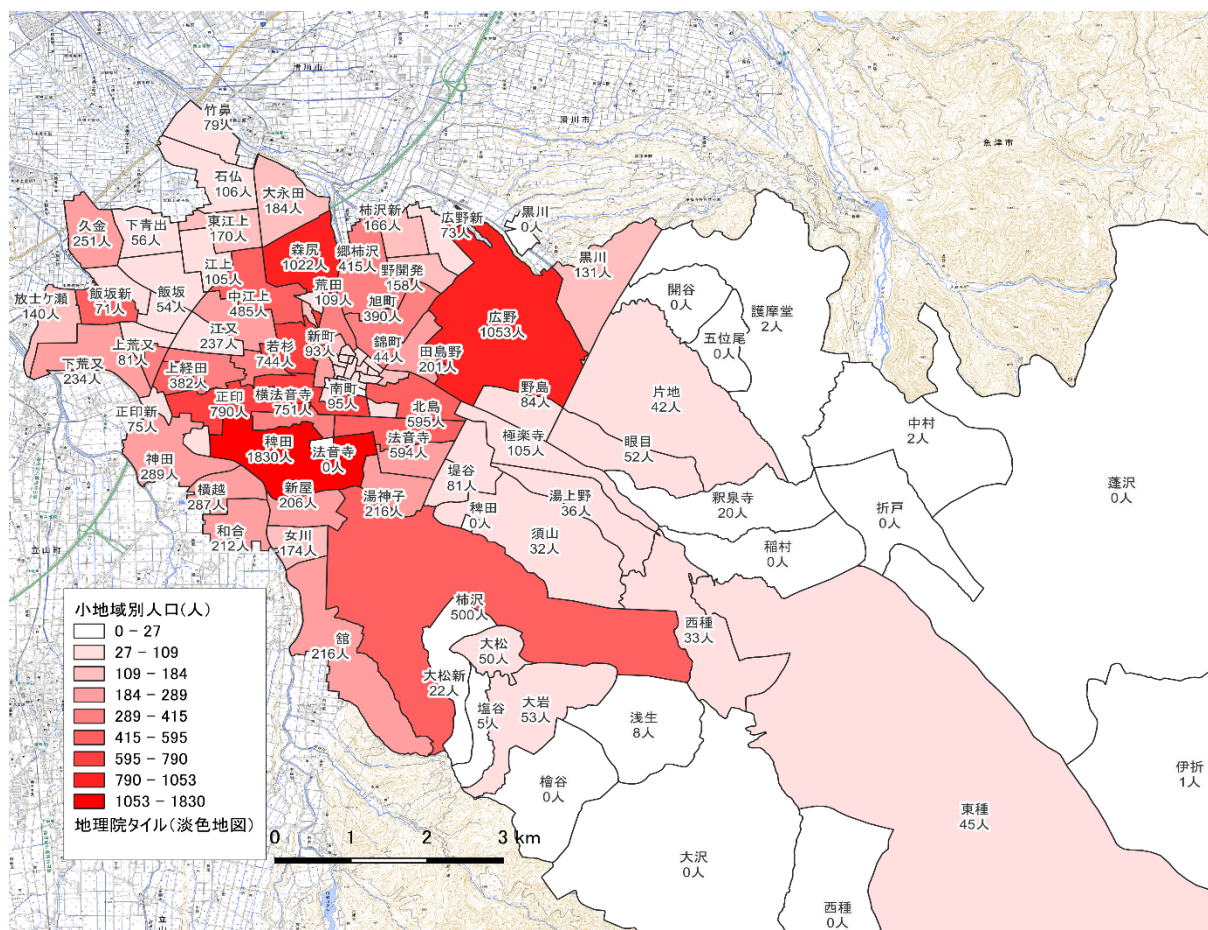
※出典：上市町人口ビジョン

(2) 地区別人口

地区別人口は、稗田が 1,830 人で最も多く、次いで広野が 1,053 人、森尻 1,022 人となっている。一方、町域の南東に位置する地区では、居住者が 20 人以下の地区もみられており、人口が少ない。

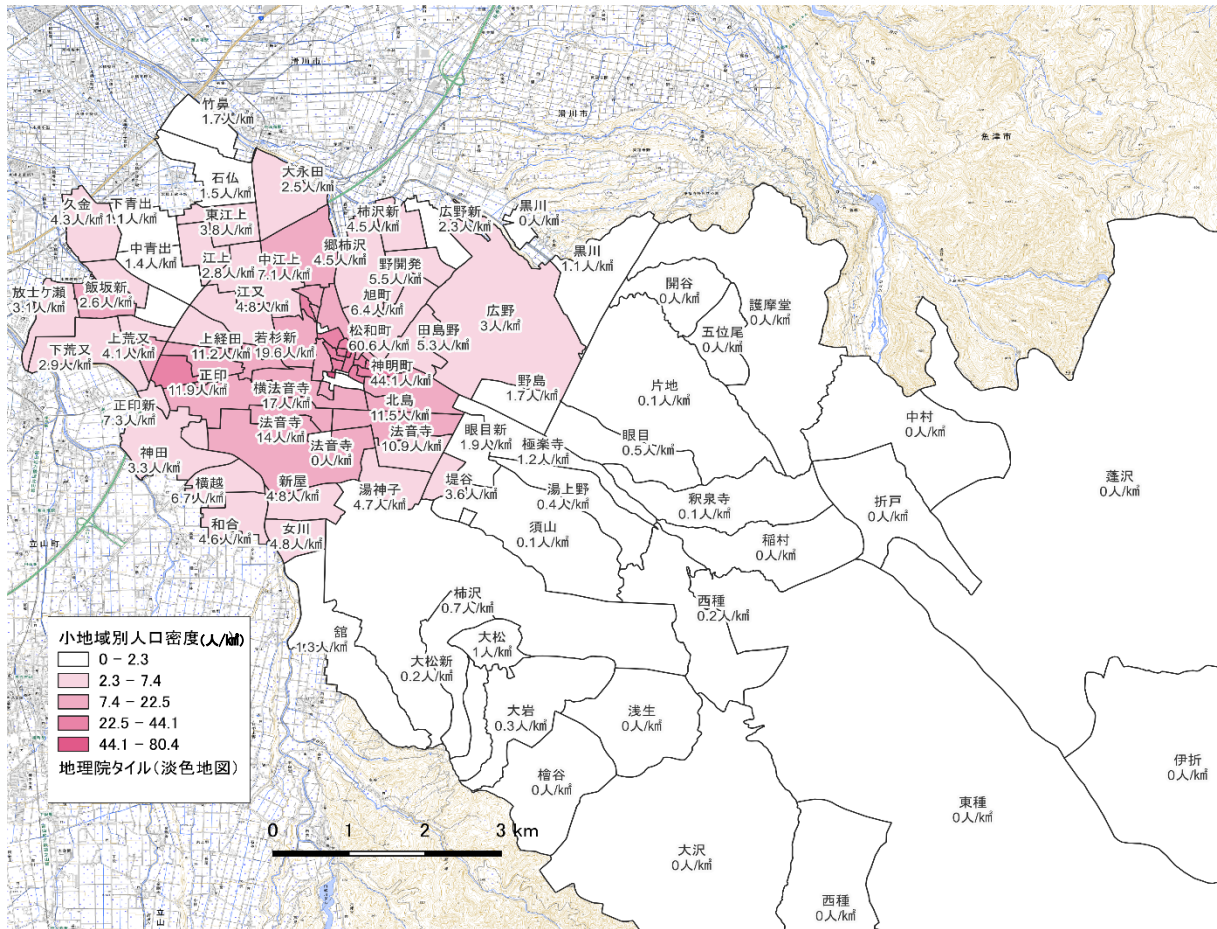
地区別人口密度は、市街地の人口密度が高く、町域の南東に位置する地区は人口密度が低い。

図表 4 地区別人口（令和 2 年）



※資料：e-Stat(令和2年度国勢調査)

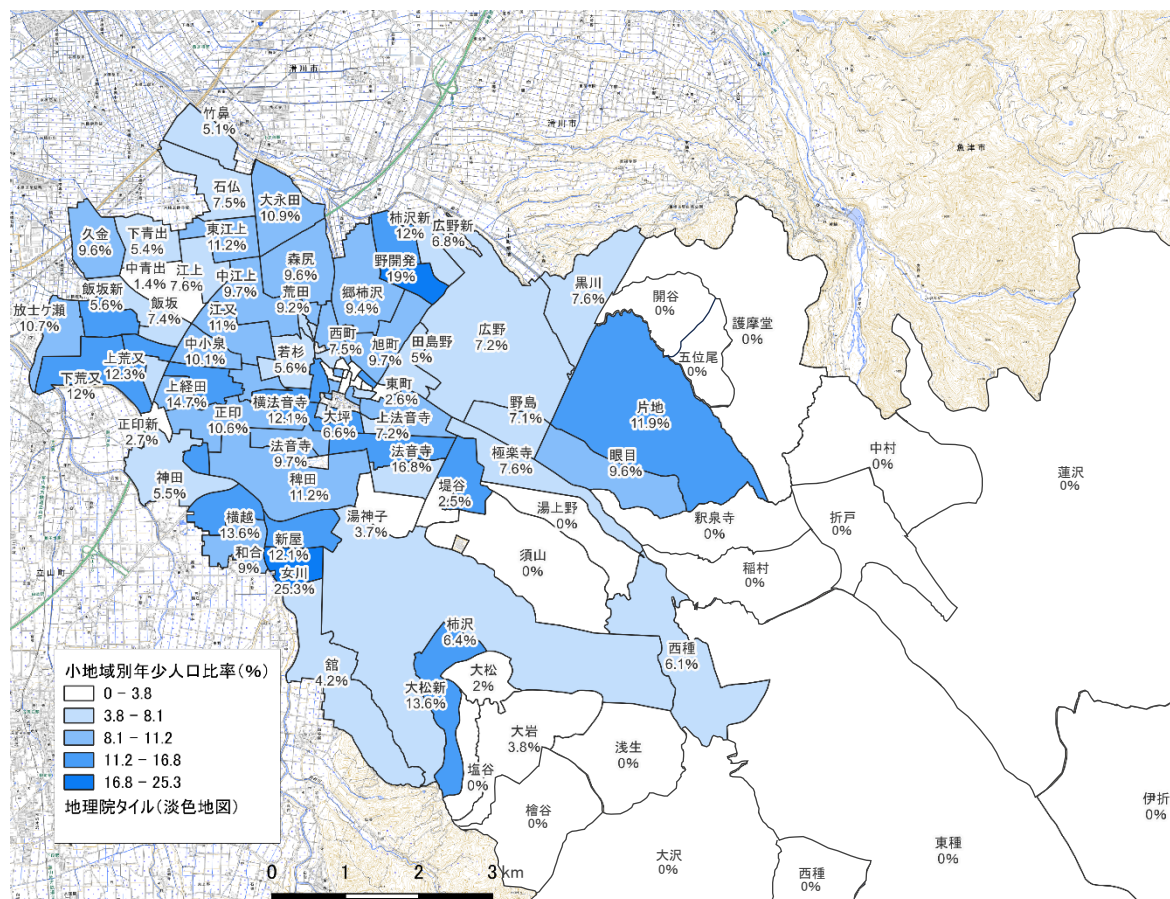
図表 5 地区別人口密度（令和 2 年）



※資料：e-Stat（令和 2 年度国勢調査）

地区別高齢人口割合は、町域の南東に位置する地区で割合が高く、東種（68.9%）、須山（68.8%）、大松新（68.2%）である。

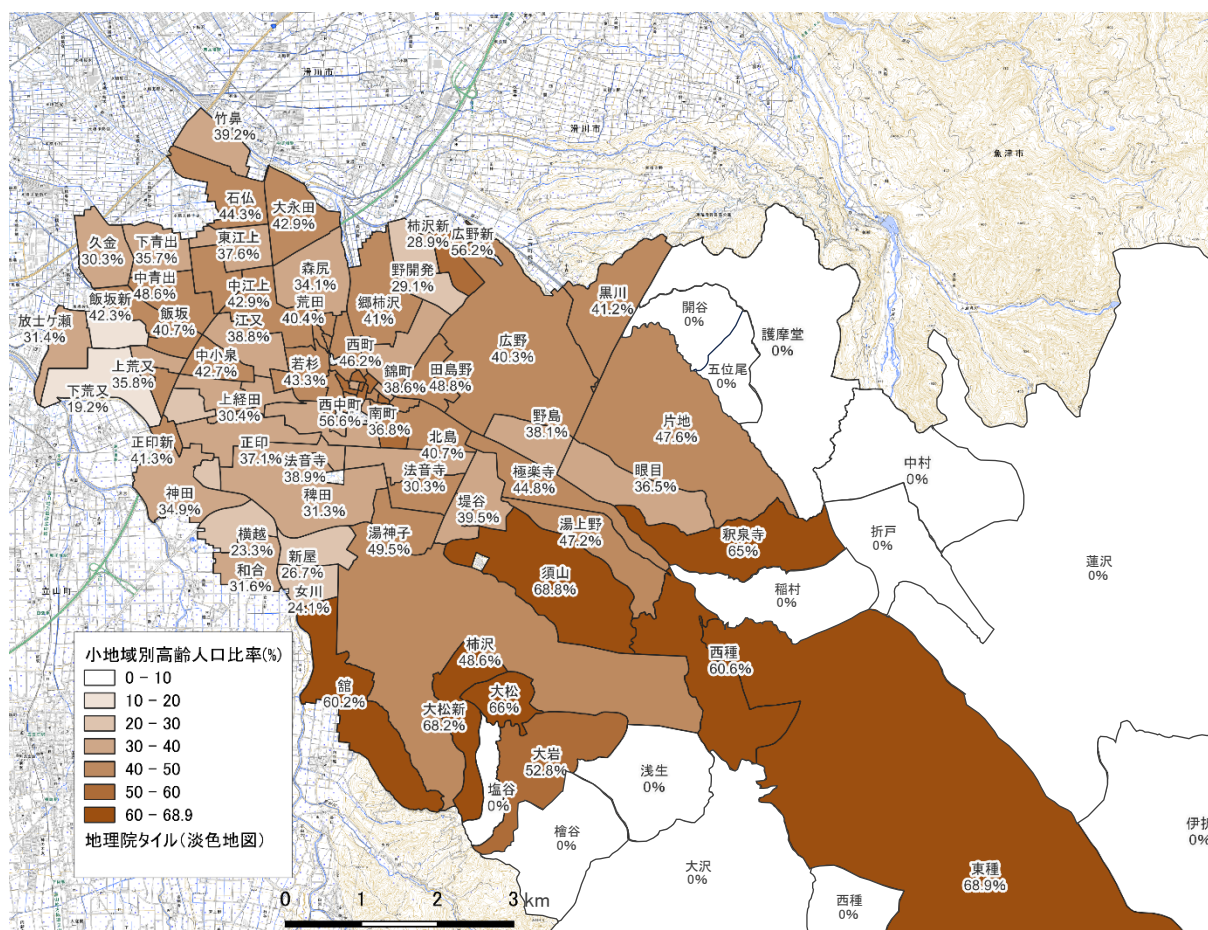
図表 6 地区別年少人口割合（令和 2 年）



※資料：e-Stat(令和2年度国勢調査)

※地区人口が0人の地区は、年少人口を記載していない。

図表 7 地区別高齢人口割合（令和 2 年）



※資料：e-Stat(令和2年度国勢調査)

(1) 施設分布状況

町内の公共施設は、中心市街地に位置している。各地域には公民館が立地している。

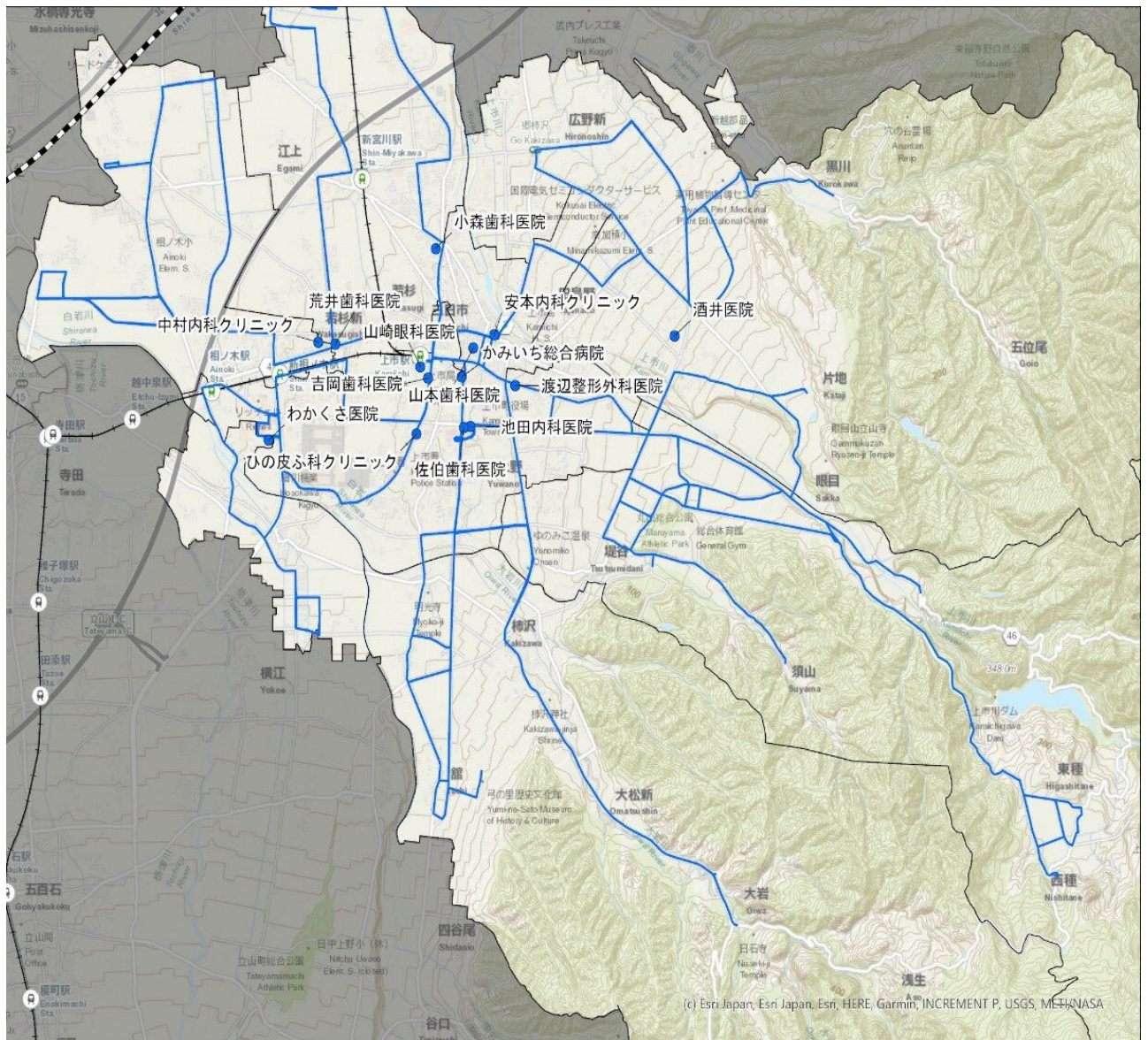
[illegible]

14

② 医療施設

町内の医療機関は、中心市街地に位置している。

図表 9 医療施設の分布



※出典：上市町提供データ

③ 商業施設

町内の商業施設は、「ふれあい元気市場つぎ」、「大阪屋ショッピングパル店」、「生鮮イキイキ市場フジタ」が中心市街地に立地している。「マックスバリュ上市店」は、町の西側に立地している。

図表 10 商業施設の分布

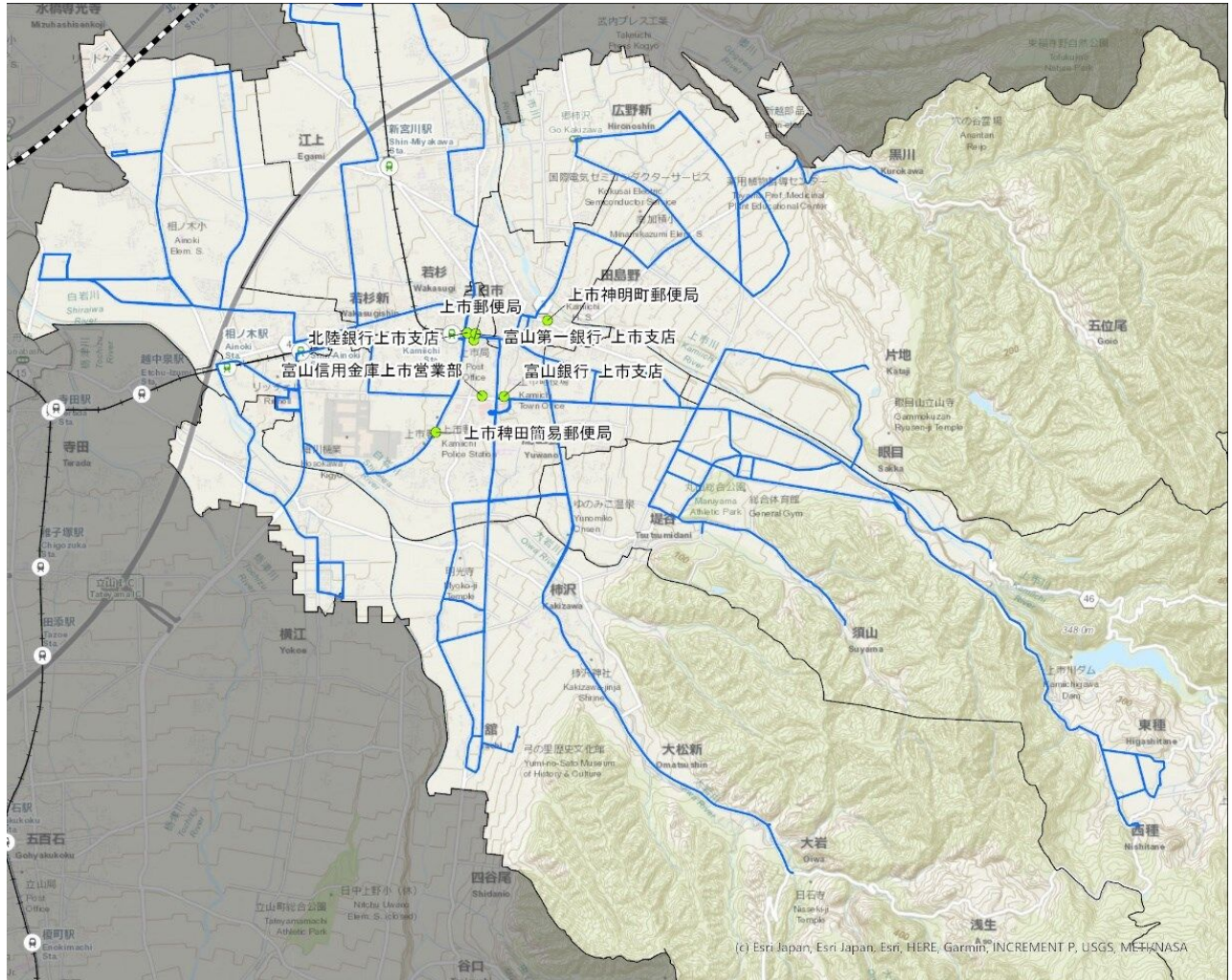


※出典：上市町提供データ

④ 郵便局・銀行

町内には郵便局が3局、銀行が4店舗あり、いずれも中心市街地に立地している。

図表 11 郵便局・銀行の分布

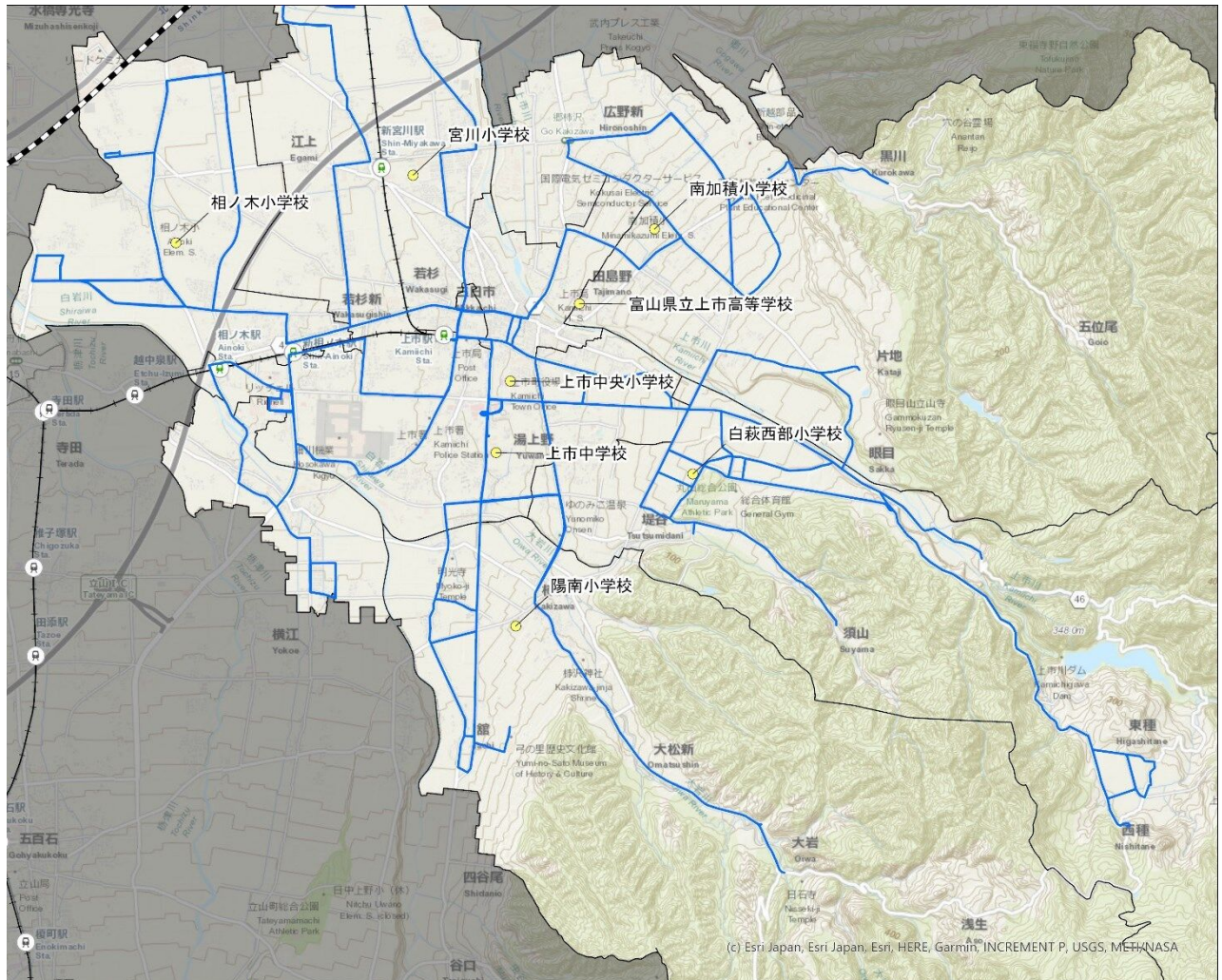


※出典：上市町提供データ

⑤ 教育

町内には、小学校が6校、中学校が1校、高校が1校立地している。

図表 12 教育施設の分布



※出典：上市町提供データ

町内には、多くの福祉施設が中心市街地周辺に立地している。

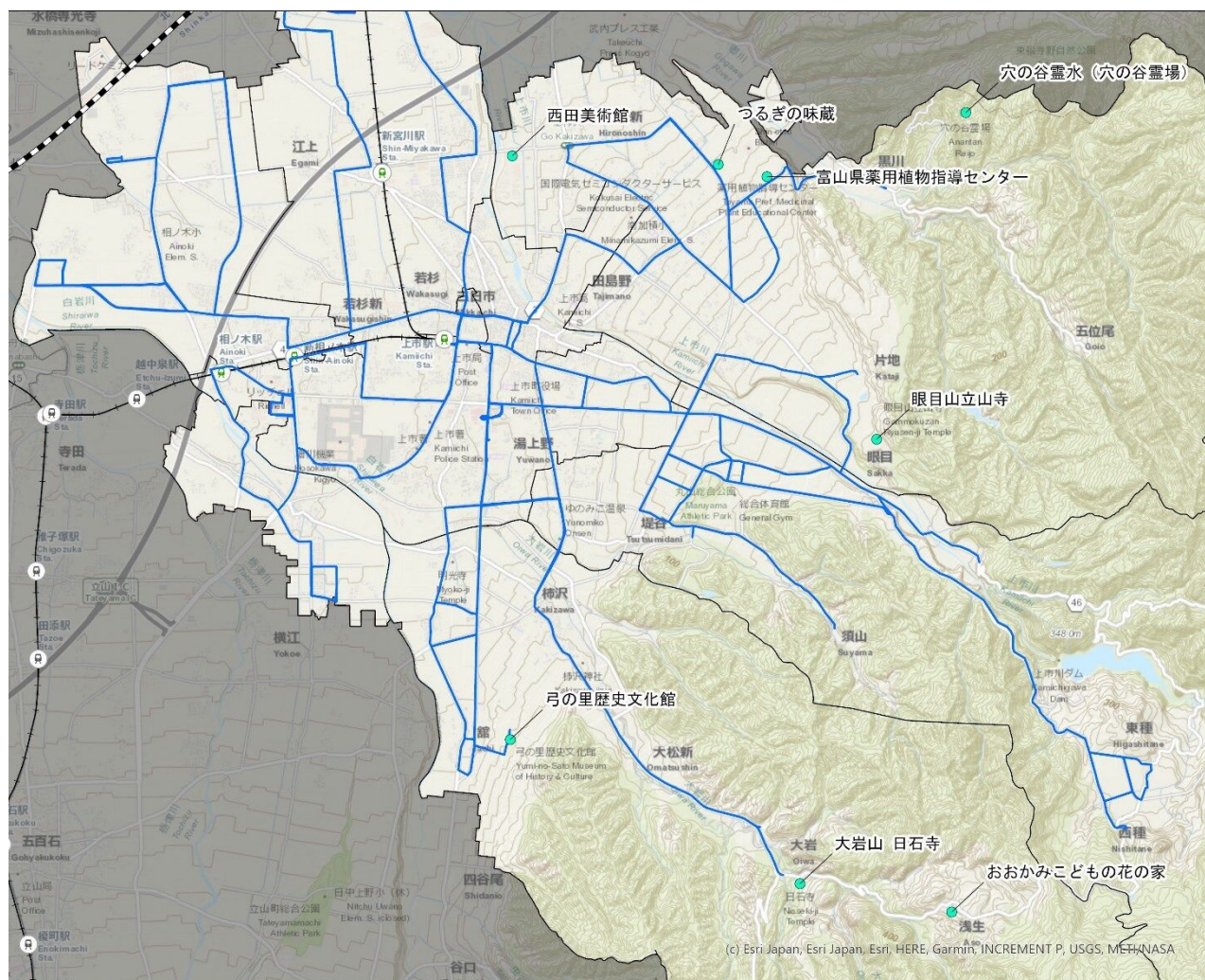
[illegible]

19

⑦ 観光施設

町内の観光施設は、町域の南東地域に立地している。

図表 14 観光施設の分布



※出典：上市町提供データ

3 日常移動状況

(1) 通勤移動実態

上市町内に住む就業者のうち富山市に通勤する人の割合は 37.7%、次いで上市町内 (34.5%)、滑川市 (10.5%) の順に多い。

一方で他市町村から町内への通勤者は富山市 (21.4%)、滑川市 (11.0%)、立山町 (9.0%) の順で多い。

図表 15 通勤における移動状況 (R2)

	町内居住者の 通勤先 (人)	町内通勤者の 割合		町内への 通勤者の居 住地 (人)	町内への 通勤者の 居住地割合
富山市	3,372	37.7%	富山市	1,716	21.4%
上市町	3,080	34.5%	上市町	3,986	49.6%
滑川市	935	10.5%	滑川市	880	11.0%
立山町	568	6.4%	立山町	724	9.0%
魚津市	337	3.8%	魚津市	250	3.1%
黒部市	143	1.6%	舟橋村	121	1.5%
舟橋村	129	1.4%	黒部市	111	1.4%
射水市	103	1.2%	射水市	62	0.8%
その他	272	3.0%	その他	183	2.3%
上市町に常住する就業者	8,939	—	上市町に就業する人	8,033	—

上市町居住者のうち 906 人は自宅での従業者

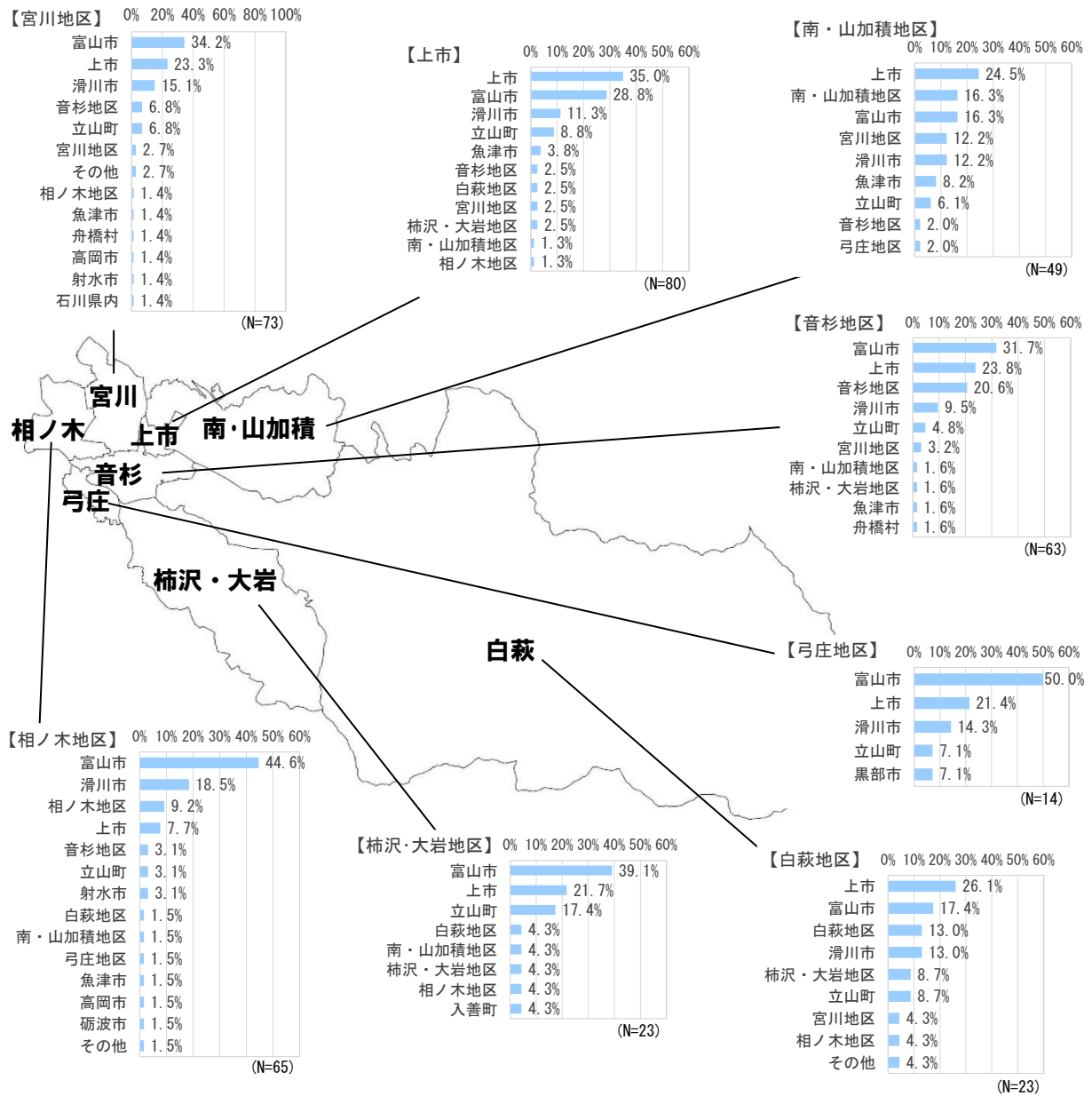
	上市町から他県市町村へ通勤
	他県市町村から上市町へ通勤



※出典：令和2年国勢調査結果

エリア別の通勤先をみると、隣接する自治体への通勤が上位であり、宮川、音杉、弓庄、相ノ木、柿沢・大岩は、富山市が最も多い。上市、南・山加積、白萩では、上市が占める割合が多い。

図表 16 通勤移動実態



※出典：町民アンケート調査（令和5年7月）

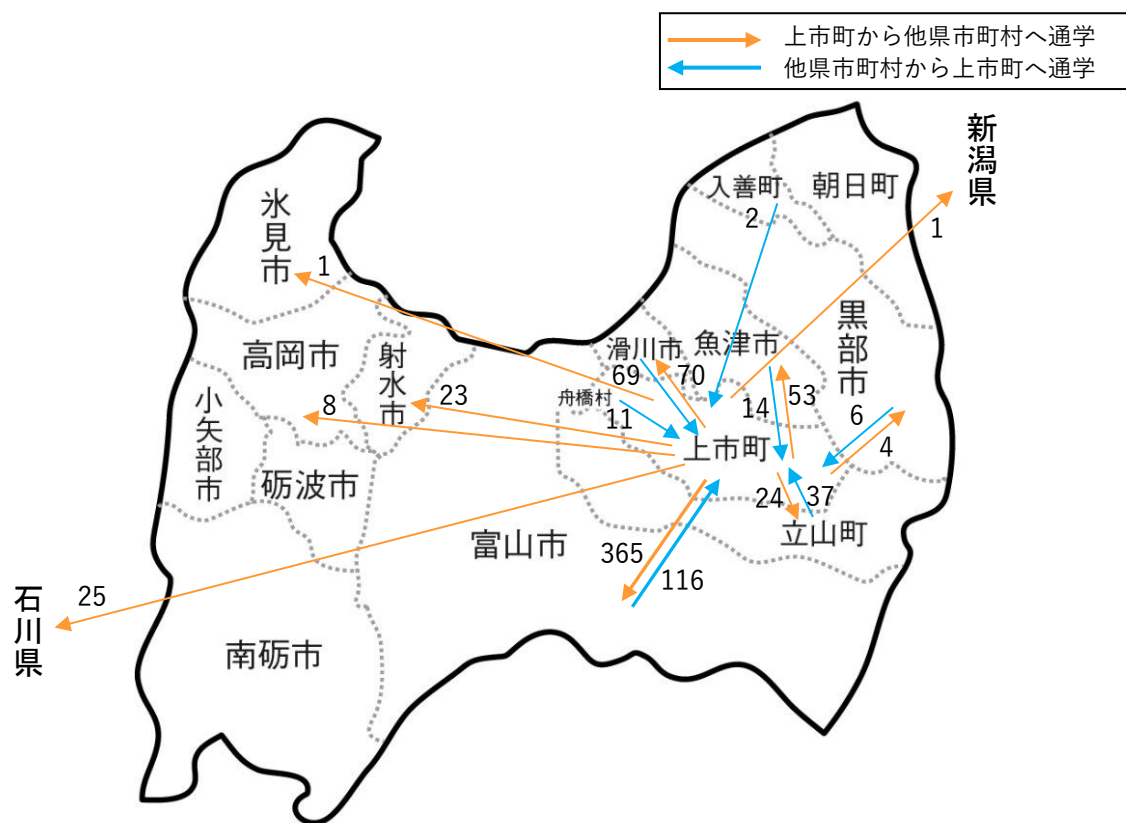
(2) 通学移動実態

上市町内に住む通学者のうち富山市に通学する人の割合は 46.7%、次いで上市町内（23.4%）、滑川市（9.0%）の順に多い。

一方で他市町村から町内への通学者は富山市（25.5%）、滑川市（15.2%）、立山町（8.1%）の順で多い。

図表 17 通学における移動状況（R2）

	町内居住者の 通学先 (人)	町内通学者 の割合		町内への 通学者の居 住地 (人)	町内への 通学者の 居住地割合
富山市	365	46.7%	上市町	183	40.2%
上市町	183	23.4%	富山市	116	25.5%
滑川市	70	9.0%	滑川市	69	15.2%
魚津市	53	6.8%	立山町	37	8.1%
石川県	25	3.2%	魚津市	14	3.1%
立山町	24	3.1%	舟橋村	11	2.4%
射水市	23	2.9%	黒部市	6	1.3%
高岡市	8	1.0%	入善町	2	0.4%
黒部市	4	0.5%	その他	17	3.7%
新潟県	1	0.1%	上市町に通学する人	455	—
氷見市	1	0.1%			
その他	25	3.2%			
上市町に常住する通学者	782	—			



※出典：令和2年国勢調査結果

(3) 買物移動実態

エリア別の買物先をみると、上市、音杉、相ノ木、白萩の買物先は「マックスバリュ上市店」が最も多い。宮川では「滑川市」、弓庄では「立山町」と隣接市町への買物移動も見られる。

図表 18 買物移動実態

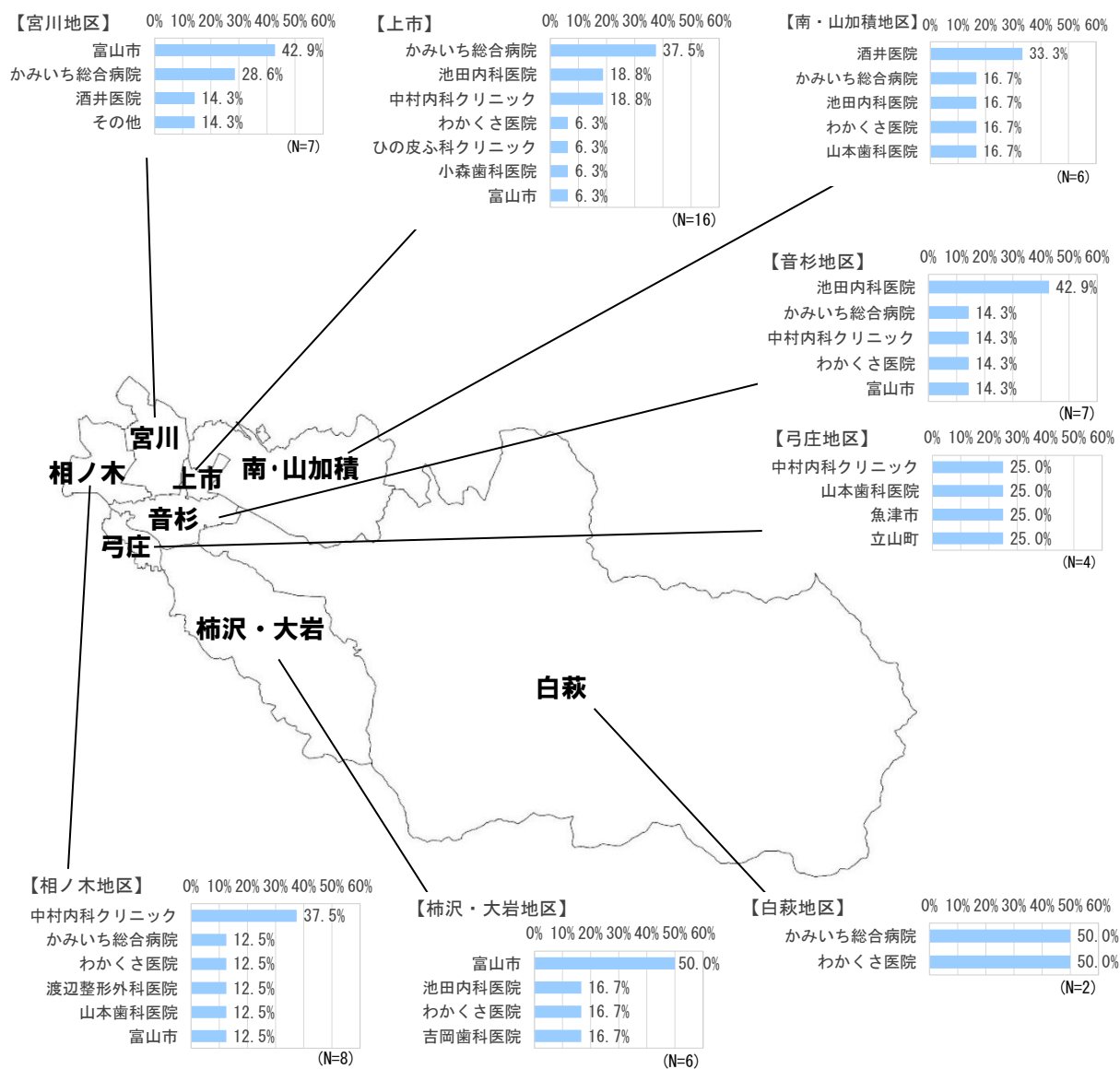


※出典：町民アンケート調査（令和5年7月）

(4) 通院移動実態

エリア別の通院先をみると、上市、白萩の通院先は「かみいち総合病院」が最も多い。南・山加積は「酒井医院」、音杉は「池田内科医院」、弓庄と相ノ木は「中村内科クリニック」が最も多い、宮川と柿沢・大岩では、「富山市」が最も多い。

図表 19 通院移動実態



※出典：町民アンケート調査（令和5年7月）

(5) 観光移動実態

町内の観光施設への移動は、自家用車での移動が多い。

【観光協会ヒアリング】

① 上市町を訪れる観光客の公共交通の利用状況と改善点などのニーズについて

- ・ 町内の観光資源を訪れる方の多くは自動車を利用していると思われるが、上市駅を利用する旅行者もいる。そうした旅行者は、町営バスの利用について、駅案内所へ来所することも少なくない。(観光協会)
- ・ 大岩山日石寺への訪問がもっとも多い。その他の観光資源訪問先としては、穴の谷霊水、立山寺、西田美術館、薬用植物指導センターがある。お土産物を購入するため、つるぎの味蔵に寄る方もいる。(観光協会)
- ・ 大岩線と地鉄本線の乗り継ぎがよいと利便性が高まると感じる。
- ・ 東京から新幹線、関西から特急と新幹線を利用した想定で柿沢・大岩線のダイヤが組まれているとよい。(観光協会)
- ・ 総合病院、保健福祉センター、駅など利用者の多いバス停専用の時刻表があると分かりやすい。(観光協会)

② 観光業に携わる方からの公共交通に関する改善点などのニーズや課題について

- ・ 過去に何度かツアーで町営バスを利用したが、車窓の風景や地元の人との会話があったりと、旅をしている感が増したと評判はよかった。(観光協会)
- ・ 地鉄電車の上り駅発着時刻とバスの時刻が連動すると利用しやすい。具体的には、地鉄電車の駅到着後 10 分後くらいにバスの発車時間があるとか、バス到着後 15 分後くらいに富山行きの電車を利用できる、といった発着時刻設定は利用しやすい。(観光協会)
- ・ 大岩は、減便にはなるが、柿沢・大岩線が日曜日も運行しているので紹介しやすい。(観光協会)
- ・ 立山寺は、白萩線が予約のりあいバスのため、適宜な紹介は難しい。(観光協会)
- ・ 植物センターは南加積線で自由昇降すれば利用できるが、日曜祝日が運休になるため、人が多く訪れる5月だけでも日曜運行があると紹介しやすい。薬用植物指導センターは、シヤクヤクの開花時期はものすごくお客さんが多い。フリー乗降区間になっているので、薬用植物指導センター前で乗降は可能だが、バス停がないため、ルート図にも記載されておらず、バスでアクセス可能であることが分かりにくい。(観光協会)
- ・ 西田美術館は、南加積線・宮川線ともに外れており、最寄り駅も遠いため、バスが利用できるとよいと思う。ただ、両線ともに日曜祝日は運休であり、難しい面もある。西田美術館にバスで行くにはどうしたらよいかという問い合わせが年に数回問い合わせがある。宮川線や南加積線で経由すれば、利用者はいると思うが、他の利用者の利便性が下がることになるほどの利用者が見込めるわけではないと思う。(観光協会)
- ・ 週末だけでもよいから、観光資源巡回ルートがあるとよいという声はあるが、コストに見合う利用者が見込めるかは分からない。(観光協会)
- ・ 駅のレンタサイクルは年間 100 件くらいの利用がある。難しいとは思うが、例えば行きは町営バスを利用(バスに自転車を乗せ)し大岩へ行き、帰りはレンタサイクルで帰るといった利用の方法があれば、利用する人がいるかもしれない。(観光協会)

※出典：関係者ヒアリング調査（令和5年8月実施）

IV 公共交通の実態把握

1 町内の地域公共交通概況

(1) 町内の地域公共交通概況

① 町内の地域公共交通概況

町内には富山地方鉄道、町営路線バス（柿沢・大岩線、南加積線、宮川線、相ノ木線、弓庄線）、予約のりあいバス（白萩線・陽南線）、高速バス及び一般タクシー等、さまざまな交通手段が整備されている。

図表 20 町内の地域公共交通

路線名		便数/日			車両	運賃
		平日	土曜	休日		
富山地方鉄道本線		70 便※ ¹	64 便	64 便	—	対距離運賃
高速バス	富山⇄新潟線	4 便	4 便	4 便	—	片道 4900 円
	富山⇄東京線	4 便	4 便	4 便	—	片道 5100～8400 円
町営路線バス						
	柿沢・大岩線	7 便	6 便	5 便	中型バス ：5 台 (14 人乗り 1 台、29 人 乗り 1 台、 32 人乗り 2 台、54 人乗 り 1 台)	・中学生以上 200 円 ・小学生以下 100 円 ・通学時に利 用の児童 生徒無料
	南加積線	6 便	5 便※ ²	—		
	宮川線	5 便	4 便※ ²	—		
	相ノ木線	6 便	5 便※ ²	—		
	弓庄線	5 便	3 便	—		
予約のりあいバス						
	白萩線	4 便	4 便	—	ワゴン車両 (10人乗り) ：各 1 台	・中学生以上 200 円 ・小学生以下 100 円 ・通学時に利 用の児童生 徒無料
	陽南線	4 便 (運行 月・水・金)	—	—		
タクシー		2 事業者、車両 22 台				

※1：70 便のうち 1 便のみ急行

※2：4/1～11/30 土曜の便数、12/1～3/31 土曜の便数は平日と同じ

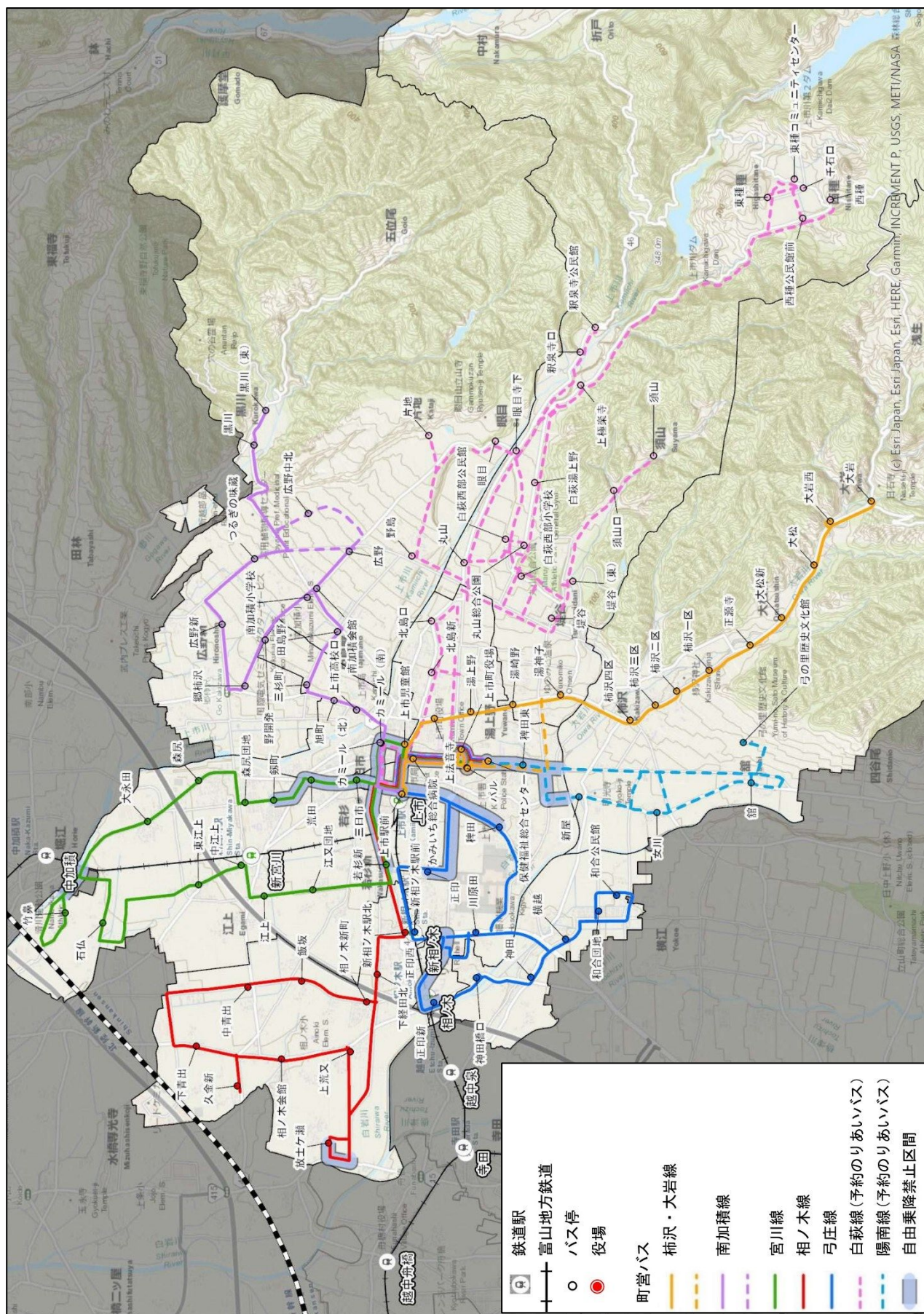
町内には施設独自の送迎サービスを行っている施設があり、運行状況は以下のとおりである。

図表 21 福祉施設の運行状況

サービス	設名・組合名	独自送迎の運行状況
通所介護 (デイサービス)・通所リハビリテーション(デイケア)	ニチイケアセンター上市	・施設の輸送手段：有
	常楽園デイサービスセンター	・施設の輸送手段：有
	ひなたぼっこ上市デイサービスセンター	・施設の輸送手段：有
	デイサービスやまやまハウス	・施設の輸送手段：有
	デイサービス スマイル・ハート	・施設の輸送手段：有
	デイサービス ひまわり	・施設の輸送手段：有
	かみいち福祉の里(NPO 法人) お茶の間グループホーム・デイサービス	・施設の輸送手段：有
	デイサービス元・気・楽	・施設の輸送手段：有
	かみいち福祉の里(NPO 法人) 東江上グループホーム	・施設の輸送手段：有 (通所利用者) ・年2回～3回施設の車で花見等にでかける。
	かみいち福祉の里(NPO 法人) 若杉新デイサービスショートステイ お茶の間	・施設の輸送手段：有
	グループホーム逢の希(休止中)	・施設の輸送手段：有
	グループホーム あおぞら	・施設の輸送手段：有
その他	ミニデイサービス(社協受託)	・施設の輸送手段：有
	おたっしや家(社協受託)	・施設の輸送手段：有
障害福祉サービス	むつみの里 地域生活支援センター自然房	・施設の輸送手段：有 (火～土、希望者)
	いっぽいっぽ上市	・施設の輸送手段：有
	ワークハウス 劔	・施設の輸送手段：有
	さつき苑	・施設の輸送手段：有
	かわはらだの家(グループホーム)	・施設の輸送手段：有
	つつみだにの家(グループホーム)	・施設の輸送手段：有

※出典：町提供資料、関係者ヒアリング調査（令和5年8月実施）

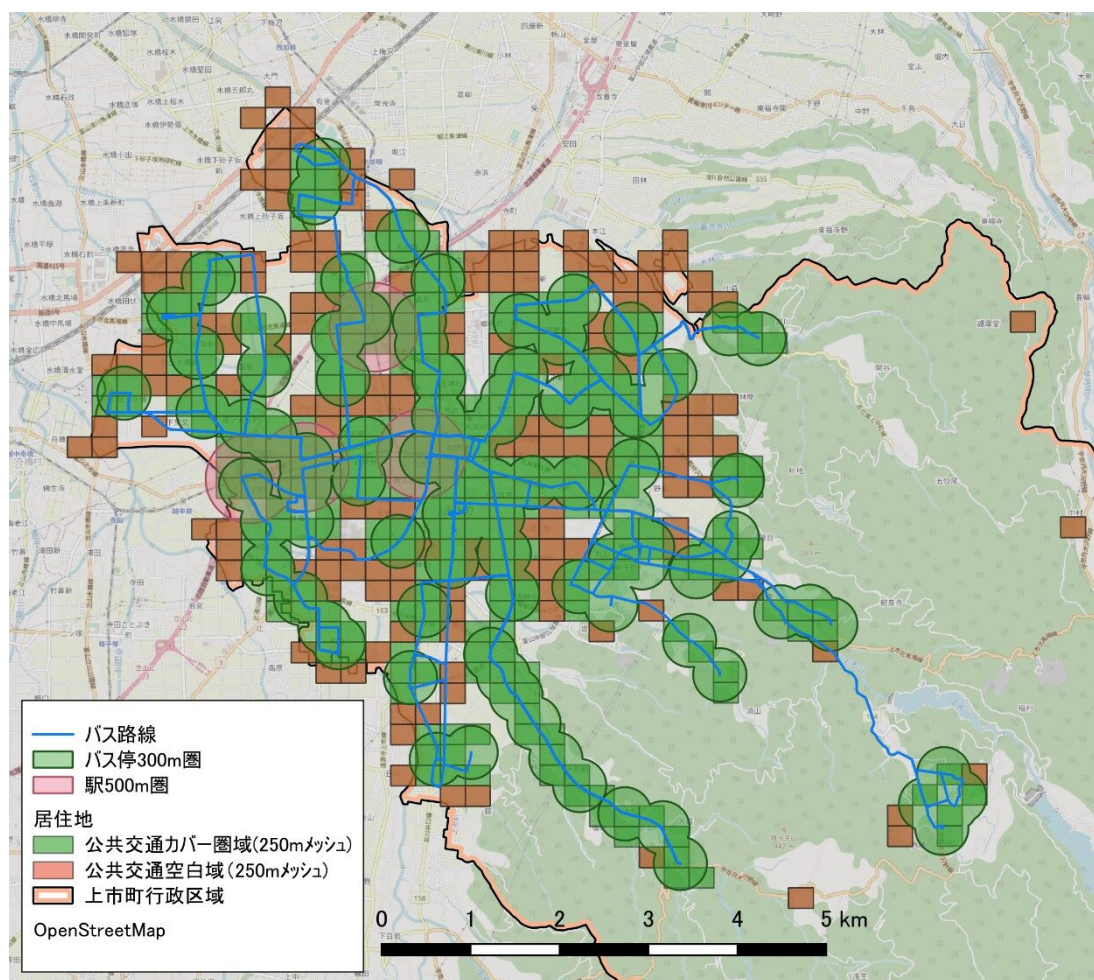
図表 22 町内の地域公共交通網図



② 公共交通利用圏域

町内の地域公共交通の利用圏域（バス停から 300m、駅から 500mの圏域）（イメージ）をみると、概ね利用圏域内に居住しているが、富山市、舟橋村、滑川市、黒部市との境や弓庄線と陽南線、柿沢・大岩線と白萩線、南加積線と白萩線の間に公共交通空白地域が見られる。バス停から 300m圏域、駅から 500m圏域のカバー率は、全町民が 79.9%、65 歳以上町民が 80.5%である。

図 23 居住地と公共交通空白域



資料：e-Stat(令和 2 年度国勢調査)、バス路線（令和 5 年 4 月）

図表 24 町内のバス停利用圏域カバー率

	居住人口	バス停 300m 圏域人口（割合）
全町民	19,880 人	15,875 人 (79.9%)
65 歳以上町民	7,394 人	5,955 人 (80.5%)

（２）鉄道の利用状況

富山地鉄本線は、上市町内に相ノ木駅、新相ノ木駅、上市駅、宮川駅の４駅がある。

運行便数は平日が 82 便、土曜日と日曜日が 85 便である。

富山地鉄本線の利用者数は平成 30 年度から令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり減少している。令和 3 年度から令和 4 年度にかけて、増加しているが、平成 30 年度と比べると 149,927 人（19.8％）減少している。

令和 4 年度の通勤と通学の割合は、相ノ木駅、上市駅、新宮川駅では通学利用者の方が多く、上市駅では 70.8％が通学者である。

図表 25 富山地鉄本線の運行状況

	平日の便数	土曜日の便数	日曜日の便数
上市駅	82 便/日 ※富山方面 41 便/日、宇奈月方面 41 便/日	85 便/日（うち特急 1 便） ※富山方面 43 便/日、宇奈月方面 42 便/日	85 便/日（うち特急 1 便） ※富山方面 43 便/日、宇奈月方面 42 便/日

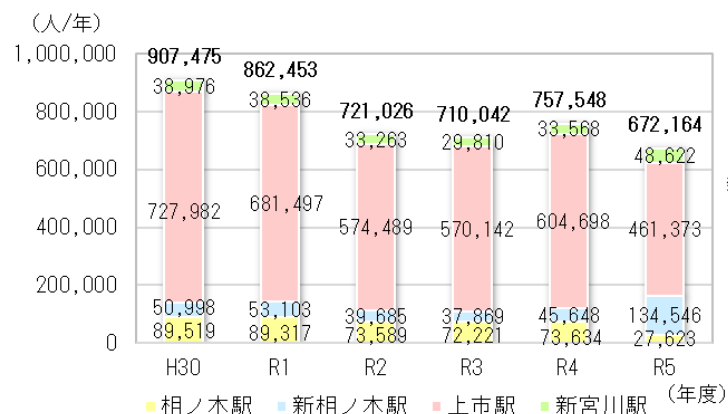
※出典：富山地鉄（株）ホームページ（令和 6 年 4 月現在）

図表 26 上市駅から主要駅への運賃

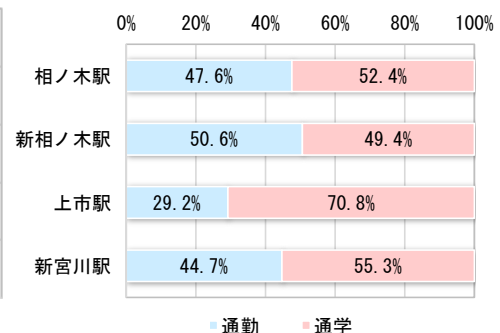
方面	区間	運賃（IC カード割引運賃）
富山方面	上市駅→越中荏原駅	420 円（380 円）
	上市駅→電鉄富山駅	610 円（550 円）
宇奈月方面	上市駅→新魚津駅	740 円（670 円）
	上市駅→宇奈月温泉駅	1,520 円（1,370 円）

※出典：富山地鉄（株）ホームページ（令和 6 年 4 月現在）

図表 27 上市町内 4 駅乗降客数の利用者数推移



図表 28 各駅の通勤・通学割合（R4）



※出典：富山地方鉄道（株）提供データ

(3) パーク・アンド・ライドの利用状況

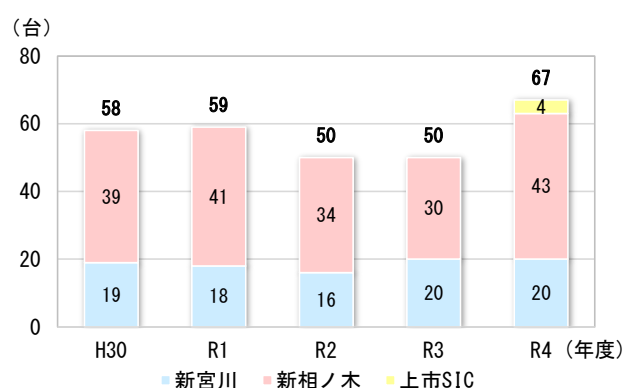
上市町内では、新相ノ木駅と新宮川駅の最寄りにパーク・アンド・ライド専用駐車場がある。新相ノ木駅最寄りにある「相ノ木ふれあい広場」は、上市町が平成 25 年に設置した無料の専用駐車場である。全日全時間利用可能で収容台数は 70 台である。また、新宮川駅最寄りにある「宮川ふれあい広場」は上市町が平成 12 年に設置した無料の専用駐車場である。こちらも全日全時間利用可能で、収容台数は 69 台である。令和 4 年 4 月からは、北陸自動車道の上市スマートインターのパーク・アンド・ライド駐車場が利用できる。

パーク・アンド・ライド駐車場の利用状況は、令和 2 年度以降増加している。令和 4 年は令和 2 年比で 34.0% (17 台) 増加している。

図表 29 パーク・アンド・ライド駐車場の概要

名 称	最寄り駅	収容 台数 (台) 普通車	設置 主体	設置 年度	料金	利用 時間	利用 可能日
相ノ木ふれあい広場	新相ノ木駅	70	上市町	H25 年	無料	全時間	全日
宮川ふれあい広場	新宮川駅	73	上市町	H25 年	無料	全時間	全日
上市スマートインター	—	52	上市町	R4 年	無料	全時間	全日

図表 30 パーク・アンド・ライド駐車場の利用状況



※出典：上市町提供データ

※R1 の新宮川駐車場の 6 月～11 月データなし

※R2 の新宮川駐車場と新相ノ木駐車場の 4 月～5 月データなし

※R3 の新宮川駐車場と新相ノ木駐車場の 9 月、11 月～3 月データなし

（４）高速バスの運行状況

北陸自動車道の上市スマートインターチェンジ（IC）に、富山地方鉄道高速バスの上市停留所が新設され、令和４年から新潟線、令和５年から東京線の合計２路線が運行されている。

図表 31 高速バスの運行状況

路線名	運行区間	バス事業者	便数/日			運賃 (片道)	備考
			平日	土曜	休日		
新潟線	富山ー上市ー新潟駅	富山地鉄バス	４便	４便	４便	4,900円	
東京線	富山ー上市ー池袋・新宿駅	地鉄バス	４便	４便	４便	5,100～ 8,400円	運行日ごとに運賃設定が異なる

※出典：富山地鉄（株）ホームページ（令和６年３月現在）

(5) 町営バスの利用状況

① 町営バス運行概要

町営バスは令和元年 10 月の路線改編後、7 路線が運行されている。白萩線と陽南線は、予約制ののりあいバスである。各地区と中心市街地を結ぶルートであり、1 日あたり 2～6 便の運行である。

運賃は中学生以上 200 円、小学生以下は 100 円である。1 日乗車券（中学生以上 500 円、小学生以下 250 円）、回数券（11 枚つづり 2,000 円、1,000 円と 500 円の割引回数券）、定期利用券（1 ヶ月・3 ヶ月・6 ヶ月・12 ヶ月）を販売している。販売窓口は、上市町保健福祉総合センター（福祉課）、上市町役場（企画課）、富山地方鉄道上市駅改札口である。

図表 32 町営バスの運行状況

路線名	運行区間	便数/日			車両	運賃
		平日	土曜	休日		
柿沢・大岩線	大岩→上市駅前	1 便	1 便	—	中型バス： 5 台（14 人 乗り 1 台、 29 人乗り 1 台、32 人乗 り 2 台、54 人 乗 り 1 台）	・中学生以上 200 円 ・小学生以下 100 円 ・通学時に 利用の 児童生徒 無料
	保健福祉総合センター→大岩→保健福祉総合センター	4 便	4 便	4 便		
	保健福祉総合センター→大岩→上市駅前	2 便	1 便	1 便		
南加積線	上市駅前→保健福祉総合センター	2 便	1 便※1	—		
	保健福祉総合センター→保健福祉総合センター	4 便	4 便	—		
宮川線	上市駅前→保健福祉総合センター	1 便	0 便※1	—		
	保健福祉総合センター→保健福祉総合センター	4 便	4 便	—		
相ノ木線	上市駅前→保健福祉総合センター	1 便	0 便※1	—		
	保健福祉総合センター→保健福祉総合センター	5 便	5 便	—		
弓庄線	正印新→保健福祉総合センター	1 便	—	—		
	保健福祉総合センター→保健福祉総合センター	4 便	3 便	—		
白萩線 (予約のりあいバス)	上市駅前→上市駅前 ・第 1 便は前日予約、第 2 便～ 第 4 便は当日予約可)	4 便	4 便	—	ワゴン車両 (10 人乗り) : 1 台	
陽南線 (予約のりあいバス)	上市駅前→上市駅前 ・第 1 便は前日予約、第 2 便～ 第 4 便は当日予約可)	4 便※2	—	—	ワゴン車両 (10 人乗り) : 1 台	

※1： 4/1～11/30 土曜の便数、12/1～3/31 土曜の便数は平日と同じ

※2： 運行日は月水金（祝日運休）

※定期券（町営バス・予約のりあいバス共通）

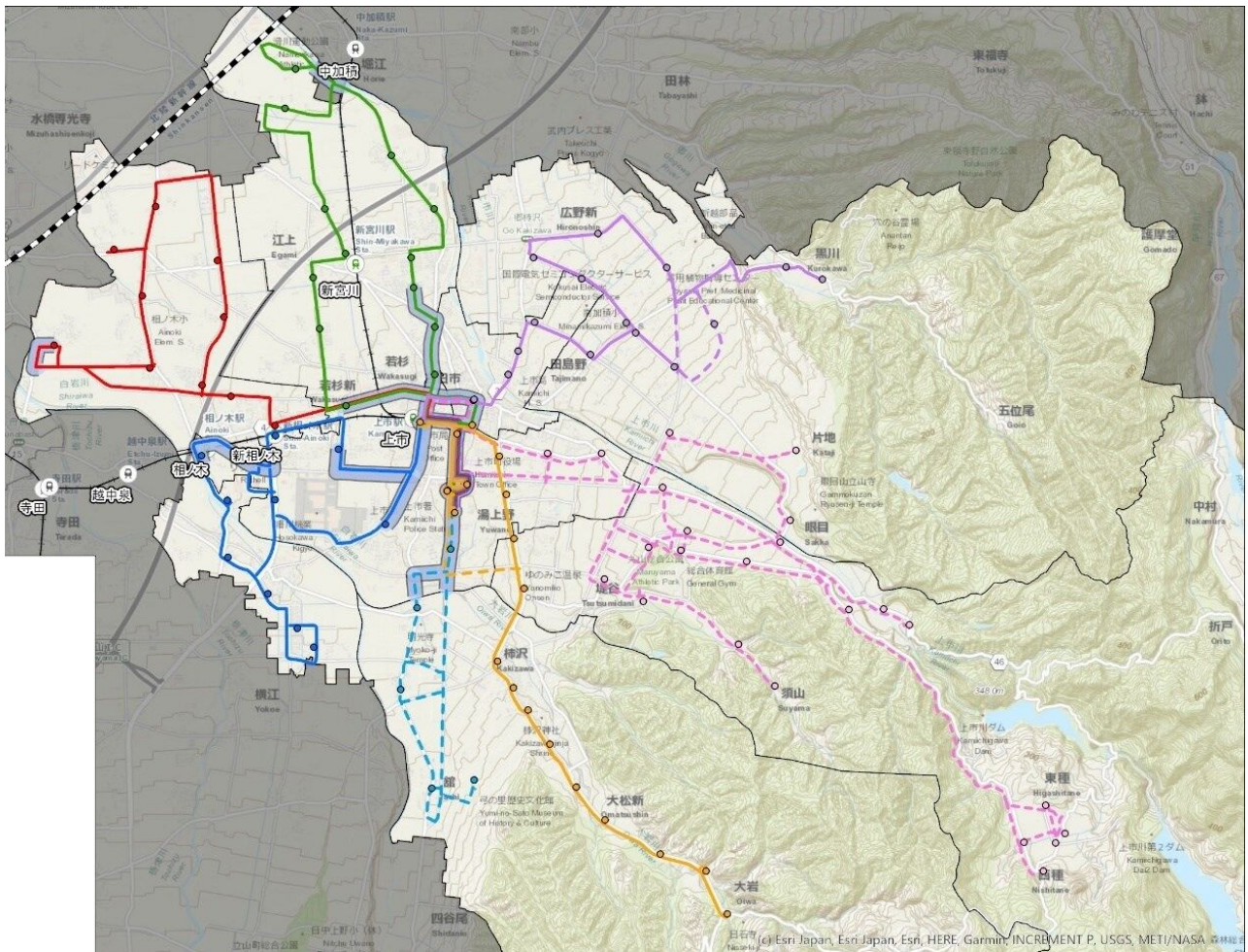
※定期券の料金

種類	1 ヶ月	3 ヶ月	6 ヶ月	12 ヶ月
一般	4,000 円	11,000 円	20,000 円	30,000 円
高校生及び学生	3,000 円	8,000 円	15,000 円	22,000 円

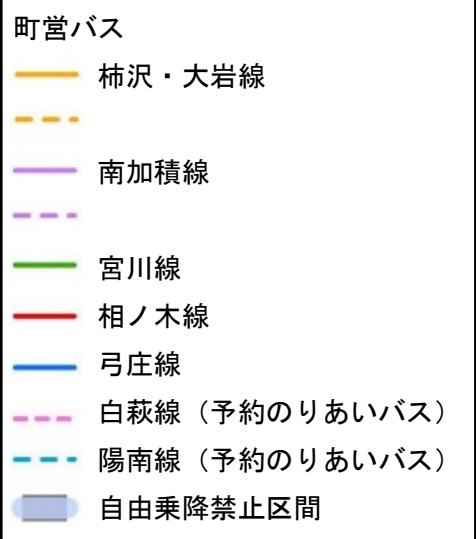
※回数券（町営バス・予約のりあいバス共通）

販売価格	券の額面	枚数
2,000 円	200 円	11 枚

図表 33 町営バス路線図



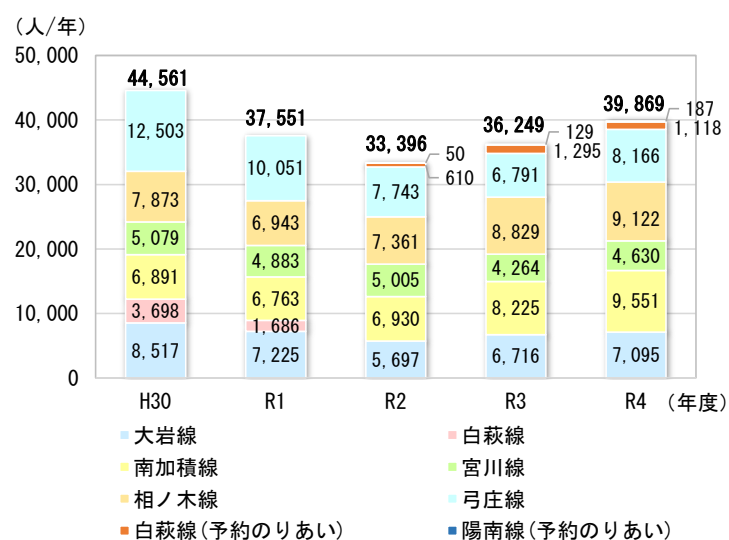
※出典：上市町提供データ



② 町営バス利用者数推移

町営バスの利用者は、路線改定後、令和２年度に 33,396 人の利用があり、年々増加しており、令和４年度には 39,869 人、令和２年度に比べ 6,473 人（19.3%）増加している。

図表 34 町営バス利用者数推移



※令和元年 10 月に路線改編

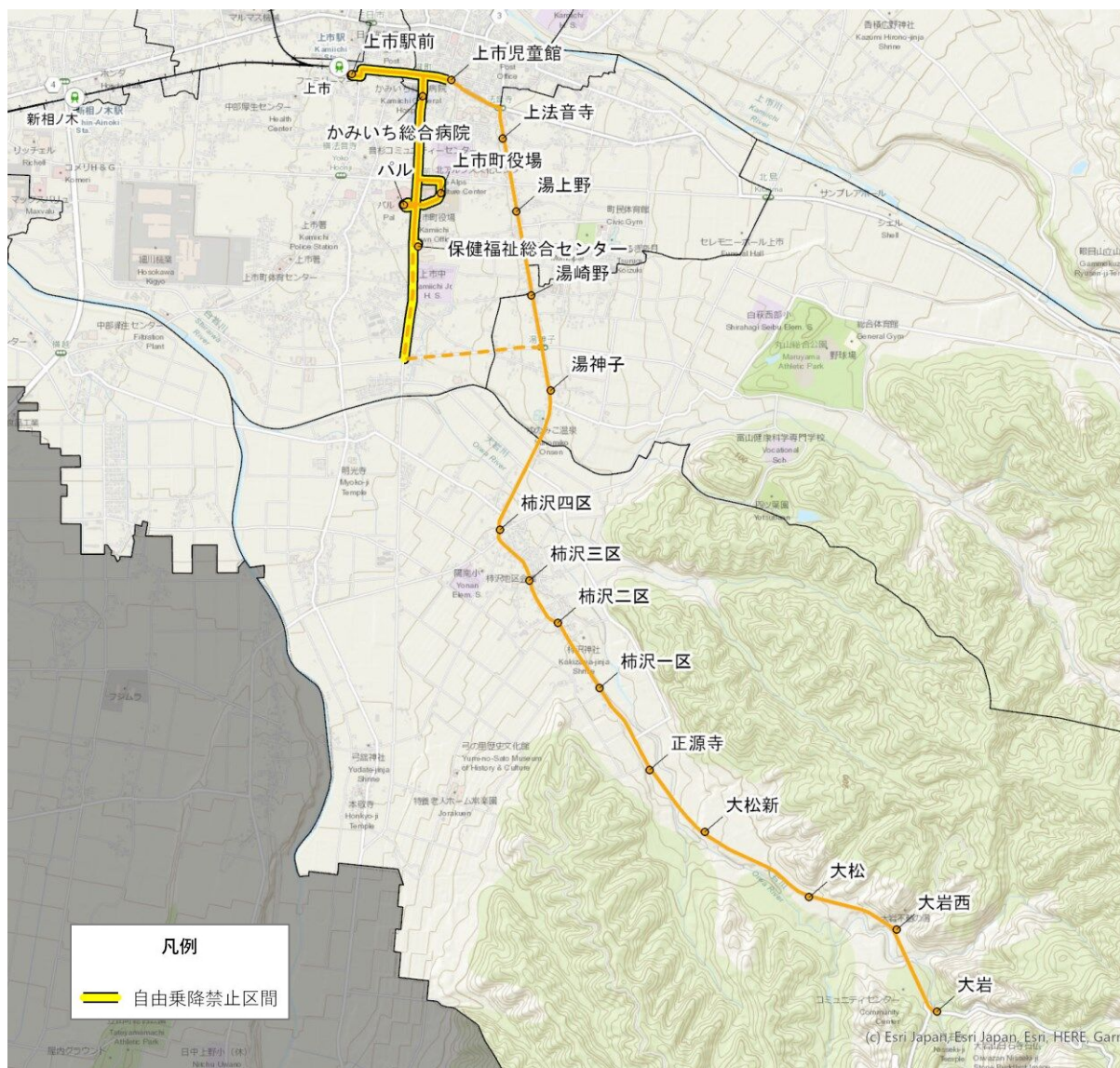
※出典：令和２年度は「統計上市」（令和３年度版）、令和３・４年度は、上市町提供データ

③ 町営バス路線別現況

1) 柿沢・大岩線

運行日	全日（第1便：日、祝日/第6便：土曜、学休日、日、祝日運休）	1日便数	センター行：7便 大岩行：6便	乗車人員 （令和4年度）	7,095人
運行経路	保健福祉総合センター～パル～上市駅前～柿沢四区～大岩～ ※折り返し				

【路線図】



※出典：上市町提供データ

【ダイヤ】

① 柿沢・大岩線

平 日	第1便		第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便
土、学休日	第1便		第2便	第3便	第4便	第5便	運 休	第7便
日、祝日	運 休		第2便	第3便	第4便	第5便	運 休	第7便
バス停留所名	発車 予定時刻	停留所名	発車予定時刻					
		保健福祉 総合センター	8:35	10:45	12:03	14:35	16:10	17:38
		パ ル	8:36	10:46	12:04	14:36	↓	17:39
		上 市 町 役 場	8:37	10:47	12:05	14:37	↓	17:40
		かみいち総合病院	8:38	10:48	12:06	14:38	↓	17:41
		上 市 駅 前	8:40	10:50	12:08	14:40	↓	17:43
		上 市 児 童 館	8:42	10:52	12:10	14:42	↓	17:45
		上 法 音 寺	8:43	10:53	12:11	14:43	↓	17:46
		湯 上 野	8:44	10:54	12:12	14:44	↓	17:47
		湯 崎 野	8:45	10:55	12:13	14:45	↓	17:48
		湯 神 子	8:46	10:56	12:14	14:46	16:13	17:49
		柿 沢 四 区	8:48	10:58	12:16	14:48	16:15	17:51
		柿 沢 三 区	8:49	10:59	12:17	14:49	16:16	17:52
		柿 沢 二 区	8:50	11:00	12:18	14:50	16:17	17:53
		柿 沢 一 区	8:51	11:01	12:19	14:51	16:18	17:54
		正 源 寺	8:52	11:02	12:20	14:52	16:19	17:55
		大 松 新	8:53	11:03	12:21	14:53	16:20	17:56
		大 松	8:54	11:04	12:22	14:54	16:21	17:57
		大 岩 西	8:56	11:06	12:24	14:56	16:23	17:59
		大 岩	8:57	11:07	12:25	14:57	16:24	18:00
		折 っ 返 し						
大 岩	7:50	大 岩	9:00	11:10	12:28	15:00	16:27	18:03
大 岩 西	7:51	大 岩 西	9:01	11:11	12:29	15:01	↓	↓
大 松	7:53	大 松	9:03	11:13	12:31	15:03	↓	↓
大 松 新	7:54	大 松 新	9:04	11:14	12:32	15:04	↓	↓
正 源 寺	7:55	正 源 寺	9:05	11:15	12:33	15:05	↓	↓
柿 沢 一 区	7:56	柿 沢 一 区	9:06	11:16	12:34	15:06	↓	↓
柿 沢 二 区	7:57	柿 沢 二 区	9:07	11:17	12:35	15:07	↓	↓
柿 沢 三 区	7:58	柿 沢 三 区	9:08	11:18	12:36	15:08	↓	↓
柿 沢 四 区	7:59	柿 沢 四 区	9:09	11:19	12:37	15:09	↓	↓
湯 神 子	8:01	湯 神 子	9:11	11:21	12:39	15:11	↓	↓
保健福祉 総合センター	8:04	湯 崎 野	9:12	11:22	12:40	15:12	↓	↓
かみいち総合病院	8:06	湯 上 野	9:13	11:23	12:41	15:13	↓	↓
上 市 駅 前	8:08	上 法 音 寺	9:14	11:24	12:42	15:14	↓	↓
		上 市 児 童 館	9:15	11:25	12:43	15:15	↓	↓
		上 市 駅 前	9:17	11:27	12:45	15:17	16:41	18:17
		かみいち総合病院	9:19	11:29	12:47	15:19	-	-
		上 市 町 役 場	9:20	11:30	12:48	15:20	-	-
		パ ル	9:21	11:31	12:49	15:21	-	-
		保健福祉 総合センター	9:22	11:32	12:50	15:22	-	-

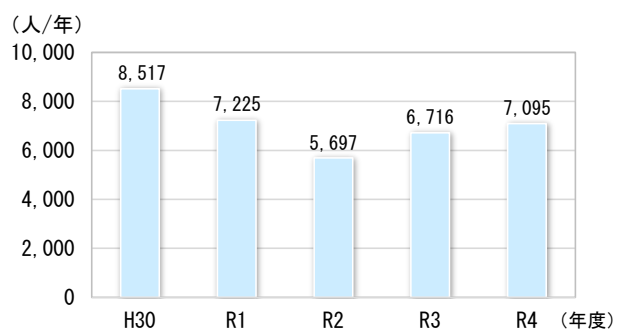
●第2便～6便は、□の色のバス停間で自由乗降ができます。

【利用状況】

i) 乗車人数推移

- 令和元年 10 月に路線改編し、令和 2 年度以降、年間乗車人数が増加傾向にある。令和 2 年度は 5,697 人である。令和 4 年度は令和 2 年度と比較し、24.5%（1,398 人）増加している。

図表 35 年間乗車人数推移（H30～R4）



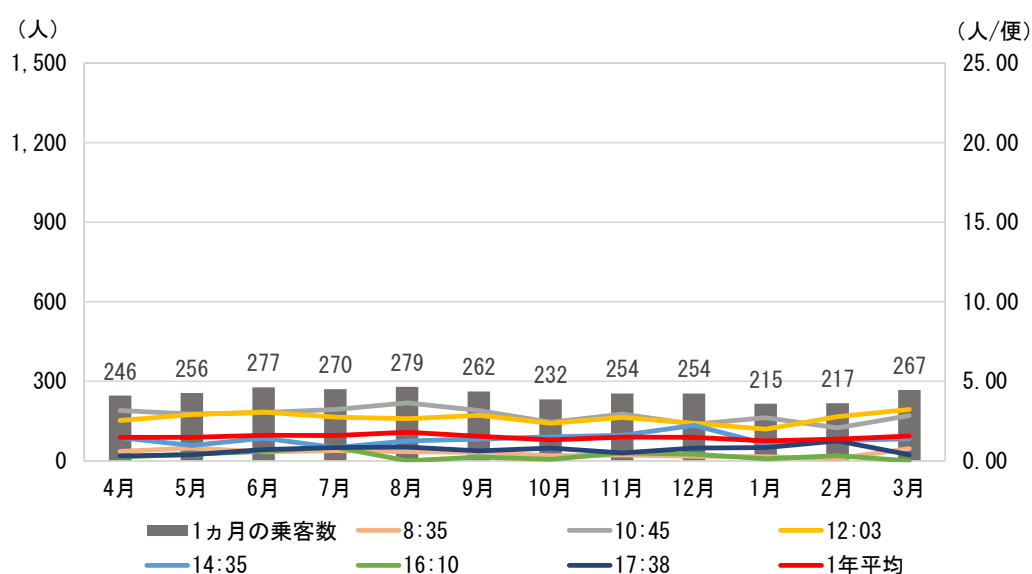
※令和元年 10 月、路線改編

※出典：上市町提供データ

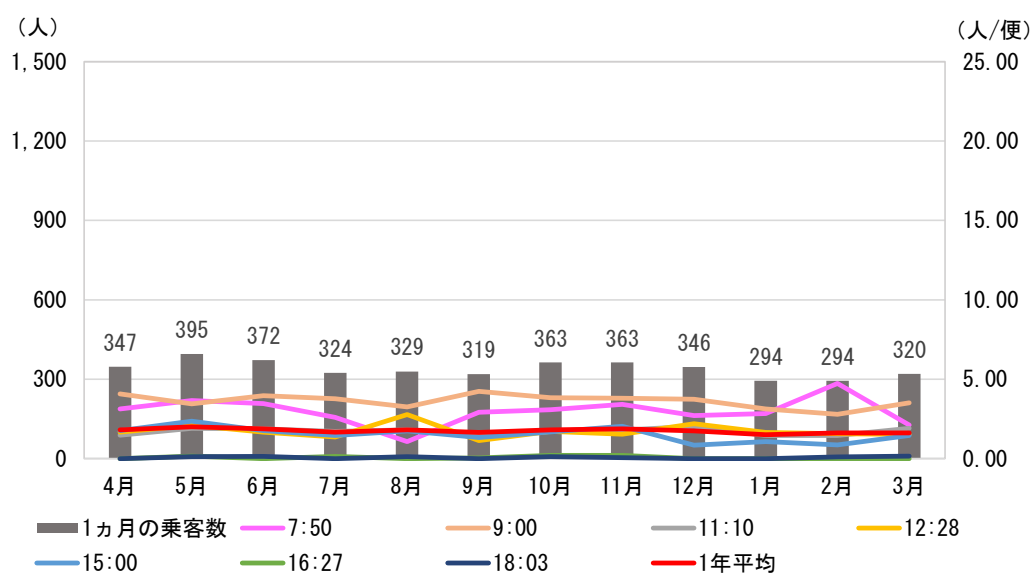
- ・月間乗車人数は、大岩行きは、各月とも 250 人程度の利用があり、1 便あたりでは 10:45 発便の利用者が最も多い。1 月 2 月は、他の月と比べ利用者が少なく、天候の影響によるものと推察される。
- ・センター行きは、5 月、6 月、10 月、11 月に 350 人以上となる。7 月～9 月は若干利用が減少しており、7:50 発便の利用が少なくなることから、スクールバスとしての利用が減少するためではないかと推察される。また、1 月、2 月は他の月と比べ利用者が少なく、天候の影響によるものと推察される。1 便あたりでは 9:00 発便の利用者が最も多い。

図表 36 月間乗車人数と 1 便あたり乗客数推移 (R4.4～R5.3)

【大岩行き】



【センター行き】



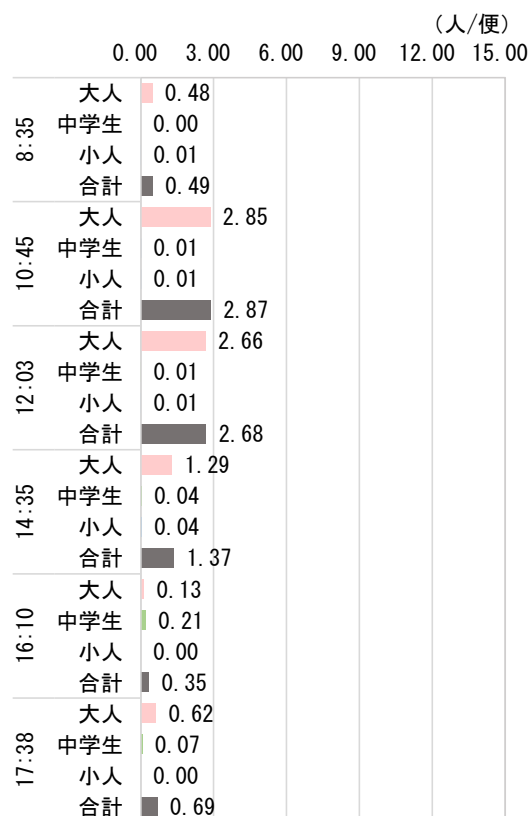
※出典：上市町提供データ

ii) 便別乗車人数

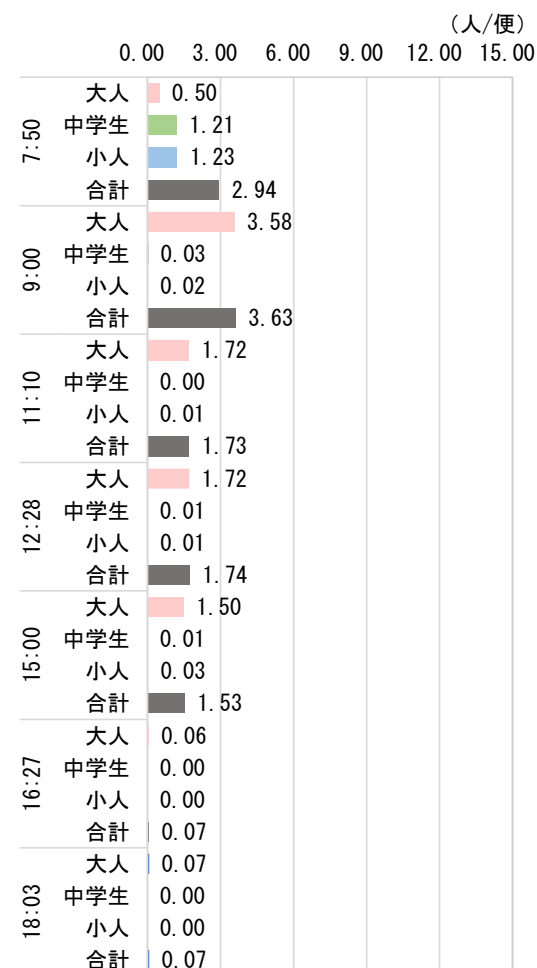
- ・大岩行きは、路線平均で1便あたり1.49人の利用があり、うち1.44人が大人の利用である。便別の1便あたり平均利用者数は、第1便が0.49人、第2便が2.87人、第3便が2.68人、第4便が1.37人、第5便が0.35人、第6便が0.69人の利用である。
- ・センター行きは、路線平均で1便あたり1.75人の利用があり、うち1.42人が大人の利用である。便別の1便あたり平均利用者数は、第1便が2.94人、第2便が3.64人、第3便が1.73人、第4便が1.74人、第5便が1.53人、第6便が0.07人、第7便が0.07人の利用である。第1便は中学生と小学生の利用が多く、他の便の利用は大人である。16:27時発便以降は利用者が1人/便未満である。

図表 37 便別乗車人数 (R4.4~R5.3)

【大岩行き】



【センター行き】



※出典：上市町提供データ

iii) バス停別日平均乗車人数

- ・大岩行きは、0.5 人/便以上の利用があるバス停はパルで、ほとんどが大人の利用である。
- ・センター行きは、0.2 人/便以上の利用があるバス停は大岩、大岩西、大松、柿沢 2 区、柿沢 3 区、湯神子である。大岩西は中学生、大松は小学生の利用がみられる。

図表 38 バス停別平均乗車人数 (R4. 4~R5. 3)



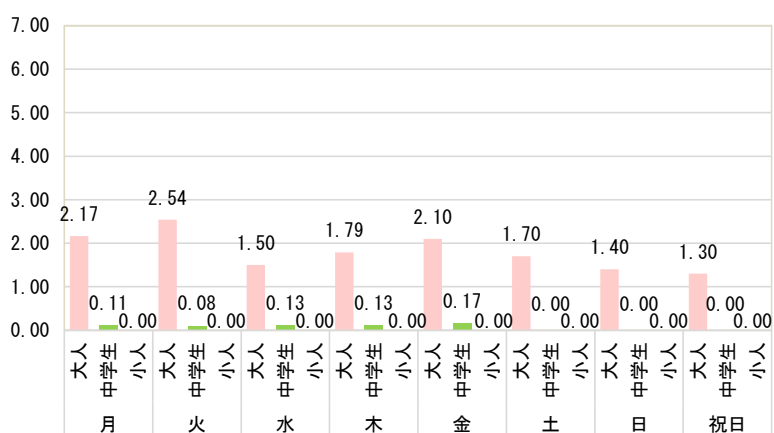
※出典：上市町提供データ

iv) 曜日別・1便あたり乗車人数

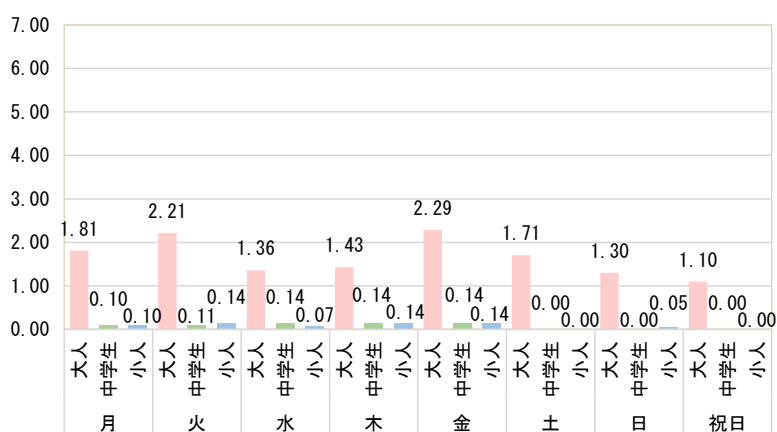
- ・大岩行きの大人の利用は、月曜、火曜、金曜に2.0人/便以上である。日曜、祝日は、1.5人/便以下の利用である。中学生の利用は金曜に0.17人/便の利用があり、小人の利用は0人/便である。
- ・センター行きの大人の利用は、火曜、金曜に2.0人/便以上の利用がある。水曜、日曜、祝日は1.5人/便以下の利用である。中学生の利用は、月～金曜に0.1～0.14人/便の利用があり、小人の利用は月～金曜に0.07～0.14人/便の利用がある。

図表 39 曜日別・1便あたり乗車人数 (R5.9)

【大岩行き】



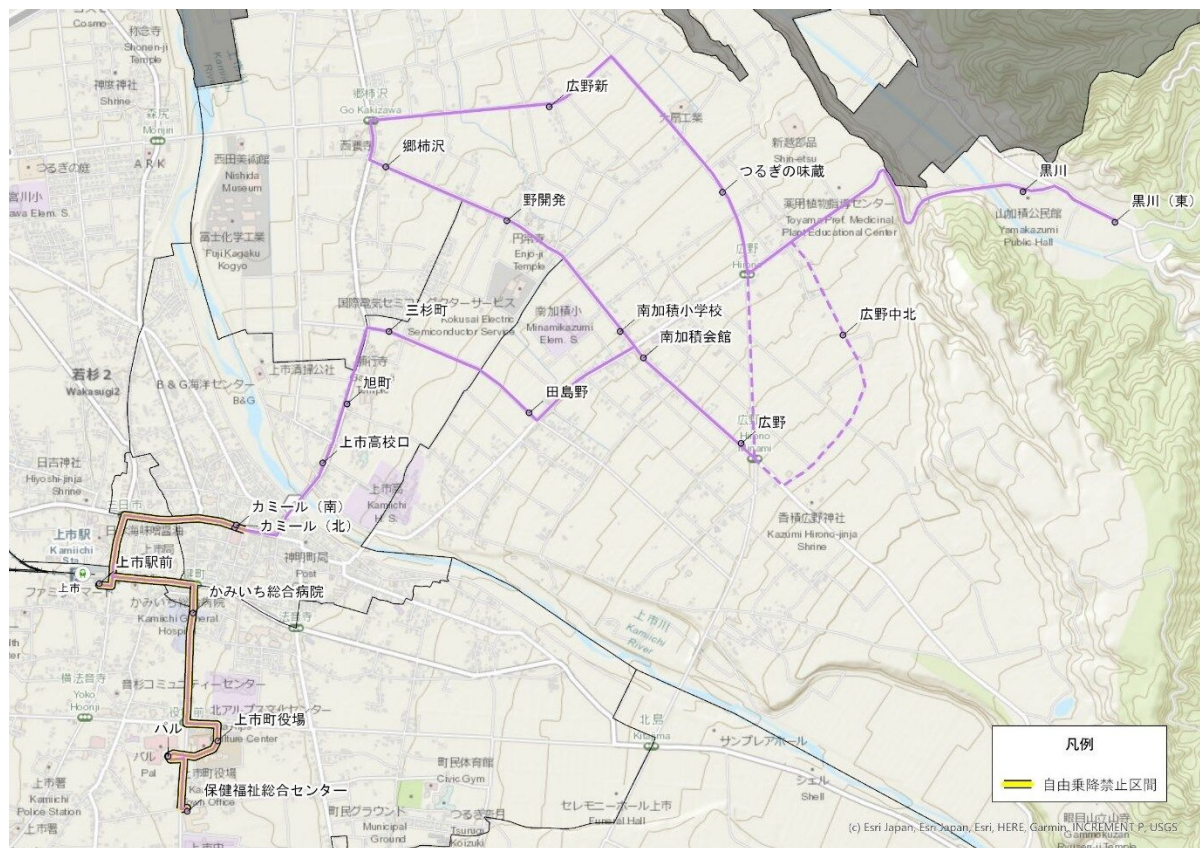
【センター行き】



2) 南加積線

運行日	平日、土（第1便:4/1～11/30の土運休）	1日便数	6便	乗車人員（令和4年度）	9,551人
運行経路	保健福祉総合センター～上市駅前～上市高校口～黒川～保健福祉総合センター				

【路線図】



【ダイヤ】

② 南加積線

平日	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便
4/1～11/30の土	運休	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便
12/1～3/31の土	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便
日、祝日	運休	運休	運休	運休	運休	運休
バス停留所名	発車予定時刻					
保健福祉総合センター	-	-	9:45	13:00	15:50	17:35
パル	-	-	9:46	13:01	15:51	17:36
上市町役場	-	-	9:47	13:02	15:52	17:37
かみいち総合病院	-	-	9:48	13:03	15:53	17:38
上市駅前	7:15	8:20	9:50	13:05	15:55	17:40
カミール	↓	8:22	9:52	13:07	15:57	17:42
上市高校口	7:18	8:23	9:53	13:08	15:58	17:43
旭町	7:19	8:24	9:54	13:09	15:59	17:44
三杉町	7:20	8:25	9:55	13:10	16:00	17:45
田島野	7:22	8:27	9:57	13:12	16:02	17:47
南加積会館	7:23	8:28	9:58	13:13	16:03	17:48
広野	7:24	8:29	9:59	13:14	16:04	17:49
広野中北	-	-	10:01	13:16	16:06	-
黒川	7:29	8:34	10:04	13:19	16:09	17:54
黒川東	-	-	10:05	13:20	16:10	-
つるぎの味蔵	7:32	8:37	10:09	13:24	16:14	17:57
広野新	7:33	8:38	10:10	13:25	16:15	17:58
郷柿沢	7:34	8:39	10:11	13:26	16:16	17:59
野間発	7:35	8:40	10:12	13:27	16:17	18:00
南加積小学校	7:36	8:41	10:13	13:28	16:18	18:01
田島野	7:37	8:42	10:14	13:29	16:19	18:02
三杉町	7:39	8:44	10:16	13:31	16:21	18:04
旭町	7:40	8:45	10:17	13:32	16:22	18:05
上市高校口	7:41	8:46	10:18	13:33	16:23	18:06
カミール	↓	8:47	10:19	13:34	16:24	18:07
上市駅前	7:44	8:49	10:21	13:36	16:26	18:09
かみいち総合病院	7:46	8:51	10:23	13:38	16:28	18:11
上市町役場	↓	8:53	10:25	13:40	16:30	18:13
パル	↓	8:54	10:26	13:41	16:31	18:14
保健福祉総合センター	7:48	8:55	10:27	13:42	16:32	18:15

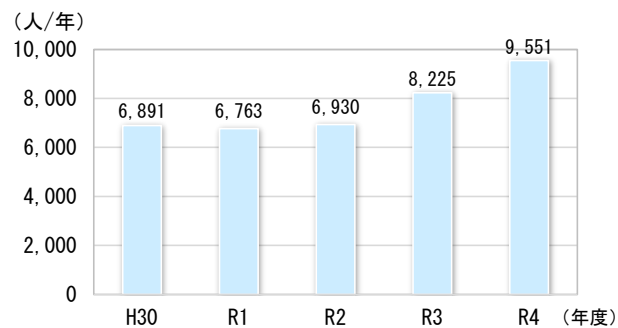
●第2便～5便は、□の色のバス停間で自由乗降ができます。

【利用状況】

i) 乗車人数推移

- ・令和元年 10 月に路線改編し、令和 2 年度以降は年間乗車人数が増加傾向にある。令和 2 年度は 6,930 人である。令和 4 年度は令和 2 年度と比較し、37.8% (2,621 人) 増加している。
- ・月間乗車人数は、8 月以外は 600 人/月以上に利用されている。月による利用者数の変動が大きい。15 人/便以上が利用するのは、12 月、1 月、2 月の冬季期間中である。8 月は夏季休業であり、中学生と小学生の利用が減少し、利用者が 422 人/月と少ない。
- ・便別利用者数は、冬季期間中は 7:15 発便が最も多く、それ以外の時期は 8:20 発便の利用が多い。

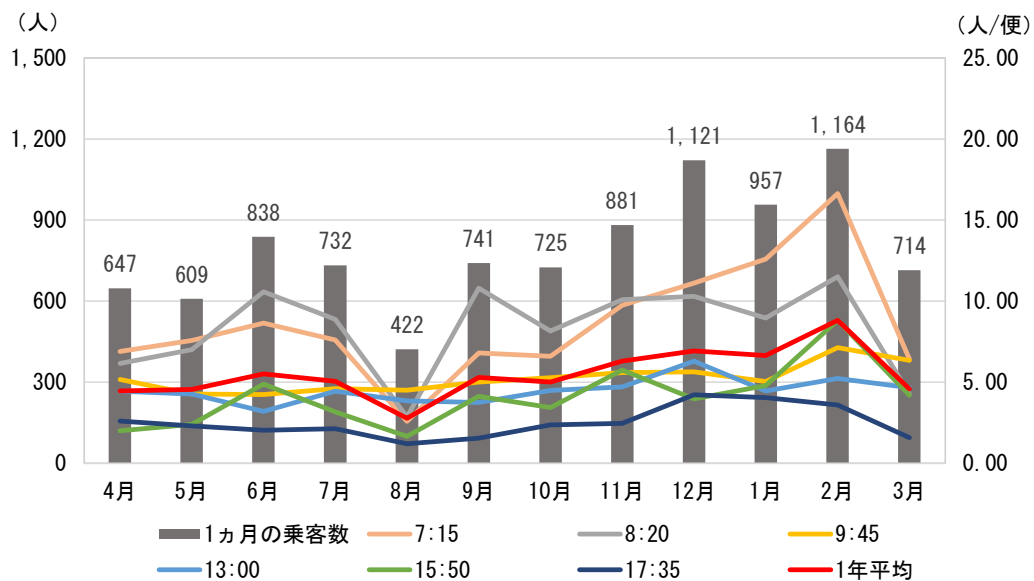
図表 40 年間乗車人数推移 (H30～R4)



※令和元年 10 月、路線改編

※出典：上市町提供データ

図表 41 月間乗車人数と 1 便あたり乗客数推移 (R4.4～R5.3)

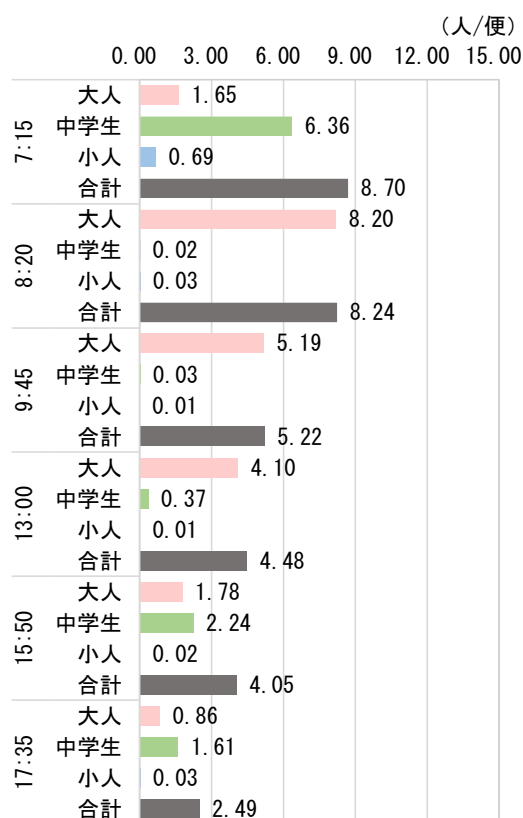


※出典：上市町提供データ

ii) 便別乗車人数

- ・路線平均で1便あたり5.47人の利用があり、うち3.67人が大人の利用、1.68人が中学生、0.12人が小学生である。1便あたり平均利用者数は、第1便が8.70人、第2便が8.24人、第3便が5.22人、第4便が4.48人、第5便が4.05人、第6便が2.49人である。第1便は中学生の利用が多く、第2便・第3便は大人の利用が多く、第4便～第5便は学校帰りの中学生と小学生の利用が見られる。

図表 42 便別乗車人数 (R4.4～R5.3月)

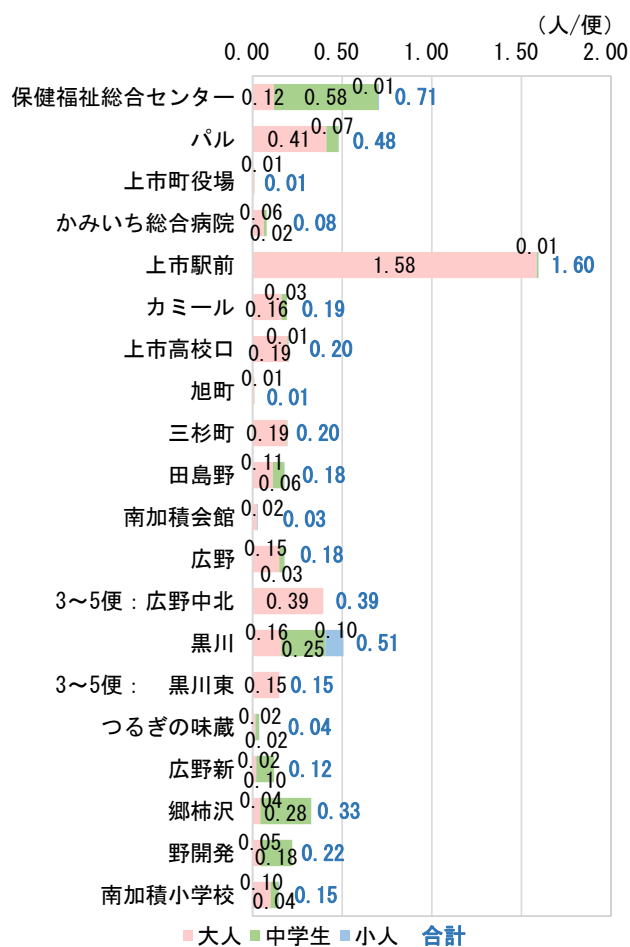


※出典：上市町提供データ

iii) バス停別日平均乗車人数

- ・ 0.5 人/便以上の利用があるバス停は、保健福祉総合センター、上市駅前、黒川である。
- ・ 大人の利用が 0.3 人/便以上のバス停は、パル（0.41 人/便）、上市駅（1.58 人/便） 広野中北（0.39 人/便）である。
- ・ 中学生の利用が 0.2 人/便以上のバス停は、保健福祉総合センター（0.58 人/便）、黒川（0.25/便）、郷柿沢（0.28 人/便）である。

図表 43 バス停別平均乗車人数 (R4.4~R5.3)

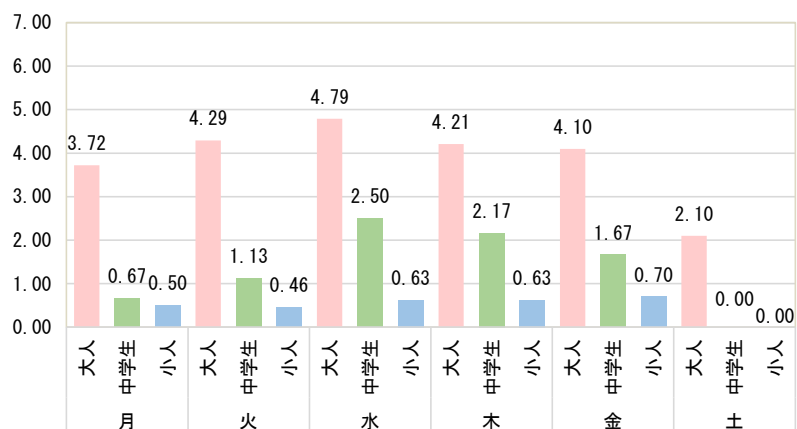


※出典：上市町提供データ

iv) 曜日別・1便あたり乗車人数

- ・大人の利用は、月曜～金曜で 3.0 人/便以上である。土曜は、2.1 人/便の利用である。中学生の利用は月曜と火曜は 1.0 人/便程度の利用であるが、水曜と木曜は 2.0 人/便以上となる。小人の月曜～金曜の利用は、0.4～0.7 人/便である。

図表 44 曜日別・1便あたり乗車人数 (R5.9)



※日、祝日運休

3) 宮川線

運行日	平日、土（第1便:4/1～11/30の土運休）	1日便数	5便	乗車人員（令和4年度）	4,630人
運行経路	保健福祉総合センター～上市駅前～大永田～保健福祉総合センター				

【路線図】



【ダイヤ】

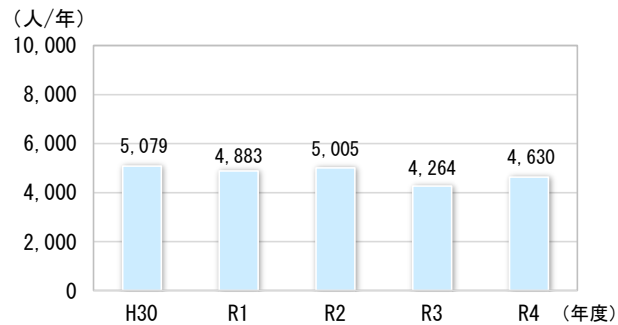
③ 宮川線					
平 日	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
4/1～11/30の土	運 休	第2便	第3便	第4便	第5便
12/1～3/31の土	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
日、祝日	運 休	運 休	運 休	運 休	運 休
バス停留所名	発車予定時刻				
保健福祉総合センター	-	10:30	12:30	14:45	17:30
パ ル	-	10:31	12:31	14:46	17:31
上 市 町 役 場	-	10:32	12:32	14:47	17:32
かみいち総合病院	-	10:33	12:33	14:48	17:33
上 市 駅 前	7:00	10:35	12:35	14:50	17:35
若 杉 新	7:03	10:38	12:38	14:53	17:38
江 又 団 地	7:05	10:40	12:40	14:55	17:40
江 上	7:06	10:41	12:41	14:56	17:41
中 江 上	7:08	10:43	12:43	14:58	17:43
東 江 上	7:10	10:45	12:45	15:00	17:45
石 仏	7:12	10:47	12:47	15:02	17:47
竹 鼻	7:15	10:50	12:50	15:05	17:50
大 永 田	7:20	10:55	12:55	15:10	17:55
森 尻	7:21	10:56	12:56	15:11	17:56
森 尻 団 地	7:23	10:58	12:58	15:13	17:58
薊 町	7:23	10:58	12:58	15:13	17:58
荒 田	7:24	10:59	12:59	15:14	17:59
三 日 市	7:25	11:00	13:00	15:15	18:00
カ ミ ー ル	↓	11:02	13:02	15:17	18:02
上 市 駅 前	7:27	11:05	13:05	15:20	18:05
かみいち総合病院	7:29	11:07	13:07	15:22	18:07
上 市 町 役 場	↓	11:08	13:08	15:23	18:08
パ ル	↓	11:09	13:09	15:24	18:09
保健福祉総合センター	7:31	11:10	13:10	15:25	18:10
●第2便～4便は、□の色のバス停留所で自由乗降ができます。 ただし、上市川「交観橋」付近の道路で、自由乗降ができない区間があります。					

【利用状況】

i) 乗車人数推移

- ・令和元年 10 月に路線改編し、令和 2 年度に増加し、令和 3 年度に減少、令和 4 年度に増加している。令和 2 年度は 5,005 人で、令和 4 年度は令和 2 年度と比較し、7.5%（375 人）減少している。

図表 45 年間乗車人数推移（H30～R4）

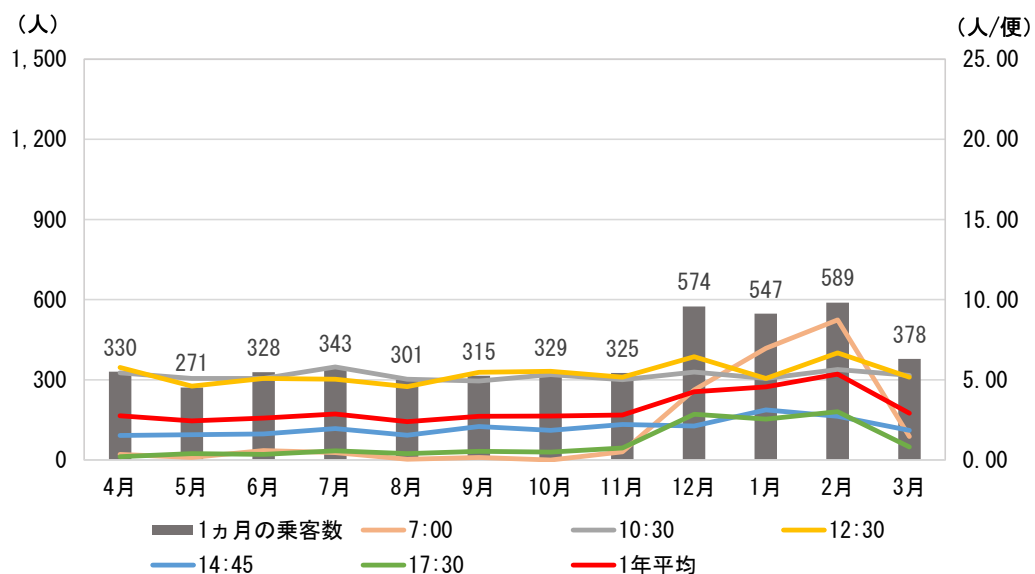


※令和元年 10 月、路線改編

※出典：上市町提供データ

- ・月間乗車人数は、4 月～11 月、3 月は 300 人/月程度であるが、12 月～2 月の冬季期間中は、550 人程度/月以上となる。天候の影響により、中学生の利用が増えると推察される。
- ・便別利用者数は、年間を通じて 10:30 発便と 12:30 発便の利用が多いが、1 月と 2 月は 7:00 発便の利用が最も多い。

図表 46 月間乗車人数と 1 便あたり乗客数推移（R4.4～R5.3）

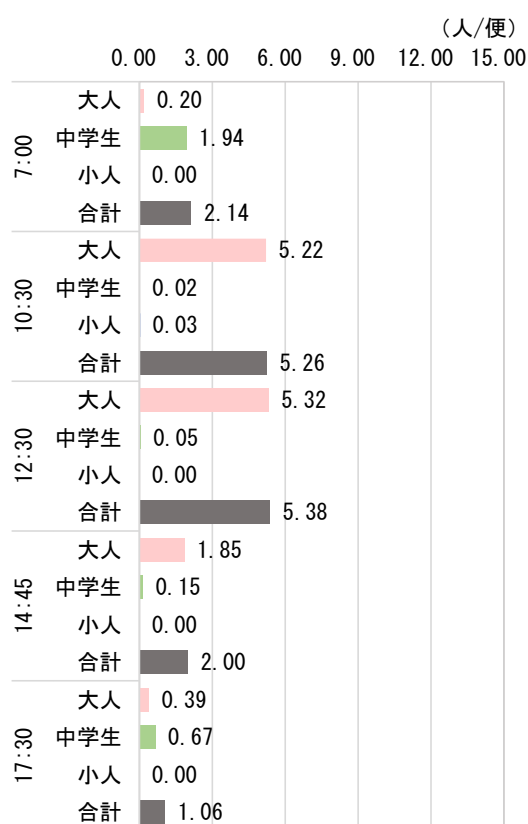


※出典：上市町提供データ

ii) 便別乗車人数

- ・路線平均で1便あたり3.19人の利用があり、うち2.65人/便が大人の利用である。中学生の利用は0.53人、小学生の利用は0.01人/便である。便別の1便あたり平均利用者数は、第1便が2.14人、第2便が5.26人、第3便が5.38人、第4便が2.00人、第5便が1.06人である。第1便は中学生の利用が1.94人/便と最も多く、第2便・第3便・第4便は大人の利用が最も多く、第4便・第5便は学校帰りの中学生の利用が見られる。

図表 47 便別乗車人数 (R4.4~R5.3)

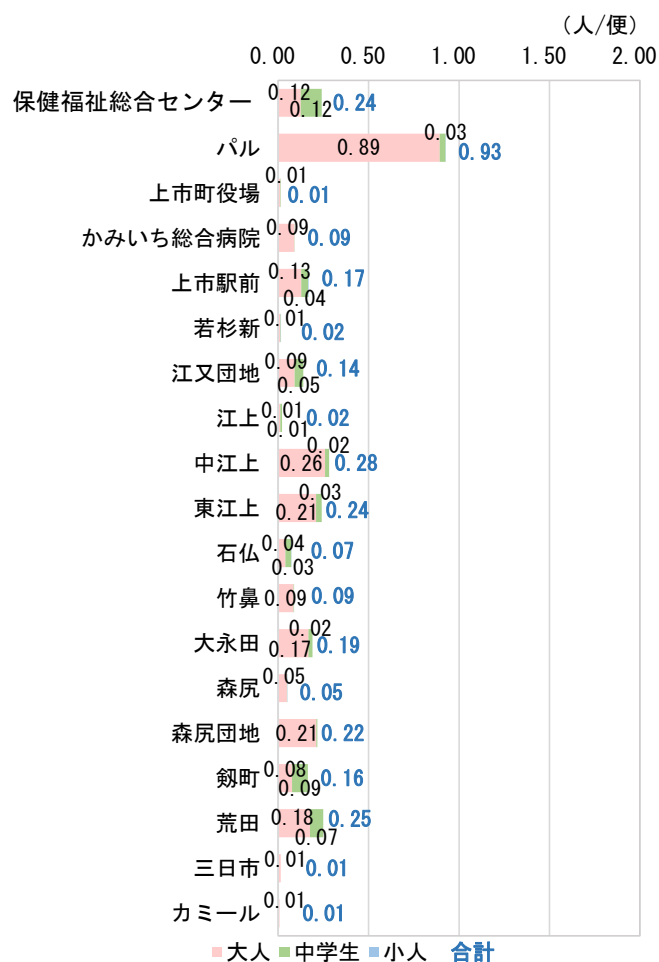


※出典：上市町提供データ

iii) バス停別日平均乗車人数

- ・ 0.5 人/便以上の利用があるバス停はパルである。
- ・ 大人の利用が 0.3 人/便以上のバス停は、パル（0.89 人/便）である。
- ・ 中学生の利用は、保健福祉総合センター、パル、上市駅前、江又団地、中江上、東江上、石仏、大永田、劔町、荒田で見られる。

図表 48 バス停別平均乗車人数 (R4.4~R5.3)

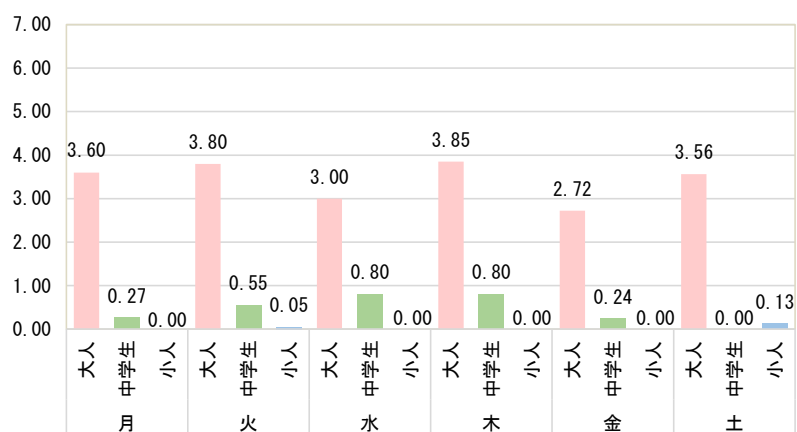


※出典：上市町提供データ

iv) 曜日別・1便あたり乗車人数

- ・大人の利用は、月曜～土曜で2.0人/便以上である。中学生の利用は火曜～木曜は0.5人/便以上が利用し、月曜と金曜は0.2人/便程度の利用である。小人の利用は、火曜と土曜に0.05～0.13人/便である。

図表 49 曜日別・1便あたり乗車人数 (R5.9)

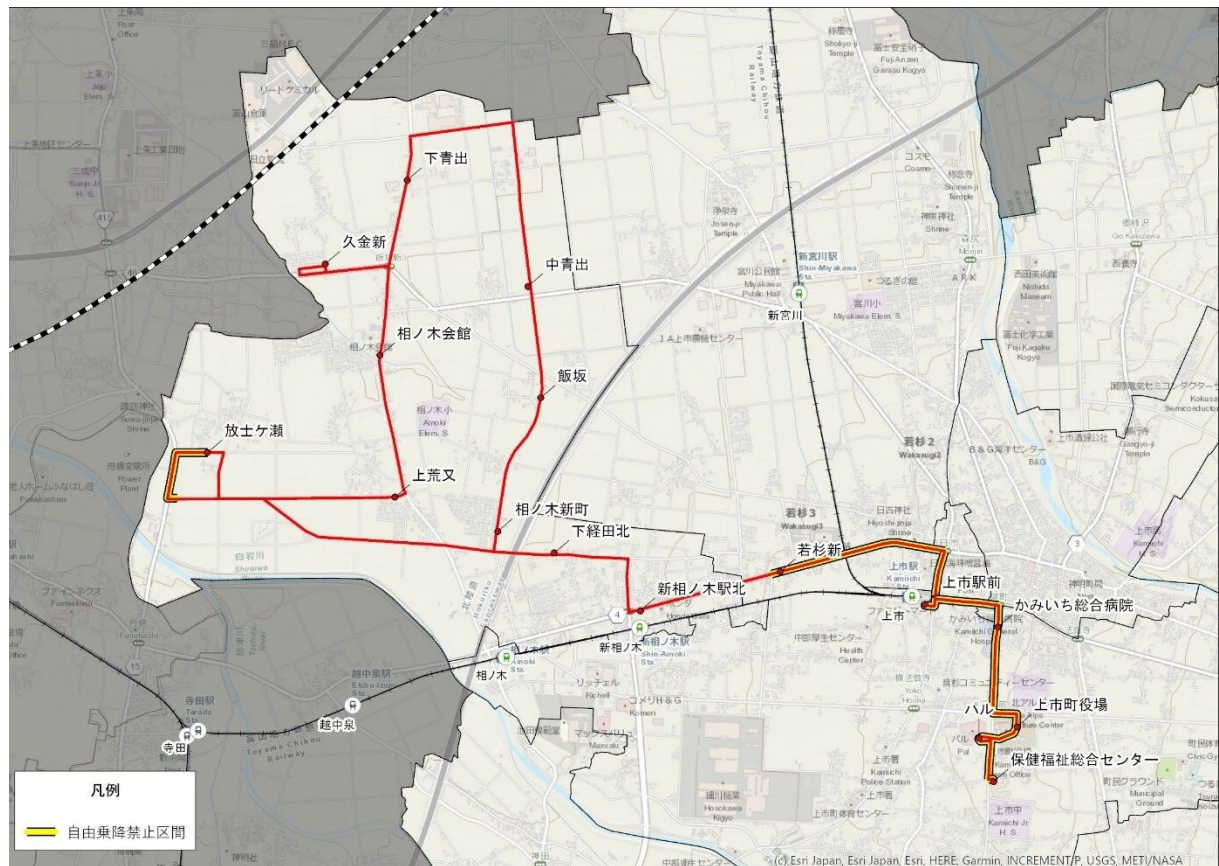


※日、祝日運休

4) 相ノ木線

運行日	平日、土（第1便:4/1～11/30の土運休）	1日便数	6便	乗車人員（令和4年度）	9,122人
運行経路	保健福祉総合センター～上市駅前～下青出～放士ヶ瀬～保健福祉総合センター				

【路線図】



【ダイヤ】

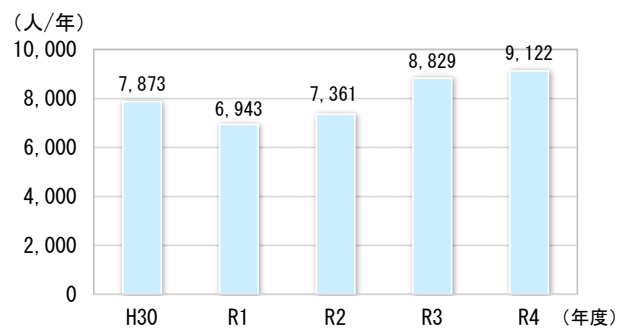
④ 相ノ木線						
平 日	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便
4/1～11/30の土	運 休	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便
12/1～3/31の土	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便
日、祝日	運 休	運 休	運 休	運 休	運 休	運 休
バス停留所名	発車予定時刻					
保健福祉総合センター	-	8:30	11:30	14:00	16:15	17:32
パ ル	-	8:31	11:31	14:01	16:16	17:33
上 市 町 役 場	-	8:32	11:32	14:02	16:17	17:34
かみいち総合病院	-	8:33	11:33	14:03	16:18	17:35
上 市 駅 前	7:05	8:35	11:35	14:05	16:20	17:37
若 杉 新	7:08	8:38	11:38	14:08	16:23	17:40
新 相 ノ 木 駅 北	7:10	8:40	11:40	14:10	16:25	17:42
下 経 田 北	7:12	8:42	11:42	14:12	16:27	17:44
相 ノ 木 新 町	7:13	8:43	11:43	14:13	16:28	17:45
飯 坂	7:14	8:44	11:44	14:14	16:29	17:46
中 青 出	7:15	8:45	11:45	14:15	16:30	17:47
下 青 出	7:17	8:47	11:47	14:17	16:32	17:49
久 金 新	7:19	8:49	11:49	14:19	16:34	17:51
相 ノ 木 会 館	7:21	8:51	11:51	14:21	16:36	17:53
上 荒 又	7:23	8:53	11:53	14:23	16:38	17:55
放 土 ケ 瀬	7:26	8:56	11:56	14:26	16:41	17:58
下 経 田 北	7:31	9:01	12:01	14:31	16:46	18:03
新 相 ノ 木 駅 北	7:33	9:03	12:03	14:33	16:48	18:05
若 杉 新	7:35	9:05	12:05	14:35	16:50	18:07
上 市 駅 前	7:38	9:08	12:08	14:38	16:53	18:10
かみいち総合病院	7:40	9:10	12:10	14:40	16:55	18:12
上 市 町 役 場	↓	9:11	12:11	14:41	16:56	18:13
パ ル	↓	9:12	12:12	14:42	16:57	18:14
保健福祉総合センター	7:42	9:13	12:13	14:43	16:58	18:15
●第2便～5便は、 の色のバス停間で自由乗降ができます。 ただし、放土ヶ瀬地内の県道 立山水橋線の区間は自由乗降できません。						

【利用状況】

i) 乗車人数推移

- ・令和元年 10 月に路線改編し、令和 2 年度以降年間乗車人数が増加傾向にある。令和 2 年度は 7,361 人である。令和 2 年度と比較し、令和 4 年度は 23.9% (1,761 人) 増加している。
- ・月間乗車人数は、夏季休業の影響を受ける 8 月以外は 500 人/月以上の利用がある。11 月～2 月は 800 人/月以上の利用があり、天候の影響によるものと推察される。
- ・便別乗車人数は、8 月以外は、7:05 発便の利用が最も多く、次いで 16:15 発便の利用が多い。スクールバスとしての利用が多い便であると推察される。

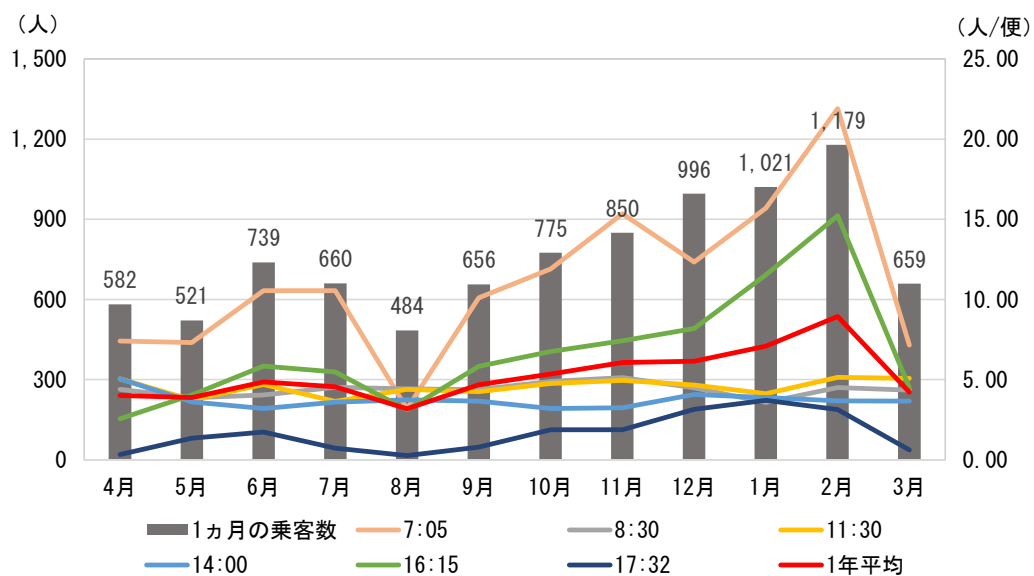
図表 50 年間乗車人数推移 (H30～R4)



※令和元年 10 月、路線改編

※出典：上市町提供データ

図表 51 月間乗車人数と 1 便あたり乗客数推移 (R4.4～R5.3)

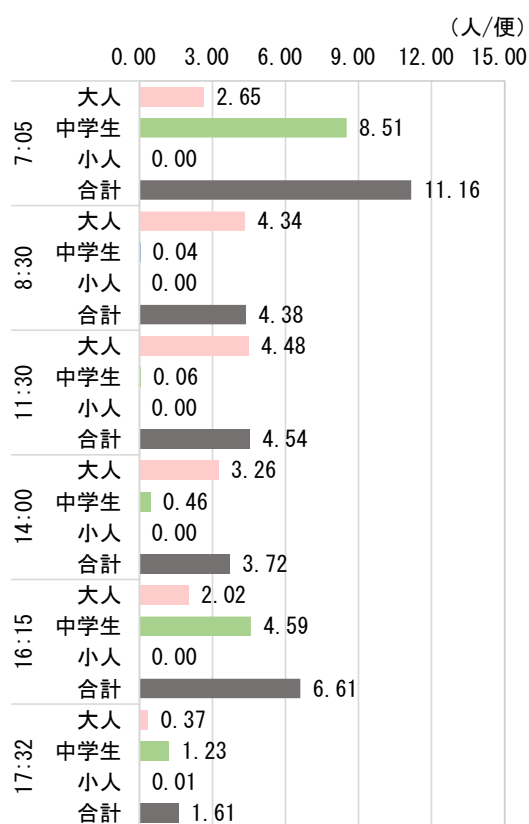


※出典：上市町提供データ

ii) 便別乗車人数

- ・路線平均で1便あたり5.22人の利用があり、うち2.86人が大人、2.36人が中学生の利用である。便別の1便あたり平均利用者数は、第1便が11.16人、第2便が4.38人、第3便が4.54人、第4便が3.72人、第5便が6.61人、第6便が1.61人の利用である。
- ・第1便は中学生の利用が多く8.51人/便、第2便～第4便は、大人の利用が多く3～4人/便、第5便は、中学生の利用が4.59人/便である。

図表 52 便別乗車人数 (R4.4～R5.3)

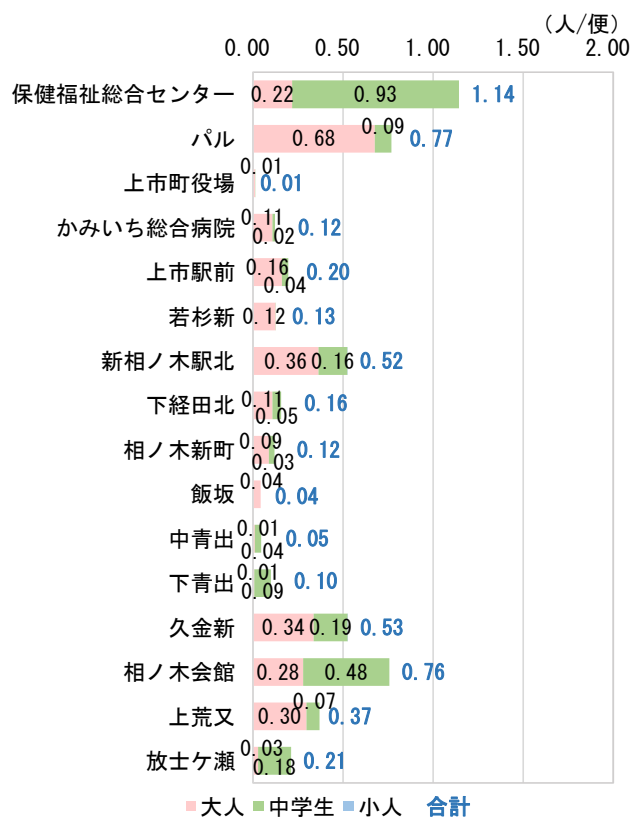


※出典：上市町提供データ

iii) バス停別日平均乗車人数

- ・ 0.5 人/便以上の利用があるバス停は、保健福祉総合センター、パル、新相ノ木駅北、久金新、相ノ木会館である。
- ・ 大人の利用が 0.3 人/便以上のバス停は、パル、新相ノ木駅北、久金新、上荒又である。
- ・ 中学生の利用が 0.2 人/便以上のバス停は、保健福祉総合センター、相ノ木会館である。

図表 53 バス停別平均乗車人数 (R4.4～R5.3)

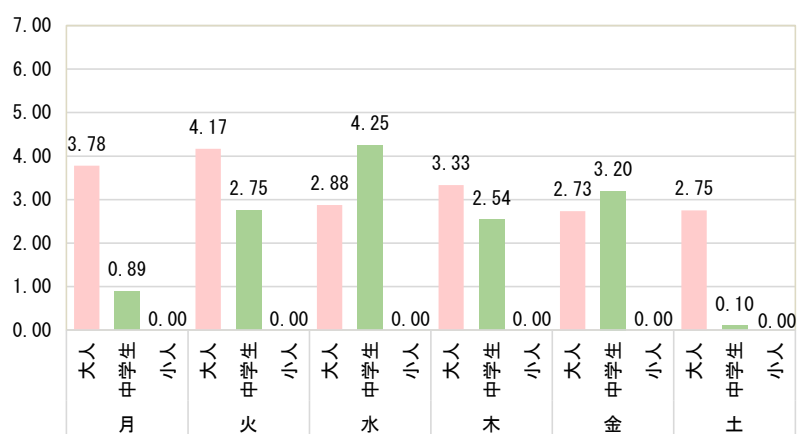


※出典：上市町提供データ

iv) 曜日別・1便あたり乗車人数

- ・大人の利用は、月曜～土曜で2.0人/便以上である。中学生の利用は火曜～金曜は2.5人/便以上が利用し、月曜は0.89人/便、土曜は0.1人/便の利用である。

図表 54 曜日別・1便あたり乗車人数 (R5.9)

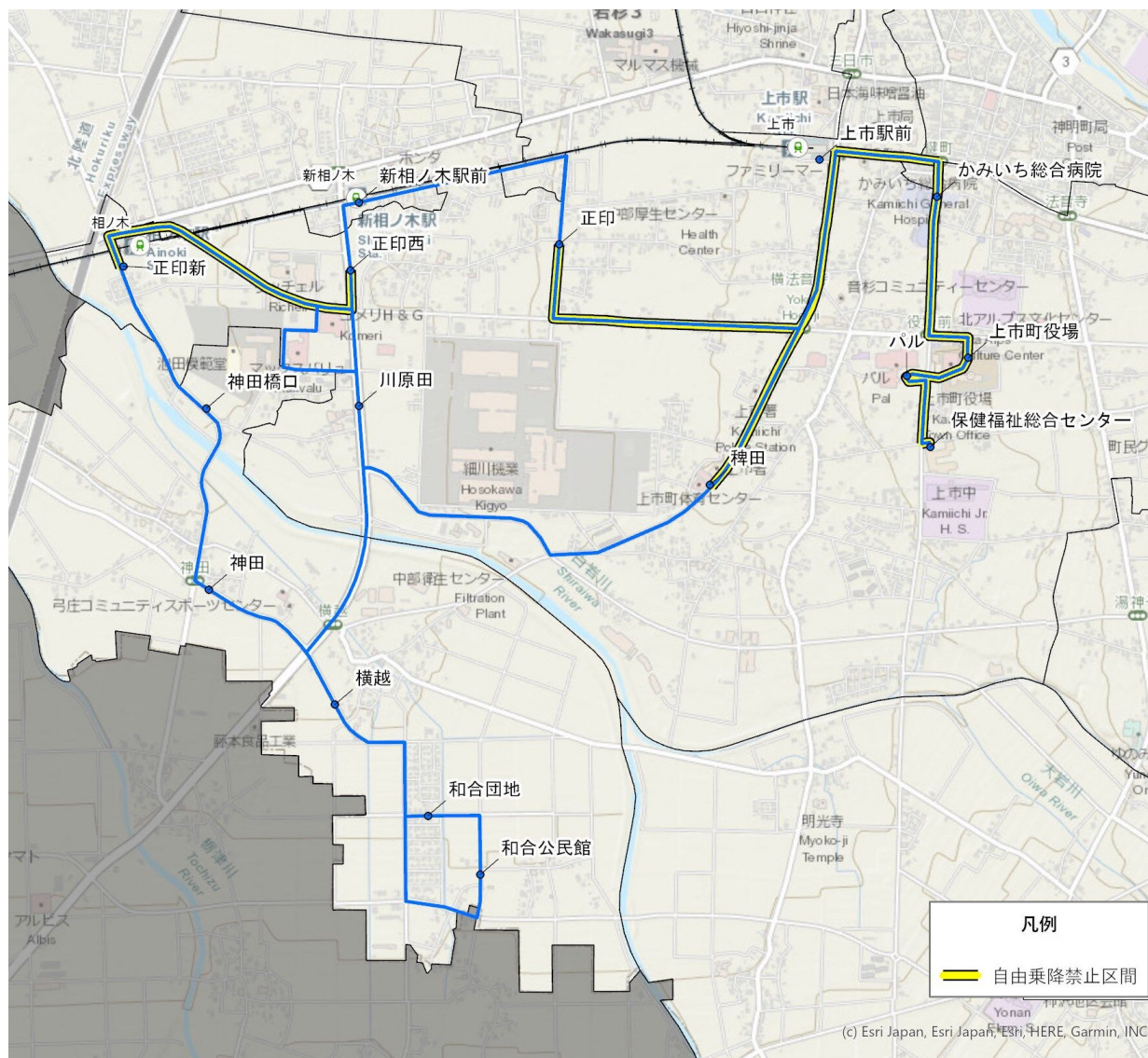


※日、祝日運休

5) 弓庄線

運行日	平日、土（第1便、第4便:土運休）	1日便数	5便	乗車人員（令和4年度）	8,166人
運行経路	保健福祉総合センター～上市駅～和合団地～稗田～保健福祉総合センター				

【路線図】



【ダイヤ】

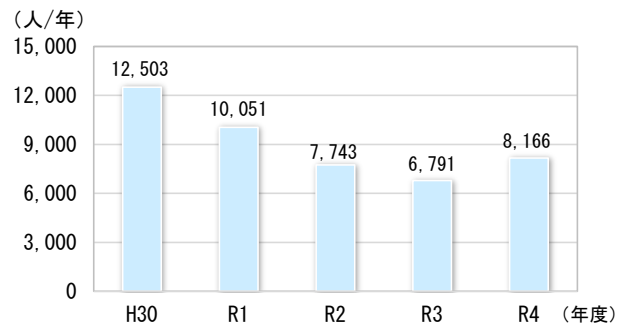
5 弓庄線					
平 日	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
土	運 休	第2便	第3便	運 休	第5便
日、祝日	運 休	運 休	運 休	運 休	運 休
バス停留所名	発車予定時刻				
保健福祉総合センター	-	9:00	13:15	15:10	16:05
パ ル	-	9:01	13:16	15:11	16:06
上 市 町 役 場	-	9:02	13:17	15:12	16:07
かみいち総合病院	-	9:03	13:18	15:13	16:08
上 市 駅 前	-	9:05	13:20	15:15	16:10
正 印	-	9:10	13:25	15:20	16:15
新 相 ノ 木 駅 前	-	9:12	13:27	15:22	16:17
正 印 西	-	9:13	13:28	15:23	16:18
正 印 新	7:22	9:15	13:30	15:25	16:20
神 田 橋 口	7:23	9:16	13:31	15:26	16:21
神 田	7:25	9:18	13:33	15:28	16:23
横 越	7:26	9:19	13:34	15:29	16:24
和 合 団 地	7:27	9:20	13:35	15:30	16:25
和 合 公 民 館	7:28	9:21	13:36	15:31	16:26
横 越	7:31	9:24	13:39	15:34	16:29
川 原 田	7:33	9:26	13:41	15:36	16:31
稗 田	7:39	9:32	13:47	15:42	16:37
上 市 駅 前	7:42	9:35	13:50	15:45	16:40
かみいち総合病院	7:44	9:37	13:52	15:47	16:42
上 市 町 役 場	↓	9:38	13:53	15:48	16:43
パ ル	↓	9:39	13:54	15:49	16:44
保健福祉総合センター	7:46	9:40	13:55	15:50	16:45
●第2便～5便は、□の色のバス停間で自由乗降ができます。 ただし、「正印西」～「正印新」バス停の区間は自由乗降できません。					

【利用状況】

i) 乗車人数推移

- ・令和元年 10 月に路線改編し、令和 2 年度から令和 3 年度に年間乗車人数が減少し、令和 4 年度に増加している。令和 2 年度は 7,743 人である。令和 2 年度と比較すると令和 4 年度は 5.5% (423 人) 増加している。
- ・月間乗車人数は、夏季休業の影響を受ける 8 月以外は 450 人/月以上の利用がある。9 月～3 月は 700 人/月以上の利用がある。
- ・便別乗車人数は、4 月・6 月・8 月以外は、7:22 発便の利用が最も多く、次いで 15:10 発便の利用が多い。スクールバスとしての利用が多い便であると推察される。

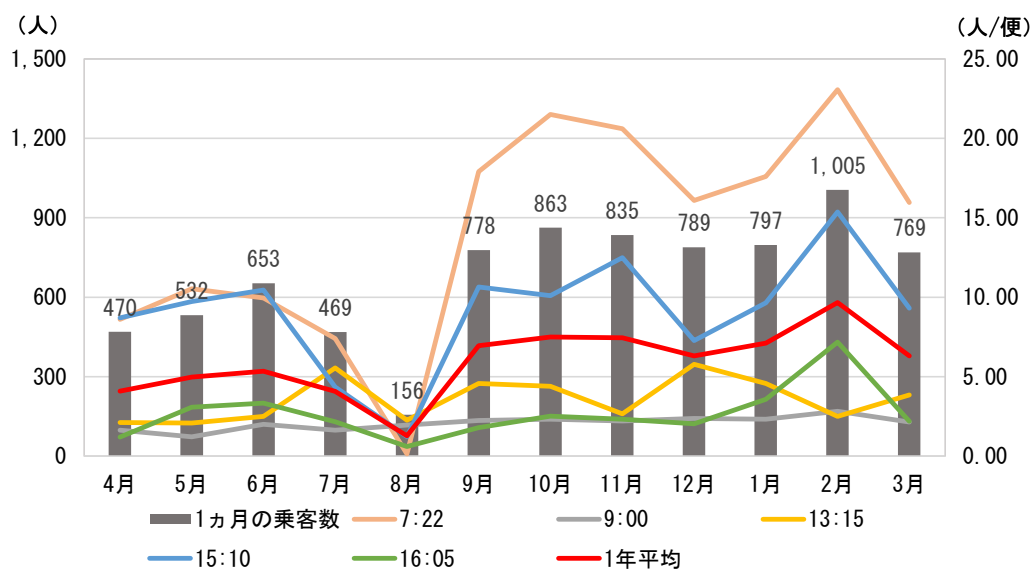
図表 55 年間乗車人数推移 (H30～R4)



※令和元年 10 月、路線改編

※出典：上市町提供データ

図表 56 月間乗車人数と 1 便あたり乗客数推移 (R4. 4～R5. 3)

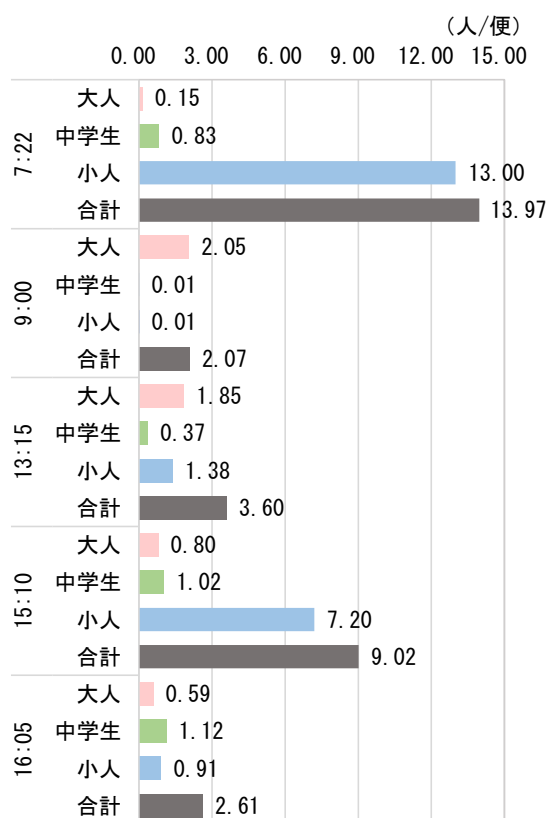


※出典：上市町提供データ

ii) 便別乗車人数

- ・路線平均で1便あたり5.87人の利用があり、うち1.13人が大人、0.65人が中学生、4.09人が小学生の利用である。便別の1便あたり平均利用者数は、第1便が13.97人、第2便が2.07人、第3便が3.60人、第4便が9.02人、第5便が2.61人である。
- ・第1便は小学生の利用が多く13.00人/便、第2便・第3便は、大人の利用が多く2人/便程度、第4便は小学生の利用が7.20人/便である。

図表 57 便別乗車人数 (R4.4~R5.3)

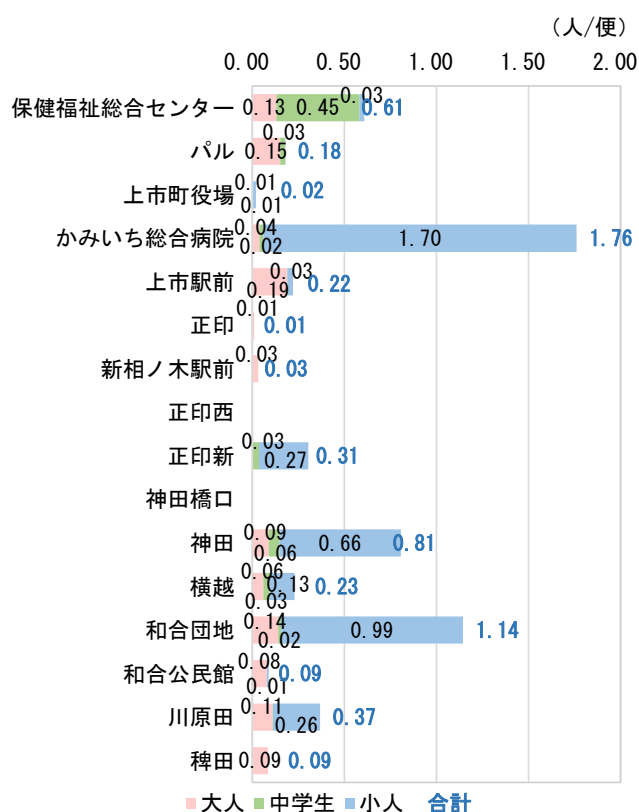


※出典：上市町提供データ

iii) バス停別日平均乗車人数

- ・ 0.5 人/便以上の利用があるバス停は、保健福祉総合センター、かみいち総合病院、神田、和合団地である。
- ・ 大人の利用が 0.3 人/便以上のバス停はなく、小学生の利用が 0.2 人/便以上のバス停は、かみいち総合病院、正印新、神田、和合団地、川原田である。中学生の利用が 0.2 人/便以上のバス停は、保健福祉総合センターである。

図表 58 バス停別平均乗車人数 (R4.4～R5.3)

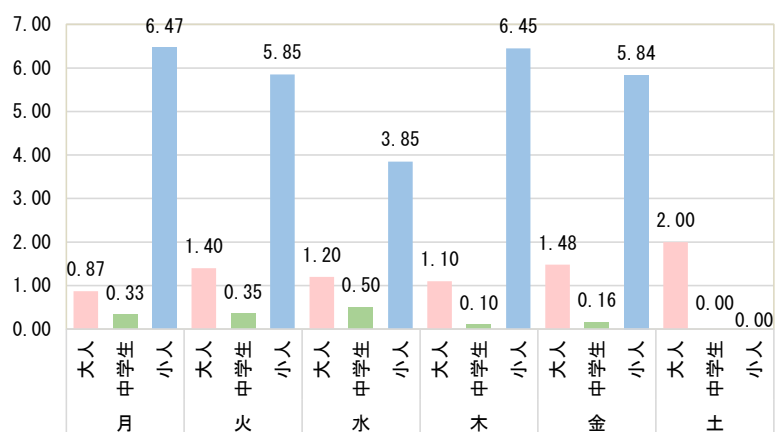


※出典：上市町提供データ

iv) 曜日別・1便あたり乗車人数

- ・大人の利用は、月曜～金曜は 0.87 人～1.48 人/便であり、土曜は 2.0 人/便である。中学生の利用は月曜～土曜は 0.5 人/便以下である。小人の利用は、月～金曜は、3.85 人～6.47 人、土曜は 0 人便である。

図表 59 曜日別・1便あたり乗車人数 (R5.9)



※日、祝日運休

④ 予約のりあいバス路線別現況

予約のりあいバスは、白萩線と陽南線で運行する予約制の乗合いバスであり、定時運行している。

利用予約は、第1便は前日 18 時までの予約が必要である。第2便～4便は発車時間の1時間前までの予約が必要である。

図表 60 予約のりあいバスの運行状況

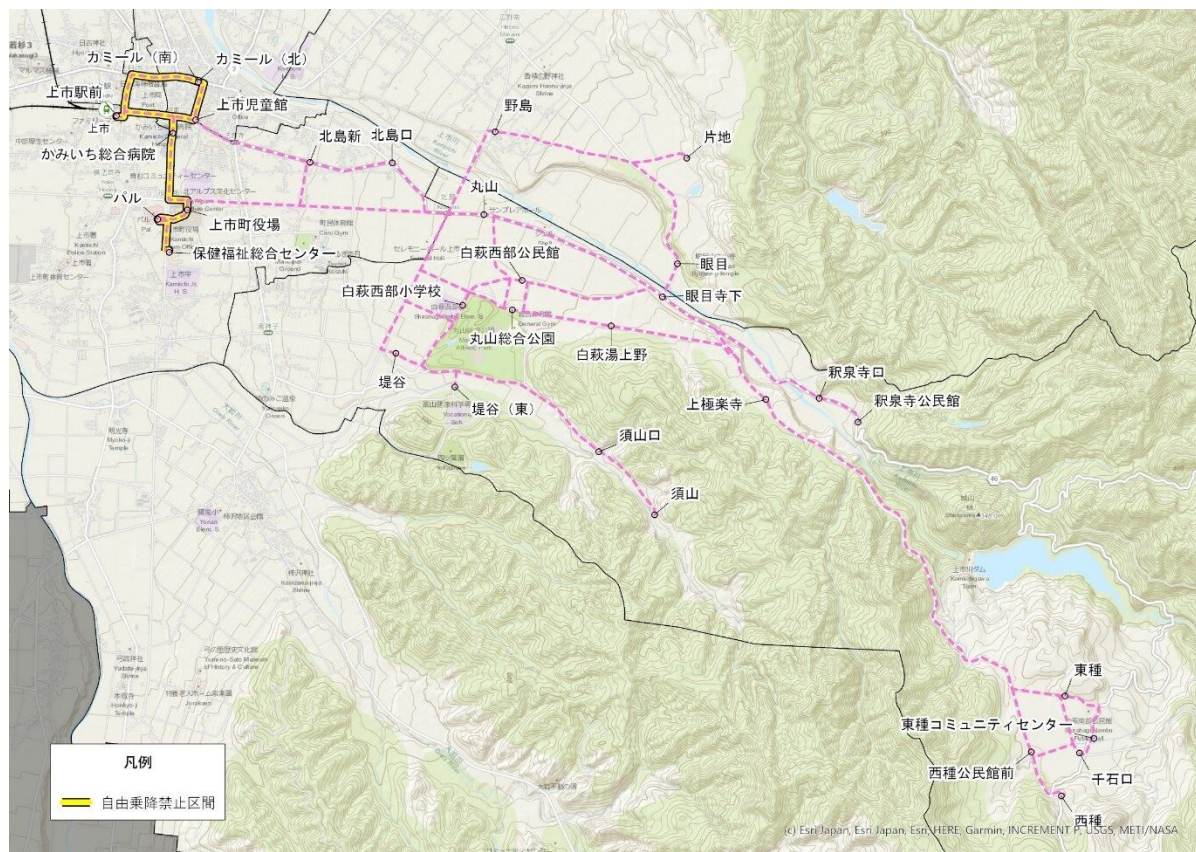
路線	便数/日			車両	運賃
	平日	土曜	休日		
【白萩線】 上市駅前～東種、西種、眼目、須山	4 便	4 便	—	ワゴン車両 (10人乗り) ：1台	・中学生以上 200 円 ・小学生以下 100 円 ・通学時に 利用の 児童生徒 無料
【陽南線】 上市駅前～弓の里歴史文化館	4 便 (運行 月、水、金)	—	—	ワゴン車両 (10人乗り) ：1台	

※出典：上市町提供データ

1) 白萩線

運行日	月～土 (日・祝日運休)	1日便数	4便	乗車人員(令和4年度)	1,118人
運行経路	上市駅前～保健福祉総合センター～東種～上極楽寺～須山～北島新～上市駅前				

【路線図】



【ダイヤ】

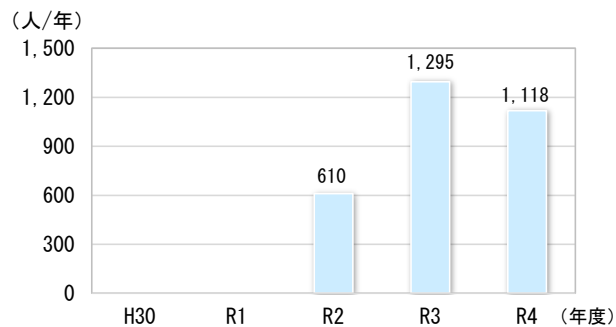
白萩線 各バス停 乗車時刻目安表 運行日：月～土（日・祝運休）				
停留所名	第1便 前日予約	第2便 当日予約可	第3便 当日予約可	第4便 当日予約可
上 市 駅 前	中心部停留所			
かみいち総合病院	7:50	10:15	12:45	16:00
上 市 町 役 場	}	}	}	}
保健福祉総合センター	8:00	10:25	12:55	16:10
上 市 児 童 館				
カ ミ ー				
東種コミュニティセンター前*	8:05	10:30	13:00	16:15
千 石	}	}	}	}
西種公民館前	8:15	10:40	13:10	16:25
上 種 公 民 館 前				
上 種 楽 寺	8:10	10:35	13:05	16:20
	8:20	10:45	13:15	16:30
釈 泉 寺 公 民 館	8:15	10:40	13:10	16:25
釈 泉 寺 口	8:25	10:50	13:20	16:35
眼 目	8:20	10:45	13:15	16:30
片 地	8:30	10:55	13:25	16:40
野 島	8:25	10:50	13:20	16:35
	8:35	11:00	13:30	16:45
丸 山	8:30	10:55	13:25	16:40
眼 目 寺 下	8:40	11:05	13:35	16:50
白萩湯上野	8:35	11:00	13:30	16:45
丸 山 総 合 公 園				
白萩西部公民館	8:45	11:10	13:40	16:55
白萩西部小学校				
須 山	8:40	11:05	13:35	16:50
須 山 口	8:50	11:15	13:45	17:00
堤 谷 (東)	8:45	11:10	13:40	16:55
堤 谷	8:55	11:20	13:50	17:05
北 島 口	8:50	11:15	13:45	17:00
北 島 新	9:00	11:25	13:55	17:10
上 市 児 童 館	到着予定時間			
カ ミ ー				
保健福祉総合センター	8:55	11:20	13:50	17:05
パ	}	}	}	}
上 市 町 役 場				
かみいち総合病院	9:05	11:30	14:00	17:15
上 市 駅 前				

【利用状況】

i) 乗車人数推移

- ・令和元年 10 月に路線改編し、令和 2 年度は 610 人、令和 3 年度は 1,295 人、令和 4 年度は 1,118 人が利用している。令和 3 年度と令和 4 年度を比較すると 13.7% (177 人) 減少している。
- ・月間乗車人数は、4 月～10 月は 90 人以上であるが、11 月以降は 80 人以下となっている。天候の影響で利用者数が減少することが推察される。

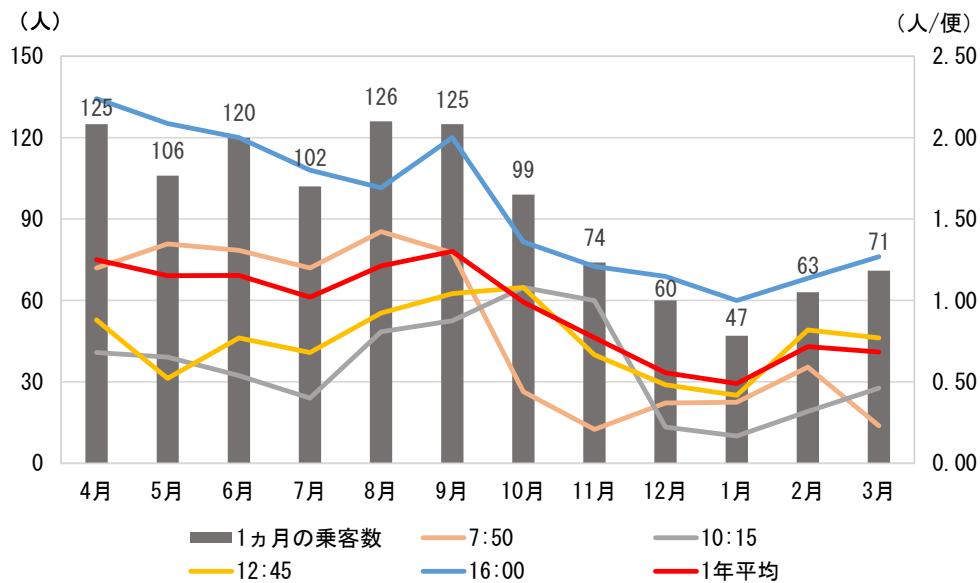
図表 61 年間乗車人数推移 (H30～R4)



※令和元年 10 月、路線改編

※出典：上市町提供データ

図表 62 月間乗車人数と 1 便あたり乗客数推移 (R4. 4～R5. 3)

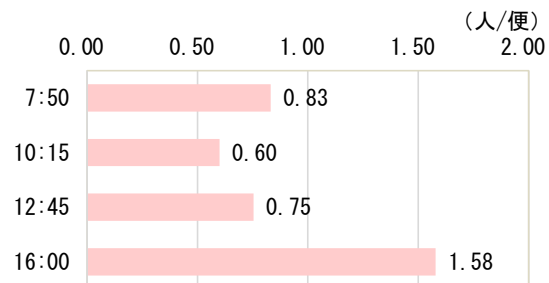


※出典：上市町提供データ

ii) 便別乗車人数

- ・路線平均で1便あたり0.94人の利用がある。便別の1便あたり平均利用者数は、第1便が0.83人、第2便が0.60人、第3便が0.75人、第4便が1.58人である。

図表 63 便別乗車人数 (R4.4~R5.3)

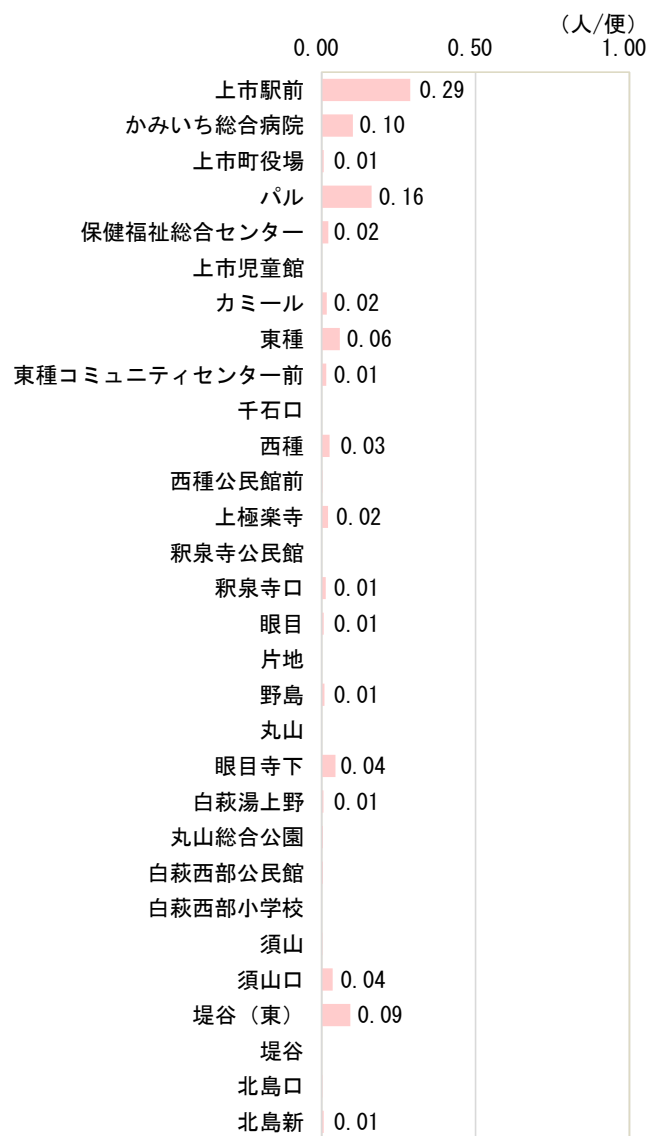


※出典：上市町提供データ、※計画運行便数に対する利用者数

iii) バス停別日平均乗車人数

- ・0.1 人/便以上の利用があるバス停は、上市駅前、パル、かみいち総合病院である。

図表 64 バス停別平均乗車人数 (R4. 4～R5. 3)

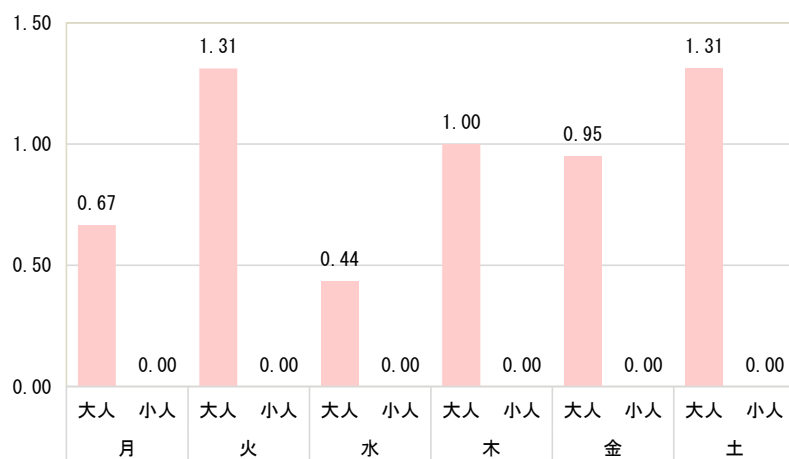


※出典：上市町提供データ

iv) 曜日別・1 便あたり乗車人数

- ・大人の利用は、火曜、木曜、金曜、土曜は、1 人/便程度の利用がある。月曜と水曜は、0.5 人/便程度が利用している。

図表 65 曜日別・1 便あたり乗車人数 (R5. 9)

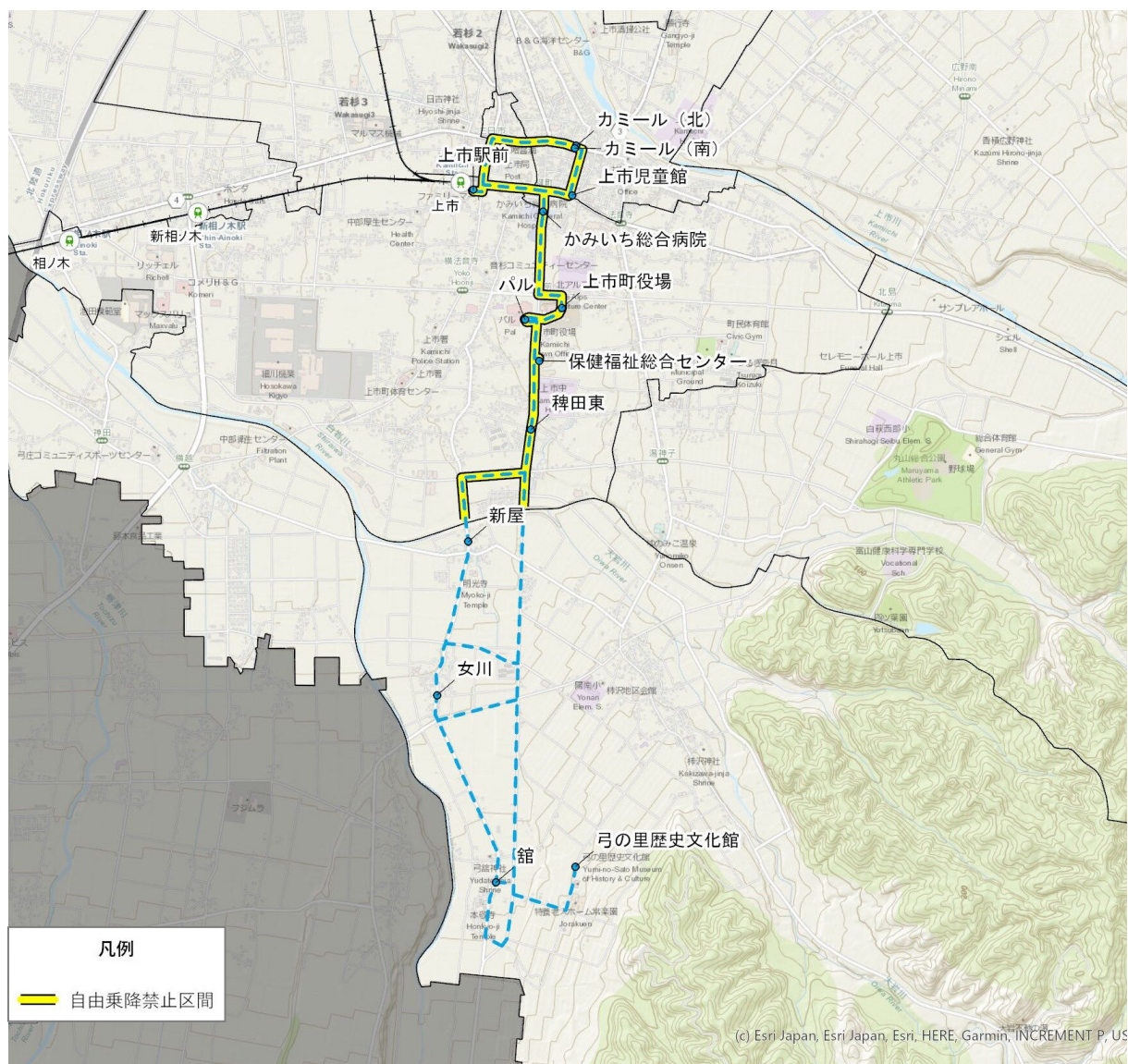


※月～土運行日

2) 陽南線

運行日	月・水・金 (祝日運休)	1日便数	4便	乗車人員(令和4年度)	187人
運行経路	上市駅前～保健福祉総合センター～弓の里歴史文化館～新屋公民館～上市駅前				

【路線図】



【ダイヤ】

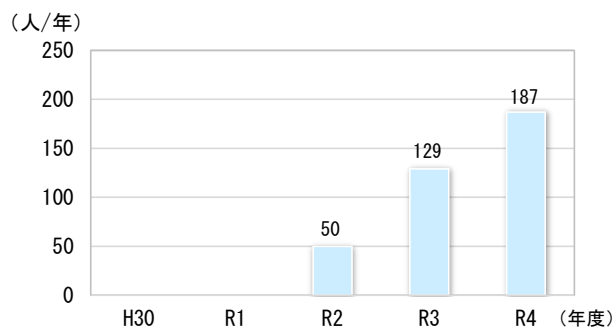
陽南線 各バス停 乗車時刻目安表				
運行日：月・水・金（祝日運休）				
停留所名	第1便 前日予約	第2便 当日予約可	第3便 当日予約可	第4便 当日予約可
上 市 駅 前	中心部停留所			
かみいち総合病院				
上 市 町 役 場	8:15	10:00	13:00	15:00
パ	}	}	}	}
保健福祉総合センター				
上 市 児 童 館	8:25	10:10	13:10	15:10
カ ミ ー ル				
弓の里歴史文化館	8:25	10:10	13:10	15:10
館 公 民 館	8:35	10:20	13:20	15:20
女 川 公 民 館	8:30	10:15	13:15	15:15
新 屋 公 民 館	}	}	}	}
稗 田 東	8:40	10:25	13:25	15:25
上 市 児 童 館		到着予定時間		
カ ミ ー ル				
保健福祉総合センター				
パ	8:35	10:25	13:25	15:25
上 市 町 役 場	}	}	}	}
かみいち総合病院	8:45	10:35	13:35	15:35
上 市 駅 前				

【利用状況】

i) 乗車人数推移

- ・令和元年 10 月に路線改編し、令和 2 年以降年間乗車人数が増加傾向にある。令和 2 年度は 50 人である。令和 2 年度と比較して令和 4 年度は 274.0%（137 人）増加している。
- ・月間乗車人数は、4 月・5 月以外は 20 人以下である。

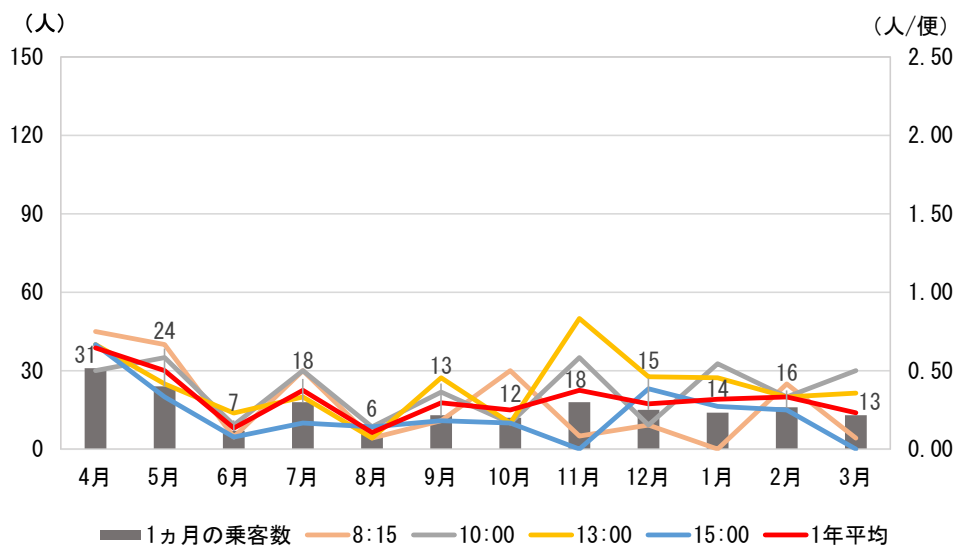
図表 66 年間乗車人数推移（H30～R4）



※令和元年 10 月、路線改編

※出典：上市町提供データ、計画運行便数に対する利用者数

図表 67 月間乗車人数と 1 便あたり乗客数推移（R4.4～R5.3）

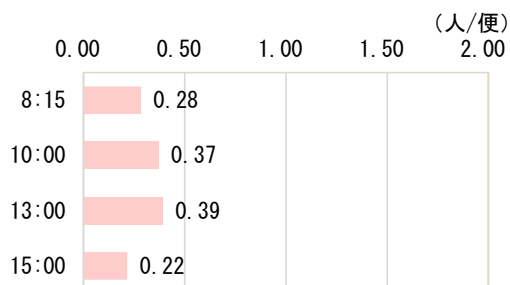


※出典：上市町提供データ

ii) 便別乗車人数

- ・路線平均で1便あたり0.32人の利用がある。便別の1便あたり平均利用者数は、第1便が0.28人、第2便が0.37人、第3便が0.39人、第4便が0.22人である。

図表 68 便別乗車人数 (R4.4~R5.3)

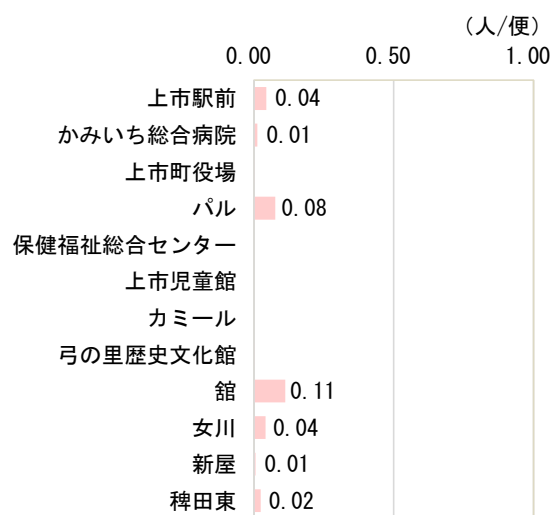


※出典：上市町提供データ

iii) バス停別日平均乗車人数

- ・0.1人/便以上の利用があるバス停は、館である。

図表 69 バス停別平均乗車人数 (R4.4~R5.3)

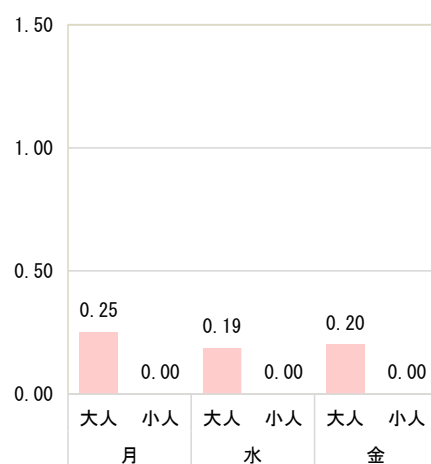


※出典：上市町提供データ

iv) 曜日別・1 便あたり乗車人数

- ・大人の利用は、月曜、水曜、金曜で 0.2 人/便程度の利用がある。

図表 70 曜日別・1 便あたり乗車人数 (R5. 9)



※月・水・金運行日

（６）タクシー利用状況

町内にはタクシー事業者が２事業者あり、普通タクシーの台数は、旭自動車(株)が１２台、(有)GM交通が１０台である。

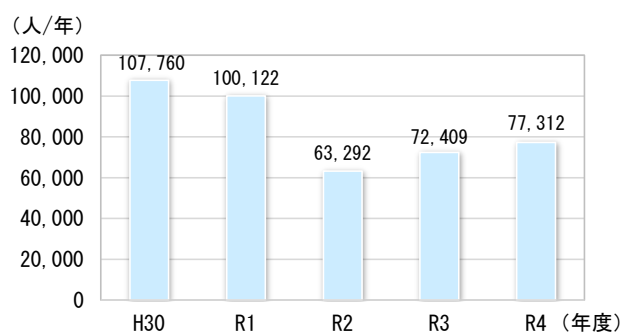
町内のタクシー輸送人員は年々減少しており、令和元年度から令和２年度は新型コロナウイルス感染症の流行の影響により減少したが、令和２年度以降増加している。令和２年度と比較し、令和４年度は２２．２％（１４，０２０人）増加している。

図表 71 町内のタクシー事業者の所有車両台数

(令和６年３月現在)

タクシー事業者名	所有車両台数（台）		
	普通タクシー	ジャンボタクシー	その他（福祉車両）
旭自動車（株）	5	3	4
（有）GM交通	8	2	0

図表 72 上市町内のタクシー輸送人員推移



※出典：運行事業者提供データ

(7) スクールバス利用状況

町内では、小学生と中学生が町営バスをスクールバスとして利用している。冬季は、町営バスに追加して、中学校へのスクールバスを運行しており、朝は2路線、夕方は1路線で運行している。町内の3小学校は、令和8年度に統合する予定で準備を進めている。

図表 73 地区別スクールバス乗車人数

路線	利用者数		
	小学生	中学生	合計
相ノ木	0 人	70 人	70 人
南加積	4 人	50 人	54 人
白萩線	0 人	6 人	6 人
柿沢・大岩線	1 人	3 人	4 人
宮川線	0 人	45 人	45 人
弓庄線	24 人	3 人	27 人
陽南線	0 人	4 人	4 人

※出典：上市町提供データ

図表 74 冬季におけるスクールバス運行状況

時間帯	路線	車両種類	対象地区	便数
朝 (登校時)	相ノ木	中型バス	相ノ木	1 便
	南加積・宮川・白萩・陽南	中型バス	南加積、宮川、白萩、陽南	1 便
夕 (下校時)	相ノ木・南加積・宮川・白萩・陽南	中型バス	相ノ木、南加積、宮川、白萩、陽南	1 便

※出典：上市町提供データ

【教育委員会ヒアリング】

i) 小中学生の町営バスの利用状況と改善点などのニーズについて

- ・宮川線の石仏・竹鼻停留所から町営バスを利用して登校したい児童がいるが、小学校が開く30分前に到着するため、現行の宮川線（第1便）の運行時刻を30分程遅らせることができれば児童が利用しやすくなる。7:50に学校が開く。来年以降は1年に1人か2人が増える。今はタクシー会社に学校への送りをお願いしている。下校時は放課後児童クラブに行く。
- ・柿沢・大岩線、児童は10人未満。現状の運行形態でカバーできている。
- ・南加積線は、10人未満。現状の運行形態でカバーできている。
- ・相ノ木線は、小学生は利用していない。中学生が50人利用している。冬期間、町営バスを増便し、マイクロバス（3台）を運行している。運転は、シルバー人材センターの方をお願いしている。
- ・小学校の統合は、令和10年以降の予定。
- ・令和6年度に白萩線を利用する新入学児童（1人）への対応が必要。ダイヤが遅く始業時間に間に合わない。東種から乗る予定。兄妹が2人いる。

ii) スクールバスの運行についての課題

- ・冬季間は中学校生徒のスクールバス利用が増えるため（南加積線、宮川線、相ノ木線の朝夕が多い）、増便やより多人数が乗車できる車両で運行できれば良い。
- ・スクールと一般客の混乗に関する苦情などはない。
- ・冬季の増便について単費で運行している。
- ・冬季だけ別ダイヤ朝夕マイクロバス（30人）を運行している。
- ・冬季、生徒が乗れない時、地鉄が臨時にバスを増便運行してくれている。
- ・町所有のバスは、町のイベントなどに使うこともあり、スクール専用とすることは難しい。
- ・学童を利用している生徒もあるため、行きだけ利用している生徒も多い。
- ・生徒数は減少している。相ノ木、宮川、生徒が使う路線は、減っていない。5年間同じくらいの利用者数である。
- ・学校統合時は、朝夕同じ時間に運行することとなる。町域を2つに分けて運行するなどの検討が必要である。

※関係者ヒアリング調査（令和5年8月実施）

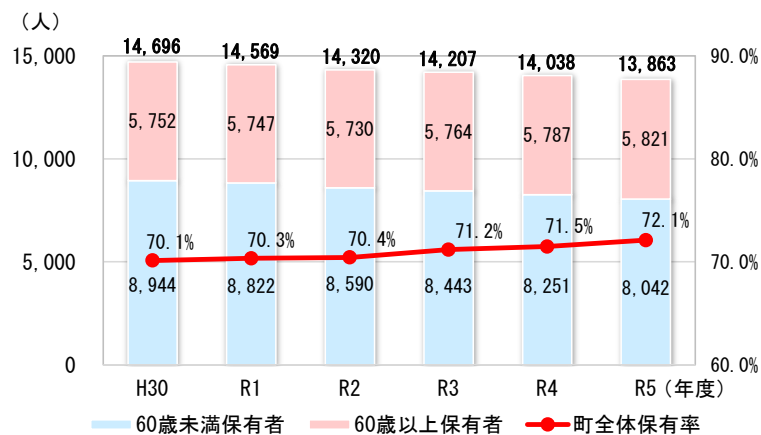
（８）高齢者運転免許保有状況

町内の運転免許保有者数は緩やかに減少しており、令和５年度は 13,863 人である。60 歳以上の免許保有者数は増加しており、令和５年度に 5,821 人、平成 30 年度比 1.2%（69 人）の増加となっている。

町全体の運転免許保有率は緩やかに増加しており、令和５年度に 72.1%で、平成 30 年から令和５年に 2.0 ポイント増加している。60 歳以上の免許保有率は令和５年度に 30.3%で平成 30 年から 2.9 ポイント増加している。

高齢者運転免許自主返納者数は、令和２年度から令和３年度に減少し、令和４年度に再度増加している。高齢者運転免許自主返納者における高齢者運転免許自主返納支援事業申請者の割合は、令和４年は約 9 割を占め、令和５年は 5 割を占める。

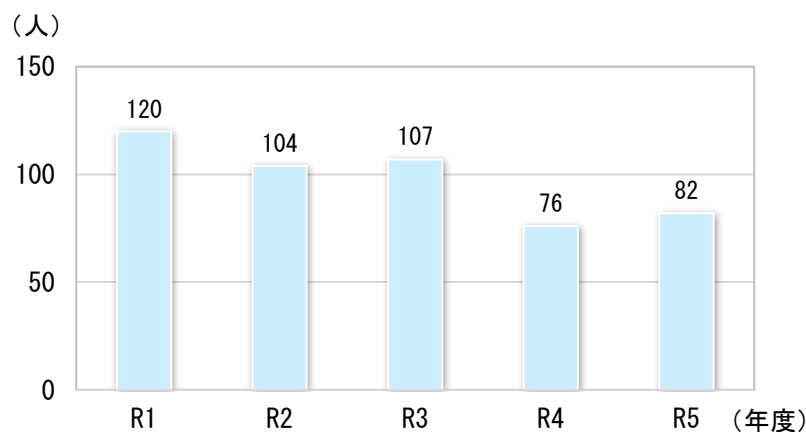
図表 75 運転免許保有者数・保有率



※出典：運転免許保有者数 富山県警察署提供データ（各年１月１日現在）

人口 住民基本台帳人口（各年１月１日現在）

図表 76 高齢者運転免許自主返納者数推移

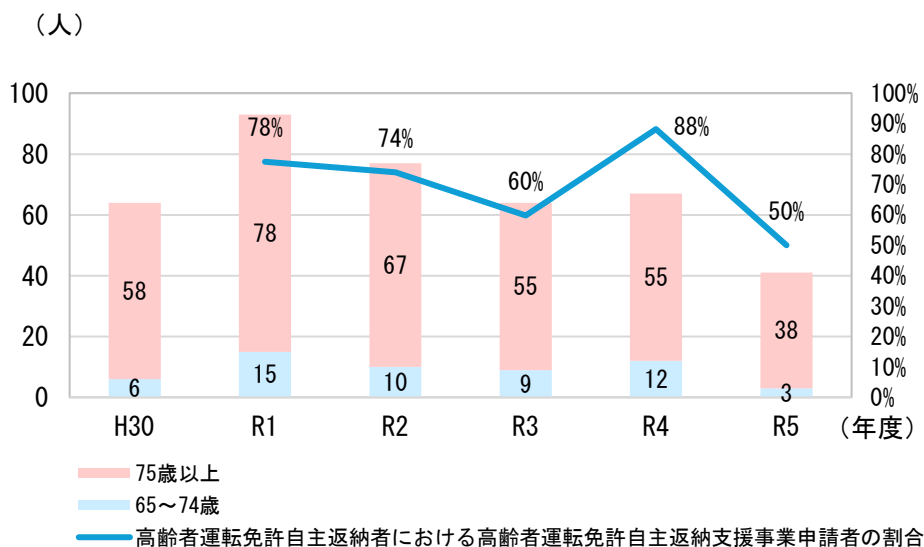


※出典：富山県警察署提供データ

【高齢者運転免許自主返納支援事業の概要】

対象者	・申請時、上市町に住所のある人 ・申請時に満 65 歳以上であり、運転免許証を自主返納し、運転経歴証明書の交付を受けた人
申請方法	1. 運転免許主の返納 ・申請者本人が、富山県公安委員会（上市警察署）に運転免許証の自主返納の手続きを行う。 2. 運転経歴証明証の申請 ・運転免許を返納された警察署で運転経歴証明書の申請を行い、交付を受ける。運転免許の返納と同時に手続きができるが、返納から 5 年を経過すると申請できなくなる。 3. 町営バスの無料乗車証 ・運転経歴証明書のコピーと無料乗車証用写真を添えて、役場町民課に申請。審査後、町民課から交付される。（町営バスの無料乗車券の有効期限は、運転経歴証明書交付日から 5 年後の月末）

図表 77 高齢者運転免許自主返納支援事業申請者推移

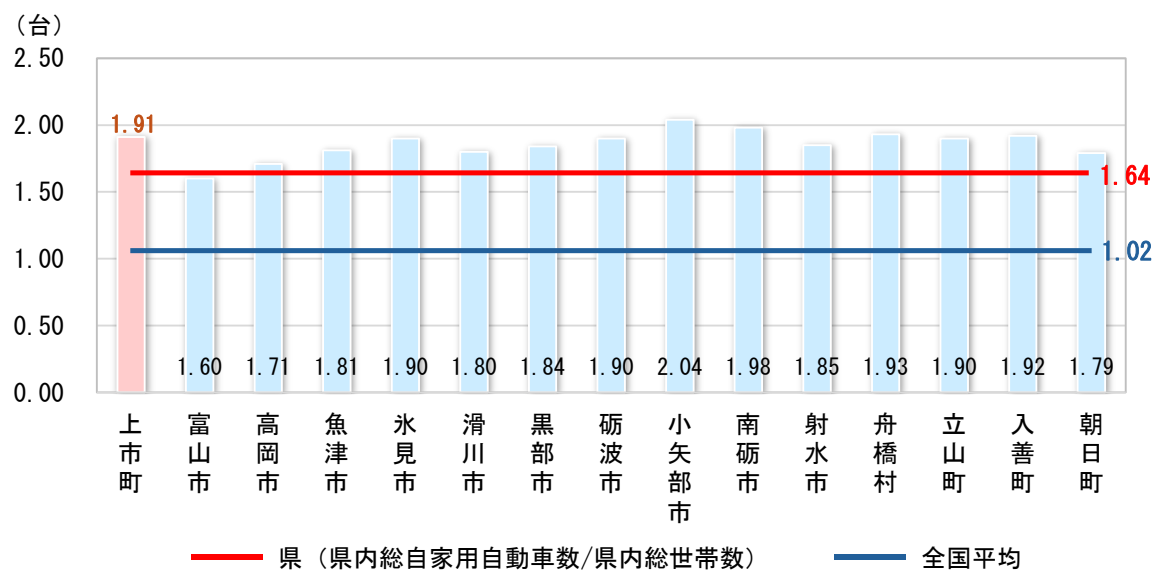


※出典：上市町提供データ

(9) 自動車の利用状況

- ・ 富山県全体の1世帯あたり自家用自動車保有台数は、全国平均と比較し、高い。
- ・ 上市町の1世帯あたり自家用自動車保有台数は、富山県内の他市町村と同等に高い傾向にある。

図表 78 自動車利用状況 (R4 年度)



※出典：運輸支局 HP

（１０）公共交通の乗継ぎ状況

① 富山地鉄本線と町営バスの乗継ぎ状況（平日）

地鉄本線と町営バスの乗継ぎ状況をみると、上り（富山方面）の町営バスから地鉄本線への乗継ぎは、乗継ぎ可能便数は１～１０便である。５０％以上の便で乗り継げる路線は、柿沢・大岩線 ８３％（１０便）、弓庄線 ５６％（５便）である。鉄道本線から町営バスへの乗継ぎは、乗継ぎ可能便数は０～７便、５０％以上の便で乗り継げる路線は、陽南線 １００％（４便）、相ノ木線 ５８％（７便）、南加積線 ５０％（６便）である。

下り（魚津方面）の町営バスから地鉄本線への乗継ぎは、乗継ぎ可能便数は ０～３便、陽南線は ５０％（２便）であり、それ以外の路線は １５分以内に乗り継げる便の割合が ４０％以下である。地鉄本線から町営バスへの乗継ぎは、乗継ぎ可能便数は ２～１０便、全路線で ５０％以上の便で乗り継ぐことができる。

図表 79 富山地鉄本線と町営バスの乗継ぎ可能状況（上市駅・平日）

●上り（富山）								
	項目	柿沢・大岩線	南加積線	宮川線	相ノ木線	弓庄線	白萩線	陽南線※ ²
町営バス → 地鉄 本線	便数	12 便	10 便	9 便	11 便	9 便	4 便	4 便
	乗継ぎ可能※ ¹ (15 分以内)	10 便	3 便	3 便	5 便	5 便	1 便	1 便
	割合	83%	30%	33%	45%	56%	25%	25%
地鉄 本線 → 町営バス	便数	9 便	12 便	10 便	12 便	9 便	4 便	4 便
	乗継ぎ可能※ ¹ (15 分以内)	2 便	6 便	4 便	7 便	2 便	0 便	4 便
	割合	22%	50%	40%	58%	22%	0%	100%
●下り（魚津方面）								
	項目	柿沢・大岩線	南加積線	宮川線	相ノ木線	弓庄線	白萩線	陽南線※ ²
町営バス → 地鉄 本線	便数	12 便	10 便	9 便	11 便	9 便	4 便	4 便
	乗継ぎ可能※ ¹ (15 分以内)	2 便	3 便	1 便	2 便	3 便	0 便	2 便
	割合	17%	30%	11%	18%	33%	0%	50%
地鉄 本線 → 町営バス	便数	9 便	12 便	10 便	12 便	9 便	4 便	4 便
	乗継ぎ可能※ ¹ (15 分以内)	6 便	7 便	5 便	10 便	5 便	2 便	4 便
	割合	67%	58%	50%	83%	56%	50%	100%

※¹：乗継ぎ時間 2 分以上の便を対象とした。

※²：陽南線は月水金のみ運行。

※出典：富山地鉄（株）ホームページ、上市町ホームページ

② 富山地鉄本線と町営バスの乗継ぎ状況（土曜日）

地鉄本線と町営バスの乗継ぎ状況をみると、上り（富山方面）の町営バスから富山地方鉄道本線への乗継ぎは、乗継ぎ可能便数は1～8便である。50%以上の便で乗り継げる路線は、柿沢・大岩線73%（8便）、弓庄線67%（4便）、南加積線50%（5便）である。地鉄本線から町営バスへの乗継ぎは、乗継ぎ可能便数は0～6便、50%以上の便で乗り継げる路線は、宮川線50%（5便）、相ノ木線50%（6便）である。

下り（魚津方面）の町営バスから地鉄本線への乗継ぎは、乗継ぎ可能便数は0～3便、全路線で15分以内に乗り継げる便の割合が40%以下である。地鉄本線から町営バスへの乗継ぎは、乗継ぎ可能便数は2～10便、すべての路線で15分以内に乗り継げる便の割合が50%以上である。

図表 80 富山地鉄本線と町営バスの乗継ぎ可能状況（上市駅・土曜日）

●上り（富山）							
	項目	柿沢・大岩線	南加積線	宮川線	相ノ木線	弓庄線	白萩線
町営バス → 地鉄 本線	便数	11 便	10 便	9 便	11 便	6 便	4 便
	乗継ぎ可能※1 (15分以内)	8 便	5 便	4 便	5 便	4 便	1 便
	割合	73%	50%	44%	45%	67%	25%
地鉄 本線 → 町営バス	便数	9 便	12 便	10 便	12 便	6 便	4 便
	乗継ぎ可能※1 (15分以内)	2 便	3 便	5 便	6 便	1 便	0 便
	割合	22%	25%	50%	50%	17%	0%
●下り（魚津方面）							
	項目	柿沢・大岩線	南加積線	宮川線	相ノ木線	弓庄線	白萩線
町営バス → 地鉄 本線	便数	11 便	10 便	9 便	11 便	6 便	4 便
	乗継ぎ可能※1 (15分以内)	2 便	3 便	1 便	2 便	2 便	0 便
	割合	18%	30%	11%	18%	33%	0%
地鉄 本線 → 町営バス	便数	9 便	12 便	10 便	12 便	6 便	4 便
	乗継ぎ可能※1 (15分以内)	6 便	9 便	5 便	10 便	5 便	2 便
	割合	67%	75%	50%	83%	83%	50%

※1：乗継ぎ時間2分以上の便を対象とした。

※出典：富山地鉄（株）ホームページ、上市町ホームページ

③ 富山地鉄本線と町営バスの乗継ぎ状況（休日）

休日の柿沢・大岩線の地鉄本線と町営バスの乗継ぎ状況をみると、上り（富山方面）の町営バスから富山地方鉄道本線への乗継ぎは、15分以内に乗継ぐことが可能な便数は8便で、80%の便で乗り継ぐことができる。地鉄本線から町営バスへの乗継ぎは、乗継ぎ可能便数は2便、22%の便で乗り継ぐことができる。

下り（魚津方面）の町営バスから地鉄本線への乗継ぎは、15分以内に乗り継ぐことが可能な便数は2便で20%の便で乗り継ぐことができる。地鉄本線から町営バスへの乗継ぎは、乗継ぎ可能便数は6便、67%の便で乗り継ぐことができる。

図表 81 富山地方鉄道本線と町営バスの乗継ぎ可能状況（上市駅・休日）

●上り（富山）		
	項目	柿沢・大岩線
町営バス → 地鉄 本線	便数	10 便
	乗継ぎ可能 ^{※1} (15分以内)	8 便
	割合	80%
地鉄 本線 → 町営バス	便数	9 便
	乗継ぎ可能 ^{※1} (15分以内)	2 便
	割合	22%
●下り（魚津方面）		
	項目	柿沢・大岩線
町営バス → 地鉄 本線	便数	10 便
	乗継ぎ可能 ^{※1} (15分以内)	2 便
	割合	20%
地鉄 本線 → 町営バス	便数	9 便
	乗継ぎ可能 ^{※1} (15分以内)	6 便
	割合	67%

※1：乗継ぎ時間2分以上の便を対象とした。

※出典：富山地鉄（株）ホームページ、上市町ホームページ

【町営バス乗継ぎ】（上市駅・平日）

●上り（富山方面）・上市駅乗継ぎ

町営バス→地鉄本線の乗継ぎ							地鉄 本線 上市駅 (上り)	地鉄本線の乗継ぎ→町営バス						
柿沢・ 大岩線	南加積 線	宮川線	相ノ木 線	弓庄線	白萩線	陽南線		柿沢・ 大岩線	南加積 線	宮川線	相ノ木 線	弓庄線	白萩線	陽南線
上市駅着								上市駅発						
							5:15							
							5:40							
							6:05							
							6:42			7:00 ^(始)				
							7:02		7:15 ^(始)		7:05 ^(始)			
							7:18			7:27				
		7:27					7:34		7:44		7:38	7:42	7:50 ^(始)	
	7:44		7:38	7:42			(急)7:51							
							7:57							
8:08 ^(終)							8:12		8:20 ^(始)					8:15 ^(始)
							8:29	8:40 9:17	8:49		8:35 9:08	9:05		
8:40			8:35				8:42							
	8:49					8:45 ^(終)	8:56							
9:17			9:08	9:05	9:05 ^(終)		9:23		9:50			9:35		
	9:50			9:35			9:56	10:50	10:21	10:35			10:15 ^(始)	10:00 ^(始)
							10:22							
10:50	10:21	10:35				10:35 ^(終)	10:58	11:27		11:05	11:35			
		11:05					11:22							
11:27			11:35		11:30 ^(終)		11:56	12:08 12:45		12:35	12:08		12:45 ^(始)	
12:08			12:08				12:22							
12:45		12:35					12:56		13:05 13:36	13:05		13:20 13:50		13:00 ^(始)
	13:05	13:05					13:22							
	13:36			13:20 13:50		13:35 ^(終)	13:56	14:40		14:50	14:05 14:38			
			14:05		14:00 ^(終)		14:22							
14:40		14:50	14:38				14:55	15:17	15:55	15:20		15:15 15:45 16:10	16:00 ^(始)	15:00 ^(始)
15:17		15:20		15:15			15:22							
	15:55			15:45		15:35 ^(終)	16:03							
				16:10			16:18		16:26		16:20	16:40		
16:41 ^(終)	16:26		16:20	16:40			16:46				16:53			
			16:53				17:02							
					17:15 ^(終)		17:17	17:43	17:40	17:35	17:37			
							17:35							
17:43	17:40	17:35	17:37				18:00		18:09	18:05	18:10			
18:17 ^(終)	18:09	18:05	18:10				18:30							
							18:43							
							19:18							
							20:06							
							20:39							
							21:19							
							21:50							
							22:16							

※ ：町営バスから地鉄本線への乗継ぎが 15 分以内、 ：地鉄本線から町営バスへの乗継ぎが 15 分以内

※地鉄本線上市駅時刻下線：始発

【町営バス乗継ぎ】（上市駅・平日）

●下り（魚津方面）・上市駅乗継ぎ

町営バス→地鉄本線の乗継ぎ							地鉄 本線 上市駅 (下り)	地鉄本線の乗継ぎ→町営バス						
柿沢・ 大岩線	南加積 線	宮川線	相ノ木 線	弓庄線	白萩線	陽南線		柿沢・ 大岩線	南加積 線	宮川線	相ノ木 線	弓庄線	白萩線	陽南線
上市駅着								上市駅発						
							5:36							
							6:07							
							6:22							
							6:44			7:00 ^(始)				
							7:03		7:15 ^(始)		7:05 ^(始)			
							7:20			7:27				
							7:33 ^(止)		7:44		7:38	7:42	7:50 ^(始)	
	7:44	7:27	7:38	7:42			7:52							
							8:11 ^(止)		8:20 ^(始)					8:15 ^(始)
							8:29 ^(止)	8:40	8:49		8:35			
8:08 ^(終)	8:49		8:35			8:45 ^(終)	8:57	9:17			9:08	9:05		
8:40												9:35		
							9:37 ^(止)		9:50					
9:17	9:50		9:08	9:05	9:05 ^(終)		9:57		10:21	10:35			10:15 ^(始)	10:00 ^(始)
							10:37 ^(止)	10:50						
10:50	10:21	10:35				10:35 ^(終)	11:00	11:27		11:05	11:35			
							11:36 ^(止)							
11:27		11:05	11:35		11:30 ^(終)		11:58	12:08		12:35	12:08			
							12:36 ^(止)	12:45					12:45 ^(始)	
12:08		12:35	12:08				12:57		13:05	13:05		13:20		13:00 ^(始)
12:45							13:36 ^(止)		13:36			13:50		
	13:05	13:05		13:20		13:35 ^(終)	13:57				14:05			
	13:36			13:50										
							14:36 ^(止)	14:40		14:50	14:38			
14:40		14:50	14:05		14:00 ^(終)		14:57	15:17		15:20		15:15		15:00 ^(始)
			14:38											
15:17		15:20		15:15		15:35 ^(終)	15:37		15:55			15:45		
							15:57 ^(止)				16:20	16:10	16:00 ^(始)	
	15:55			15:45			16:20		16:26					
				16:10										
							16:38 ^(止)				16:53	16:40		
16:41 ^(終)	16:26		16:20	16:40			17:03							
			16:53											
							17:32 ^(止)	17:43	17:40	17:35	17:37			
										18:05				
17:43	17:40	17:35	17:37		17:15 ^(終)		18:04		18:09		18:10			
							18:22 ^(止)							
18:17 ^(終)	18:09	18:05	18:10				18:45							
							19:12							
							19:36							
							20:06 ^(止)							
							20:40							
							21:08 ^(止)							
							21:47							
							22:16 ^(止)							
							22:57							
							23:56 ^(止)							

※ ：町営バスから地鉄本線への乗継ぎが15分以内、：地鉄本線から町営バスへの乗継ぎが15分以内

【町営バス乗継ぎ】（上市駅・土曜日）

●上り（富山方面）・上市駅乗継ぎ

町営バス→地鉄本線の乗継ぎ						地鉄 本線 上市駅 (上り)	地鉄本線の乗継ぎ→町営バス					
柿沢・ 大岩線	南加積 線	宮川線	相ノ木 線	弓庄線	白萩線		柿沢・ 大岩線	南加積 線	宮川線	相ノ木 線	弓庄線	白萩線
上市駅着							上市駅発					
						5:15						
						5:40						
						6:05						
						6:42		7:15 ^(始)	7:00 ^(始)	7:05 ^(始)		
						7:04						
						7:18		7:44	7:27	7:38		7:50 ^(始)
		7:27				7:36						
	7:44		7:38			7:50						
8:08 ^(終)						(◇)8:11		8:20 ^(始)				
						8:29	8:40	8:49		8:35	9:05	
							9:17			9:08		
8:40			8:35			8:42						
	8:49					8:56						
9:17			9:08	9:05	9:05 ^(終)	9:23		9:50			9:35	
	9:50			9:35		(ア)9:55		10:21				10:15 ^(始)
						10:00						
	10:21					10:23	10:50		10:35			
		10:35				10:43						
10:50						10:58	11:27		11:05	11:35		
		11:05				11:22						
11:27			11:35		11:30 ^(終)	11:56	12:08		12:35	12:08		12:45 ^(始)
							12:45					
12:08			12:08			12:22						
12:45		12:35				12:56		13:05	13:05		13:20	
	13:05	13:05		13:20		13:22		13:36			13:50	
	13:36			13:50		13:56	14:40		14:50	14:05		
										14:38		
			14:05		14:00 ^(終)	14:22						
14:40		14:50	14:38			14:55	15:17	15:55	15:20		16:10	16:00 ^(始)
15:17		15:20				15:22						
	15:55					16:03						
				16:10		16:18		16:26		16:20	16:40	
	16:26		16:20	16:40		16:46				16:53		
			16:53			17:02						
					17:15 ^(終)	17:17	17:43	17:40	17:35	17:37		
						17:35						
17:43	17:40	17:35	17:37			18:01		18:09	18:05	18:10		
18:17 ^(終)	18:09	18:05	18:10			18:30						
						18:43						
						19:14						
						19:45						
						20:06						
						20:39						
						21:19						
						21:50						
						22:16						

※ ：町営バスから地鉄本線への乗継ぎが 15 分以内、 ：地鉄本線から町営バスへの乗継ぎが 15 分以内

※地鉄本線上市駅時刻下線：始発

※地鉄本線上市駅時刻[◇]、[ア]：普通、特急、運転日注意

※町営バスの南加積線、宮川線、相ノ木線は12/1～3/31の土曜日運行を記載（4/1～11/30は第1便運休）

【町営バス乗継ぎ】（上市駅・土曜日）

●下り（魚津方面）・上市駅乗継ぎ

町営バス→地鉄本線の乗継ぎ						地鉄 本線 上市駅 (下り)	地鉄本線の乗継ぎ→町営バス					
柿沢・ 大岩線	南加積 線	宮川線	相ノ木 線	弓庄線	白萩線		柿沢・ 大岩線	南加積 線	宮川線	相ノ木 線	弓庄線	白萩線
上市駅着							上市駅発					
						5:36						
						6:22						
						6:44			7:00 ^(始)			
						7:02 ^(止)		7:15 ^(始)		7:05 ^(始)		
						7:20			7:27			
						7:33 ^(止)		7:44		7:38		7:50 ^(始)
	7:44	7:27	7:38			7:52						
						8:11 ^(止)		8:20 ^(始)				
						8:29 ^(止)	8:40	8:49		8:35		
8:08 ^(終)	8:49		8:35			8:57	9:17			9:08	9:05	
8:40												
						9:37 ^(止)		9:50			9:50	
9:17	9:50		9:08	9:05 9:35	9:05 ^(終)	9:57						10:15 ^(始)
						10:15 ^(止)		10:21	10:35			
						10:38 ^(止)	10:50					
10:50	10:21	10:35				11:00	11:27		11:05	11:35		
						11:36 ^(止)						
11:27		11:05	11:35		11:30 ^(終)	11:58	12:08		12:35	12:08		
						12:36 ^(止)	12:45					12:45 ^(始)
12:08		12:35	12:08			12:57		13:05	13:05		13:20	
12:45							13:36					
						13:36 ^(止)					13:50	
	13:05 13:36	13:05		13:20 13:50		13:57				14:05		
						14:36 ^(止)	14:40		14:50	14:38		
14:40		14:50	14:05 14:38		14:00 ^(終)	14:57	15:17		15:20			
15:17		15:20				15:37		15:55				
						15:57 ^(止)				16:20	16:10	16:00 ^(始)
	15:55			16:10		16:20		16:26				
						16:38 ^(止)				16:53	16:40	
	16:26		16:20 16:53	16:40		17:03						
						17:32 ^(止)	17:43	17:40	17:35 18:05	17:37		
17:43	17:40	17:35	17:37		17:15 ^(終)	18:04		18:09		18:10		
						18:22 ^(止)						
18:17 ^(終)	18:09	18:05	18:10			18:45						
						19:12						
						19:28 ^(止)						
						19:39						
						20:06 ^(止)						
						20:40						
						21:05 ^(止)						
						21:47						
						22:16 ^(止)						
						22:52						
						23:56 ^(止)						

※ ：町営バスから地鉄本線への乗継ぎが 15 分以内、 ：地鉄本線から町営バスへの乗継ぎが 15 分以内

※町営バスの南加積線、宮川線、相ノ木線は 12/1～/31 の土曜日運行を記載（4/1～11/30 は第 1 便運休）

【町営バス乗継ぎ】（上市駅・休日）

●上り（富山方面）・上市駅乗継ぎ

町営バス →地鉄本線の乗継ぎ	地鉄本線 上市駅 (上り)	地鉄本線の乗継ぎ →町営バス
柿沢・大岩線		柿沢・大岩線
上市駅着		上市駅発
	5:15	
	5:40	
	6:05	
	6:42	
	7:04	
	7:18	
	7:36	
	7:50	
	(◇)8:11	
	8:29	8:40
		9:17
8:40	8:42	
	8:56	
9:17	9:23	
	(ア)9:55	
	10:00	
	10:23	10:50
	10:43	
10:50	10:58	11:27
	11:22	
11:27	11:56	12:08
		12:45
12:08	12:22	
12:45	12:56	
	13:22	
	13:56	14:40
	14:22	
14:40	14:55	15:17
15:17	15:22	
	16:03	
	16:18	
	16:46	
	17:02	
	17:17	17:43
	17:35	
17:43	18:01	
18:17(終)	18:30	
	18:43	
	19:14	
	19:45	
	20:06	
	20:39	
	21:19	
	21:50	
	22:16	

※ ：町営バスから地鉄本線への乗継ぎが 15 分以内、 ：地鉄本線から町営バスへの乗継ぎが 15 分以内

※地鉄本線上市駅時刻下線：始発

※地鉄本線上市駅時刻[◇]、[ア]：普通、特急、運転日注意

【町営バス乗継ぎ】（上市駅・休日）

●下り（魚津方面）・上市駅乗継ぎ

町営バス →地鉄本線の乗継ぎ	地鉄本線 上市駅 (下り)	地鉄本線の乗継ぎ →町営バス
柿沢・大岩線		柿沢・大岩線
上市駅着		上市駅発
	5:36	
	6:22	
	6:44	
	7:02 ^(止)	
	7:20	
	7:33 ^(止)	
	7:52	
	8:11 ^(止)	
	8:29 ^(止)	8:40
8:40	8:57	9:17
	9:37 ^(止)	
9:17	9:57	
	10:15 ^(止)	
	10:38 ^(止)	10:50
10:50	11:00	11:27
	11:36 ^(止)	
11:27	11:58	12:08
	12:36 ^(止)	12:45
12:08	12:57	
12:45		
	13:36 ^(止)	
	13:57	
	14:36 ^(止)	14:40
14:40	14:57	15:17
15:17	15:37	
	15:57 ^(止)	
	16:20	
	16:38 ^(止)	
	17:03	
	17:32 ^(止)	17:43
17:43	18:04	
	18:22 ^(止)	
18:17 ^(終)	18:45	
	19:12	
	19:28 ^(止)	
	19:39	
	20:06 ^(止)	
	20:40	
	21:05 ^(止)	
	21:47	
	22:16 ^(止)	
	22:52	
	23:56 ^(止)	

※ : 町営バスから地鉄本線への乗継ぎが 15 分以内、 : 地鉄本線から町営バスへの乗継ぎが 15 分以内

（１１）地域公共交通にかかる町負担費用

① 町営バス、予約のりあいバスにかかる町負担額

町営バス、予約のりあいバスにかかる町負担額は、概ね年間 30,000 千円程度である。町負担額は、令和元年から増加傾向にある。運賃収入は、令和２年から令和４年まで増加している。収支率は、令和元年（10.1%）から令和２年と令和３年は10.3%、令和４年は微増し、11.4%となっている。

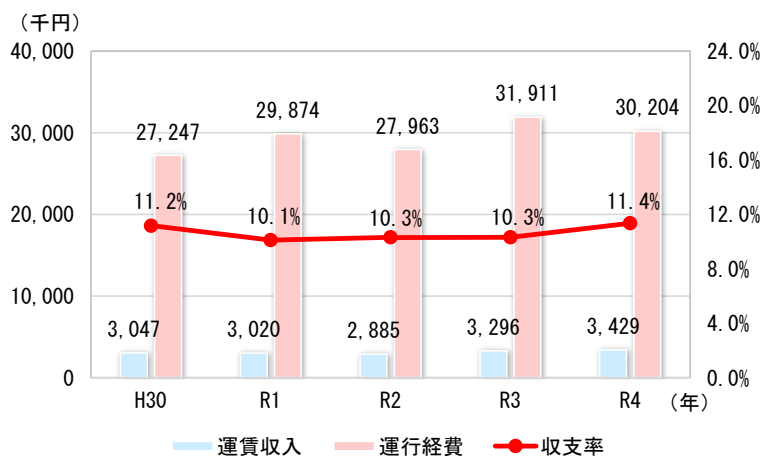
図表 82 地域公共交通にかかる町負担額（決算額）推移

（単位：千円）

路線名	H30	R1	R2	R3	R4
柿沢・大岩線	6,009	5,849	5,434	5,986	5,787
南加積線	5,002	6,780	6,185	6,972	6,740
宮川線	4,807	5,294	4,799	5,359	5,181
相ノ木線	1,645	3,623	3,824	4,861	4,697
弓庄線	1,171	2,065	1,864	2,083	2,013
白萩線（予約のりあい）	8,612	4,261	4,565	4,467	3,951
陽南線（予約のりあい）	－	2,001	1,292	2,184	1,837
計	27,247	29,874	27,963	31,911	30,204

※出典：上市町提供データ（各年 10 月～9 月決算額）

図表 83 町営バスにかかる経費・収入・収支率



※出典：上市町提供データ

② 町営バス、予約のりあいバスの路線別の運行経費・収入・収支率

令和4年の路線別の収支率は、南加積線が最も高く 18.2%、次いで相ノ木線 14.1%、宮川線 11.5%である。予約のりあいバスは、2%以下と低い。令和2年と比較した令和4年の収支率が上昇している路線は、柿沢・大岩線（1.2 ポイント上昇）、南加積線（2.5 ポイント上昇）、相ノ木線（2.3 ポイント上昇）、弓庄線（2.5 ポイント上昇）、陽南線（0.1 ポイント上昇）である。収支率が減少しているのは、宮川線（2.1 ポイント減少）、白萩線（0.7 ポイント減少）である。

令和4年の乗客1人に対する町の財政負担額は、南加積線（561 円）が最も安く、次いで相ノ木線（699 円）、柿沢・大岩線（885 円）である。白萩線（4,411 円）、陽南線（12,493 円）は千円以上である。

図表 84 町営バス路線別にかかる経費・収入・収支率・乗客1人に対する町の財政負担額

	運行経費（千円）			収入（千円）			収支率（%）			R4 乗客1人に対する町の財政負担額
	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	
柿沢・大岩線	5,434	5,986	5,787	548	628	653	10.1	10.5	11.3	885 円
南加積線	6,185	6,972	6,740	973	1,187	1,227	15.7	17.0	18.2	561 円
宮川線	4,799	5,359	5,181	650	545	595	13.6	10.2	11.5	914 円
相ノ木線	3,824	4,861	4,697	450	674	660	11.8	13.9	14.1	699 円
弓庄線	1,864	2,083	2,013	160	166	224	8.6	8.0	11.1	977 円
白萩線	4,565	4,467	3,951	94	80	56	2.1	1.8	1.4	4,411 円
陽南線	1,292	2,184	1,837	8	15	13	0.6	0.7	0.7	12,493 円

※出典：上市町提供データ（各年 10 月～9 月）

V 町民・地鉄本線利用者アンケート調査等結果のまとめ

1 調査概要

(1) 町民アンケート調査概要

調査目的	町民の移動実態、移動に関するニーズの把握
調査対象	区長、民生委員、小中学校保護者、保育園保護者、上市高校生、公民館
調査方法	区長配布システムによる配布・郵送回収と Web による回答 区長、民生委員、公民館：区長配布システムによる配布 小中学校保護者、保育園保護者、上市高校生：QR コードを配布し、Web による回答 上市町役場：窓口において配布、郵送
調査期間	調査票の配布 令和 5 年 8 月 1 日（火） 調査票の回収 令和 5 年 8 月 31 日（木）
配布・回収数	紙の調査票の配布数（区長：118 部、民生委員：60 部、公民館・役場配布：150 部、合計：328 部） 回収数 554 票（調査票＝137 票、Web＝417 票）

(2) 地鉄本線利用者アンケート

調査方法	上市町内駅（相ノ木駅、新相ノ木駅、上市駅、新宮川駅）での調査員による配布、郵送と Web で回収。 上市高校生には紙で QR コードを配布し、Web で回収。
調査期間	配 布：9/14（木）6 時～9 時に上市町内の駅を発着する便 上市高校生は 7/20（木）に QR コードを配布 回 収：9/14（木）～9/28（木）
回収状況	配布：約 442 票（相ノ木駅、新相ノ木駅、上市駅、新宮川駅配布合計） 回収：198 票（郵送：108 票、Web：90 票）

(3) 関係者ヒアリング調査

項目	調査イメージ
調査対象	交通事業者：電車運行事業者（1社）バス運行事業者（1社）、タクシー事業者（2社） 福祉関係者：福祉課・社会福祉協議会 教育関係機関：教育委員会事務局 観光事業者：産業課・観光協会 商業関係者：商工会・商店街振興協同組合等
調査方法	事前にヒアリングシートをファックスやメールなどで送付し、ヒアリング調査時に回答してもらう。ヒアリング調査は訪問により実施。
設問項目	【交通事業者】 運行概要、利用状況（路線別）、乗換状況、改善点、潜在需要、「my route」等を活用した公共交通の利用促進案、等 【福祉関係者】 高齢者の町営バス利用状況、高齢者のライフスタイル、施設利用者の移動手段、施設利用時間、施設独自の輸送手段の有無・運行状況・利用状況、高齢者の移動の困りごと、高齢者の集まり・イベント実施状況、公共交通の問題点、利用促進案、等 【教育関係機関】 小学生、中学生、高校生のスクールバスを含めた町営バスの利用状況・改善点の把握、等 【観光事業者、商業者】 観光客の移動手段・ニーズ、二次交通の確保について、施設利用者の移動手段、施設利用時間、施設独自の輸送手段の有無・運行状況・利用状況、公共交通の問題点、公共交通利用促進策案（施設と公共交通双方の利用が増加するアイデア）、公共交通維持に向けた協力の可能性について、等
調査時期	令和5年7月31日（月）～8月10日（木）

2 調査結果のまとめ

(1) 属性について（町民・地鉄本線利用者）

【町民】

○回答者は 554 人（調査票＝137 票、Web＝417 票）である。

○男性 32.5%、女性 67.5%である。

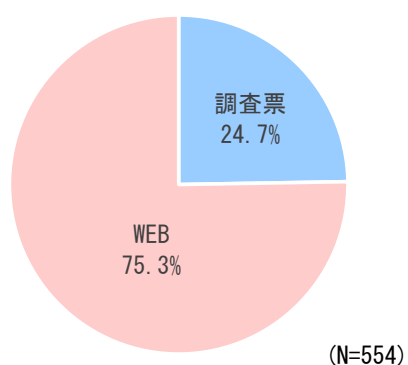
【地鉄本線利用者】

○回答者は 198 人（調査票＝108 票、Web＝90 票）である。

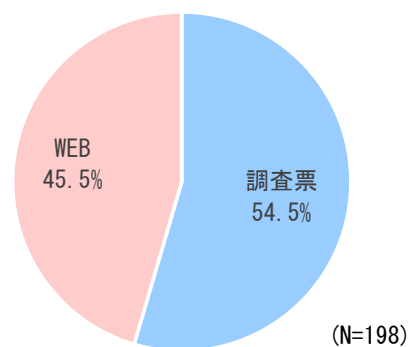
○男性 43.9%、女性 56.1%である。

図表 85 回答者の属性（アンケートの返信方法）

【町民】

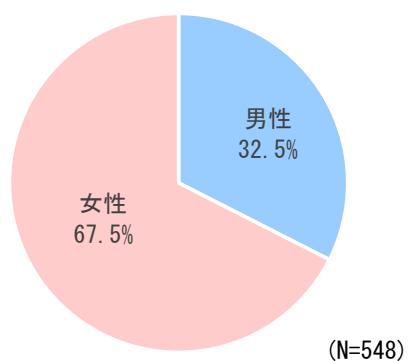


【地鉄本線利用者】

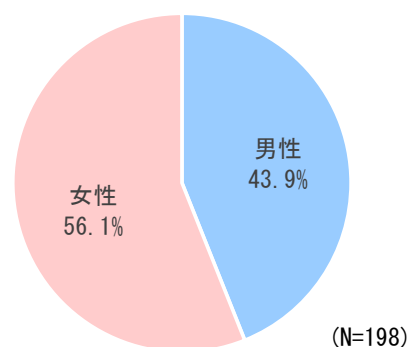


図表 86 回答者の属性（性別）

【町民】



【地鉄本線利用者】



【町民】

○3区分（10代、20～64歳、65歳～）は20～64歳が73.8%、65歳以上が23.6%。

○職業は、「会社員」40.4%、「パート・アルバイト」19.6%、「無職」13.5%。

【地鉄本線利用者】

○3区分（10代、20～64歳、65歳～）は20～64歳が45.7%、10代が42.1%、65歳以上が12.2%。

○職業は、「高校生・高専生」40.6%、「会社員」32.5%、「公務員」12.2%。

図表 87 回答者の属性（年代）

【町民】

	票数	割合
10代	14	2.5%
20～64歳	406	73.8%
65歳以上	130	23.6%

(N=550)

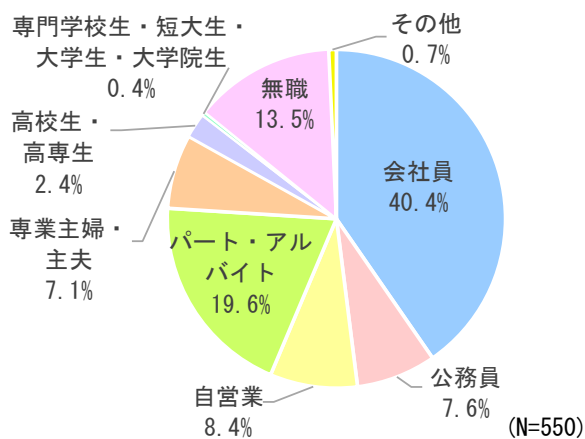
【地鉄本線利用者】

	票数	割合
10代	83	42.1%
20～64歳	90	45.7%
65歳以上	24	12.2%

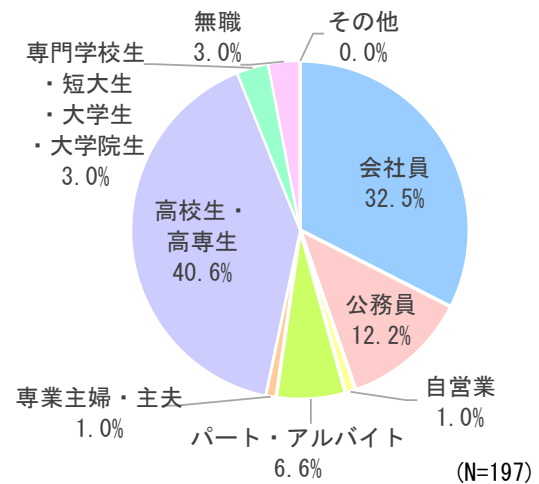
(N=197)

図表 88 回答者の属性（職業）

【町民】



【地鉄本線利用者】



【町民】

○居住地は、上市が 23.9%、宮川 17.1%、相ノ木 15.8%、音杉 15.3%。

○「免許証をもっており、自由に使える車がある」人が 95.4%、「18 歳未満で免許証を持っていない」人が 2.6%、「免許証を持っていない」人が 1.5%である。

○年代別の免許保有状況は、「免許証をもっており、自由に使える車がある」と答えた人が 90%を超えるのは 30 代以上の全ての年代である。

【地鉄本線利用者】

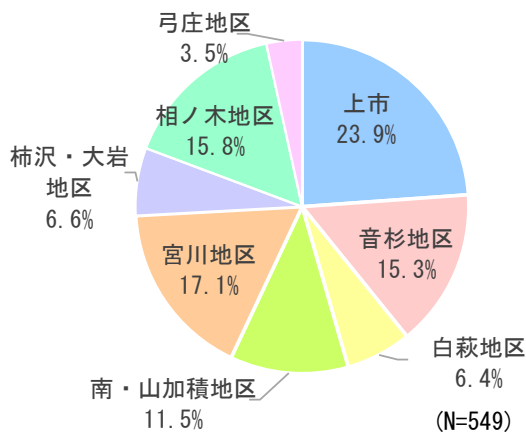
○居住地は、上市が 22.4%、富山市が 14.3%、宮川が 11.7%。

○「免許証をもっており、自由に使える車がある」人 37.9%、「18 歳未満で免許証を持っていない」人 34.8%、「免許証を持っていない」人 17.2%、「免許証はあるが自由に使える車はない」人 10.1%。「免許証を持っていない」人のうち、「返納した」人は 15.2%。

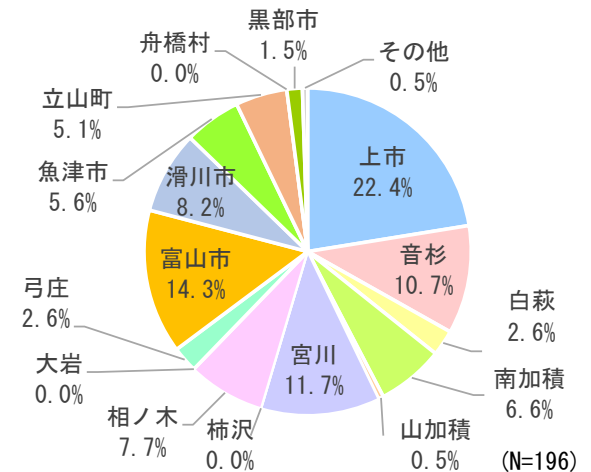
○年代別の免許保有状況は、「免許証をもっており、自由に使える車がある」と答えた人が 20 代～64 歳まで、70～79 歳代で約 7 割である。

図表 89 回答者の属性（居住地）

【町民】

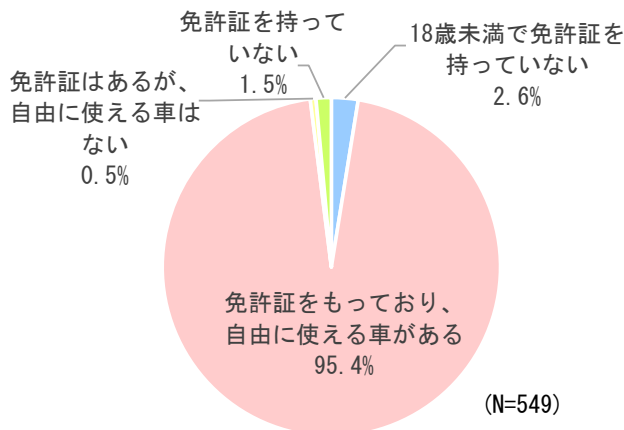


【地鉄本線利用者】

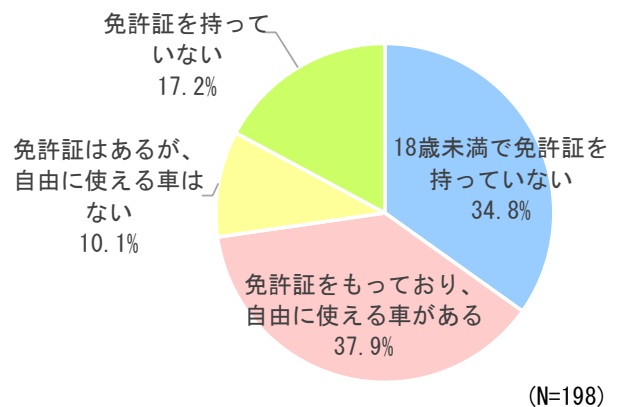


図表 90 回答者の属性（免許有無）

【町民】



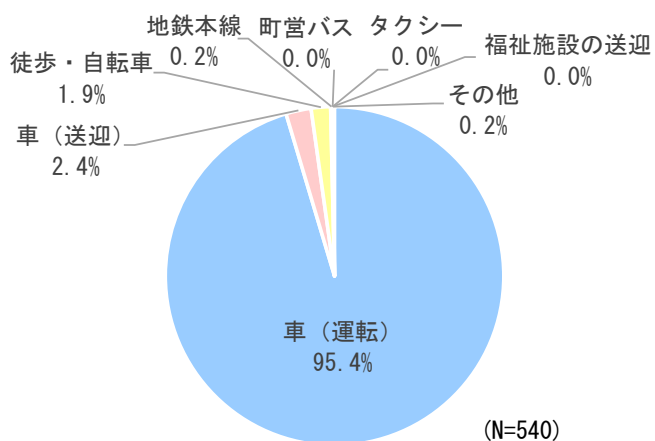
【地鉄本線利用者】



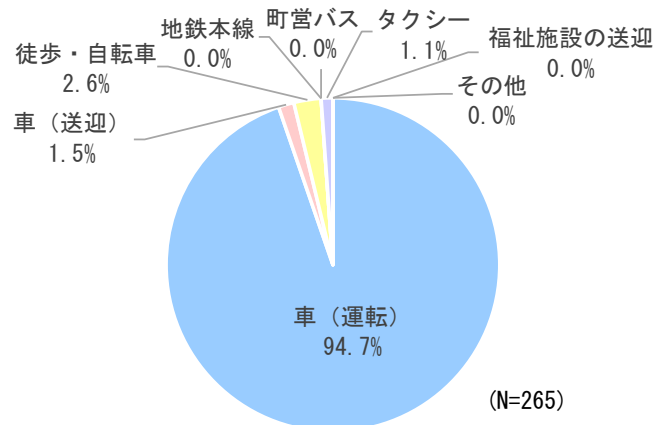
(2) 移動実態（町民）

○買物先は町内が 82.7%、通院先は町内が 66.2%、通勤先は町内が 41.9%である。
 ○買物・通院・通勤の交通手段は、「車（運転）」が90%以上、公共交通の利用者は2%以下。
 65 歳以上でも「車（運転）」が90%以上である。

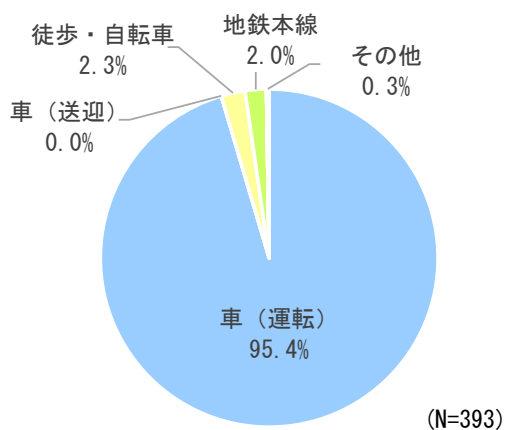
図表 91 買物交通手段



図表 92 通院交通手段



図表 93 通勤交通手段



図表 94 目的別外出状況のまとめ

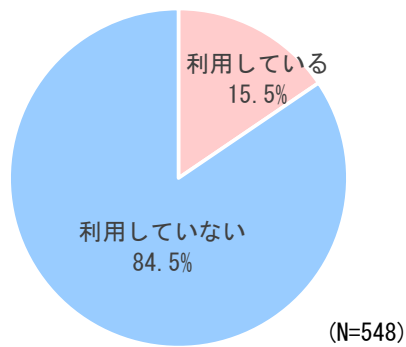
目的	外出有無	外出頻度	町内・町外	交通手段※
買物	—	・「週 3～4 日程度」 42.7%、「週 1～2 日程度」 37.6% ・ 65 歳以上は、「週 3～4 日程度」 40.3%、「週 1～2 日程度」 32.6%	「町内」 82.7% 「町外」 17.3%	・「車（運転）」 95.4%、「公共交通」 0.2%（「地鉄本線」 0.2%） ・ 65 歳以上は「車（運転）」 94.2%
通院	—	・「月 1、2 回」 42.3%、「ほとんど出かけない」 54.8% ・ 65 歳以上は、「月 1、2 回」 58.2%、「週 1 日以上」 7.4%	「町内」 66.2% 「町外」 33.8%	・「車（運転）」 94.7%、「公共交通」 1.1%（「タクシー」 1.1%） ・ 65 歳以上は「車（運転）」 91.8%
通勤	通勤者 72.2% （65 歳以上のうち通勤者 30.9%）	・「週 5 日以上」が 84.1% ・ 65 歳以上は、「週 5 日以上」が 44.7%、「週 3～4 日程度」が 42.1%	「町外」 56.8% 「町内」 41.9%	・「車（運転）」 95.4%、「公共交通」 2.0%（「地鉄本線」 2.0%） ・ 65 歳以上は「車（運転）」 92.1%

※公共交通は、地鉄本線、町営バス、タクシー、福祉施設の送迎

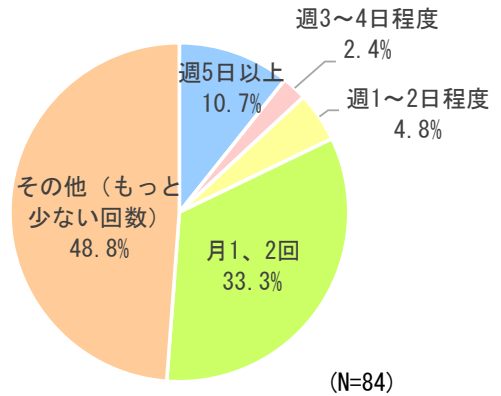
(3) 公共交通の利用状況（町民）

○地鉄本線と町営バスの利用者は、アンケート調査回答者の20%未満である。
 （地鉄本線は「利用している」人が15.5%、町営バスは「利用している」人が3.6%）

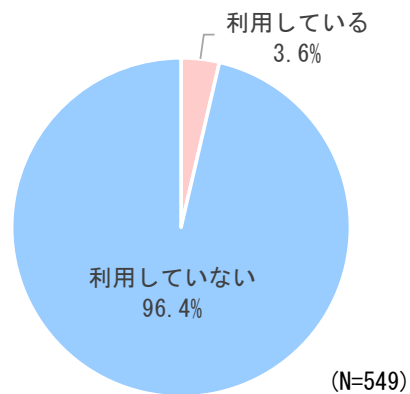
図表 95 地鉄本線の利用状況



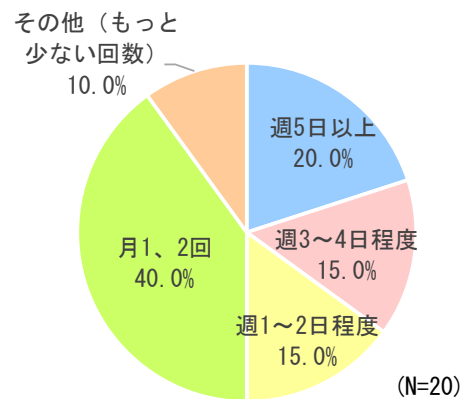
図表 96 地鉄本線の利用頻度



図表 97 町営バスの利用状況



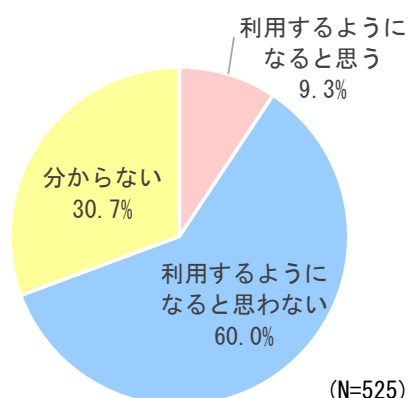
図表 98 町営バスの利用頻度



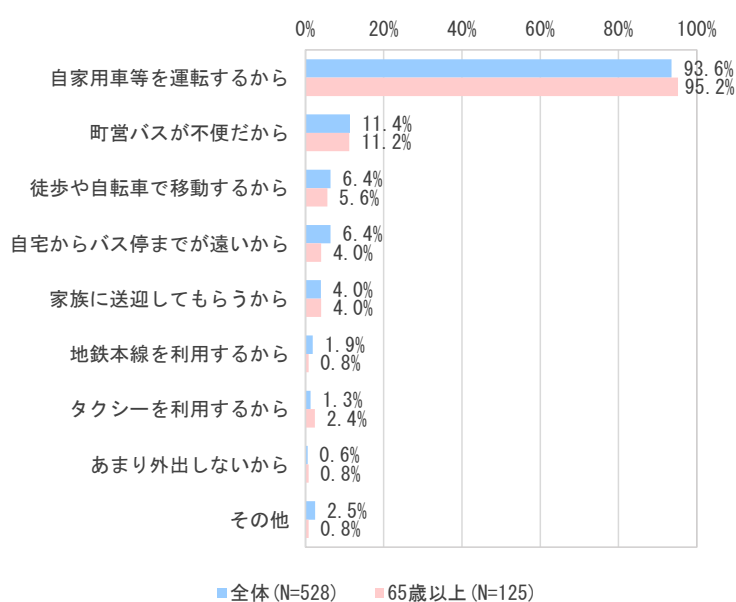
(4) 町営バスの利用意向（町民）

- 普段、町営バスを利用していない人の今後5年間の町営バス利用意向は、「利用するようになると思わない」が60.0%。「利用するようになると思う」は、9.3%である。
- 町営バスを使わない理由は、「自家用車等を運転するから」93.6%、「町営バスが不便だから」11.4%。
- 65歳以上は、「利用するようになると思わない」が37.7%。「利用するようになると思う」人は22.1%である。
- 65歳以上の利用しない理由は、「自家用車等を運転するから」95.2%、「町営バスが不便だから」11.2%。
- 町営バスのラッピングに対する効果は、「乗りたい気持ちに特に変化はなかった」56.9%、「少し乗りたくなった」32.2%、利用回数の変化は「乗る回数が増えた」が1.7%。
- 町営バスのキャッシュレス決済の利用意向については、「キャッシュレス決済を利用したいと思う」が57.7%。

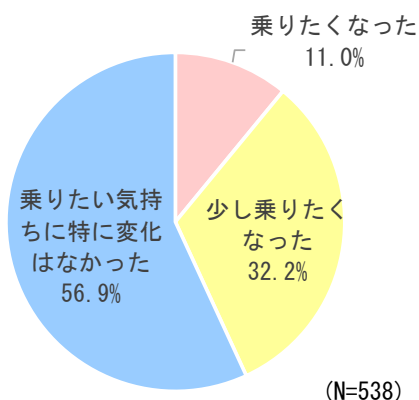
図表 99 町営バスの利用意向



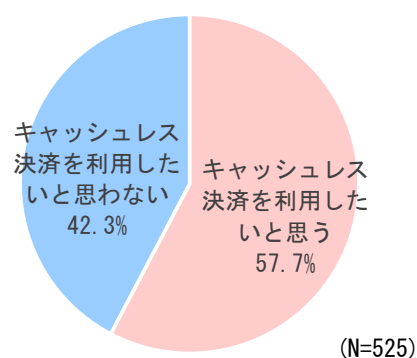
図表 100 町営バスを利用しない理由



図表 101 ラッピングの効果



図表 102 町営バスのキャッシュレス決済利用意向



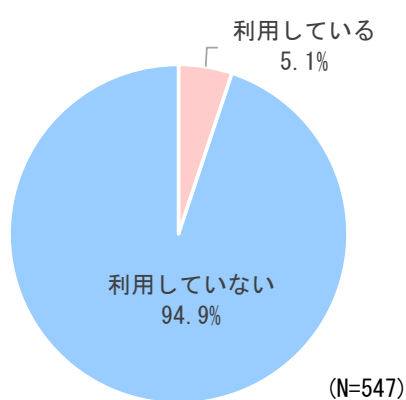
(5) タクシーの利用について（町民）

○普段、タクシーを利用している人は 5.1%、利用していない人は 94.9%である。月 1、2 回の利用が 92.3%を占める。利用目的は 46.4%が「趣味・娯楽」、目的地は 95.8%が町内である。

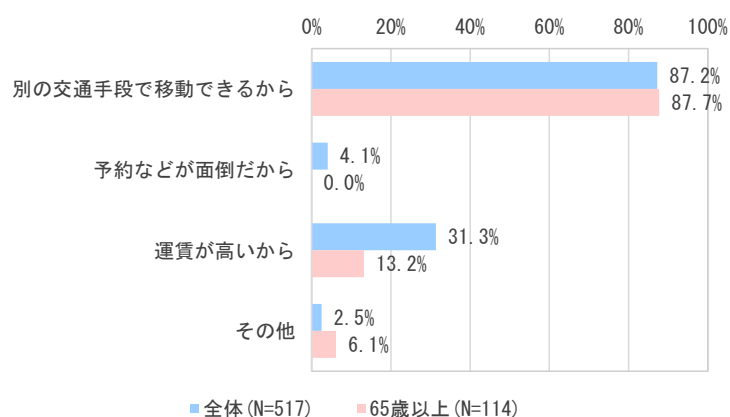
○タクシーを利用しない理由は、「別の交通手段で移動できるから」（87.2%）、「運賃が高いから」（31.3%）。

○タクシーにあったらよいサービスは、「スマホアプリによる配車サービス」（59.7%）、「電子マネー等での支払い」（45.8%）、「車いすでも使いやすい車両の導入」（22.2%）。

図表 103 タクシーの利用状況



図表 104 タクシーを利用しない理由

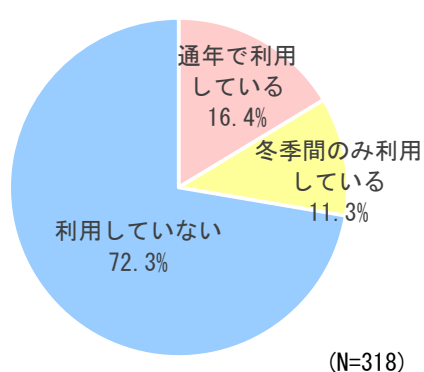


(6) スクールバスの利用について（町民）

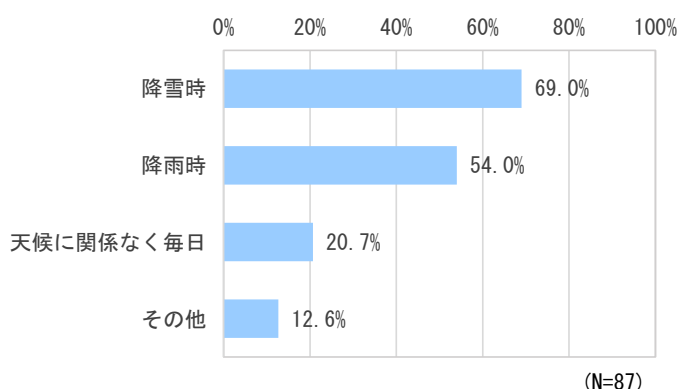
○スクールバスは、「利用していない」人が 72.3%、「通年で利用している」人が 16.4%である。スクールバスの利用頻度は、「週 3～4 日程度」が 27.1%、「毎日」が 25.9%、「週 1 日未満」が 22.4%。スクールバスを利用する際の天候は、「降雪時」が 69.0%、「降雨時」が 54.0%。

○スクールバスを利用しない理由は、「徒歩等で通学できるので利用する必要がない」が 83.5%、「利用したいが、定期券発行の範囲外である」が 8.7%。スクールバスの改善点は、「特になし」が 60.6%「運行時間の変更（夕方）」が 28.0%、「運行時間の変更（朝）」が 16.6%。

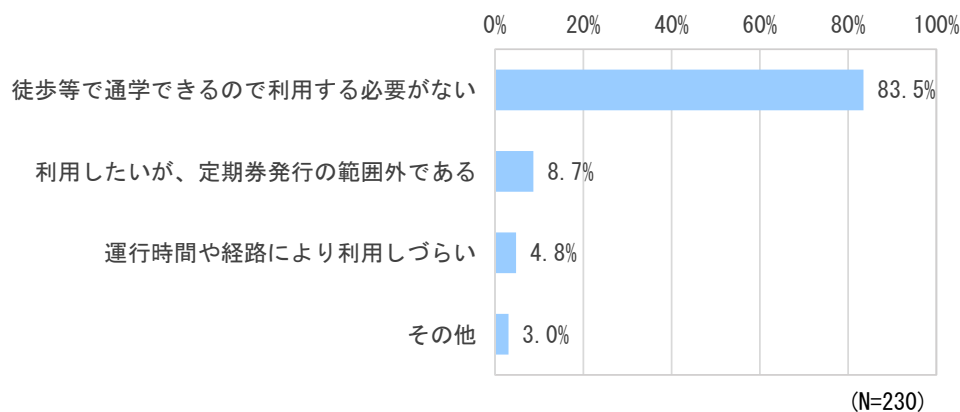
図表 105 スクールバスの利用状況



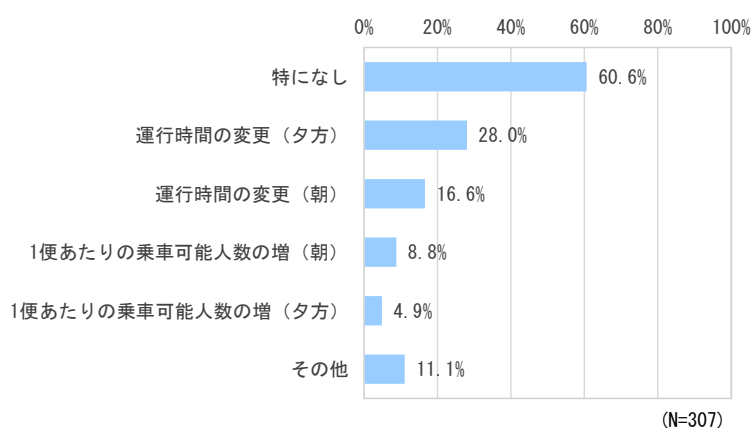
図表 106 スクールバスの利用時の天候



図表 107 スクールバスを利用しない理由



図表 108 スクールバスの改善点

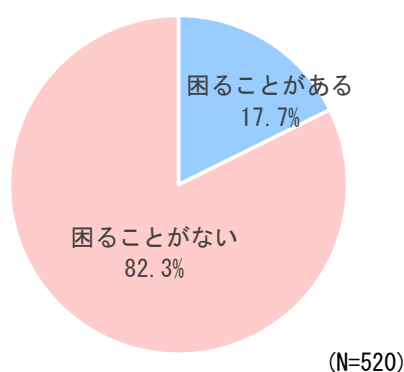


(7) 外出の際に困ること (町民)

① 外出の際に困ること

- アンケート調査回答者の 82.3%が外出の際に「困ることがない」と答えている。
- 10代は 28.6%、20～64 歳は 17.0%、65 歳以上は 19.2%が「困ることがある」と答えている。
- 「困ることがある」と答えた人の割合が約3割程度となったのは、柿沢・大岩で 31.4%、次いで白萩 27.3%である。

図表 109 外出の際、困ることの有無



	困ることがある		困ることがない	
	票数	割合	票数	割合
10代 (N=14)	4	28.6%	10	71.4%
20～64 歳 (N=401)	68	17.0%	333	83.0%
65 歳以上 (N=104)	20	19.2%	84	80.8%

(N=519)

図表 110 外出の際、困ることの有無 (エリア別・地区別)

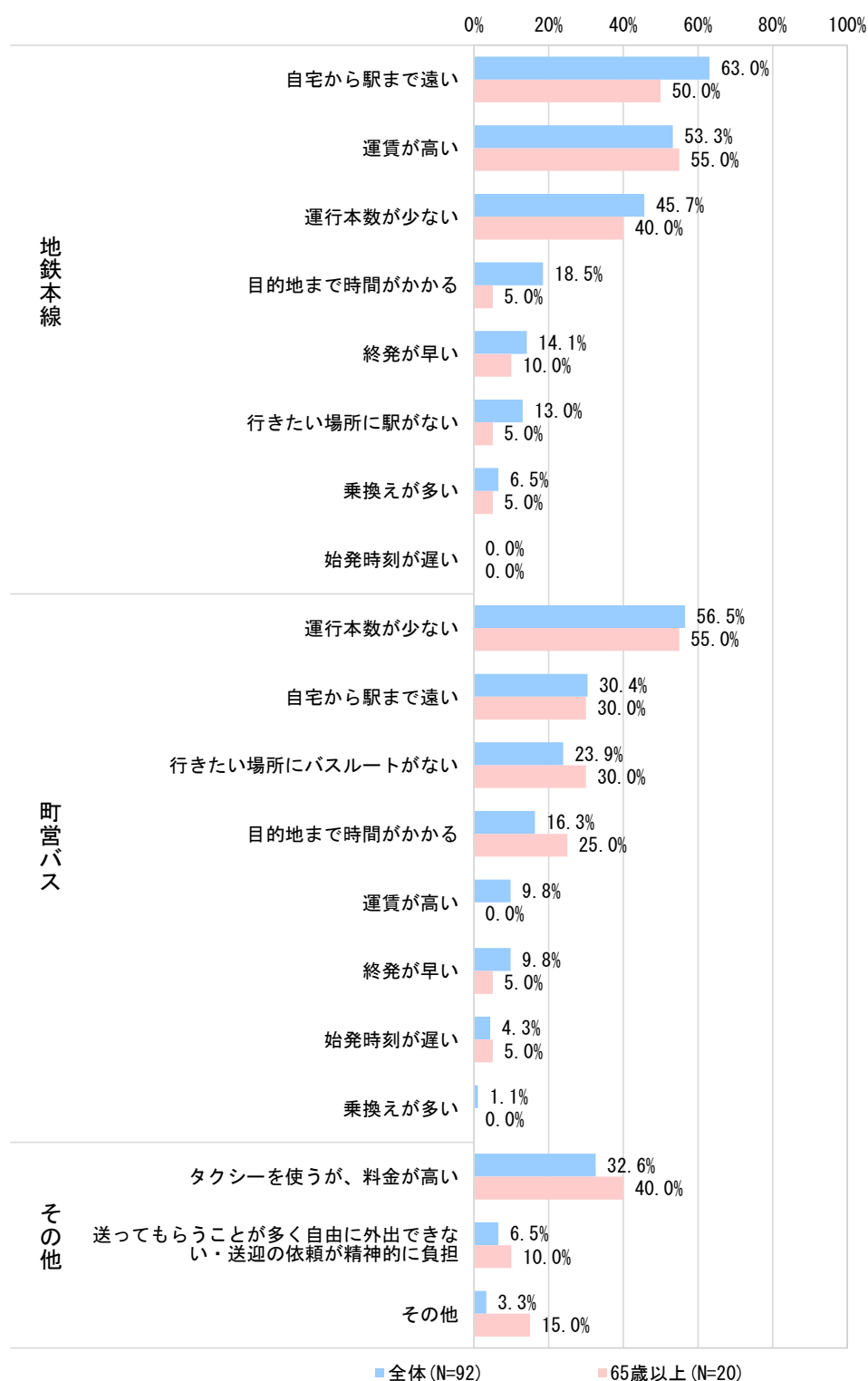
	困ることがある		困ることがない	
	票数	割合	票数	割合
上市 (N=121)	15	12.4%	106	87.6%
音杉地区 (N=77)	12	15.6%	65	84.4%
白萩地区 (N=33)	9	27.3%	24	72.7%
南・山加積地区 (N=60)	7	11.7%	53	88.3%
宮川地区 (N=91)	14	15.4%	77	84.6%
柿沢・大岩地区 (N=35)	11	31.4%	24	68.6%
相ノ木地区 (N=84)	20	23.8%	64	76.2%
弓庄地区 (N=17)	3	17.6%	14	82.4%

(N=518)

② 外出の際に困る理由

○「困ることがある」と答えた人の約半数が、「外出の際に困る」としてあげている理由は、全体では、「地鉄本線：自宅から駅までが遠い」（63.0%）、「町営バス：運行本数が少ない」（56.5%）、「地鉄本線：運賃が高い」（53.3%）、「地鉄本線：運行本数が少ない」（45.7%）。65 歳以上では「地鉄本線：運賃が高い」（55.0%）、「町営バス：バスの本数が少ない」（55.0%）、「地鉄本線：自宅から駅まで遠い」（50.0%）。

図表 111 外出の際、困ることの有無（合計・65 歳以上）



(8) 地域公共交通について（町民・地鉄本線利用者）

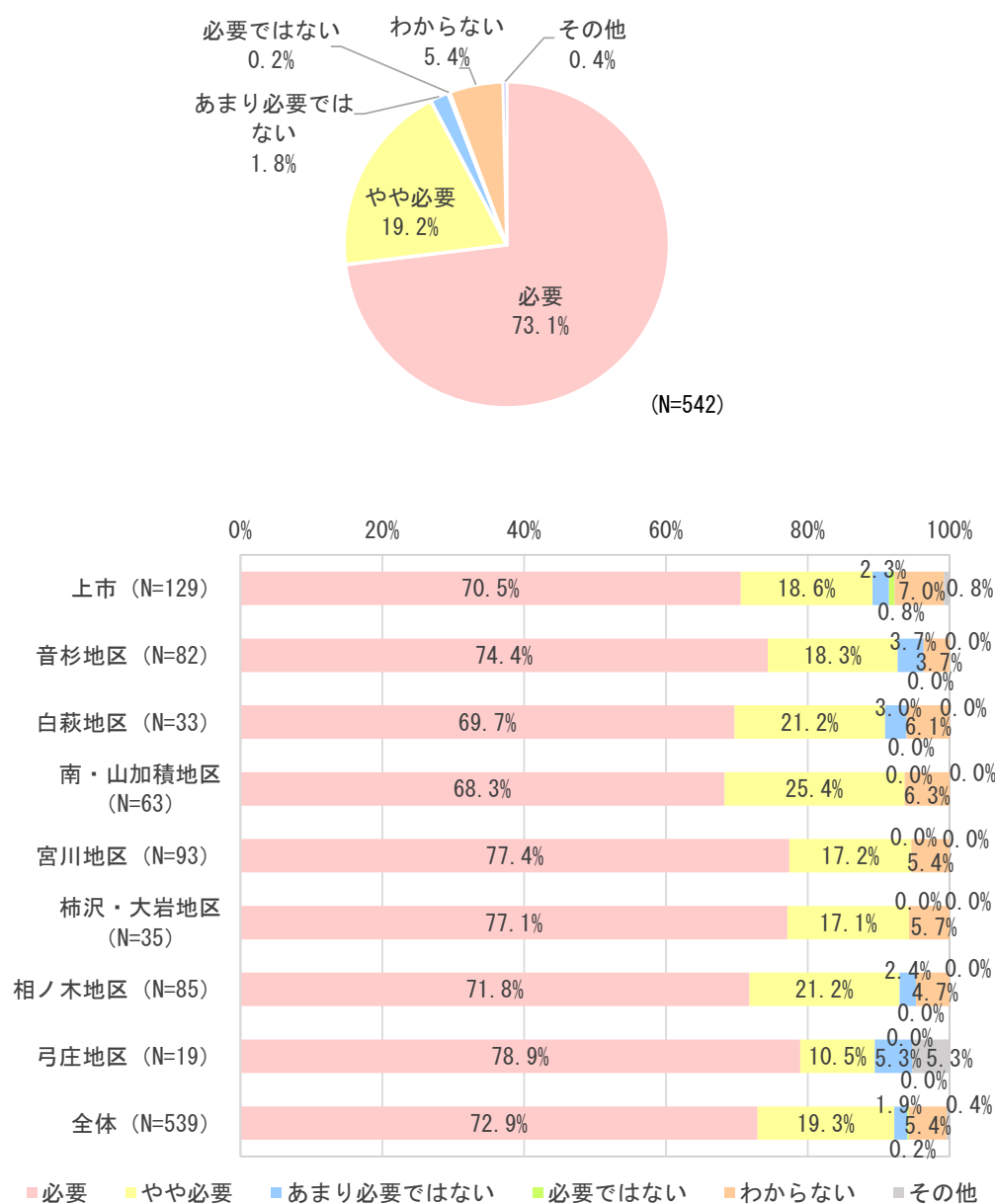
① 地域公共交通維持の必要性

【町民】

○地域公共交通維持の必要性は、「必要」が 73.1%、「やや必要」が 19.2%、「必要ない」と「あまり必要ではない」の合計は 2.0%。

○エリア別の意向は、「必要である」の割合が 70%以上の地区は、弓庄 78.9%。宮川 77.4%、柿沢・大岩が 77.1%、音杉が 74.4%、相ノ木 71.8%、上市 70.5%。

図表 112 町民アンケート・公共交通の維持・充実の必要性（合計・エリア別）

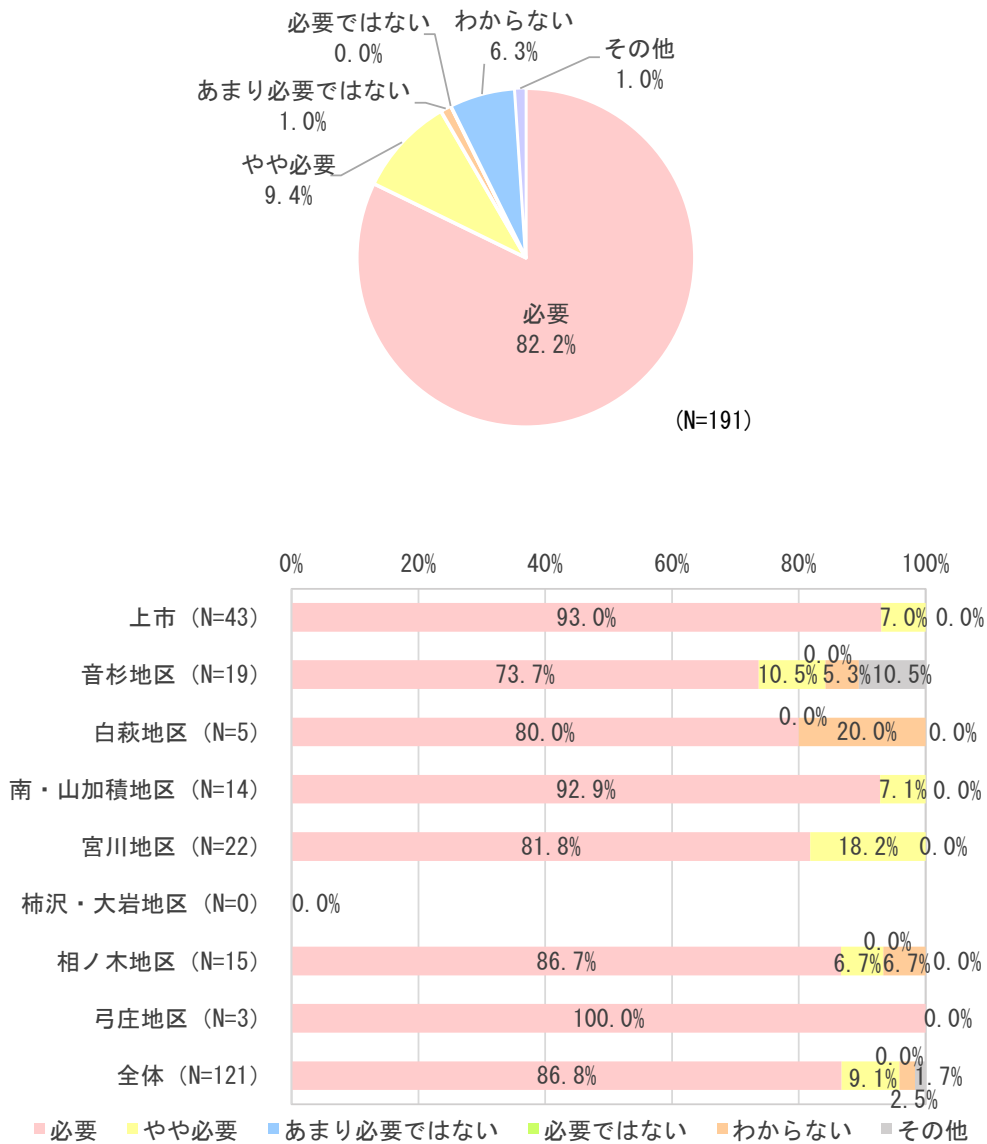


【地鉄本線利用者】

○地域公共交通の必要性は、「必要」が 82.2%。「必要」と「やや必要」の合計は、91.6%、「必要ではない」と「あまり必要ではない」の合計は 1.0%。

○エリア別の意向は、「必要である」の割合が 90%以上の地区は、弓庄 100.0%、上市 93.0%、南・山加積 92.9%。

図表 113 地鉄本線利用者・公共交通の維持・充実の必要性（合計・エリア別）



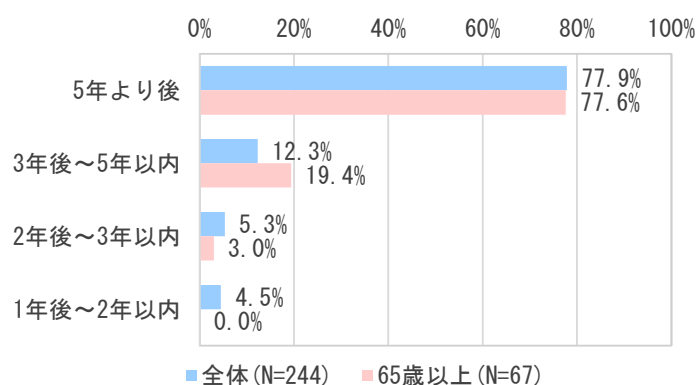
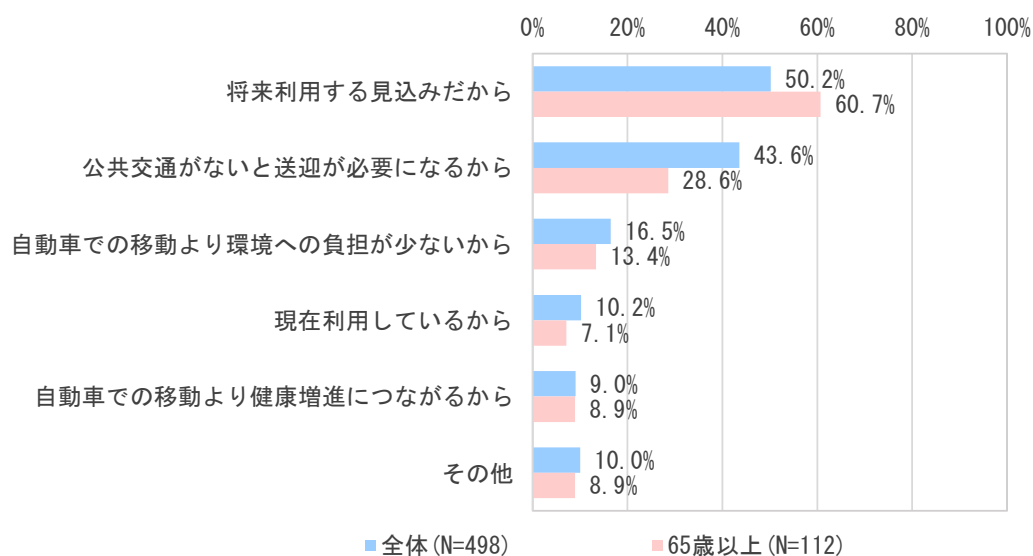
② 公共交通が必要な理由

【町民】

○約5割の人が考える「公共交通が必要な理由」は、将来利用する見込みだから」50.2%、「公共交通がないと送迎が必要になるから」43.6%。65歳以上では、「将来利用する見込みだから」が60.7%である。

○「将来利用する見込みだから」と答えた人の利用時期は、「5年より後」が77.9%。高齢者では「5年より後」77.6%（52人）、「3年後～5年以内」が19.4%。

図表 114 町民・公共交通が必要な理由と利用希望時期（合計・65歳以上）



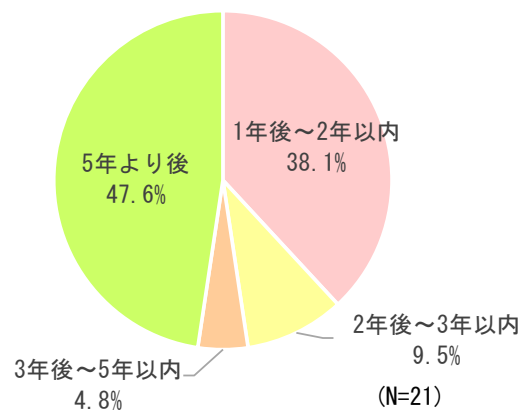
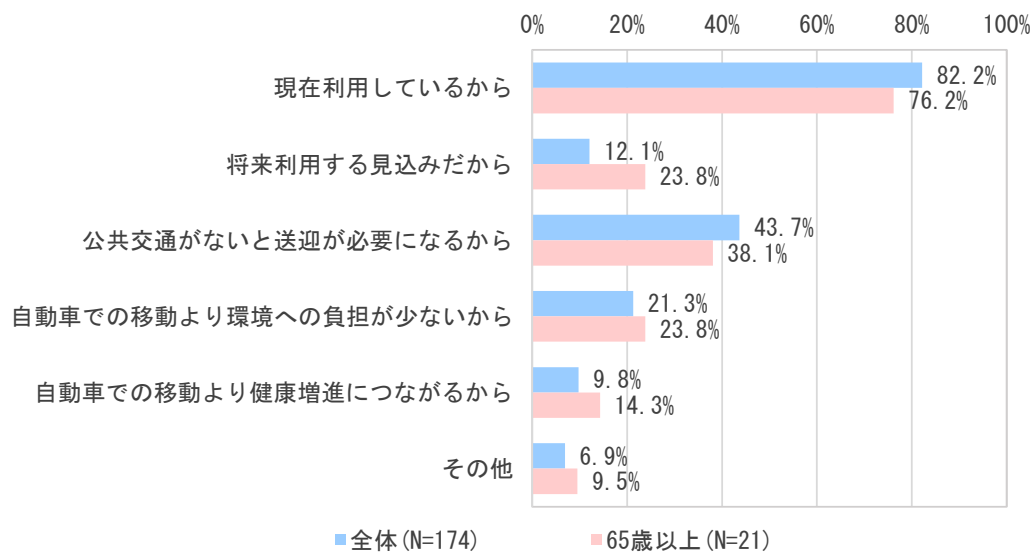
【地鉄本線利用者】

○公共交通が必要な理由は、「現在利用しているから」が 82.2%、「公共交通がないと送迎が必要になるから」43.7%。

○65 歳以上では、「現在利用しているから」が 76.2%、「公共交通がないと送迎が必要になるから」が 38.1%。

○「将来利用する見込みだから」と答えた人利用時期は、「5 年より後」が 47.6%、「1 年後～2 年以内」が 38.1%。

図表 115 地鉄本線利用者・公共交通が必要な理由と利用希望時期



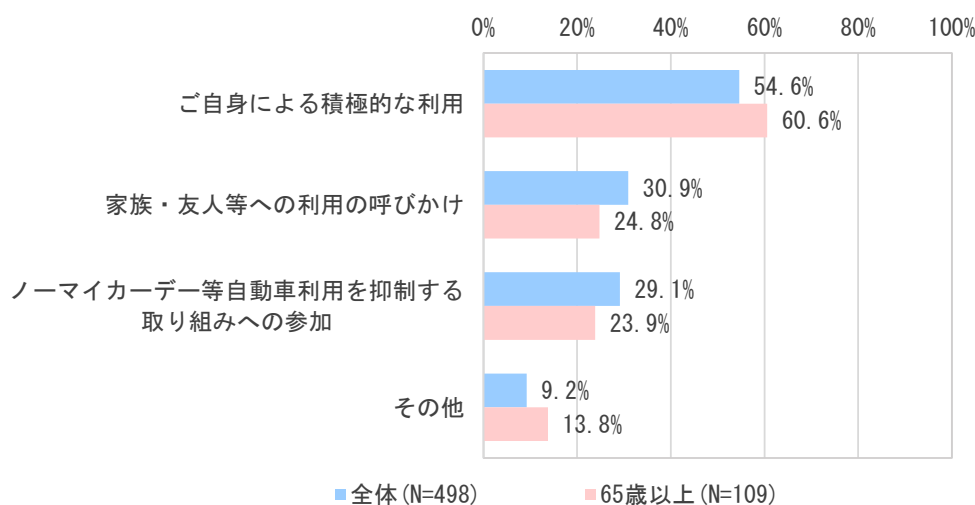
③ 公共交通を維持・充実するためにできる取り組み、イベント参加意向

【町民】

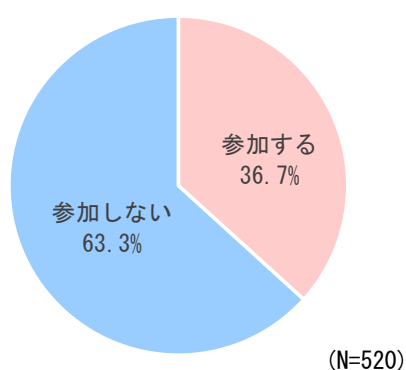
○公共交通を維持・充実するためにできる取り組みは、「ご自身による積極的な利用」が 54.6%、「家族・友人等への利用の呼びかけ」が 30.9%、「ノーマイカーデー等自動車利用を抑制する取り組みへの参加」が 29.1%。65 歳以上では、「ご自身による積極的な利用」が 60.6%、「家族・友人等への利用の呼びかけ」24.8%、「ノーマイカーデー等自動車利用を抑制する取り組みへの参加」が 23.9%。

○公共交通と連携したイベントへの参加意向は、「参加しない」が 63.3%、「参加する」が 36.7%。

図表 116 町民・公共交通を維持・充実させるためにできる取り組み（合計・65 歳以上）



図表 117 町民・公共交通と連携したイベントへの参加意向

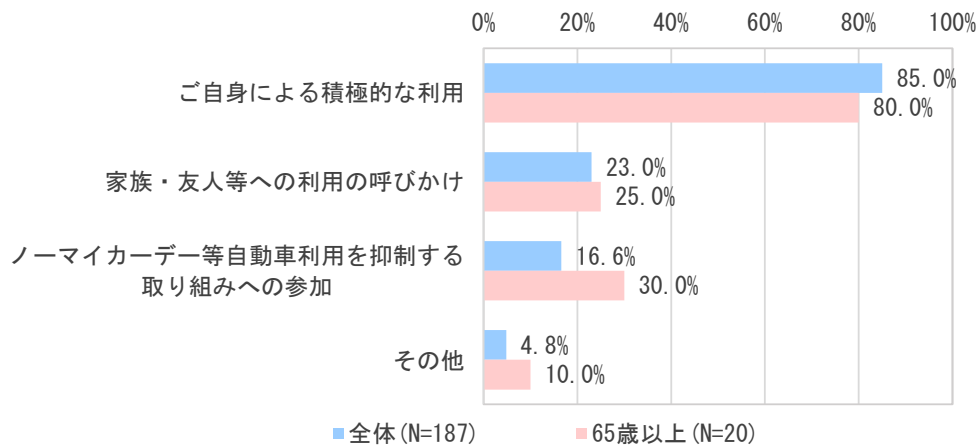


【地鉄本線利用者】

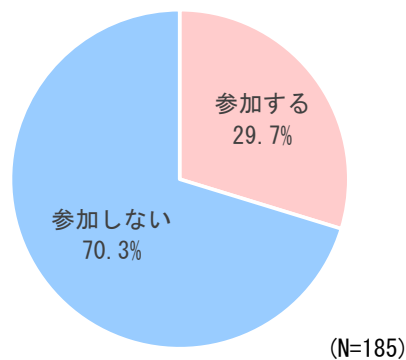
○公共交通を維持・充実するためにできる取り組みは、「ご自身による積極的な利用」が 85.0%、「家族・友人等への利用の呼びかけ」が 23.0%、「ノーマイカーデー等自動車利用を抑制する取り組みへの参加」が 16.6%。65 歳以上では、「ご自身による積極的な利用」が 80.0%、「ノーマイカーデー等自動車利用を抑制する取り組みへの参加」が 30.0%、「家族・友人等への利用の呼びかけ」25.0%。

○公共交通と連携したイベントへの参加意向は、「参加しない」が 70.3%、「参加する」が 29.7%。

図表 118 地鉄本線利用者・公共交通を維持・充実させるためにできる取り組み
(合計・65 歳以上)



図表 119 地鉄本線利用者・公共交通と連携したイベントへの参加意向



④ 上市駅構内にあったらよいもの

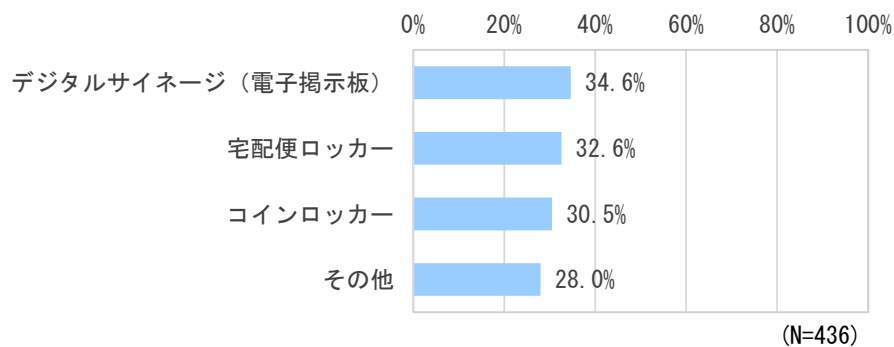
【町民】

○上市駅構内にあったらよいものは、「デジタルサイネージ（電子掲示板）」34.6%、「宅配便ロッカー」32.6%、「コインロッカー」30.5%。

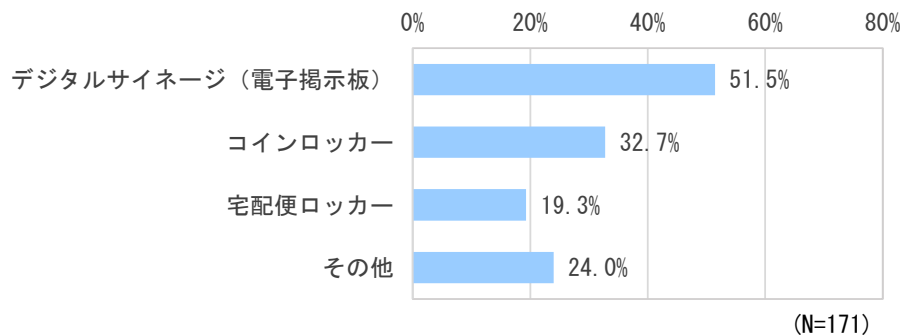
【地鉄本線利用者】

○上市駅構内にあったらよいものは、「デジタルサイネージ（電子掲示板）」51.5%、「コインロッカー」23.7%、「宅配便ロッカー」19.3%。

図表 120 町民・上市駅構内にあったらよいもの



図表 121 地鉄本線利用者・上市駅構内にあったらよいもの



⑤ MaaS アプリ「my route」について

【町民】

○MaaS アプリ「my route」について、「知らない」人が 90.9%、「知っているが利用したことがない」が 7.7%、「利用したことがある」が 1.5%。利用したことがあると答えた 8 人の利用したサービスは、「目的地までの乗換案内」が 5 人、「店舗の特典クーポン」と「公共交通の時刻検索（リアルタイムの運行情報含む）」が同数で 3 人。

【地鉄本線利用者】

○MaaS アプリ「my route」について、「知らない」が 85.3%、「知っているが利用したことがない」が 10.5%、「利用したことがある」が 4.2%。利用したことがあると答えた 8 人の利用したサービスは、「目的地までの乗換案内」が 5 人、「電子チケット（乗り放題きっぷ等）」と「公共交通の時刻検索（リアルタイムの運行情報含む）」が同数で 3 人。

（９）高速バス（新潟便）について（町民・地鉄本線利用者）

【町民】

○上市停留所の利用状況は、「乗降したことがない」が 85.3%、「乗降したことがある」が 14.7%。乗降したことがある人の利用回数は、「２回～５回」が 45.5%、「１回」が 29.9%。利用目的は、「趣味・娯楽」が 48.7%、「旅行」が 47.4%。

○上市停留所の今後の利用意向は、「利用するつもりはない」が 61.1%、「利用したい」が 38.9%。

○利用する際の行先は、「東京方面」85.4%、「関西方面」61.2%、「中京方面」46.1%。

【地鉄本線利用者】

○上市停留所の利用状況については、「乗降したことがない」が 94.2%、「乗降したことがある」が 5.8%。乗降したことがある人の利用回数は、「２回～５回」が 60.0%、次いで「１回」と「10 回以上」が同率でそれぞれ 20.0%。利用目的は、「趣味・娯楽」が 45.5%、「通学」、「旅行」、「その他」がそれぞれ同率で 18.2%。

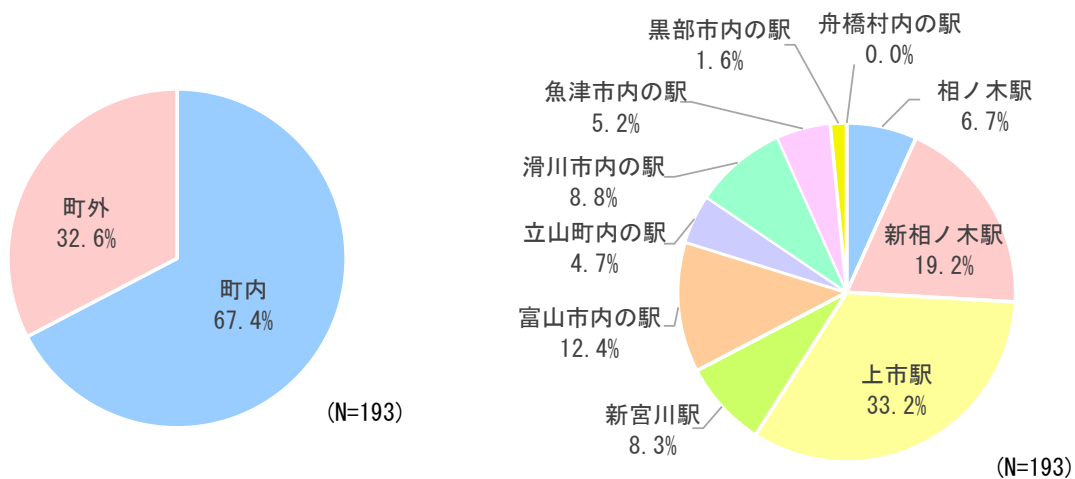
○上市停留所の今後の利用意向は、「利用するつもりはない」が 65.2%、「利用したい」が 34.8%。

○利用する際の行先は、「東京方面」84.6%、「関西方面」52.3%、「中京方面」40.0%。

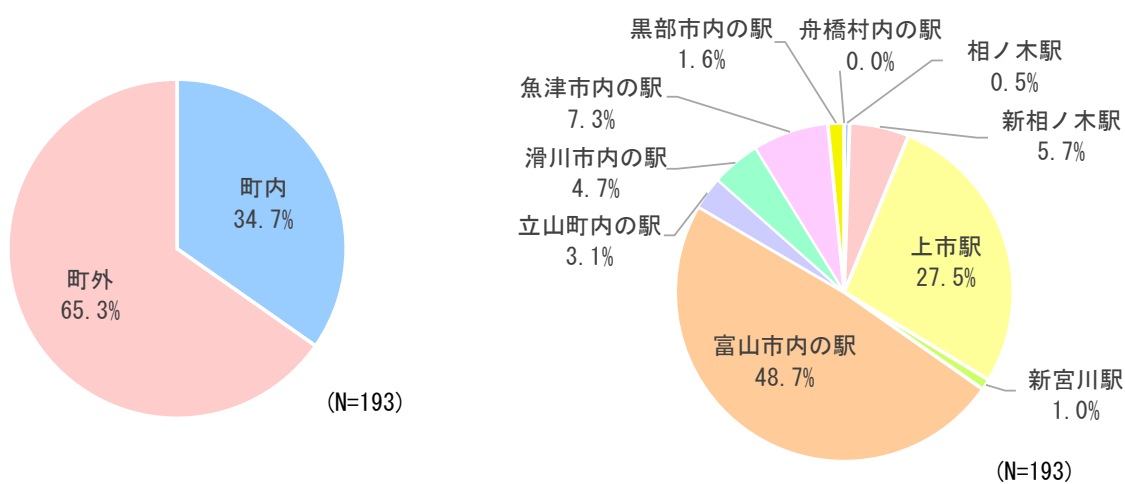
(10) 移動実態（地鉄本線利用者）

○乗車駅は、「町外の駅」が32.6%、「町内の駅」が67.4%。駅別では、「上市駅」が33.2%、次いで「新相ノ木駅」19.2%、「富山市内の駅」12.4%。降車駅は、「町外の駅」が65.3%、「町内の駅」が34.7%。駅別では、「富山市内の駅」が48.7%、「上市駅」が27.5%。

図表 122 乗車駅



図表 123 降車駅



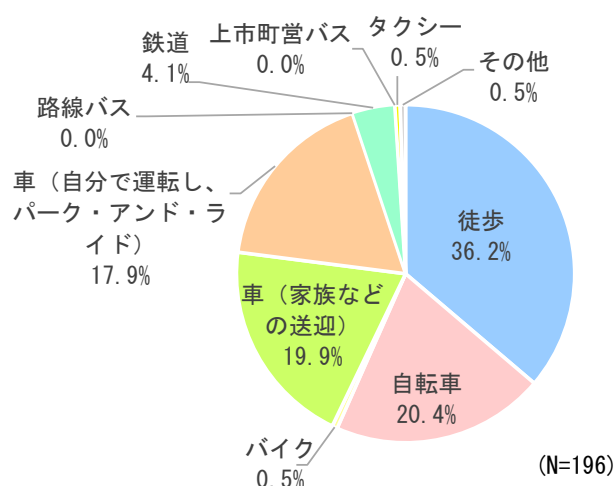
○回答者の自宅から乗車駅までの交通手段は、「徒歩」36.2%、「自転車」20.4%、「車（家族などの送迎）」19.9%、「車（自分で運転し、パーク・アンド・ライド）」17.9%。降車駅から目的地までの交通手段は、「徒歩」82.6%。公共交通への乗り換えは、「路線バス」2.6%、「鉄道」4.1%、「上市町営バス」0.5%、「タクシー」1.0%（2人）。

○外出目的は、「通勤」が最も多く51.3%、「通学」が42.6%。

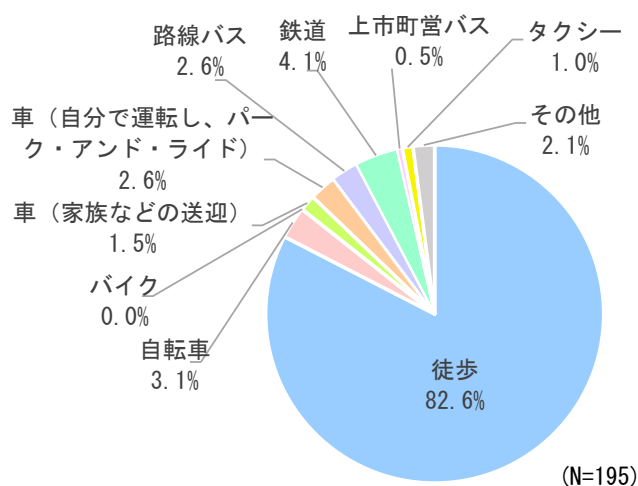
○運賃の支払方法は「ecomyca」が93.9%。

○利用頻度は「週5日以上」84.8%、「週3～4日」7.1%。

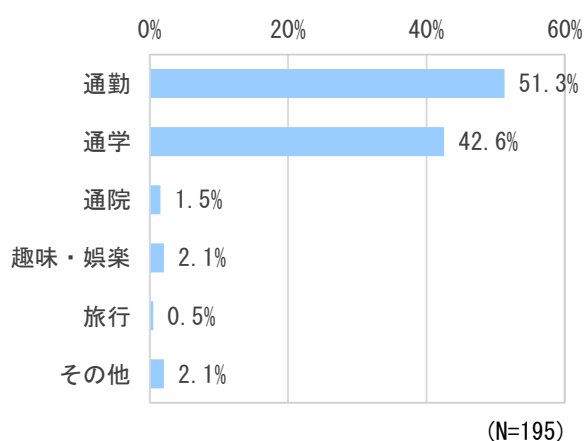
図表 124 自宅から乗車駅までの交通手段



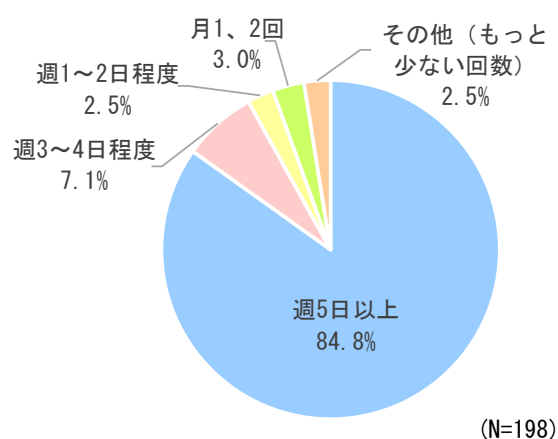
図表 125 降車駅から目的地までの交通手段



図表 126 外出目的



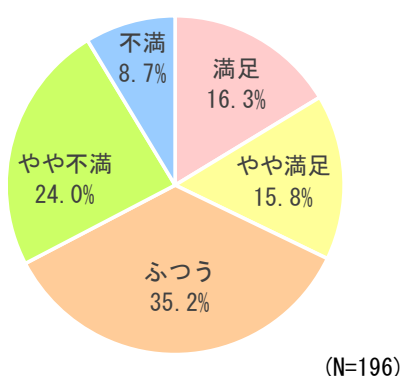
図表 127 地鉄本線の利用頻度



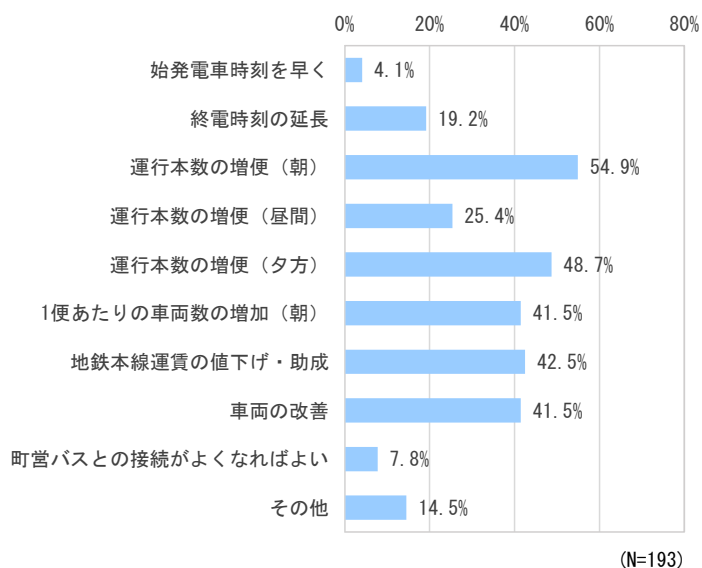
(1 1) 地鉄本線の満足度と改善点（地鉄本線利用者）

- 地鉄本線の満足度は「ふつう」が 35.2%。「満足」と「やや満足」の合計は 32.1%、「不満」と「やや不満」の合計は 32.7%（64 人）。
- 地鉄本線の改善点は「運行本数の増便（朝）」が 54.9%、「運行本数の増便（夕方）」48.7%、「地鉄本線運賃の値下げ・助成」42.5%（82 人）、「1 便あたりの車両数の増加（朝）」と「車両の改善」が同率で 41.5%。
- 上市町内の地鉄本線の改善点は、「わかりやすい情報提供」42.5%、「パーク・アンド・ライド用駐車場の整備」33.6%。

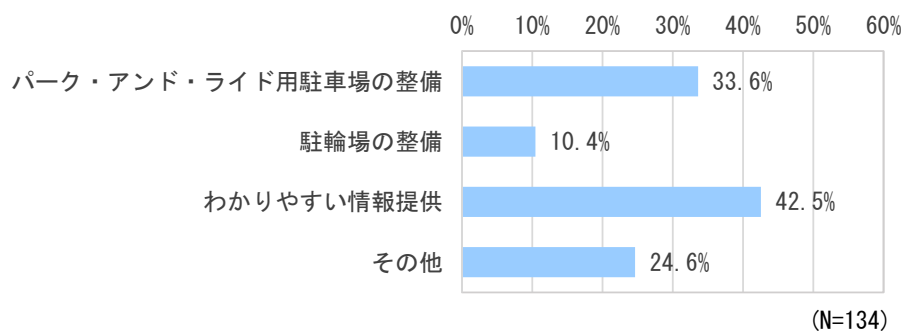
図表 128 地鉄本線の満足度



図表 129 地鉄本線の改善点



図表 130 町内地鉄本線駅の改善点

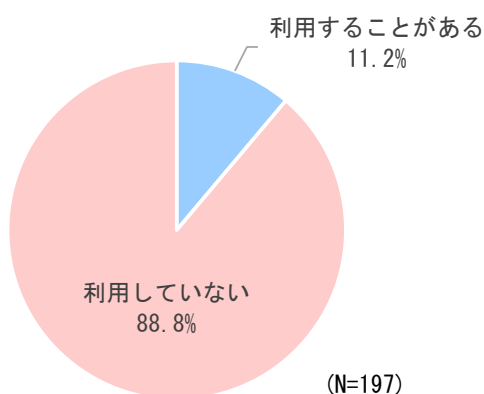


(1 2) 地鉄本線利用者の町営バス利用状況と満足度（地鉄本線利用者）

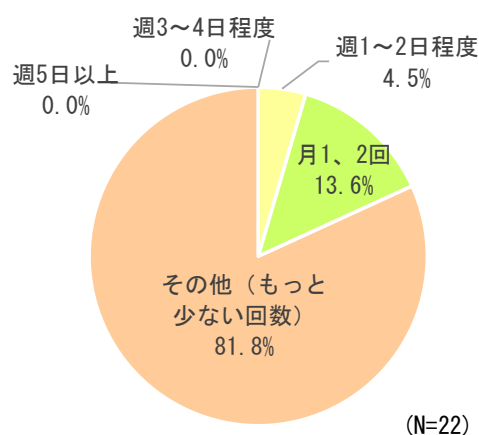
○地鉄本線利用者の上市町営バスの利用有無は、「利用していない」が 88.8%、「利用することがある」が 11.2%。「利用することがある」人の利用頻度は、「その他（月 1、2 回よりもっと少ない回数）」が 81.8%である。

○地鉄本線利用者の上市町営バスの満足度は、「ふつう」が 36.4%。「満足」と「やや満足」の合計は 36.3%、「不満」と「やや不満」の合計は 27.3%。上市町営バスの改善点は、「バスの運行本数が少ない」が 58.0%。増便の希望は「7 時台」が 62.9%、「8 時台」が 40.3%。始発時の希望は「6 時台」が 55.6%、「7 時台」が 38.9%。終発時の希望は「20 時台」が 57.9%。

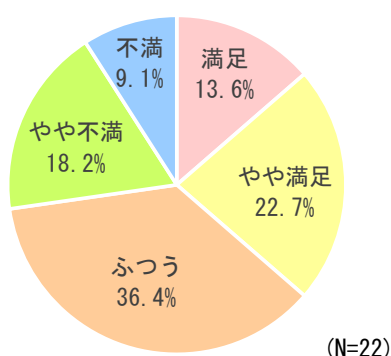
図表 131 町営バスの利用状況



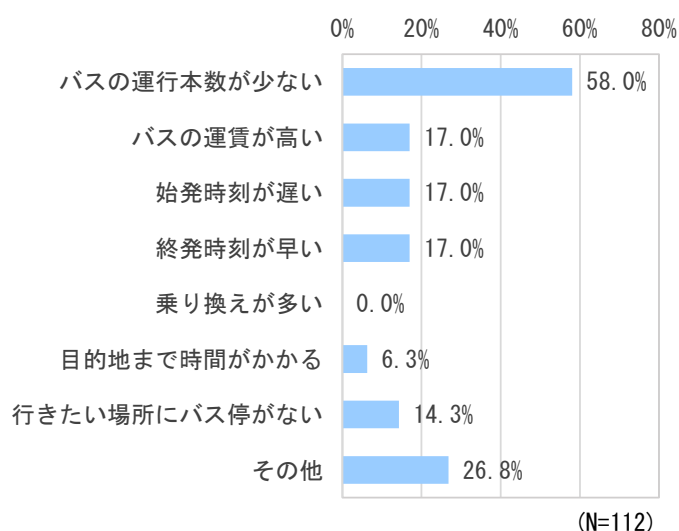
図表 132 町営バスの利用頻度



図表 133 町営バスの満足度



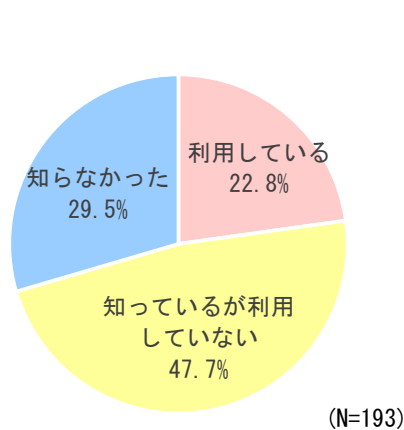
図表 134 町営バスの改善点



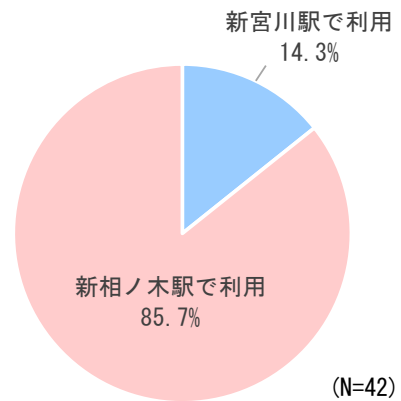
(13) パーク・アンド・ライドについて（地鉄本線利用者）

○パーク・アンド・ライドの利用有無は、「利用している」が 22.8%、「知っているが利用していない」が 47.7%、「知らなかった」が 29.5%。
 ○利用している駐車場は、「新相ノ木駅」85.7%（36 人）、「新宮川駅」14.3%。
 ○パーク・アンド・ライドの満足度は、「満足」と「やや満足」の合計が 69.0%。

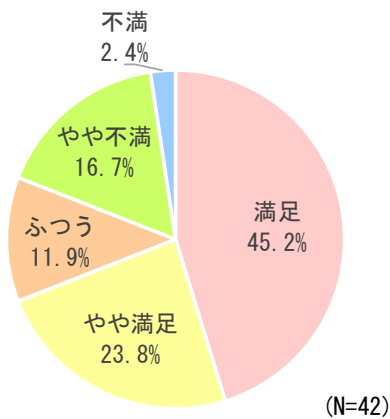
図表 135 パーク・アンド・ライド利用有無



図表 136 利用している駐車場



図表 137 パーク・アンド・ライドの利用意向



(14) 関係者ヒアリング調査結果のまとめ

① 地鉄本線

※特に記載のない場合は、電車運行事業者の意見

i) 利用状況

【始発～10 時くらいまで】

- ・利用者は主に通勤通学者。9 時以降は買い物・通院利用
- ・富山方面へは約 20 分に 1 本の高頻度で運行。黒部・宇奈月方面へは 1 時間に 1 本運行。

【昼間時】

- ・利用者は主に買い物・通院利用
- ・富山方面へは約 30 分に 1 本運行。黒部・宇奈月方面へは 1 時間に 1 本運行。

【16 時くらいから～終発まで】

- ・利用者は主に通勤通学者。
- ・富山方面から 15～30 分に 1 本の高頻度で運行。黒部・宇奈月方面へは 1 時間に 1 本運行
- ・北陸新幹線接続による利便性向上の為、令和 5 年 4 月から終電を 23：30（変更前は 22：45）に繰り下げ、最終のかがやがきと接続できるようにしている。終電の時刻繰り下げで他の便の利用も伸びている。今後富山市内での飲み会や首都圏出張が回復することに期待。

ii) 上市町内の地域公共交通について見直した方がよい点

- ・新宮川駅、新相ノ木駅に各 70 台駐車可能なパーク・アンド・ライド駐車場を整備いただき、感謝している。
- ・3 月より新宮川を急行停車駅とした。
- ・まちづくりの核として上市駅の高度利用（駅を含めた周辺のまちづくり、賑わいの創出、交通広場化、駅務の簡素化）が今後の課題。電鉄魚津駅では道路整備の移転補償により電鉄魚津駅を建て替えた。上市駅の高度利用を検討する際に電鉄魚津駅のような事業手法が参考となるのではないか。

② 町営バス

※特に記載のない場合は、バス運行事業者の意見

i) 運行概要

- ・運転手は 11 名（上市町営バスと立山町営バスを担当）。平均 64 歳。最年少の運転手が 48 歳、一番高齢な運転手は 72 歳。
- ・車両は 5 台で運行（14 人乗り 1 台、29 人乗り 1 台、32 人乗り 2 台、54 人乗り 1 台）。

ii) 利用状況（全線）

- ・地鉄本線との乗継客については、上市駅バス停での乗降者は見られるが、地鉄本線に乗り継いでいるかについては、不明。
- ・問題点は特になし。

iii) 利用状況（柿沢・大岩線）

■平日

- ・大岩発 7:50: 小学生の通学。
- ・保健福祉総合センター発 8:35、10:45、12:03: お風呂、病院、パルの輸送。60～70代くらい。
- ・保健福祉総合センター発 14:35、16:10: 小中学生の学校からの帰り。
- ・保健福祉総合センター発 17:38: 利用者が少ない。

■土、学休日

- ・大岩発 7:50: 時間がお風呂に早いので利用者少ない。
- ・保健福祉総合センター発 8:35、10:45、12:03: お風呂、病院、パルの輸送。60～70代くらい。
- ・保健福祉総合センター発 14:35: 利用者少ない。
- ・保健福祉総合センター発 16:10: 運休。
- ・保健福祉総合センター発 17:38: 利用者が少ない。

■日、祝日

- ・保健福祉総合センター発 8:35、10:45、12:03、14:35: 観光客がメインのターゲットのはずだが、乗らない。
- ・保健福祉総合センター発 16:10: 運休。
- ・保健福祉総合センター発 17:38: 利用者が少ない。

iv) 利用状況（南加積線）

■平日

- ・上市駅前発 7:15: 小中学生。南加積小学校への通学。
- ・上市駅前発 8:20: 上市高校生が13人乗る。
- ・保健福祉総合センター発 9:45、13:00: お風呂、病院、パルの輸送。
- ・保健福祉総合センター発 15:50: 一部、小学生の学校からの帰り。
- ・保健福祉総合センター発 17:35: 利用者が少ない。

■4/1～11/30 土曜

- ・上市駅前発 7:15: 運休。
- ・上市駅前発 8:20: 固定客がおらず、利用者が少ない。
- ・保健福祉総合センター発 9:45、13:00: 利用者が少ない。
- ・保健福祉総合センター発 15:50: 利用者が少ない。
- ・保健福祉総合センター発 17:35: 利用者が少ない。

■12/1～3/31 土曜

- ・上市駅前発 7:15: 利用者が少ない。
- ・上市駅前発 8:20: 利用者が少ない。
- ・保健福祉総合センター発 9:45、13:00: 利用者が少ない。
- ・保健福祉総合センター発 15:50: 利用者が少ない。
- ・保健福祉総合センター発 17:35: 利用者が少ない。

v) 利用状況（宮川線）

■平日

- ・ 上市駅前発 7 : 00 : 利用者はほぼいない。
- ・ 保健福祉総合センター発 10 : 30、12 : 30、14 : 45 : お風呂、買物、病院。往復利用が多い。
- ・ 保健福祉総合センター発 17 : 30 : 利用者が少ない。

■ 4 / 1 ~ 11 / 30 土曜

- ・ 上市駅前発 7 : 00 : 運休。
- ・ 保健福祉総合センター発 10 : 30、12 : 30、14 : 45 : 利用者が少ない。
- ・ 保健福祉総合センター発 17 : 30 : 利用者が少ない。

■ 12 / 1 ~ 3 / 31 土曜

- ・ 上市駅前発 7 : 00 : 利用者が少ない。
- ・ 保健福祉総合センター発 10 : 30、12 : 30、14 : 45 : 利用者が少ない。
- ・ 保健福祉総合センター発 17 : 30 : 利用者が少ない。

vi) 利用状況（相ノ木線）

■平日

- ・ 上市駅前発 7 : 05 : 5 路線の中で一番利用者が多い。中学生、高校生の上市駅への利用が多い。利用者 20 人以上。
- ・ 保健福祉総合センター発 8 : 30、11 : 30、14 : 00 : お風呂、病院、パルへの高齢者の利用。
- ・ 保健福祉総合センター発 16 : 15、17 : 32 : 小中学生、高校生の下校。

■ 4 / 1 ~ 11 / 30 土曜

- ・ 上市駅前発 7 : 05 : 運休。
- ・ 保健福祉総合センター発 8 : 30、11 : 30、14 : 00、16 : 15、17 : 32 : 利用者少ない。

■ 12 / 1 ~ 3 / 31 土曜

- ・ 上市駅前発 7 : 05 : 利用者少ない。
- ・ 保健福祉総合センター発 8 : 30、11 : 30、14 : 00、16 : 15、17 : 32 : 利用者少ない。

vii) 利用状況（弓庄線）

■平日

- ・ 正印新 7 : 22 : 5 路線の中で二番目に利用者が多い。小中高校生 20 名以上が利用。
- ・ 保健福祉総合センター発 9 : 00、13 : 15、15 : 10 : お風呂、病院、パルへの高齢者の利用。
- ・ 保健福祉総合センター発 16 : 05 : 小中高校生の下校。

■土曜

- ・ 正印新 7 : 22 : 運休。
- ・ 保健福祉総合センター発 9 : 00、13 : 15 : 利用者少ない。
- ・ 保健福祉総合センター発 15 : 10、16 : 05 : 運休。

viii) バス事業の課題

- ・ 2024 年問題（時間外労働の上限が罰則つきで法律で明確に規制され、猶予期間が 2024 年 4 月まで）による労働環境の変化が懸念される。労働環境が大きく変化せざるを得ない。法律であるため、事業者がどうこうできるわけではなく従わなくてはならない。ダイヤや働き方を変える必要がある。
- ・ 運転手不足も大きな課題。利用の少ない時間帯の運行を見直す必要がある。利用の少ない土曜日祝日ダイヤは見直しが必要。平日の運行数も見直しが必要。昼間時間帯でバスを運行していない時間にも運転手を拘束する必要がある。契約社員は、運行した便に賃金が支払われるため、拘束時間には賃金は発生しない。平日は、朝夕にどの路線も同じ時間帯に運行するため、運転手が 4 人必要となっている。路線ごとに朝夕の運行時間をずらすことで運転手を 3 人にすることができるとよい。昼間時間帯は 3 人で運行している。土曜も 4 人必要である。週 7 日のうち、6 日運転手が 4 人必要。日祝日は 1 人。
- ・ 小学生は下校後にすぐ帰宅する必要があるだろうが、中学生、高校生は少し遅い時間でも学校などで待つことができ、大丈夫なのではないか。
- ・ 改善基準告知として、運転手の 1 日の休息時間がこれまでの 8 時間から 11 時間となる。上市町の現在のダイヤは、基準はクリアできている。
- ・ 朝夕の便には買物や通院目的の高齢者があまり乗らないので、朝夕は小中学生の登下校に特化し、生徒の居住地に合わせたダイヤやシャトル的なルートとする、弓庄線と相ノ木線を合体させるなども案として考えられるのではないかと。将来的に具体的な案を上市町と協議させていただく必要が出るかもしれない。運行経費は距離で算定するので、運転手を減らしても低減されない。
- ・ フリー乗降については、運転手から特に問題は聞いていない。

ix) 町営バスの車両のラッピングについて

- ・ 町営バスの車両のラッピングによる利用状況の変化は感じない。（上市町産業課）
- ・ 利用状況に大きな変化はないと思われる（運行開始当初や連携イベント時には利用増が見られたかもしれない）。しかし、テーマ性のあるラッピングはバスの存在を日常的に意識することにも繋がり、意味があると思う。（観光協会）
- ・ ラッピングの種類とルートが決まっていると、例えば、花の家へと続く柿沢・大岩線のバスはおおかみこどものラッピングが運行しており、そのラッピングバスで花の家に向かうといったストーリーになるようにも思われる。（観光協会）
- ・ あの（ラッピング、色）のバスに乗ると、●●へ行けるという関連性も、バスの存在を日常的に意識することに結びつくと思われる。※現実的には難しいと思われるが。（観光協会）
- ・ ラッピングにより、利用状況の変化はなかったのではないかと。バス車両に着目するようにはなり、PR 効果はあったと思うが。11 年前に映画になったが、地鉄を利用して観光客がどの程度知っているか。みんながそれを知っているわけではない。「おおかみこどもの雨と雪」のラッピングだから乗ってみようと思うのは細田ファンではないか。（商工会）

③ 町営予約のりあいバス

i) 運行概要

【車両】

- ・白萩線：定員 10 人（乗客 9 人）、ステーションワゴン。R3 年式。
- ・陽南線：定員 10 人（乗客 9 人）、ステーションワゴン。H25 年式。

【乗務員】

- ・乗務員 7 人、平均年齢 63 歳。（旭自動車、R5. 8. 1 現在）
- ・乗務員 7 人、平均年齢 72 歳。（GM 交通）

ii) 利用状況

【白萩線】

- ・白萩線は、利用者が増えてきている。今までタクシーを利用していた人がタクシーから転換している。月に 50 便ほど運行している。アルプスの湯、パル、総合病院の利用者が多い。利用者は 10 人ほどでそれぞれが月 2～3 回程度使っている。（GM 交通）

【陽南線】

- ・今後も陽南地域の大切な交通手段ではあると思うが、利用者が少ないことに対してタクシー乗務中に陽南線地域以外の数名の方から「もったいない」、「無駄」という意見があった。（旭自動車）
- ・陽南線は、利用者が少ない。同じ人が 1 週間に 1、2 回使う。以前はもう 1 人使っていた。使っているのは 80 代の方で電話も聞き取りにくい。（GM 交通）
- ・令和 4 年 10 月に陽南線の稗田東のバス停を増設されたが、あまり利用者は増えていない。近くの高齢者用住宅のさつきの里より要望があったとのことだが、バス停とさつきの里の距離が離れているからではないかと思う。（GM 交通）

iii) タクシー事業を実施している上での課題

【旭自動車】

- ・タクシー事業と同様、運転手不足が課題。

【GM 交通】

- ・運転手不足。

iv) デマンドについて

- ・予約専用電話が固定電話型のスマホであるためなのか、お互い聞き取りづらく、何度も聞き直すことで手間取り、通常のタクシー運行の電話対応・配車の支障になることも多い。また、その聞き取りづらさから、電話予約がしづらく利用しづらいと思っている利用者がいるのではないかと。今回の町民アンケートに選択肢があるとよいが、具体的に記入してもらうとなれば書かないと思う。（旭自動車）
- ・導入当初は前日予約のみだったが、利用促進と地域の人からの要望で当日予約が可能となった。運行の 1 時間前の予約が守られずに 50 分くらい前の時があり、運転手の確保・配車が大変である。仕方なく受け付けるが、運転手の確保やバス事業の準備等に急な時間が必要となる。タクシー車両を使っているのであれば、運転手が上市駅まで車両を変えるために戻ってきたりする時間や冬季なら雪をよける時間や車内を暖気する時間が必要でなくなるため助かるが。（GM 交通）

- ・料金は、釣銭を出せないという決まりなのに、1,000 円札を出される時があり、困った。(GM 交通)
- ・利用者は高齢の方が多く、予約電話の際に行先や時間などが聞き取りづらい。(GM 交通)

④ タクシー

※特に記載のない場合は、タクシー事業者の意見

i) 運行概要

【旭自動車】(令和5年8.1現在)

- ・事業エリアは中新川郡(上市町、立山町、舟橋村)、滑川市。
- ・車両は、クラウン1台、コンフォート2台、プリウスα1台・SAI1台、ハイエース(ジャンボ)3台。車いす仕様(シエンタ3台、ラクティス1台)計12台。
- ・乗務員数は7人。平均年齢は63歳。
- ・タクシー運行事業の他に、上市町予約のりあいバスを運行している。
- ・運賃の支払方法は現金、PayPay、LINE Pay、クレジットカード

【GM 交通】

- ・事業エリアは中新川郡(上市町、立山町、舟橋村)、滑川市。
- ・車両は、タクシー8台、ジャンボタクシー2台。
- ・乗務員数は8人。平均年齢は約72歳
- ・タクシー運行事業の他に、上市町予約のりあいバスを運行している。
- ・運賃の支払方法は現金、PayPay、クレジットカード
- ・タクシー利用者はだいたい9時～13時くらいが多い。

ii) タクシー事業を実施している上での課題

【旭自動車】

- ・課題は運転手不足。ここ10年ほどの状況は、ベテラン運転手が加齢により退職し、絶えず求人募集をしているが、応募が少なく、採用しても定着しない。この結果、現在在席する運転手の高齢化が課題。

【GM 交通】

- ・運転手不足。特に夜間(0時～6時)

iii) 予約配車アプリの導入について

【旭自動車】

- ・現在のところ導入予定ない。MaaS アプリと同様に利用者のニーズが高まれば導入したい。

【GM 交通】

- ・利用者の平均が80歳くらいであり、対応が難しいのではないかと。また、運転手が高齢であり、対応が困難なことも想定される。

⑤ スクールバス（再掲）

※特に記載のない場合は、上市町教育委員会の意見

i) 小中学生の町営バスの利用状況と改善点などのニーズについて

- ・ 柿沢・大岩線、児童は 10 人未満。現状の運行形態でカバーできている。
- ・ 南加積線は、10 人未満。現状の運行形態でカバーできている。
- ・ 相ノ木線は、小学生は利用していない。中学生が 50 人利用している。冬期間、町営バスを増便し、マイクロバス（3 台）を運行している。運転は、シルバー人材センターの方をお願いしている。
- ・ 小学校の統合は、令和 13 年以降の予定。
- ・ 令和 6 年度に白萩線を利用する新入学児童への対応が必要。ダイヤが遅く始業時間に間に合わない。

ii) スクールバスの運行についての課題

- ・ 冬季間は中学校生徒のスクールバス利用が増えるため（南加積線、宮川線、相ノ木線の朝夕が多い）、増便やより多人数が乗車できる車両で運行できれば良い。
- ・ スクールと一般客の混乗に関する苦情などはない。
- ・ 冬季の増便について単費で運行している。
- ・ 冬季だけ別ダイヤ朝夕マイクロバス（30 人）を運行している。
- ・ 冬季、生徒が乗れない時、地鉄が臨時にバスを増便運行してくれている。
- ・ 町所有のバスは、町のイベントなどに使うこともあり、スクール専用とすることは難しい。
- ・ 学童を利用している小学校児童もいるため、登校時だけ利用している児童も多い。
- ・ 生徒数は減少している。相ノ木及び宮川地区の生徒が使う路線は、減っていない。5 年間同じくらいの利用者数である。
- ・ 学校統合時は、朝夕同じ時間に運行することとなる。町域を 2 つに分けて運行するなどの検討が必要である。

⑥ 高速バス上市停留所について

- ・ 新潟便は、地鉄と新潟交通との共同運行である。上市停留所が設置された際、上市町が半額キャンペーンを実施し、PR 効果があった。しかし、富山や立山町、舟橋村の居住者が利用していたという話も聞く。（バス運行事業者）
- ・ 東京便などを上市停留所に発着させるとなると、共同運行している西武バスとの調整が必要となるが、町民の利便性は上がると思う。上市停留所に発着させるとなると、所要時間が伸びるため、2024 年問題への対応もあり、労働環境に対する調整などが必要となる。（バス運行事業者）
- ・ 随分前に一度だけお客さんを送ったことがあるが、利用者像について後で確認されることを想定していなかったので詳細は分からない。上市停留所の活用については、東京便の停留所になれば劔岳（馬場島登山口）への登山客が利用する可能性があると思う。なお今後も利用者像の情報が必要であれば上市停留所利用者へのアンケートを実施したらよいと思う。（旭自動車）
- ・ 特になし（GM 交通）

⑦ 観光客について

i) 上市町を訪れる観光客の公共交通の利用状況と改善点などのニーズについて

- ・ 町内の観光資源を訪れる方の多くは自動車を利用していると思われるが、上市駅を利用する旅行者もいる。そうした旅行者は、町営バスの利用について、駅案内所へ来所することも少なくない。(観光協会)
- ・ 大岩山日石寺への訪問がもっとも多い。その他の観光資源訪問先としては、穴の谷霊水、立山寺、西田美術館、薬用植物指導センターがある。お土産物を購入するため、つるぎの味蔵に寄る方もいる。(観光協会)
- ・ 大岩線と地鉄本線の乗り継ぎがよいと利便性が高まると感じる。
- ・ 東京から新幹線、関西から特急と新幹線を利用した想定で柿沢・大岩線のダイヤが組まれているとよい。(観光協会)
- ・ 総合病院、保健福祉センター、駅、など利用者の多いバス停専用の時刻表があると分かりやすい。(観光協会)

ii) 観光業に携わる方からの公共交通に関する改善点などのニーズや課題について

- ・ 過去に何度かツアーで町営バスを利用したが、車窓の風景や地元の人との会話があたりと、旅をしている感が増したと評判はよかった。(観光協会)
- ・ 地鉄電車の上市駅発着時刻とバスの時刻が連動すると利用しやすい。具体的には、地鉄電車の駅到着後 10 分後くらいにバスの発車時間があるとか、バス到着後 15 分後くらいに富山行きの電車を利用できる、といった発着時刻設定は利用しやすい。(観光協会)
- ・ 大岩は、減便にはなるが柿沢・大岩線が日曜日も運行しているので紹介しやすい。(観光協会)
- ・ 立山寺は、白萩線が予約のりあいバスのため、適宜な紹介は難しい。(観光協会)
- ・ 植物センターは南加積線で自由昇降すれば利用できるが、日曜祝日が運休になるため、人が多く訪れる 5 月だけでも日曜運行があると紹介しやすい。薬用植物指導センターは、シャクヤクの開花時期はものすごくお客さんが多い。フリー乗降区間になっているので、薬用植物指導センター前で乗降は可能だが、バス停がないため、ルート図にも記載されておらず、バスでアクセス可能であることが分かりにくい。(観光協会)
- ・ 西田美術館は、南加積線・宮川線ともに外れており、最寄り駅も遠いため、バスが利用できると思う。ただ、両線ともに日曜祝日は運休であり、難しい面もある。西田美術館にバスで行くにはどうしたらよいかという問い合わせが年に数回問い合わせがある。宮川線や南加積線で経由すれば、利用者はいると思うが、他の利用者の利便性が下がることになるほどの利用者が見込めるわけではないと思う。(観光協会)
- ・ 週末だけでもよいから、観光資源巡回ルートがあるとよいという声はあるが、コストに見合う利用者が見込めるかは分からない。(観光協会)
- ・ 駅のレンタサイクルは年間 100 くらいの利用がある。難しいと思うが、例えば行きは町営バスを利用（バスに自転車を乗せ）し大岩へ行き、帰りはレンタサイクルで帰るという利用の方法があれば、利用する人がいるかもしれない。(観光協会)

⑧ 買物客について

i) 上市町の買物客の公共交通の利用状況と改善点などのニーズ

- ・ 免許返納されている方もいるので、町営バスを利用している人はいると思う。しかし、行きは利用できるが帰りの便が利用したい時間と合わないのでタクシーを使っている方は多いようである。(上市町産業課)

- ・パルにタクシーで買物に来る人がよく見られる。(上市町産業課)
- ・買物額に応じた料金低減サービスをして町営バス利用者が増えるわけではない。
- ・タクシーに乗り合わせする需要の方がバスよりあるのではないか。(上市町産業課)
- ・商工業に携わる方の公共交通に関するニーズは特にはないのではないか。(上市町産業課)
商工会会頭の意見は以下のとおり。乗客を乗せていない空のバスが多い。本数が少なく利便性が低いのではないか。上市駅からの町営バスを使ったモデル的なコースを提案し、観光協会などと連携しPRすれば、土日の利用者が伸びるのではないか。(商工会)
- ・商工会で実施している商店街でのイベント(市姫さんど)は、近隣の高齢者の参加が多い。1,000円のお買い物券がもらえるという取り組みをし、PRちらしを町全域に新聞折り込みすると、200人程度が抽選に参加してくれた。市姫さんどは、高齢の方や家族連れの参加が多い。町営バスを乗ってきた方に乗車証明書を発行して、抽選するなどのイベントの実施により使っていない人に一度は使ってもらうという体験イベントなども考えられ、その際には、商工会として協力はする。(商工会)

ii) 商工業に携わる方からの公共交通に関する改善点などのニーズや課題

- ・町営バスのターゲットは高齢者であると想定される。自由乗降の区間もあり、周知をするべきではないか。(商工会)
- ・上市町は、町域が狭いこともあり、タクシーを利用する人が多い。(商工会)
- ・利用者数を増加するためには、一度でも乗って便利だと思ってもらう必要がある。乗ってもらって、スタンプ集めるなどの取り組みにより、まず乗ってもらうことが必要。(商工会)
- ・一定金額以上の買物をした方に帰りのバス券を提供するなどのサービスについては、商工会として費用負担はできないが、協力はしたい。(商工会)

iii) 商業と公共交通の連携

- ・商店街もないので、市街地でバスを降りる人が少ない、町営バスのメインターゲットは通学であると思う。(上市町産業課)
- ・買物帰り的高齢者は、荷物があり、町営バスの利用が大変なのではないか。高齢でも自分で車を運転して買物に行っている方が多いように感じる。(上市町産業課)
- ・「とくし丸」が、和合、横越、さつきの里、森尻、荒田、北島、東・西種などの地区で移動販売をしている。(上市町産業課)
- ・必要性があればできる範囲で、協力していくつもりである。現在も上市町産業課と企画課とは連携をしている。(商工会)

⑨ 高齢者について

i) 高齢者の町営バスの利用状況と改善点などのニーズについて

- ・大岩地区、湯上野地区の高齢者からバス停までの距離が遠いため、自宅近くまでバスを運行してほしいと希望されている。(上市町福祉課)
(湯上野：路線から公民館 200m、大岩は路線まで 800m 別ルート)
- ・保健福祉総合センターまで、バスで移動するが、帰りの時間が合わず待っていることが多い。(社会福祉協議会、協議会来所者からの聞き取り結果)
- ・バスを使いたい、が、ステップが高くて乗れない。(社会福祉協議会、協議会来所者からの聞き取り結果)
- ・バスは片道利用が多い。帰りはタクシーや迎えに来てもらっている人が多い。(社会福祉協議会、協議会来所者からの聞き取り結果)
- ・宮川線は朝の便が早すぎるという意見がある。(社会福祉協議会、協議会来所者からの聞き取り結果)
- ・タクシー助成券などを出すとバスに乗らなくなる。今は山間部のみタクシー助成券を出している。(社会福祉協議会、協議会来所者からの聞き取り結果)
- ・第 4 次上市町地域福祉活動計画アンケートでは、以下の意見の記載があった。(社会福祉協議会)
 - ・南加積の大きなエリアでの行事を増やし、参加する高齢者の交通手段（例：マイクロバス）を確保してほしい。
 - ・運転免許返納後の移動手段（バス回数券、タクシー助成、お風呂入場券の女性）の確保。
 - ・核家族が増え、高齢者だけの世帯が多くなっている、買物、病院等に行く交通手段があればもっと増やしてほしい。
 - ・町営バスやタクシー等、予約すれば乗り合わせて行けるサービス、タクシー割引券、生協のように注文すれば商品を自宅に届けてくれるサービス等があればよい。
 - ・町全体が高齢化してきている。交通手段としての町営バスの便数が増えると高齢者の外出機会が増え、元気な町になっていくと思う。
 - ・コミュニティバスが利用しにくい。交通手段は高齢者には重要な問題である。
 - ・夫婦が共働きで、子供の送迎が難しい時に協力が得られるシステムがほしい。おむかえには行けないが、高齢者が自宅にいたので送迎の問題がなければ自宅で子供をみてる人はおり、バス送迎のある保育園を作してほしい。

ii) 福祉事業と公共交通の連携

- ・利用促進にむけ、高齢者が集まる機会に町営バス（公共交通）の説明会をしてはどうか。(上市町福祉課)
- ・デイの送迎車に相乗りし、交通弱者を支援してはどうか。法人の垣根を越え、利用者を限定した第 3 の交通網を創設する。地域交通として、タクシーの苦手な部分を担う。国土交通省の「高齢者の移動手段を確保するための制度・事業モデル」が参考となる。(上市町福祉課)
- ・車椅子のまま乗り降りできるゲート車の利用 (上市町福祉課)
- ・ステップや手すりの付いた福祉車両の利用 (上市町福祉課)
- ・福祉事業と町営バスの連携が重要だということはわかるが、以前は空バスがよく走っているとされていた。利用していない人にとっては空バスという表現になっている。高

齢者のニーズに合わせてバスを運行すると運行本数が多くなり、空バスとなる可能性が高い。まちづくりとの連携が必要である。(上市町福祉課)

iii) 高齢者運転免許自主返納支援事業について

- ・令和4年度末で無料乗車券を197件発行しているが、申請時(町民課窓口)でバス停まで遠いので使わないと言われたことがある。(上市町福祉課)
- ・社会福祉協議会においては、高齢者運転免許自主返納の方々の情報を把握していないため、利用状況や課題等についてはお答えできる事がない。(社会福祉協議会)
- ・免許返納後、バスの乗車券を3年間出していたが、5年間に伸びた。免許証を返納して申請に来るが、実際は使わず、身分証明書がわりに申請している方もいる。申請後、しばらくして返す人もいる。申請数=利用者数ではない。無料乗車券は調べている。現在のルートは、令和元年10月に実証実験した後に本格運行したルートであり、本格運行は令和2年10月からである。(社会福祉協議会)

iv) 高齢者を対象とした集まり・イベントについて

- ・元気な高齢者の状況は福祉課としては把握していない。いきいき元気クラブを3回に分けて事業をしている。地域支援事業でタクシーを利用している方がいる。(上市町福祉課)

v) 町内福祉施設利用者の移動について

- ・町内福祉施設利用者は、地鉄本線、町営バス、町営予約のりあいバスを利用している人が見られる。利用の仕方が分からない方や便数や時間帯などが移動ニーズに合っていない人もみられる。

※施設別町内福祉施設利用者の移動状況(再掲)

■上市町保健福祉総合センター 上市町保健センター

- ・公共交通の利用状況：無
- ・施設の輸送手段：有

■かみいち福祉の里(NPO法人) 東江上グループホーム

- ・公共交通の利用状況：無
- ・施設の輸送手段：有(通所利用者)
- ・年2回~3回施設の車で花見等にでかける。
- ・受診は医師の訪問診療か家族の送迎による。

■かみいち福祉の里(NPO法人) お茶の間グループホーム・デイサービス

- ・公共交通の利用状況：有
- ・利用者のうち4名がバスを利用したことがある。
- ・普段からバス利用している方が2名いる。

■上市老人保健施設つるぎの庭

- ・公共交通の利用状況：有
- ・施設の輸送手段：有(利用は利用者による)
- ・居宅介護支援事業所利用者のうち1名が3カ月に1回受診のため利用している。バス停が近くにあり、しっかりしている方である。
- ・入所者やサービス付き高齢者向け住宅にお住まいの方は公共交通を利用した方は1人もいない。

■スマイル・ハート

- ・公共交通の利用状況：有
- ・施設の輸送手段：有
- ・利用者の2名がバスを利用している。
- ・一人暮らしの方で月1回くらい病院や歯科へ行くため利用している。

■アルプス農業協同組合生活福祉センター

- ・公共交通の利用状況：無
- ・施設の輸送手段：有
- ・バスはあまり利用していない。タクシーだと家の前まで来てもらえ、好きな時間に利用できるため、便利。

■むつみの里 地域生活支援センター自然房

- ・公共交通の利用状況：有（電車）
- ・施設の輸送手段：有（火～土、希望者）
- ・施設へは、施設の送迎の他、電車・自家用車・徒歩・バイクなど様々な交通手段を使って来所している。
- ・バスを利用している人は4人いる。うち1名はバイクで通勤しているが、冬場は危ないのでバスを利用している。他の3名は受診のため月1回から2週間に1回程度バスを利用して買物をして帰っている。
- ・富山市の病院に通うために上市駅までバスを利用している利用者もいる。

■かわはらだの家（グループホーム）

- ・公共交通の利用状況：有（月～金電車、バス利用者1名）
- ・施設の輸送手段：有

■いっぽいっぽ上市

- ・公共交通の利用状況：無
- ・施設の輸送手段：有（月～金）3人が自家用車で通う。それ以外は送迎車を利用
- ・施設の利用は施設の送迎者か自家用車のみ。
- ・バス利用者はいない。料金はかけたくないとの理由で町内の移動は自転車か徒歩でバスは利用していない。町外の病院へ行く時のみ地铁本線を利用している人がいる。

■かみいち福祉の里(NPO 法人) 若杉新デイサービスショートステイ

- ・公共交通の利用状況：有
- ・施設の輸送手段：有

■上市町役場 上市町保健福祉総合センター地域包括支援センター

- ・公共交通の利用状況：有（バス利用年間5人）
 - ・事業利用者は以下のとおり
- ①地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）通所型サービスC
（短期集中予防サービス）いきいき元気クラブ
- | | |
|----------------------------|---------------|
| ①コースは、3ヶ月間（週1回）半日で12回）カミール | 31人中3人がタクシー利用 |
| ②コースは、1日で12回 保健福祉総合センター | 11人中4人がタクシー利用 |
| ③コースは、半日を12回 保健福祉総合センター | 15人中7人がタクシー利用 |
- （※タクシー代は利用者負担片道200円、残り公費）
- ②地域支援事業 訪問サービスD（移動支援） 利用者2名 頻度
- （※タクシー代は利用者負担片道500円、残り公費）

■ニチイケアセンター上市

- ・公共交通の利用状況：有

- ・施設の輸送手段：有
- ・利用者のうち1名が月2～3回程度バスを利用して買物や受診に行っている。

■グループホーム逢の希

- ・公共交通の利用状況：無
- ・施設の輸送手段：有
- ・R3年度からデイサービスは休止。
- ・入居者は受診時、家族の送迎や介護タクシーを利用している。

■常楽園デイサービスセンター

- ・公共交通の利用状況：無
- ・施設の輸送手段：有
- ・以前は私的な用事にご自分でバスを利用する方がいたが、現在は特殊浴槽利用者が多くなり、バスを利用する方がいなくなった。

■ワークハウス劔

- ・公共交通の利用状況：有
- ・施設の輸送手段：有
- ・施設利用には施設や親が送迎しているが、自分で来ることができる方は電車を利用してもらっている。
- ・新型コロナウイルス感染症流行前まで、ワークハウス劔の9時開所に合わせ、上市駅から新宮川駅へ電車であつていた利用者がいたが、新型コロナウイルス感染症流行がきっかけで地鉄本線利用者が少なくなったことによる地鉄本線の減便で、ちょうどよい時間がなくなつてしまった。そのため、元気な方なのに自分で来所することができなくなり、施設で送迎することになった。地鉄本線からは、利用者が少ないため減便したままであると言われた。地鉄本線での利用が難しいためバスを利用しようと8:30～9:00の間にワークハウス劔の前を運行してもらえないかと申請したが、特定の利用者のために運行することは難しいと回答された。自立支援の観点からできることは自分でしてもらいたいと考えているが、現在は施設で送迎している。
- ・私的な用事（富山市へ行く、パルへ行く、パソコン教室へ行く等）で予約のりあいバスを利用している方は二人いる。月1回程度土日に予約を入れて利用している。

■上市町ホームヘルプステーション

- ・公共交通の利用状況：有
- ・利用者のうち1名が病院や地域包括支援センターに行くためにバスを利用している。

■上市町社協居宅介護支援事業所

- ・公共交通の利用状況：無
- ・利用者のうち5名が町営バスを利用している。（うち2名は夫婦）
 - ・高齢女性：息子がバスを予約して、週1回程度買物に行つている。
 - ・高齢男性：2週間に1回程度用事に出かけている。
 - ・高齢女性：月1回程度パルにバスで買物に行つている。（帰りバス、帰りタクシー）
 - ・高齢夫婦：夫が免許返納したため月1回～2回の受診時に夫婦でバスを利用している。（行き帰りタクシーだと大変で自転車を利用することもある。）

■さつき苑

- ・公共交通の利用状況：無
- ・乗り場が分からない、乗り方が分からない。時間が合わなかつたり、待ち時間が長かつたりするために利用していないと思う。
- ・自分で移動できる方は3人くらいいるが、自転車・徒歩・家族と一緒にだつたりする。
- ・移動手段が徒歩のみの方もおり、あまり遠くまで行くことができないでいるのが現状。

■つつみだにの家

- ・以前は毎日利用している人が1名おり、施設の前でバスに停まってもらっていたが、現在利用者はいない。
- ・予約が必要であり、便数も少ないため使い勝手が悪いと言って利用していない。移動手段としては行動範囲に限られるが歩いたり自転車を使ったりしている。

■花の家

- ・施設のすぐ前にバス停があるが、町報や時刻表が配布されてこないため、存在自体を知らない。
- ・マックスバリュが近くにあるので買物には不便はないが、「しまむら」や「パル」に行けると楽しいと思う。
- ・受診は家族の付き添いで行ったり、近くのわかくさ医院に行ったりしている。

■やまやまハウス

- ・1名バスを利用している方がいる。月2回程度受診や銀行へ行っている。

■ひなたぼっこ上市

- ・1人でバスに乗って病院に行く方がいるが、その他は歩行状態が悪いため、タクシーや家族の送迎、介護タクシーを利用している。

■元気楽

- ・バス利用者はいない。通院はタクシーや介護タクシーを利用している。

■おたっしや家

- ・利用者4～5人がバスを利用している。(一人暮らし3人、家族と同居2人)
- ・おたっしや家の帰りにパルへ行き夕方のバスで買える人1人。
- ・買物や病院へ行くのに1週間～2週間に1回利用している人が3～4人いる。

■ミニデイサービス

- ・1人の利用者がバスを利用して買物に行っている。

⑩ 新型コロナウイルス感染症流行の影響について

- ・ 地鉄本線は、新型コロナウイルス感染症流行による影響でテレワークやオンライン授業等、利用者の通勤通学形態の変化や、高齢者の通院回数の減少等があった。また、観光客も国内利用者が回復しているが富山空港の国際線もまだ運休中であり、来年度まで影響ありと考える。(電車運行事業者)
- ・ 町営バスは、全路線について、利用者は減っており、流行前の利用者数には戻っていない。(バス運行事業者)
- ・ 町営予約乗り合いバス白萩線は、利用目的が通院、買物、通勤なのであまり影響はないと思う。(GM 交通)
- ・ 町営予約乗り合いバス陽南線は、新型コロナウイルス感染症流行前も利用者が少ないのであまり影響はない。(GM 交通)
- ・ 町営予約乗り合いバス白萩線と陽南線は、利用者はいつの同じ方である。コロナ流行当初は外出を少し控えられて利用回数が少し減った印象であったが、ごくわずかであると思う。今後も利用者像の情報が必要であれば、利用目的などのアンケート調査が必要ではないか。(旭自動車)
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で高齢者対象の事業が中止になり、外出の機会が少なくなっていたと思う。(上市町福祉課)
- ・ 上市町社会福祉協議会が運営する生きがいデイサービス室(おたっしや家)の利用状況は、平成30年度3,423人、令和元年度2,680人、令和2年度2,421人、令和3年度2,385人、令和4年度2,731人であり、令和3年度から令和4年度は利用者数が増加した。

⑪ MaaS アプリ「my route」について

- ・ 富山地鉄の既存の my route 商品のうち、鉄道の関係では「鉄軌道・市内電車1日フリーきっぷ」が該当。(電車運行事業者)
- ・ デジタルチケットの普及を目途に現在進めているが、観光客が事前にチケット購入出来るメリットはある一方で商品の種類が多く、乱立している状態。(電車運行事業者)
- ・ 上市町民の方が富山市内へお出かけの際は、既に「岩瀬おでかけきっぷ」「富山市内まちなかおでかけチケット」があるので鉄道利用促進と合わせて活用頂ける施策と一緒に検討いただきたい。(電車運行事業者)
- ・ 富山県、トヨタが主導である。店舗の受け入れ体制が確立していないと導入が難しいことから、上市町単独で my route 商品を造成するのは、困難もあるのではないかと。(電車運行事業者)
- ・ システム上、定期券を商品として my route で販売することは困難であると聞いている。(電車運行事業者)
- ・ MaaS アプリとの連携は、将来的に必要であると思う。個人的な思いとして、上市町は魅力的な観光資源が多いと思う。特に、白装束を着て大岩の滝に打たれる体験や眼目立山寺の杉などは外国人観光客や若い人にとって魅力的であると思う。(立山の芦峯雄山神社では白装束を着ることができ、人気)外国人観光客や若い人をターゲットとする場合、電子決済、MaaS との連携は必須でないかと感じる。店舗への導入も必須だろう。(バス運行事業者)
- ・ 連携していない。タクシーや町営予約のりあいバス利用者(多くが高齢者)のスマートフォン保有者が少ないため、現時点でのアプリとの連携は効果的ではないと思われる。今後、スマートフォンを使いこなせる世代がタクシーを利用する機会が増える等、利用者ニーズが高まれば対応したい。(旭自動車)
- ・ 運転手が高齢であり、対応が困難である。(GM 交通)

⑫ 公共交通全般に関する意見・提案

- ・ 上市町に「おおかみこどもの雨と雪」10 周年キャンペーン（記念切符の発行）や上市町 90 周年事業（記念グッズの配布）などを実施いただいた。現在、新相ノ木駅周辺の移住者の増加が見られる。また新相ノ木駅設置（2013 年）と共に商業系・住居系の用途地域が設定（2011 年）され、新興住宅地開発に伴う新たな住民が増加。住みたくなる町を実現している。（電車運行事業者）
- ・ 施策の一環として、子育て世代への通勤通学定期券補助（黒部市は黒部宇奈月温泉駅から新幹線で富山県外へ通勤または通学する人を対象に補助金を交付している。通勤の場合は月最大 15,000 円、通学の場合は月定額 20,000 円が補助される。）や町営バス利用者が鉄道を利用した場合の割引支援など、上市町の公共交通の活性化に向けて連携を強化していきたい。（電車運行事業者）
- ・ 観光客をターゲットとするのであれば、現在の町営バスは運行頻度が少ない。（町営バス運行事業者）
- ・ 富山県の県民性として、公共交通を乗り継ぎして移動するという文化がない。ドアツードアの移動が好まれる。（町営バス運行事業者）
- ・ 公共交通に関する学習は実施していないが、公共交通を使ったイベントのお知らせは配布している。（上市町教育委員会）
- ・ 観光協会では、地鉄の利用促進と駅のにぎわい創出を目的とし、上市駅構内で古本市を開催している。客層は年配の方や子ども連れが多い。古本市のお客さんは町内の方が約 8 割程度。地鉄本線で来る人もいるが、ほとんどは自家用車で JA の駐車場を借りている。（観光協会）
- ・ バスが利用されないのは本数が少ないこともあるのではないかと。（観光協会）
- ・ 町域が狭いこともあり、タクシーを利用される方が多いと感じる。（観光協会）
- ・ 上市町は町域が狭く、1,000 円程度でタクシーを利用することができるため、パルやアオキなどの買物にタクシーを利用する方が多い。ドアツードアで荷物も運べるし、便利である。週に 1～2 回程度利用される 1 人暮らしの高齢の女性の方がいらっしゃる。（GM 交通）
- ・ 公共交通で上市町全域を網羅するには限界がある。もともと路線バスを代替したコースとなっており、バス路線からの徒歩圏内以外のバス利用ができない公共交通空白地域が多く存在する。また、その徒歩圏内であってもバス利用が困難な方々もいる。（上市町福祉課）
- ・ 公共交通空白地域を補完するため、予約のりあいバスの運行もあるが、真にお困りの交通弱者の方々のため、法人連携による第 3 の交通網（福祉モビリティかみいち）があったらよい。（上市町福祉課）
- ・ 今回の町民アンケート結果をもとに、タクシー事業者、町営予約のりあいバス事業者として何ができるかを検討し、提案したい。（旭自動車）

VI 地域公共交通を取り巻く現況・課題の整理

1 地域公共交通を取り巻く現況

上市町の現況、町民アンケート調査、地鉄本線利用者アンケート調査、関係者ヒアリング調査などから、現況を以下にまとめる。

現況のまとめの視点として、都市構造、公共交通ネットワーク、移動実態、公共交通の利用実態、公共交通にかかる財政負担の視点を設定した。

(1) 都市構造

① 目指す都市構造

・上市町は、鉄道については、パーク・アンド・ライド施設の機能強化や駅施設のバリアフリー化などを推進するとともに、北陸新幹線・富山地方鉄道・あいの風とやま鉄道の連携を推進し、鉄道利用者の利用促進を図ること、町営バス（コミュニティバス・スクールバス）については、住民の生活路線の維持・確保を図るとともに、運行路線やダイヤの随時見直しや必要に応じて実証実験を検討するなど、一層の利便性の向上に努めることを位置付けている。

・第8次上市町総合計画・第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「2 にぎわう上市 にぎわう2 基盤整備、2-3 交通網の整備・維持・確保」を個別施策として位置付けている。

・上市町は都市計画マスタープランにおいて、住民の生活に欠かせない鉄道については、沿線自治体等と連携しながら、パーク・アンド・ライド施設の機能強化や駅施設のバリアフリー化などを推進するとともに、北陸新幹線・富山地方鉄道・あいの風とやま鉄道の連携を推進し、鉄道利用者の利用促進を図ること、町営バス（コミュニティバス・スクールバス）については、住民の生活路線の維持・確保を図るとともに、運行路線及びダイヤの随時見直しや必要に応じて実証実験を検討するなど、一層の利便性の向上に努めることを位置付けている。
また、地域別構想において、公共交通に関する方針を下表のように掲げている。

図表 138 都市計画マスタープランにおける公共交通に関する地域づくり

地域・拠点	公共交通に関する地域づくりの主な方針
相ノ木・宮川地域	【鉄道利用者の利用促進】 ・鉄道については、パーク・アンド・ライド施設の機能強化や駅施設のバリアフリー化などを推進するとともに、北陸新幹線・富山地方鉄道・あいの風とやま鉄道の連携を推進し、鉄道利用者の利用促進を図ります。 【町営バスの利便性向上】 ・町営バス（コミュニティバス・スクールバス）については、住民の生活路線の維持・確保を図るとともに、運行路線やダイヤの随時見直しや必要に応じて実証実験を検討するなど、一層の利便性の向上に努めます。
上市中央地域	【鉄道利用者の利用促進】 ・鉄道については、駅施設のバリアフリー化などを推進するとともに、北陸新幹線・富山地方鉄道・あいの風とやま鉄道の連携を推進し、鉄道利用者の利用促進を図ります。

	【町営バスの利便性向上】 町営バス（コミュニティバス・スクールバス）については、住民の生活路線の維持・確保を図るとともに、運行路線やダイヤの随時見直しや必要に応じて実証実験を検討するなど、一層の利便性の向上に努めます。
南加積・陽南・白萩地域	【町営バスの利便性向上】 町営バス（コミュニティバス・スクールバス）については、住民の生活路線の維持・確保を図るとともに、運行路線やダイヤの随時見直しや必要に応じて実証実験を検討するなど、一層の利便性の向上に努めます。

② 人口

・町南東部では比較的に人口密度が低い。将来人口は、少子化が進み、高齢化率は高止まりし、少子高齢化の人口構造が続く。

- 町の高齢化率は 37.2%（令和 2 年国勢調査）。令和 42 年に 35.2%と見込まれる。少子化は進み、高齢化率は高止まりし、少子高齢化の人口構造が続く。（上市町人口ビジョン）
- 地区別人口密度は、町の南東に位置する地区と北に位置する地区において、2.3 人/km²以下と低くなっている。（令和 2 年国勢調査）
- 地区別高齢人口割合は、町域の南東に位置する地区で割合が高く、東種（68.9%）、須山（68.8%）、大松新（68.2%）である。（令和 2 年国勢調査）

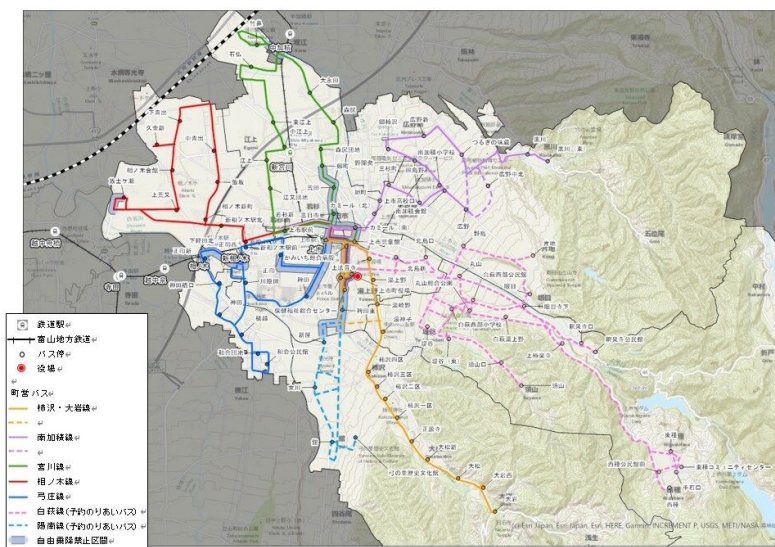
（2）公共交通ネットワーク

① 町の公共交通ネットワーク

・町域内は、富山地方鉄道本線、町営バス、町営予約のりあいバスが運行されており、公共交通が網羅的に整備されている。また、タクシーが運行されているほか、施設独自の送迎サービスを行っている福祉施設が多数ある。

- 町内には富山地方鉄道本線、高速バス 2 路線、町営バス 5 路線、町営予約のりあいバス 2 路線が運行されるなど様々な交通手段が整備されており、町内外への移動に利用されている。

図表 139 上市町公共交通ネットワーク図



(3) 移動実態

① 目的別移動

・通勤・買物・通院の移動は「車（運転）」が多い。

- ・通勤・買物・通院の交通手段は、「車（運転）」が9割以上。
- ・買物先は、「町内」82.7%、「町外」17.3%。交通手段は「車（運転）」95.4%「公共交通」0.2%（「地鉄本線」0.2%）。65歳以上も「車（運転）」94.2%。
- ・通院先は、「町内」66.2%、「町外」33.8%。交通手段は「車（運転）」94.7%。「公共交通」1.1%（「タクシー」1.1%）。65歳以上も「車（運転）」91.8%。
- ・通勤先は、「町外」56.8%、「町内」41.9%。交通手段は「車（運転）」95.4%、「公共交通」2.0%（「地鉄本線」2.0%）。65歳以上も「車（運転）」92.1%。

（町民アンケート調査）

② 通勤・通学

- ・上市町内に住む就業者のうち町内通勤者は約3.5割、町外通勤者は約6.5割である。
- ・上市町内に住む通学者のうち町内通学者は約2割、町外通学者は約8割である。

- ・上市町内に住む就業者のうち町内勤務者は34.5%であり、他市町村への通勤は富山市（37.7%）への通勤が多い。また、上市町への通勤者のうち町内居住者が49.6%であり、他市町村からの通勤者は富山市（21.4%）が最も多い。（令和2年国勢調査）
- ・上市町内に住む通学者のうち町内通学者は23.4%であり、他市町村への通学は富山市（46.7%）が最も多い。また、上市町への通学者のうち町内居住者は40.2%であり、他市町村からの通学者は富山市（25.5%）が最も多い。（令和2年国勢調査）

③ 買物・通院・通勤

- ・買物先は町内が約8割、通院先は町内が約7割、通勤先は町内が約4割である。
- ・65歳以上の買物先は市街地に立地する施設が上位である。通院先は、かみいち総合病院が最も多く、次いで富山市が多い。

- ・買物先は町内が82.7%、通院先は町内が66.2%、通勤先は町内が41.9%である。
- ・65歳以上の買物先の店舗は市街地の大型スーパーが上位（マックスバリュ上市店30.0%、大阪屋ショッピングパル店27.5%、クスリのアオキ上市店12.5%）を占める。
- ・65歳以上の通院先はかみいち総合病院が22.8%と最も多く、次いで多いのは富山市15.8%である。

（町民アンケート調査）

④ 観光

- ・観光の移動は自家用車の利用が多いと思われるが、上市駅を利用する旅行者もあり、町営バスに関する問い合わせもある。

- ・町内の観光資源を訪れる方の多くは自動車を利用していると思われるが、上市駅を利用する旅行者もいる。そうした旅行者は、町営バスの利用について、駅案内所へ来所することも少なくない。

- ・ 大岩山日石寺への訪問がもっとも多い。その他の観光資源訪問先としては、穴の谷霊水、立山寺、西田美術館、薬用植物指導センターがある。お土産物を購入するため、つるぎの味蔵に寄る方もいる。
- ・ 大岩線と地鉄本線の乗り継ぎがよいと利便性が高まると感じる。(関係者ヒアリング調査)
- ・ 東京から新幹線、関西から特急と新幹線を利用した想定で柿沢・大岩線のダイヤが組まれているとよい。
- ・ 総合病院、保健福祉センター、駅、など利用者の多いバス停専用の時刻表があると分かりやすい。
- ・ 地鉄電車の上市駅発着時刻とバスの時刻が連動すると利用しやすい。具体的には、地鉄電車の駅到着後 10 分後くらいにバスの発車時間があるとか、バス到着後 15 分後くらいに富山行きの電車を利用できる、といった発着時刻設定は利用しやすい。
- ・ 大岩は、減便にはなるが柿沢・大岩線が日曜日にも運行しているので紹介しやすい。
- ・ 立山寺は、白萩線が予約のりあいバスのため、適宜な紹介は難しい。
- ・ 植物センターは南加積線で自由昇降すれば利用できるが、日曜祝日が運休になるため、人が多く訪れる 5 月だけでも日曜運行があると紹介しやすい。薬用植物指導センターは、シャクヤクの開花時期はものすごくお客さんが多い。フリー乗降区間になっているので、薬用植物指導センター前で乗降は可能だが、バス停がないため、ルート図にも記載されておらず、バスでアクセス可能であることが分かりにくい。
- ・ 西田美術館は、南加積線・宮川線ともに外れており、最寄り駅も遠いため、バスが利用できるとよいと思う。ただ、両線ともに日曜祝日は運休であり、難しい面もある。西田美術館にバスで行くにはどうしたらよいかという問い合わせが年に数回問い合わせがある。宮川線や南加積線で経由すれば、利用者はいると思うが、他の利用者の利便性が下がることになるほどの利用者が見込めるわけではないと思う。
- ・ 週末だけでもよいから、観光資源巡回ルートがあるとよいという声はあるが、コストに見合う利用者が見込めるかは分からない。
- ・ 駅のレンタサイクルは年間 100 件くらいの利用がある。難しいとは思いますが、例えば行きは町営バスを利用（バスに自転車を乗せ）し大岩へ行き、帰りはレンタサイクルで帰るという利用の方法があれば、利用する人がいるかもしれない。
(関係者ヒアリング調査)

⑤ 外出の際に困ること

- ・ 外出の際「困ることがある」町民は全体で約 2 割である。
- ・ 年齢別では 10 代で約 3 割と 65 歳以上で約 2 割、エリア別では白萩と柿沢・大岩で約 3 割が「困ることがある」と答えている。

- ・ 外出の際に「困ることがある」町民は全体で 17.7% である。
- ・ 年代別では 10 代が 28.6%、65 歳以上が 19.2% 「困ることがある」と答えており、全体に比べ「困ることがある」と答えた割合が高い。
- ・ エリア別では柿沢・大岩で 31.4%、白萩で 27.3%が「困ることがある」と答えている。
(町民アンケート調査)

(4) 公共交通の利用実態

① 公共交通全体

- ・富山地鉄本線の利用者数は令和3年度から令和4年度にかけて増加しているが、平成30年度と比べると減少している。新相ノ木駅、新宮川駅ではパーク・アンド・ライドを実施しており、令和2年度以降利用者が増加している。
 - ・町営バスの利用者は、路線改定後、年々増加している。
 - ・タクシーの輸送人員は、令和元年から令和2年は新型コロナウイルス感染症の流行の影響により減少したが、令和2年以降増加している。
 - ・地鉄本線利用者のうち、町営バスを利用する人は約1割である。
- ・富山地鉄本線の利用者数は平成30年度から令和3年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり減少している。令和3年度から令和4年度にかけて増加しているが、平成30年度と比べると149,927人(19.8%)減少している。令和5年度は再び減少し、駅別の利用者数は、相ノ木駅が27,623人、新相ノ木駅が134,546人、上市駅が461,373人、新宮川駅が48,622人である。
 - ・町営バスは7路線。令和2年度に33,396人の利用があり、年々増加しており、令和4年度には39,869人、令和2年度に比べ6,473人(19.3%)増加している。
 - ・町内にはタクシー事業者が2事業者あり、普通タクシーの台数は、旭自動車(株)が12台、(有)GM交通が10台である。町内のタクシー輸送人員は、令和元年から令和2年は新型コロナウイルス感染症の流行の影響により減少したが、令和2年以降増加している。令和2年と比較し、令和4年度は22.2%(14,020人)増加している。
 - ・地鉄本線は「利用している」人が15.5%、町営バスは「利用している」人が3.6%である。(町民アンケート調査)
 - ・平日、地鉄本線と町営バスにおける15分以内に乗継ぎ可能な本数の割合は、上り(富山方面)の地鉄本線への町営バスからの乗継ぎは28便あり、上りの地鉄本線から町営バスへの乗継ぎは25便ある。下り(魚津方面)の地鉄本線への町営バスからの乗継ぎは13便あり、下りの地鉄本線から町営バスへの乗継ぎは39便ある。
 - ・地鉄本線利用者のうち、町営バスを利用している人は、11.2%である。(地鉄本線利用者アンケート調査)

② 町営バス

- ・町営バス利用者は高齢者と小学生・中学生が多い。
 - ・予約のりあい、1便あたり1人未満と利用が少ない路線もある。
 - ・町営バスを使わない理由は、約9割が「自家用車等を運転するから」。65歳以上でも同様である。
- ・路線別の便あたり利用者数は、柿沢・大岩線(大岩行1.49人/便、センター行1.75人/便)、南加積線5.47人/便、宮川線3.19人/便、相ノ木線5.22人/便、弓庄線5.87人/便、白萩線0.94人/便、陽南線0.32人/便である。
 - ・地鉄本線利用者の町営バスの利用頻度は、「その他(月1回より少ない)」(81.8%)が最も多く、次いで「月1、2回」が13.6%である。(地鉄本線利用者アンケート調査)
 - ・町営バスを使わない理由は、「自家用車等を運転するから」が最も多く、回答者の93.6%を占める。次いで、「町営バスが不便だから」が11.4%。65歳以上では、「自家用車等を運転するから」が最も多く、回答者の95.2%。次いで、「町営バスが不便だから」が11.2%。(町民アンケート調査)

③ スクールバス

- ・スクールバスは、「通年で利用している」人が約2割。スクールバス利用時の天候は、「降雪時」が約7割、「降雨時」が5割。
- ・スクールバスを利用しない理由は、「徒歩等で通学できるので利用する必要がない」が約8割、「利用したいが、定期券発行の範囲外である」が約1割。スクールバスの改善点は、回答者の約6割が「特になし」、約3割が「運行時間の変更（夕方）」、約2割が「運行時間の変更（朝）」と答えている。

- ・スクールバスは、「利用していない」人が72.3%、「通年で利用している」人が16.4%である。スクールバスの利用頻度は、「週3～4日程度」が27.1%、「毎日」が25.9%、「週1日未満」が22.4%。スクールバスを利用する際の天候は、「降雪時」が69.0%、「降雨時」が54.0%。（町民アンケート調査）
- ・スクールバスを利用しない理由は、「徒歩等で通学できるので利用する必要がない」が83.5%、「利用したいが、定期券発行の範囲外である」が8.7%。スクールバスの改善点は、「特になし」が60.6%「運行時間の変更（夕方）」が28.0%、「運行時間の変更（朝）」が16.6%。（町民アンケート調査）
- ・町内の3小学校は、令和8年度に統合する予定で準備を進めている。

④ パーク・アンド・ライド

- ・地鉄本線利用者のパーク・アンド・ライドの利用状況は、「利用している」が約2割、「知っているが利用していない」が約5割、「知らなかった」が約3割。
- ・パーク・アンド・ライドの満足度は、「満足」と「やや満足」の合計が約7割。

- ・パーク・アンド・ライドの利用状況は、「利用している」が22.8%、「知っているが利用していない」が47.7%、「知らなかった」が29.5%。
- ・利用している駐車場は、「新相ノ木駅」85.7%（36人）、「新宮川駅」14.3%。
- ・パーク・アンド・ライドの満足度は、「満足」と「やや満足」の合計が69.0%。（地鉄本線利用者アンケート調査）

⑤ 高速バス（新潟便）

- ・上市停留所の利用状況は、町民・地鉄本線利用者ともに約8割以上が「乗降したことがない」。今後の利用意向は、町民・地鉄本線利用者ともに約4割が「利用したい」と答えている。

【町民アンケート】

- ・上市停留所の利用状況は、「乗降したことがない」が85.3%、「乗降したことがある」が14.7%。乗降したことがある人の利用回数は、「2回～5回」が45.5%、「1回」が29.9%。利用目的は、「趣味・娯楽」が48.7%、「旅行」が47.4%。
- ・上市停留所の今後の利用意向は、「利用するつもりはない」が61.1%、「利用したい」が38.9%。
- ・利用する際の行先は、「東京方面」85.4%、「関西方面」61.2%、「中京方面」46.1%。

【地鉄本線利用者アンケート】

- ・上市停留所の利用状況については、「乗降したことがない」が94.2%、「乗降したことがある」が5.8%。乗降したことがある人の利用回数は、「2回～5回」が60.0%、次いで「1回」と「10回以上」が同率でそれぞれ20.0%。利用目的は、「趣味・娯楽」が45.5%、「通学」、「旅行」、「その他」がそれぞれ同率で18.2%。
- ・上市停留所の今後の利用意向は、「利用するつもりはない」が65.2%、「利用したい」が34.8%。
- ・利用する際の行先は、「東京方面」84.6%、「関西方面」52.3%、「中京方面」40.0%。

⑥ 公共交通利用意向

- ・ 現在町営バスを利用していない町民の今後 5 年間の利用意向は約 1 割であるが、年代別では高齢者の約 2 割が「利用するようになると思う」と答えている。エリア別では宮川、柿沢・大岩の住民の約 1.5 割は利用意向がある。

- ・ 普段、町営バスを利用していない人の今後 5 年間の町営バス利用意向は、「利用するようになると思わない」が 60.0%。次いで、「分からない」が 30.7%、「利用するようになると思う」は、9.3%。
- ・ 65 歳以上の利用意向は、「わからない」が最も多く 40.2%、次いで「利用するようになると思わない」が 37.7%、「利用するようになると思う」は、22.1%。
- ・ エリア別の利用意向は、「利用するようになると思う」と答えた人の割合が 10%以上の地区は、柿沢・大岩（14.7%）、宮川（14.3%）、弓庄（11.8%）。

（町民アンケート調査）

⑦ 町営バスの利用促進

- ・ 町営バスは、需要と費用に応じた運行本数の見直し、利便性の向上による利用促進が求められている。

- ・ 町営バスのラッピングの効果については、「乗りたい気持ちに特に変化はなかった」が最も多く、56.9%、次いで、「少し乗りたくなった」が 32.2%。（町民アンケート調査）
- ・ 地鉄本線利用者の町営バスの満足度は、「ふつう」が 36.4%。「満足」と「やや満足」の合計は 36.3%、「不満」と「やや不満」の合計は 27.3%。上市町営バスの改善点は、「バスの運行本数が少ない」が 58.0%。増便の希望は「7 時台」が 62.9%、「8 時台」が 40.3%。始発時の希望は「6 時台」が 55.6%、「7 時台」が 38.9%。終発時の希望は「20 時台」が 57.9%。（地鉄本線利用者アンケート調査）
- ・ 町営バスのキャッシュレス決済の利用意向は、「キャッシュレス決済を利用したいと思う」が最も多く 57.7%。「キャッシュレス決済を利用したいと思う」人は、10 代では 50.0%を占め、20～64 歳では 68.2%を占める。（町民アンケート調査）
- ・ 外出の際に「困ることがある」と答えた人があげる理由は、全世代では、「地鉄本線：自宅から駅までが遠い」（63.0%）、「町営バス：運行本数が少ない」（56.5%）、「地鉄本線：運賃が高い」（53.3%）、「地鉄本線：運行本数が少ない」（45.7%）である。65 歳以上では、「地鉄本線：運賃が高い」（55.0%）、「町営バス：運行本数が少ない」（55.0%）、「地鉄本線：自宅から駅まで遠い」（50.0%）である。（町民アンケート調査）

⑧ 地域公共交通の維持について

- ・ 地域公共交通の必要性について、町民の約 9 割が「必要」「やや必要」と考えている。公共交通を維持・充実するためにできる取り組みは、全世代・65 歳以上ともに、約 6 割が「ご自身による積極的な利用」と考えている。

- ・ 地域公共交通維持の必要性については、「必要」が 73.1%、「やや必要」が 19.2%、「必要ない」と「あまり必要ではない」の合計は 2.0%。エリア別の意向は、「必要である」の割合が最も高かったのは、弓庄で 78.9%。次いで宮川が 77.4%、次いで柿沢・大岩が 77.1%である。
- ・ 公共交通が必要な理由は、「将来利用する見込みだから」が最も多く、回答者の 50.2%を占める。次いで、「公共交通がないと送迎が必要になるから」が 43.6%である。

- ・ 65 歳以上では、「将来利用する見込みだから」が最も多く、回答者の 60.7%を占める。次いで、「公共交通がないと送迎が必要になるから」が 28.6%。
 - ・ 「将来利用する見込みだから」と答えた人に利用する時期を聞いたところ、「5 年より後」と答えた人が最も多く、回答者の 77.9%。高齢者では「5 年より後」と答えた人が最も多く、回答者の 77.6%である。
 - ・ 公共交通を維持・充実するためにできる取り組みは、「ご自身による積極的な利用」が 54.6%、「家族・友人等への利用の呼びかけ」が 30.9%、「ノーマイカーデー等自動車利用を抑制する取り組みへの参加」が 29.1%。65 歳以上では、「ご自身による積極的な利用」が 60.6%、「家族・友人等への利用の呼びかけ」24.8%、「ノーマイカーデー等自動車利用を抑制する取り組みへの参加」が 23.9%。
 - ・ 公共交通と連携したイベントへの参加意向は、「参加しない」が 63.3%、「参加する」が 36.7%。
- (町民アンケート調査)

(5) 公共交通にかかる財政負担

① 公共交通にかかる財政負担・収支率

- ・ 公共交通の財政負担は概ね年間 30,000 千円程度である。

- ・ 町営バス、予約のりあいにかかる町負担額は、概ね年間 30,000 千円程度である。町負担額は、令和元年から増加傾向にある。運賃収入は、令和 2 年から令和 4 年まで増加。収支率は、令和元年の 10.1%から令和 2 年と令和 3 年は 10.3%へ、令和 4 年は微増し、11.4%となっている。

② 町営バス路線及び予約のりあいバスの収支状況

- ・ 利用者数が少なく、収支率が低い路線があり、改善が求められている。

- ・ 令和 4 年の路線別の収支率は、南加積線が最も高く 18.2%、次いで相ノ木線 14.1%、宮川線 11.5%である。予約のりあいバスは、2%以下と低い。令和 2 年と比較した令和 4 年の収支率が上昇している路線は、柿沢・大岩線 (1.2 ポイント上昇)、南加積線 (2.5 ポイント上昇)、相ノ木線 (2.3 ポイント上昇)、弓庄線 (2.5 ポイント上昇)、陽南線 (0.1 ポイント上昇) である。収支率が減少しているのは、宮川線 (2.1 ポイント減少)、白萩線 (0.7 ポイント減少) である。
- ・ 令和 4 年の乗客 1 人に対する町の財政負担額は、南加積線 (561 円) が最も安く、次いで相ノ木線 (699 円)、柿沢・大岩線 (885 円) である。白萩線 (4,411 円)、陽南線 (12,493 円) は千円以上である。

③ 公共交通の維持に関する町民の理解

- ・町民や利用者は、公共交通維持の必要性に一定の理解を示している。

【町民アンケート調査】

- ・町民は、地域公共交通維持必要性について、「必要」が 73.1%、「やや必要」が 19.2%、「必要ない」と「あまり必要ではない」の合計は 2.0%。
- ・町民のエリア別の意向は、「必要である」の割合が 70%以上の地区は、弓庄 78.9%。宮川 77.4%、柿沢・大岩が 77.1%、音杉が 74.4%、相ノ木 71.8%、上市 70.5%。

【地鉄本線利用者アンケート調査】

- ・地鉄本線利用者は、地域公共交通維持の必要性について、「必要」が 82.2%。「必要」と「やや必要」の合計は、91.6%、「必要ではない」と「あまり必要ではない」の合計は 1.0%。
- ・エリア別の意向は、「必要である」の割合が 90%以上の地区は、弓庄 100.0%、上市 93.0%、南・山加積 92.9%。

2 課題の整理

地域公共交通を取り巻く現況より、次のとおり課題を整理する。

課題1 車を利用しない高齢者も生き生き暮らせる公共交通の確保 (町営バス)

- ・高齢者の暮らしを守るため、車を利用しない高齢者の買物や通院などを目的とした移動を支える公共交通の確保が必要である。
- ・既存の交通手段の持続的な運行による移動しやすい町内環境の実現が必要である。

課題2 通勤・通学の利便性向上により、 現役世代が生活しやすい上市町の確立

- ・パーク・アンド・ライド等の周知による利用推進、鉄道駅の利便性強化による住みよい環境づくりが必要である。
- ・交通情報の提供、電車とバスの接続性向上、町営バスのキャッシュレス決済導入の検討等による通勤・通学時の公共交通の利便性向上が必要である。

課題3 小中学生が安全・安心に通学できる交通手段の確保 (町営バス)

- ・引き続き、安全、安心な登下校交通の確保が必要である。
- ・小学校の学校統合を見据え、学校運営と連携したスクールバスの運行が必要である。

課題4 低利用率路線の利用率向上等、公共交通の維持・効率化

- ・財政効率が低い路線の運行内容の見直しによる最適化に加え、利用促進を進めることで財政効率の向上を目指す必要がある。
- ・バスやタクシーの運転手不足等、交通事業者の状況を把握し、利用状況に合わせて持続可能な運行内容の見直しを図ることが必要である。

課題5 DX と face-to-face の組合せにより公共交通の利用促進を 図り、SDGs を実現

- ・子供から高齢者まで全ての世代が公共交通を維持する意識を高め、積極的に利用する気運を醸成することが必要である。
- ・高速バスの利用促進、観光目的の移動ニーズ等、多様な移動ニーズへの対応が必要である。
- ・MaaS を活用した公共交通の利便性向上と利用促進、キャッシュレス化等による利便性の向上が必要である。

VII 基本方針・目標

1 基本方針

(1) 基本方針

つながる・にぎわう・ささえあう、 みんなが主役のまちをつくる交通の実現

- ・第8次上市町総合計画では、まちの将来像を「つながる にぎわう ささえあう すべては私とミライのために みんなが主役のまち 上市」と定め、町民一人ひとりが幸せになるまちづくりを進めています。
- ・この考え方をふまえ、つながる（子育て・教育）、にぎわう（産業・基盤）、ささえあう（安全・安心な暮らし）まちをつくる公共交通サービスの実現を目指します。

(2) 計画の目標

目標 1

みんなが活き活き暮らせるまちを実現する生活交通網

- ・車を利用しない高齢者も活き活き暮らせる生活交通網の維持、利便性向上をめざす。
- ・既存の交通手段の持続的な運行と利便性向上をめざす。
- ・小中学生の安全、安心な通学環境を実現する。

目標 2

町外移動の利便性を高め、定住できるまちを実現する 広域交通軸

- ・通勤・通学の利便性向上により、現役世代が生活しやすい広域交通軸の魅力向上をめざす。
- ・鉄道とバスの接続性向上による利便性の強化を行う。

目標 3

公共交通サービスの利便性向上と効率化による公共交通 の持続性向上

- ・低利用率路線の見直しの検討や利用率の向上をめざす。
- ・運転手不足等、交通事業者が直面する状況と利用実態の定期的な把握に努め、持続性と利便性を考慮した改善策を検討する。

目標 4

DX と face-to-face による 利用促進、多様なニーズへの対応

- ・モビリティ・マネジメントの実施による公共交通の利用機会の創出を実施する。
- ・MaaS の活用と周知による利用促進を図る。
- ・観光施設等へのアクセス確保など多様なニーズへの対応を検討する。

2 基本方針に基づく目標と施策体系

目標	施策	
【目標１】 みんなが生き生き暮らせるまち を実現する生活交通網	1-1	既存サービスの持続的な運行と地域内の移送手段の把握
	1-2	町営バス利便性の向上策の推進（運賃、支払方法、ダイヤ、車両、ルート等）
	1-3	スクールバスの持続的な運行による通学の移動手段の確保
【目標２】 町外移動の利便性を高め、 定住できるまちを実現する 広域交通軸	2-1	鉄道事業者と連携した持続的な運行 （駅設備、パーク・アンド・ライド等）
	2-2	鉄道と町営バスの接続性の向上
【目標３】 公共交通サービスの利便性向上と 効率化による公共交通の 持続性向上	3-1	利便性と持続性に配慮した ルート・ダイヤの見直しと運行
【目標４】 DX と face-to-face による 利用促進、 多様なニーズへの対応	4-1	体験型・イベント型モビリティ・マネジメントの 実施（公共交通利用の意識醸成）
	4-2	キャッシュレス化の導入
	4-3	MaaS※アプリの活用と周知
	4-4	観光面での利用促進（高速バスの利用促進・観光プ ランの周知等）

※ MaaS（Mobility as a Service）：地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるもの。

3 地域公共交通の将来イメージ

機能	移動のイメージ	公共交通機関	主な利用目的
都市間広域移動	周辺市町など広域的な移動を支える路線	・富山地鉄本線 ・高速バス	通勤、通学、買物、通院、観光
地域間移動	地域内移動を支え、るとともに、都市間広域移動の拠点に接続する路線	・富山地鉄本線 ・町営バス ・予約のりあいバス※ ・タクシー	通勤、通学、買物、通院、観光
地域内移動	地域内の日常的な移動を支える路線	・町営バス ・予約のりあいバス※ ・タクシー	通勤、通学、買物、通院

※ 予約のりあいバス「白萩線」と「陽南線」は、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）の国庫補助対象路線

4 目標と目標値

目標1 みんなが生き生き暮らせるまちを実現する生活交通網

指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	評価年
①「外出の際、困ること」がある町民の割合	17.7% (R5)	15.0%	令和12年
②町営バス1便あたりの利用者数	3.6人/便 (R4)	4.0人/便	毎年
③予約のりあいバス1便あたりの利用者数	1.36人/便 (白萩線 R4) ※ 1.16人/便 (陽南線 R4) ※	1.40人/便 (白萩線) 1.20人/便 (陽南線)	毎年
④スクールバスのカバー率	100.0% (R6)	100.0%	令和12年

※③予約のりあいバス1便あたりの利用者数は、R4.10～R5.9までの実績。

目標2 町外移動の利便性を高め、定住できるまちを実現する広域交通軸

指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	評価年
①富山地鉄本線町内4駅1日利用者数	1,837人/日 (R5)	1,900人/日 以上	毎年
②地鉄本線利用者の満足度（「満足」「やや満足」と答えた人の割合）	32.1% (R5)	35.0%	令和12年
③パーク・アンド・ライド駐車場利用者の満足度（「満足」「やや満足」と答えた人の割合）	69.0% (R5)	75.0%	令和12年
④地鉄本線利用者の町営バスに対する満足度（「満足」「やや満足」と答えた人の割合）	36.3% (R5)	40.0%	令和12年

目標3 公共交通サービスの利便性向上と効率化による公共交通の持続性向上

指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	評価年
①利便性と持続性の確保 (公共交通の担い手確保)	交通事業者の 状況確認	継続実施	令和12年
②町営バスの収支率	13.8% (R4)	現状より改善	令和12年
③予約のりあいバスの収支率	1.4% (白萩線 R4) 0.7% (陽南線 R4)	現状より改善	令和12年

目標4 DX と face-to-face による利用促進、多様なニーズへの対応

指標	現状値 (令和 6 年度)	目標値 (令和 12 年度)	評価年
①地域公共交通維持の必要性への理解（地域公共交通維持が「必要」「やや必要」と答えた人の割合）	92.3% (R5)	現状より上昇	令和 12 年
②モビリティ・マネジメントの継続的实施	イベントとの公共交通の 事業連携件数 5 件 (R5)	現状維持	令和 12 年

Ⅷ 目標達成のための施策体系及び事業

1 施策・事業

【目標 1】 みんなが活き活き暮らせるまちを実現する生活交通網

取組施策		事業	実施主体	実施スケジュール				
				R7	R8	R9	R10	R11
1-1	既存サービスの持続的な運行と地域内の移送手段の把握	①既存サービスの持続的な運行と地域内の移送手段の把握	上市町・交通事業者・町内福祉施設	情報収集・検討				
1-2	町営バス利便性の向上策の推進（運賃、支払方法、ダイヤ、車両、ルート等）	①利用状況の把握・分析に基づくルート・ダイヤ等の見直し	上市町・交通事業者	実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
		②次世代環境対応車両の普及促進	上市町・交通事業者	情報収集・検討				
1-3	スクールバスの持続的な運行による通学の移動手段の確保	①令和 8 年度の小学校統廃合に対応したスクールバス運行計画の検討・実施	上市町・交通事業者	検討	実施	継続運行	継続運行	継続運行
		②小中学校を統合した義務教育学校整備に対応するスクールバス運行計画の検討	上市町・交通事業者	検討				

【目標 2】 町外移動の利便性を高め、定住できるまちを実現する広域交通軸

取組施策		事業	実施主体	実施スケジュール				
				R7	R8	R9	R10	R11
2-1	鉄道事業者と連携した持続的な運行（駅設備、パーク・アンド・ライド等）	①駅施設の利便性向上	上市町・交通事業者	情報収集・検討				
		②パーク・アンド・ライドの利用促進	上市町・交通事業者	実施・継続実施 情報収集・検討				
		③鉄道路線の安全性確保と維持活性化	上市町・交通事業者	実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
2-2	鉄道と町営バスの接続性の向上	①鉄道と町営バスの接続性の向上	上市町・交通事業者	実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

【目標 3】 公共交通サービスの利便性向上と効率化による公共交通の持続性向上

取組施策		事業	実施主体	実施スケジュール				
				R7	R8	R9	R10	R11
3-1	利便性と持続性に配慮したルート・ダイヤの見直しと運行	①交通事業者ヒアリングの実施	上市町・交通事業者	実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
		②公共交通の担い手確保の重要性の周知	上市町・交通事業者	実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
		③利用状況の把握・分析に基づくルート・ダイヤ等の見直し（再掲）	上市町・交通事業者	実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

【目標4】DX と face-to-face による利用促進、多様なニーズへの対応

取組施策		事業		実施主体	実施スケジュール				
					R7	R8	R9	R10	R11
4-1	体験型・イベント型モビリティ・マネジメントの実施（公共交通利用の意識醸成）	①公共交通の利用状況・利用方法などの周知・説明会の実施		上市町・地域住民	実施・継続実施 検討・順次実施				
		②高齢者への運転免許返納の促進		上市町・富山県上市警察署	実施・継続実施 情報収集・検討				
		③モビリティ・マネジメントの推進	③-1 学校教育などにおけるモビリティ・マネジメントの実施	上市町・町内小学校	検討・順次実施				
			③-2 子供や高齢者を対象とした公共交通利用体験ツアーの実施	上市町・交通事業者・地域住民	実施・継続実施 検討・順次実施				
		④利用しなくなる公共交通の実現	④-1 町営バスや駅空間を活用した利用促進	上市町・交通事業者・地域住民	実施・継続実施 検討・順次実施				
			④-2 イベントとの連携による公共交通の利用促進と情報発信	上市町・交通事業者・地域住民・観光協会	実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
4-2	キャッシュレス化の導入	①町営バスへのキャッシュレス化の導入		上市町・交通事業者	実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
4-3	MaaS アプリの活用と周知	①my route（マイルート）富山の活用と周知		上市町・交通事業者	実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
		②MaaS アプリの活用方法や導入可能性の検討		上市町・交通事業者・商工会・観光協会	情報収集・検討				
4-4	観光面での利用促進（高速バスの利用促進・観光プランの周知等）	①観光資源との連携		上市町・交通事業者・観光協会	検討・順次実施				
		②新幹線・地鉄本線・町営バス・タクシーとの連携		上市町・交通事業者・観光協会	検討・順次実施				

2 各施策と事業内容

【目標 1】 みんなが生き生き暮らせるまちを実現する生活交通網

1-1 既存サービスの持続的な運行と地域内の移送手段の把握

事業① 既存サービスの持続的な運行と地域内の移送手段の把握

(実施主体：上市町・交通事業者・町内福祉施設)

- ・運転手不足等公共交通の担い手不足が課題とされる中、高齢者等の移動手段を確保するため、全国では住民互助による移送サービスの実施、福祉施設の移動手段の活用・連携、乗合タクシーなど、地域内の資源を活用した様々な形態の移送サービスが行われている。
- ・上市町内でも地域内の限りある資源を有効活用し、今後も移動手段を継続的に確保していくため、富山地方鉄道の電車・町営バス・タクシーの持続的な運行に努めるとともに、必要に応じて福祉施設の移動手段等それらを補完する既存の移送手段の把握や活用、連携の可能性について検討していく。

1-2 町営バス利便性の向上策の推進

(運賃、支払方法、ダイヤ、車両、ルート等)

事業① 利用状況の把握・分析に基づくルート・ダイヤ等の見直し

(実施主体：上市町・交通事業者)

- ・町営バスは、令和元年 10 月にルートを改編し、令和 2 年以降、利用者が増加している。今後も利用状況の把握と分析を行い、運行ルートとダイヤや運賃、支払方法を見直すなど、利便性向上と利用状況を踏まえた適切な運行を目指す。

事業② 次世代環境対応車両の普及促進 (実施主体：上市町・交通事業者)

- ・カーボンニュートラルの実現を目指し、次世代環境対応車両（電気バス・プラグインハイブリッドバス等）の導入について検討を図るとともに、高齢者や障がい者も乗り降りしやすいバリアフリーに対応した車両（乗降や車内のステップの高さなど）の導入についても検討する。



電気バス

※出典：国土交通省資料

1-3 スクールバスの持続的な運行による通学の移動手段の確保

事業① 令和 8 年度の小学校統廃合に対応したスクールバス運行計画の検討・実施（実施主体：上市町・交通事業者）

- ・ 町内の 3 小学校は、令和 8 年度に小学校の統合を計画している。小学校統合後も子供たちが安全に登下校できるよう、町営バスとスクールバスの見直しを行う。

事業② 小中学校を統合した義務教育学校整備に対応するスクールバス運行計画の検討（実施主体：上市町・交通事業者）

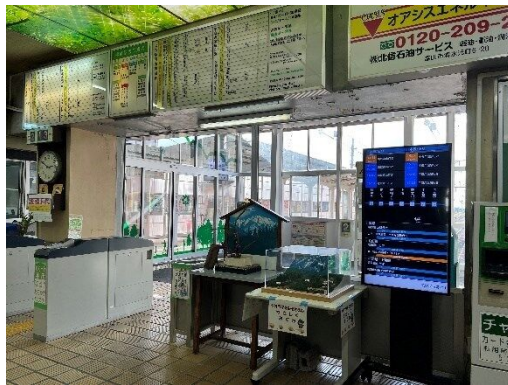
- ・ 令和 13 年度以降に、町内全ての小中学校を統合した義務教育学校の開校を目指している。子供たちが安全に登下校できるよう、統合後の町営バスとスクールバスの見直しについて検討する。

【目標 2】 町外移動の利便性を高め、定住できるまちを実現する広域交通軸

2-1 鉄道事業者と連携した持続的な運行 (駅設備、パーク・アンド・ライド等)

事業① 駅施設の利便性向上 (実施主体：上市町・交通事業者)

- ・上市町民と地鉄本線利用者を対象としたアンケート調査（R5 年度実施）では、「上市駅構内にあったらよいもの」として、最も多くの人々が「デジタルサイネージ（電子掲示板）」を選んだ。その後、令和 6 年度に入り、富山地方鉄道により、上市駅改札口横にデジタルサイネージが設置されており、今後は、アンケートで意向の高かった「コインロッカー」や「宅配便ロッカー」についても設置可能性を検討し、駅施設の利便性向上に向けた取組を実施する。



上市駅改札口横のデジタルサイネージ

事業② パーク・アンド・ライドの利用促進 (実施主体：上市町・交通事業者)

- ・地鉄本線利用者を対象としたアンケート調査（R5 年度実施）では、パーク・アンド・ライドの利用有無は、「利用している」が 22.8%、「知っているが利用していない」が 47.7%、「知らなかった」が 29.5%であった。駅利用者への周知などにより、パーク・アンド・ライドの認知度向上と利用促進を図る。
- ・利用台数が多い新相ノ木駅のパーク・アンド・ライド駐車場について、駐車スペース拡張の可能性を検討していく。

事業③ 鉄道路線の安全性確保と維持活性化 (実施主体：上市町・交通事業者)

- ・富山地方鉄道の鉄道路線は、通勤・通学を始めとする住民生活や町内観光等の交通手段として重要な役割を担っている。今後も事業者はもちろん県や関係市町村と連携し、鉄道の安全性や維持・活性化に向けて必要な応分の費用負担を行うとともに利用促進に取り組む。

2-2 鉄道と町営バスの接続性の向上

事業① 鉄道と町営バスの接続性の向上（実施主体：上市町・交通事業者）

- ・ 鉄道と町営バスの乗換がスムーズにできるよう、鉄道ダイヤ改正に合わせて町営バスの運行ダイヤの変更必要性を確認し見直しを行う。

【目標 3】公共交通サービスの利便性向上と効率化による公共交通の持続性向上

3-1 利便性と持続性に配慮したルート・ダイヤの見直しと運行

事業① 交通事業者ヒアリングの実施（実施主体：上市町・交通事業者）

- ・令和 5 年度に実施した交通事業者ヒアリングでは、バス運行事業者から 2024 年問題への懸念の意見が聞かれた。また、タクシー事業者からは運転手の高齢化に関する意見が聞かれた。今後も定期的に交通事業者の状況を確認しつつ、町営バスの運行内容の見直しを図っていく。

事業② 公共交通の担い手確保の重要性の周知 （実施主体：上市町・交通事業者）

- ・二種免許取得者の減少や運転手の高齢化など、公共交通の担い手不足が課題とされる中、地域公共交通の持続可能な運行を図るため、公共交通の重要性やその維持活性化に係る仕事のやりがい等の周知、住民の利用意識の醸成により、公共交通への関心を高め担い手の確保を図る。

事業③ 利用状況の把握・分析に基づくルート・ダイヤ等の見直し（再掲） （実施主体：上市町・交通事業者）

- ・町営バスは、令和元年 10 月にルートを改編し、令和 2 年以降、利用者が増加している。今後も利用状況の把握と分析を行い、運行ルートとダイヤや運賃、支払方法を見直すなど、利便性向上と利用状況を踏まえた適切な運行を目指す。

【目標4】DXとface-to-faceによる利用促進、多様なニーズへの対応

4-1 体験型・イベント型モビリティ・マネジメントの実施 (公共交通利用の意識醸成)

事業① 公共交通の利用状況・利用方法などの周知・説明会の実施 (実施主体：上市町・地域住民)

- ・高齢者を対象とした講習会や地域の集まり等の実施時に町営バスや予約のりあいバス等の利用実態や利用方法等について説明を行う。
- ・公共交通に対する町民の関心を高めてもらうため、「広報上市」で町営バスの利用実態や利用方法の紹介を行う。
- ・現在実施している Facebook（上市町移住定住促進ネットワーク）や Instagram（上市町移住交流担当）、Youtube（上市町公式 Youtube チャンネル）等 SNS を活用した公共交通に関する情報発信を継続する。

【事例】上市町内の SNS 発信



Facebook
(上市町移住定住促進ネットワーク)



Youtube
(上市町公式 Youtube チャンネル)



Instagram
(上市町移住交流担当)

事業② 高齢者への運転免許返納の促進

(実施主体：上市町・富山県上市警察署)

- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業を継続し、商業施設や観光施設との連携など、支援拡充の可能性について検討を行う。
- ・運転免許証を自主返納した高齢者に対して、地域公共交通の利用に関する情報提供を行う。

【事例】富山県の各自治体における運転免許自主返納者支援事業一覧

実施自治体	対象年齢	支援内容
朝日町	65 歳以上	次のいずれか 1 つを交付 ○あさひ商品券 (1,000 円券×15 枚) ○老人福祉センター回数券 (11 枚×5 セット) ○「らくちへの」シルバー入浴券 30 枚 ○公共バス (あさひまちバス) 回数券 (11 枚×8 セット 16,000 円相当) ○公共バス (あさひまちバス) 定期券 (6 か月分 1 枚 18,000 円相当) ○あさひヒスイ海岸パークゴルフ場年間利用券
入善町	65 歳以上	次の公共交通機関で利用できる「公共交通利用券」を 3 年間継続して交付 ○町営バス「のらんマイ・カー」の運賃・定期券・回数券の料金(1) ○デマンド交通「ウチマエくん」の運賃 入善町内のタクシー運賃(2) また(1)は町営バス運賃等割引カードによる割引、(2)は運転経歴証明書による割引も併用も可
黒部市	65 歳以上	市内バスのフリーパス(市内 7 路線の無料乗車券、無期限)を交付し、さらに次のうちいずれか 1 つを選択 ○市内タクシー業者のタクシー利用券(1 万 5 千円分、2 年間有効) ○富山地方鉄道 IC カード「えこまいか」(1 万 5 千円相当) ○富山地方鉄道ゴールドパスの購入費助成(上限 1 万 5 千円) ○電動補助機付自転車の購入費助成(上限 1 万 5 千円) ○デマンドタクシー回数券の購入費助成(上限 1 万 5 千円)
魚津市	年齢制限なし	市内バス無料乗車証 (1 年間) (希望される方は返納者の配偶者にも交付)
滑川市	65 歳以上	コミュニティバス(のるマイカー)のフリー乗車券を交付 ・70 歳以上の方は 3 年間有効フリー乗車券 ・65 歳以上 70 歳未満の方は 5 年間有効フリー乗車券
上市町	65 歳以上	町営バスの無料乗車証 (運転経歴証明書の交付より 5 年後の月末まで有効)
上市区域交通安全協会	65 歳以上	運転経歴証明書取得費用(写真代含む)1,500 円
立山町	65 歳以上	町営バス・ワゴンの 3 年間フリーパス定期券を交付
立山町交通安全協会	65 歳以上	運転経歴証明書取得費用(写真代含む)1,500 円
舟橋村	65 歳以上	月額 4,000 円を 2 期に分けて 5 年間支給 支援金は、令和 6 年度で終了。

富山市		高齢者運転免許自主返納支援事業は令和3年度（2022年3月31日）で申請の受付を終了。
射水市	65歳以上	次のうちいずれかを提供（返納した日から1年以内に申請） ・射水市コミュニティバス等無料乗車証（AI オンデマンドバス・デマンドタクシー含む）5年間有効 ・万葉線回数券2万円相当分 ・加越能バス回数券2万円相当分 ・富山地方鉄道ICカード2万円相当分
高岡市	65歳以上	公共交通機関等の乗車券を交付（「万葉線、加越能バス共通回数乗車券」または「タクシー等利用券」の中から選択） ・返納時65～74歳16,500円相当 ・返納時75歳以上11,000円相当
氷見市	70歳以上	(1)運転経歴証明書の取得にかかる手数料助成（県収入証紙） (2)次のいずれかを選択 ・加越能バスの回数券（2万円分） ・市内タクシー業者の利用券（2万円分） ・市内NP0バスの利用券（2万円分）
砺波市	70歳以上	次のうちのいずれかを選択（返納した日から60日以内に申請） ・砺波市高齢者運転免許自主返納支援事業支援券2万円相当 ・加越能バス回数券2万円相当
南砺市	70歳以上	次のうちから1つ選択 ・シルバーパス引換券3枚（3年分） ・加越能バス回数券15,000円相当分 ・タクシー利用券15,000円相当分 ・なんと共通商品券15,000円相当分
小矢部市	満65歳以上	小矢部市営バス1年定期券の交付（満75歳になるか後期高齢者医療被保険者になるまで、更新可能）

※出典：富山県警察ホームページ（令和6年9月現在）

【事例】兵庫県警察管内における運転免許自主返納者支援事業について

- ・兵庫県警察管内における高齢者運転免許証自主返納支援事業では、バス・鉄道タクシー等の公共交通機関の運賃割引の他、商業施設や観光施設との連携により、宿泊・温泉施設の割引や商品等の割引を実施している。

対象	特典内容
路線バス	半額（現金での利用に限る、高速バス、一部コミュニティバスを除く）
タクシー	乗車運賃の1割引
鉄道	特殊回数券の半額割引
宿泊、温泉 入浴割引	宿泊料金割引（15～30%割引） ※GW期間、お盆期間、花火大会開催日、シルバーウィーク、クリスマス、年末年始等の割引除外日あり 入浴料の割引
飲食店	飲食代金10%割引 ※GW期間、お盆期間、花火大会開催日、シルバーウィーク、クリスマス、年末年始等の割引除外日あり ワンドリンクサービス
商業店舗	店内商品の価格を5%割引 ポイント2倍付与 洗車券プレゼント 自転車・電動カート・電動アシスト付三輪車等購入時、割引 クリーニング1割引 商品購入時割引・粗品プレゼント 等

※出典：兵庫県警察ホームページ（令和6年9月現在）

事業③ モビリティ・マネジメントの推進

③-1 学校教育などにおけるモビリティ・マネジメントの実施 (実施主体：上市町・町内小学校)

- ・地域公共交通の重要性を理解し、公共交通を利用する意識を醸成するため、小学校統合によるスクールバスの利用方法の周知などに併せて小学生など幼少期の子供を対象としたモビリティ・マネジメントを実施する。

【事例】富山市のりもの語り教育（富山県富山市）

- ・「富山市のりもの語り教育」では、地域の財としての公共交通を含めた「乗り物（の魅力）」を、次世代を担う児童に語り継ぐことで、交通手段をバランスよく利用することを学ぶとともに、地域への愛着を育み、持続可能な社会の一員としての意識を持ってもらうことをめざしており、富山市内の小学校教諭が主体となったプログラムを作成している。プログラムは、小学校3年生から6年生を対象としている。



富山市「のりもの語り教育」小学生社会科用 パンフレット一部

※出典：富山市ホームページ

【事例】小学生を対象とした出前講座（愛知県豊橋市）

- ・愛知県豊橋市では、総合学習の一環として環境や交通について考えてもらうことで、将来的に適切な自動車利用につながるよう意識形成を図り、学習した児童たちの視点や発言がともに生活する家族の交通行動や態度を変容させることを目的として、小学生を対象とした出前講座を行っている。講座は、出前講座と体験学習に分かれており、知識と体験を組み合わせた内容となっている。

授業形態	授業時間数	学習活動
出前講座	1 時限	・地球温暖化について ・二酸化炭素の排出について ・二酸化炭素を減らす方法を考えてみよう！ ・かしこいクルマの使い方について ・家庭で一緒に考えるクルマの使い方アンケート
体験学習	1 時限	・路線バスにのってみよう！ ・バスの乗り方教室 ・「環境と乗り物について考えてみよう」事後アンケート



出前講座の様子



バスの乗り方教室の様子

※出典：豊橋市ホームページ

③-2 子供や高齢者を対象とした公共交通利用体験ツアーの実施 (実施主体：上市町・交通事業者・地域住民)

- ・ 普段公共交通を利用する機会が少ないと考えられる子育て世代に、公共交通利用の利便性を体験してもらうことを目的に、親子で公共交通や自転車などによる移動を体験するツアーを開催することで、公共交通利用に対する意識の醸成を促す。また、運転免許返納後の高齢者など公共交通を利用したことがない高齢者を中心に、町営バスを使ったおでかけ体験ツアー（買物や花見など）を実施する。
- ・ 幼少期から公共交通への関心を高め、利用する意識や環境への配慮を醸成するため、保育園と連携し、町営バスや地鉄本線の乗車体験を交えたツアーを実施する。また、14 歳の挑戦や学生のインターンシップにおける仕事体験受入に併せて乗車体験を交えた公共交通の大切さを学ぶ機会を提供する。
- ・ 鉄道車両基地見学会等の体感イベントへの参加を促し、電車の魅力を体験・体感してもらう。

【事例】地鉄電車乗車体験（上市町）

- ・ 電車に親しんでもらい、公共交通利用への理解を深めるため、保育園児を対象に、地鉄電車の乗車体験を実施した。



地鉄電車乗車体験の様子

- ・ 上市中学校の2年生を対象とした「14 歳の挑戦」では、公共交通を使い、観光地や町の魅力の発信に取組んだ。



14 歳の挑戦の様子

【事例】親子バスツアーイベントの開催（兵庫県播磨町）

- ・路線バスに親しんでもらい、公共交通利用への理解を深めるため、子育て世代の親子を対象に、バスツアーを開催した。交通系 IC カードを使ったバスの乗換えを体験し、公園へ移動し、散策をした。乗降時にはスロープを使ったり、バス車内ではベビーカーを折りたたまずに乗車するなどの体験をした。参加者を対象としたアンケートでは、今後このような機会があれば「ぜひ参加したい」「参加したい」と答えた人が 86%であった。
- ・播磨町では、町民を対象としたイベント会場で公共交通に関するブースを設置したり、高齢者を対象とし、ことぶき大学での出前講座などを開催している。

● 親子バスツアーイベント開催時の様子

■播磨町役場前バス停



バス利用時は、ベビーカーを折りたたまずに乗車することもできます*1!!

■バス車内の様子



スロープ板を使ったベビーカーの乗車体験もしました。

■バス乗車時の様子



親子バスツアーイベント開催時の様子

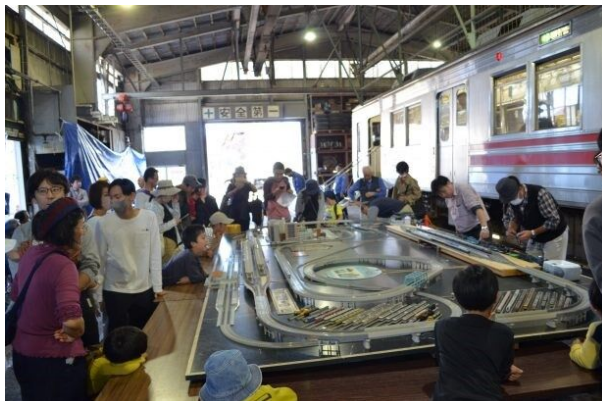


イベントにあわせ設置した公共交通利用促進コーナーの様子

※出典：播磨町資料

【事例】ちてつ電車フェスティバル（富山地方鉄道）

- ・富山地方鉄道では、地鉄電車に親しんでもらうため、日ごろは見ることのできない稲荷町車両基地の一般公開、洗車機通過体験、車両基地見学会、グッズ販売等、地鉄電車の魅力を体験・体感することができるイベントを毎年開催している。



イベントの様子

※出典：富山地方鉄道（株）ホームページ

【事例】市営バスを活用した高齢者買い物ツアーの実施（堺港市社会福祉協議会）

- ・地域内の独居高齢者や自動車運転免許証の返納者など、自力での買い物が難しい方々を対象に、市内循環バス「はまループバス」を利用したの買い物ツアーを実施。支援者や参加者同士による移動・買い物支援で、自分の目で確かめながら買い物をしていただき、地域内での交流にもつながっている。
- ・小篠津町内には、歩いて行ける範囲にスーパーがない。一方で、高齢化率は33%に迫っており、91歳を含む独居高齢者が生活しておられる。他にも、自動車の運転免許証を返納された方など、自分で買物できない方が見られた。既存の取組みとして、このような方々を支援するものがなかったことから、毎週水曜日に開催されている高齢者ふれあいサロンのお茶会にて、市内循環バス「はまる一ぷバス」を利用したの買物ツアーを提案してみたところ、参加者より「行きたい！」という強い要望があったため、実施。参加者は、自分の目で確かめながら買い物ができる喜びを感じることができ、認知症予防につながっている。足の不自由な方やひとりで買物に不安のある方に対し、支援者や元気な参加者が手助けすることで、安全に買物を行うことができる。何より、みんなで行くことで、楽しく安心して買物することができ、安否確認、介護予防、交流促進に結びついており、はまる一ぷバスの利用促進にもつながっている。
- ・実施頻度は月1回、不定期に実施している。



買い物ツアーの様子

※出典：堺港市社会福祉協議会資料

事業④ 利用したくなる公共交通の実現

④-1 町営バスや駅空間を活用した利用促進（実施主体：上市町・交通事業者・地域住民）

- ・児童の絵画の展示や装飾、ラッピングバスの運行など、町営バスや駅空間を活用した利用促進と愛着感の醸成に取り組む。

【事例】上市町営バス・予約のりあいバス（上市町）



ラッピング車両

④-2 イベントとの連携による公共交通の利用促進と情報発信 （上市町・交通事業者・地域住民・観光協会）

- ・上市町では、「親子でおでかけ事業」や「電車・バスで行こう！キャンペーン」、「つるぎフェスティバル in かみいち」など、イベントと連携し、公共交通の利用促進を実施している。上市駅構内で行われる「上市えきなか古本市」に加え、新相ノ木駅開業 10 周年記念事業では、相ノ木保育園の年長児が参加し、記念乗車と記念セレモニーを行うことで、駅の賑わいを生み出した。今後も、イベントとの連携により、町民が公共交通を利用する機会や駅の賑わいを創出し、公共交通の周知や利用促進につなげる。



上市えきなか古本市



新相ノ木駅開業 10 周年記念事業
（上市駅でのセレモニー）



フォトロゲイニング®上市まちなわの様子

※出典：上市町企画課

4-2 キャッシュレス化の導入

事業① 町営バスへのキャッシュレス化の導入 (実施主体：上市町・交通事業者)

- ・町民アンケート（R5 年度実施）では、町営バスのキャッシュレス決済の利用意向について約 6 割が「キャッシュレス決済を利用したいと思う」と答えている。町営バスの利便性向上のため、二次元バーコード（PayPay、Alipay 等）によるキャッシュレス決済を導入する。

4-3 MaaS アプリの活用と周知

事業① my route（マイルート）富山の活用と周知

（実施主体：上市町・交通事業者）

- ・現在、MaaS アプリ my route（マイルート）富山では、富山地鉄や町営バスの時刻が検索できるほか、町内の美術館等の観光施設の情報を得ることができる。my route（マイルート）富山を活用した「電車・バスで行こう！キャンペーン」への町営バスの参加などをはじめ、その活用に向けた周知を図る。

【参考】交通 MaaS「my route」富山のサービス

- ・「my route」富山は、トヨタモビリティ富山（株）と富山地方鉄道（株）が幹事会社となり、「富山 my route 推進協議会」を組織し、令和 3 年 3 月からサービスを開始している。交通及び店舗・イベント情報のサービス会社などと協力して開発したスマートフォン向けマルチモーダルモビリティサービス。ルート検索、交通チケットの事前購入、クーポン等のお得な情報を得ることができる。公共交通（バス・鉄道など）、自動車（タクシー・レンタカー・自家用車など）、自転車、徒歩など、様々な移動手段を組み合わせるルートを検索し、必要に応じて予約・決済まで行うことで移動をサポートする。また、店舗・イベント情報の検索ができる。



「my route」富山ホームページ



とやま 1日乗り放題きっぷのページ

※出典：「my route」富山ホームページ

事業② MaaS アプリの活用方法や導入可能性の検討

（実施主体：上市町・交通事業者・商工会・観光協会）

- ・my route（マイルート）富山やTabiwa等のMaaSアプリでは、公共交通機関の一日乗車券、飲食店や観光施設のお得な利用券がセットになった企画きっぷ等を提供し、必要に応じて予約・決済まで行うことで快適な移動をサポートしており、県連携事業の「電車・バスで行こう！キャンペーン」においても、my route（マイルート）富山で購入できる限定きっぷで町営バスへの乗車が可能である。今後、更なる周知と利用促進に努めるとともに、町営バスにおいても観光施設との連携による1日乗車券の発行などにより、公共交通による町内の周遊性を高め、交流人口の増加を図る方法や導入可能性について研究する。

【事例】観光 MaaS「T a b i w a」北陸（福井県・石川県・富山県・糸魚川・白馬）

- ・「T a b i w a」北陸は、J R 西日本が提供する北陸エリアで利用できる観光ナビサービスです。鉄道やバスの乗り放題パスや観光体験やグルメのチケット購入、旅先のスポット情報、経路検索などの機能が利用できる。
- ・体験では、トレインパーク白山（北陸新幹線に使われているさまざまな部品を实物展示。最新の新幹線技術に触れられる大型運転シミュレータも設置されている）や、シェアサイクルの1日パス券販売、和菓子作り体験など、多様な体験が用意されている。



※出典：Tabiwa ホームページ

4-4 観光面での利用促進 (高速バスの利用促進・観光プランの周知等)

事業① 観光資源との連携（実施主体：上市町・交通事業者・観光協会）

- ・観光施設と連携し、観光客が公共交通を利用してアクセスする方法やプランを周知する。
- ・上市町では、富山福祉短期大学生による観光地と町営バスを結び付けたモニターツアーの実施や、移住体験・大学生のインターンシップ事業実施の際に町営バスを利用するなど、公共交通と観光資源との連携を図ってきた。今後も公共交通を利用した町内の観光施設を周遊するプランの提案や情報発信を行う。

【事例】富山福祉短期大学生によるモニターツアー（上市町）

- ・上市町と富山福祉短期大学は、令和3年1月に観光振興やまちづくりに関する連携協定を結んでおり、学生から提案をもらうなどの活動を行っている。
- ・令和5年度は「バスダイヤと合わせた着地型観光ツアーやトレッキング等のモデルコースの設定・PR」事業とし、短期大学生によるモニターツアーを実施したうえで、町営バスの白萩線（予約のりあいバス）と柿沢・大岩線を組み合わせて活用した、眼目山立山寺や梶並木と湯神子温泉でリフレッシュできるヒーリングツアーが提案された。



富山福祉短期大学生によるモニターツアーの様子

※出典：上市町企画課

【事例】学生インターンシップ事業での町営バス利用（上市町）

- ・上市町では、上市高校や東洋大学（東京都）等、学生のインターンシップを受け入れている。インターンシップ活動に参加するにあたり、町営バス等公共交通機関の利用を推奨し、活動中にも公共交通の利用を絡め、その役割や大切さを感じてもらえるよう努めている。



学生インターンシップ事業での町営バス利用の様子

※出典：上市町企画課

【事例】町営バスを活用したモニターツアーの実施（（一社）立山町観光協会）

- ・（一社）立山町観光協会では、町営バスを利用し、観光施設をガイドと巡ったり、陶芸体験ができる体験ツアーを企画、実施している。



町営バスを活用したモニターツアーの募集ちらし

※出典：（一社）立山町観光協会ホームページ

事業② 新幹線・地鉄本線・町営バス・タクシーとの連携 (実施主体：上市町・交通事業者・観光協会)

- 町営バスやタクシー、レンタルサイクルなど、新幹線、高速バス、地鉄本線を利用して訪れる観光客向けの二次交通の活用方法の検討と周知を図る。

【事例】上市町観光協会のレンタサイクル「コグッチャ」(上市町)

- 上市町観光協会では、上市駅舎内でレンタサイクル「コグッチャ」の貸出を行っている。GIANT 社製のマウンテンバイク（6 台）を借りることができる。



コグッチャで楽しむ様子



上市駅舎内の観光協会でも借りることができる

※出典：上市町観光協会

【事例】高速乗合バス東京線（上市町）

- 令和 5 年 12 月から富山地方鉄道株式会社と西武バス株式会社が運行する高速乗合バス「富山・高岡・氷見ー東京線」が上市スマートインターチェンジ高速バス停留所へ就行した。これを記念し、12 月 15 日の出発便から 3 カ月間限定で、高速バス車両 1 台の後部に、映画「おおかみこどもの雨と雪」の画像を使用し、上市町での暮らしに想いを馳せてもらえるようなラッピングをした車両が走行することとなり、完成車両のお披露目会を行った。
- お披露目会は就行前日に、上市停留所（上市スマートインターチェンジ）にて開催。近隣の宮川こども園の園児たちやカモシカの三太くん（上市町公認アンバサダー）、つるぎくん（上市町マスコットキャラクター）も参加し、翌日からの東京線の就行とラッピング車両の完成を一緒にお祝いし、利用促進を図った。



高速乗合バス東京線（ラッピング車両お披露目会）

※出典：上市町企画課

【事例】ガイド付き電動自転車ツアーの販売（（一社）立山町観光協会）

- ・（一社）立山町観光協会では、標高 475mの立山駅から、立山町の中心部まで下りながら、町の観光名所を巡り、帰りはサイクルトレインを利用し、立山駅へ電車に戻るサイクリングツアーの提供も行っている。ツアーへの申し込みは、（一社）立山町観光協会のホームページから可能。



電動自転車



道中の景色

※出典：（一社）立山町観光協会ホームページ

【事例】観光 MaaS プロジェクトによる観光タクシー実証運行（福島県いわき市）

- ・いわき市では、「フラシティいわき観光 MaaS プロジェクト『フラ〜っと乗れ MaaS ででかけよう！』」として、地域内（常盤エリアと小名浜エリア）を巡る観光タクシーと 2 地域間を結ぶ定期便シャトルバスの運行を行っている。
- ・フラシティいわき MaaS では、行政 MaaS（おでかけ市役所）、観光 MaaS（タクシー、カーシェア、レンタサイクル、高速バス・路線バス、鉄道、観光遊覧船、キッチンカーなど）買物・おつかい MaaS（買物宅配サービス）などの情報提供を行っている。

	観光タクシー	シャトルバス
概要	常盤エリアと小名浜エリア内に設置されているステーション間を移動する事前予約制のタクシー	常盤～小名浜間を決まった時間通りに乗降ポイントを巡る事前予約制バス。2 往復 4 便。
料金	タクシー料金	1,000 円/1 乗車
予約方法	スマホ予約：観光 MaaS サイト、電話予約：運行事業者への電話	
決済方法	交通系電子マネー・WAON・nanaco・PayPay。	
割引	観光 MaaS サイトから予約し、小名浜地区もしくは常盤地区で観光タクシーを利用された方を対象に、クーポン提示により、キャッシュレス決済で 1,500 円以上の利用をした場合、200 円引きのサービスを実施。	



フラシティいわきMaaS



「乗れ MaaS」PRチラシ

※出典：フラシティいわき MaaS ホームページ

IX 計画の推進体制と評価・検証

1 推進体制と役割

本計画の推進にあたり、本町の公共交通が目指す将来像の実現に向けて、「地域住民」、「交通事業者」、「行政」、「関係機関」が連携し、一体となって取り組むとともに、それぞれが担う役割やそれらの進捗等を相互に確認しながら、持続可能な交通体系の構築を目指す。

図表 140 主体と基本的な役割

主体	基本的な役割
地域住民	・公共交通を積極的に利用する。また、公共交通のあり方を考察する。 ・行政や交通事業者、地域の公共交通のイベントなどに積極的に参画する。
交通事業者	・「つながる・にぎわう・ささえあう、みんなが主役のまちをつくる交通の実現」を目指した事業展開を行う。 ・地域間幹線、地域内フィーダー路線の運行を担い、地域住民や観光客等の移動を確保する。 ・ダイヤ調整など路線の利便性向上と利用者目線による交通情報の発信や交通サービスの提供を行う。
行政	・「つながる・にぎわう・ささえあう、みんなが主役のまちをつくる交通の実現」と維持に向けた事業展開と各主体間の調整を行う。 ・地域住民・交通事業者・関係機関と密に意見交換を行い、持続可能な公共交通網の形成を検討する。 ・地域住民や企業に対して公共交通に関する利用者目線による情報発信を行う。
関係機関 (病院、企業、 商業施設、観 光施設等)	・行政及び交通事業者と連携した公共交通サービスの利便性向上に向けた検討と利用促進に対する協力を行う。

2 持続的な運行と資金確保

(1) 持続的な運行と資金確保

持続的な公共交通の維持には、交通全体の収支バランス改善が必要不可欠である。町営バスについては、循環型及び往復型の5路線に加え、デマンド型の白萩線と陽南線を運行することで、沿線住民が生活する上での必要不可欠な公共交通手段が確保されてきた。

しかしながら自治体のみでは系統の維持は困難なため、今後も本計画の基本方針に基づく各種事業の展開による利用者増をもって収支改善を図ることや適宜運賃を見直すとともに、補助事業等の活用により住民の生活手段を継続的に確保していくことが必要である。このうち、白萩線及び陽南線については、次のとおり地域公共交通確保維持事業により系統を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。

- ・公共交通空白地で需要が見込めそうな地域と中心部を結ぶデマンド型の町営バスの運行
- ・地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）の国庫補助金の活用

(2) 町営バス各運行系統の地域の公共交通における位置付け・役割

図表 141 運行系統の位置づけ・役割

位置付	系統	役割	確保・維持策
循環型	相ノ木線 弓庄線 南加積線 宮川線	・コミュニティバスとしての役割を果たしつつ、児童・生徒の通学に対応 ・通勤、買い物、通院等の目的に対応	・一定以上の運行水準を確保 ・市町村運行バス路線対策費補助を活用し持続可能な運行を目指す
往復型	柿沢・大岩線	・コミュニティバスとしての役割を果たしつつ、児童・生徒の通学に対応 ・通勤、買い物、通院、観光客の足等の目的に対応	・一定以上の運行水準を確保 ・市町村運行バス路線対策費補助を活用し持続可能な運行を目指す
デマンド型 予約のりあい	白萩線 陽南線	・地域内の移動サービスと公共交通空白地域の解消を担う路線 ・通勤・通学、買い物、通院等の目的に対応	・地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し持続可能な運行を目指す



(3) 町営バス各運行系統の運行主体や補助事業活用等の概要

図表 142 運行系統の位置づけ・役割

系統名	起点	主たる 経過地	終点	事業許可 区分	運行態様	運営主体 (運行事 業者)	補助事業 の活用
柿沢・ 大岩線	保健福祉 総合セン ター	上市駅 前・大 岩	保健福祉総 合センター	自家用自動 車による有 償運送 (79 条)	路線定期 運行	上市町 (富山地 方鉄道へ 運 行 委 託)	市町村バス路線対 策費補助
相ノ木 線	保健福祉 総合セン ター	上市駅 前・下 経田	保健福祉総 合センター	自家用自動 車による有 償運送 (79 条)	路線定期 運行	上市町 (富山地 方鉄道へ 運 行 委 託)	市町村バス路線対 策費補助
南加積 線	保健福祉 総合セン ター	上市駅 前・広 野	保健福祉総 合センター	自家用自動 車による有 償運送 (79 条)	路線定期 運行	上市町 (富山地 方鉄道へ 運 行 委 託)	市町村バス路線対 策費補助
弓庄線	保健福祉 総合セン ター	上市駅 前・神 田	保健福祉総 合センター	自家用自動 車による有 償運送 (79 条) (4 条) 一 部	路線定期 運行	上市町 (富山地 方鉄道へ 運 行 委 託)	市町村バス路線対 策費補助
宮川線	保健福祉 総合セン ター	上市駅 前・森 尻	保健福祉総 合センター	自家用自動 車による有 償運送 (79 条)	路線定期 運行	上市町 (富山地 方鉄道へ 運 行 委 託)	市町村バス路線対 策費補助
白萩線	－ (予約の りあいの た め 変 動)	上市駅 前・丸 山	－ (予約のり あいのた め 変動)	自家用自動 車による有 償運送 (79 条)	区域運行	上市町 (旭自動 車(株)、(有) GM 交通へ 運 行 委 託)	フィーダ ー補助
陽南線	－ (予約の りあいの た め 変 動)	上市駅 前・女 川	－ (予約のり あいのた め 変動)	自家用自動 車による有 償運送 (79 条)	区域運行	上市町 (旭自動 車(株)、(有) GM 交通へ 運 行 委 託)	フィーダ ー補助

(4) 地域公共交通計画の区域内全体における地域旅客運送サービスの利用者の数、収支率
その他の定量的な目標・効果及びその評価手法

図表 143 目標・効果及びその評価手法

目標	数値指標	データ取得方法	現況値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
目標1 みんなが生き活 き暮らせるまち を実現する生活 交通網	①「外出の際、困ること」 がある町民の割合	上市町がアンケ ート調査を実施	17.7% (R5)	15.0%
	②町営バス1便あたりの利 用者数	上市町が毎年 データを収集	3.6人/便 (R4)	4.0人/便
	③予約のりあいバス1便 あたりの利用者数	上市町が毎年 データを収集	1.36人/便 (白萩線 R4) ※ 1.16人/便 (陽南線 R4) ※	1.40人/便 (白萩線) 1.20人/便 (陽南線)
	④スクールバスのカバー率	上市町が毎年 データを収集	100.0% (R6)	100.0%
目標2 町外移動の利便 性を高め、定住 できるまちを実 現する広域交通 軸	①富山地鉄本線町内4駅1 日利用者数	上市町が毎年 データを収集	1,837人/日 (R5)	1,900人 /日以上
	②地鉄本線利用者の満足度 ('満足'、'やや満足' と答えた人の割合)	上市町がアンケ ート調査を実施	32.1% (R5)	35.0%
	③パーク・アンド・ライド 駐車場利用者の満足度 ('満足' 'やや満足' と 答えた人の割合)	上市町がアンケ ート調査を実施	69.0% (R5)	75.0%
	④地鉄本線利用者の町営バ スに対する満足度 ('満 足' 'やや満足' と答 えた人の割合)	上市町がアンケ ート調査を実施	36.3% (R5)	40.0%
目標3 公共交通サービ スの利便性向上 と効率化による 公共交通の持続 性向上	①利便性と持続性の確保 (公共交通の担い手確保)	上市町が交通事 業者に状況を 確認	交通事業者の 状況確認	継続実施
	②町営バスの収支率 (町の財政負担額)	上市町が毎年 データを収集	13.8% (R4) (24,418千円 (R4))	現状より 改善 (現状維持)
	③予約のりあいバスの 収支率(町の財政負担額)	上市町が毎年 データを収集	白萩線(R4) 1.4%(3,951千円) 陽南線(R4) 0.7%(1,837千円)	現状より 改善 (現状維持)
目標4 DX と face-to- face による利 用促進、多様な ニーズへの対応	①地域公共交通維持の必要 性への理解(地域公共交 通維持が「必要」「やや 必要」と答えた人の割 合)	上市町がアンケ ート調査を実施	92.3% (R5)	現状より 上昇
	②モビリティ・マネジメン トの継続的实施	上市町が毎年 データを収集	イベントとの公共交 通の事業連携件数 5件 (R5)	現状維持

※③予約のりあいバス1便あたりの利用者数は、R4.10～R5.9までの実績。

3 評価・検証

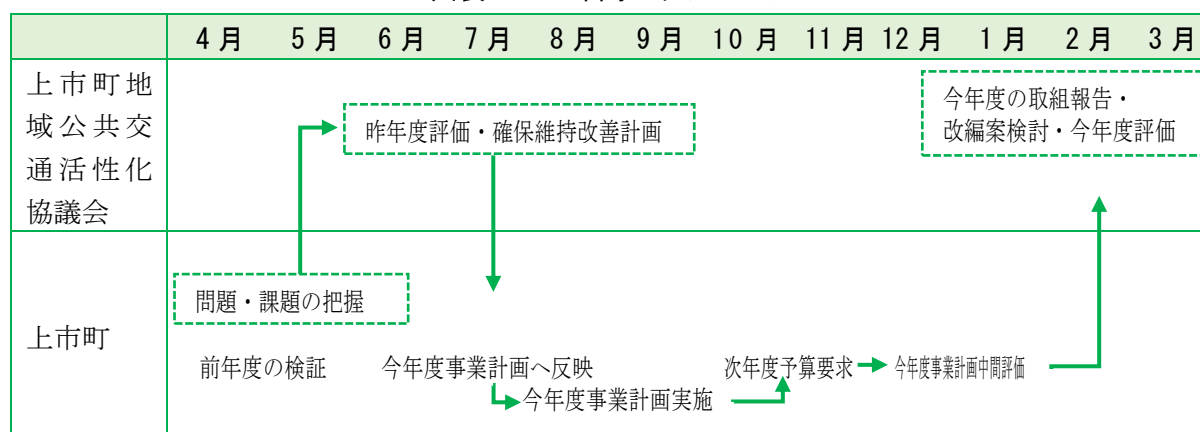
(1) 評価・検証

計画の推進に際しては、計画期間（令和 7 年度～令和 11 年度）における事業実施状況や目標値の達成状況に対する評価・検証を行うとともに、取組の改善や見直しを図る「PDCAサイクル」により、計画の達成に向けた継続的な進捗管理に努める。

毎年の評価・検証については、上市町地域公共交通活性化協議会において年 1 回程度進捗状況や効果を定量的・客観的に評価し、必要に応じて見直しを行っていく。

最終年次においては、町民アンケート調査の実施による町民満足度や公共交通に対する評価、改善要望の把握を行う。

図表 144 年間スケジュール



（２）評価・検証のために収集するデータと収集方法

評価・検証に際しては、必要なデータを定期的に収集する。

図表 145 収集する意見

分類	収集データ	実施主体	時期
利用者の意見	利用者アンケート調査	上市町	令和 11 年度
町民満足度	町民アンケート調査	上市町	令和 11 年度
運行事業者の意見	利用状況・運行上の課題や改善点	町内交通事業者・上市町	随時

図表 146 毎年収集するデータ

分類	収集データ	実施主体	時期
富山地鉄本線	駅別利用者数	富山地方鉄道(株)	毎年度
町営バス・予約のりあいバス	町営バス路線別利用者数	上市町	毎年度
	予約のりあいバス路線別利用者数	上市町	毎年度
	収支状況	上市町	毎年度
高齢者	高齢者運転免許証自主返納者数	上市警察署	毎年度
	高齢者運転免許証自主返納支援件数	上市町	毎年度